美浜町
地域福祉計画・地域福祉活動計画に関するアンケート調査

結果報告書

平成 29 年 1 月

美浜町

目　次

Ⅰ.　調査概要 1
１.　調査の目的 1
２.　調査対象及び調査方法 1
３.　調査票の回収状況 1
４.　標本誤差 2
５.　報告書の見方 2
Ⅱ.　調査結果 3
１.　回答者の属性 3
１－１　性別 3
１－２　年代 3
１－３　居住地区 4
１－４　家族構成 4
１－５　居住年数 5
１－６　居住歴 5
１－７　現在の立場 6
１－８　組織や活動とのつながり 6
２.　地域（隣近所）との関わり方について 7
２－１　隣近所における顔見知りの有無 7
２－２　隣近所の方への信頼度 8
２―３　隣近所の方とのおつきあいの程度 9
２－４　隣近所とほとんどつきあいがない理由 10
２－５　地域活動や行事への参加状況 11
３.　お住まいの地域の現状について 12
３－１　お住まいの地域の現状について 12
３－２　お住まいの地区に対する愛着度 31
３―３　お住まいの地区の住みやすさ 32
４.　生活で困っていること・福祉に関する地域に課題について 33
４－１　日常生活における不安や困りごと 33
４－２　相談する相手や場所 34
４－３　お住まいの地域の問題や課題 34
４－４　地域の問題や課題への対応 36
４－５　地域福祉への関心 38
４－６　緊急時の対応状況 40
４－７　地域で個人情報を共有することの要否 46
５.　地域福祉を支える人材や地域福祉資源の活用について 48
５－１　民生委員・児童委員の認知度 48

５－２　美浜町地域本活支援センターの認知度 49
５－３　ボランティア活動への参加経験の有無 50
５－４　ボランティア活動への参加意向 51
５－５　ボランティア活動に参加できない（参加しない）理由 52
６．　福祉団体について 53
６－１　美浜町社会福祉協議会の認知度 53
６－２　美浜町社会福祉協議会の今後の活動・支援 54
６―３　「協働のまちづくり」を進めるうえで取り組むべき活動 55
７．　地域活動について 56
７-１　地域活動への協力の可否 56
７-２　協力可能な活動 59
８．　自由回答 90
Ⅲ．　資料編 106

Ⅰ. 調査概要

1． 調査の目的

美浜町民の福祉に対する意識や地域活動への参加状況等を把握し、「美浜町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定するための基礎資料とするために実施しました。

2． 調査対象及び調査方法

①調査地域

・美浜町内

②調査対象者

・美浜町に住民登録をしている 18 歳以上の男女

③標本数

・2,000 件

④標本抽出方法

・単純無作為抽出

⑤調査期間

・平成 28 年 7 月 29 日～8 月 10 日

⑥調査方法

・郵送配布、郵送回収

⑦調査実施機関

・美浜町

・（調査委託先）株式会社サーベイリサーチセンター

3． 調査票の回収状況

標本数（件）	有効回収数（件）	回収率（%）
2,000	972	48.6

4．　標本誤差

この調査は、母集団である 20 歳以上の全市民から一部の標本を無作為に抽出して行いました。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

標本誤差　$\sigma = \pm 2\sqrt{\frac{P\ (\ 100-P)}{n}}$　　P: 回答率(%)　　n: 有効回収数(件)

以下の表は、上式にｎとＰの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

信頼度95%（100回中95回はこの範囲に収まる）の場合

	有効回収数（件）	回答率（%）									
		5%（95%）	10%（90%）	15%（85%）	20%（80%）	25%（75%）	30%（70%）	35%（65%）	40%（60%）	45%（55%）	50%（50%）
全体	972	1.4	1.9	2.3	2.6	2.8	2.9	3.1	3.1	3.2	3.2

この表の見方について例を挙げると、「全体の回収数が 972 人であり、ある設問の１つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で±3.2%以内であり、実際の割合は 46.8%～53.2%の範囲にある」と意味づけられるものです。

5．　報告書の見方

・グラフ・表中の「ｎ」はアンケートの有効回収数を示しています。
・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第２位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
・複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が０の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

Ⅱ. 調査結果

1.回答者の属性

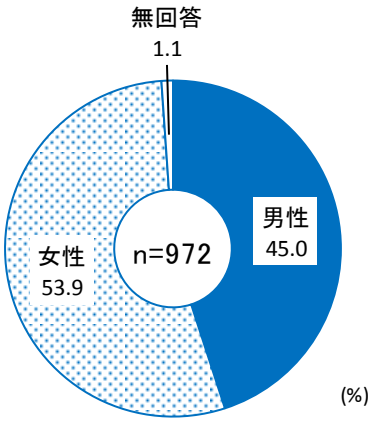
1－1　性別

問 1　あなたの性別はどちらですか。（1 つに○）

□　「男性」が 45.0%、「女性」が 53.9%

回答者の性別の割合は、「男性」が 45.0%、「女性」が 53.9%となっています。

図表 1　性別



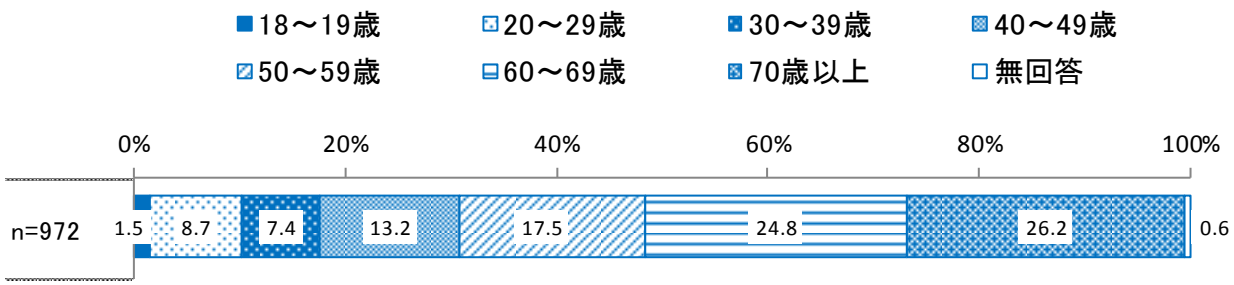
1－2　年代

問 2　あなたの年齢はどれですか。（1 つに○）

□　「70 歳以上」が 26.2%で最も多い

回答者の年齢は、「70 歳以上」が 26.2%で最も多く、次いで「60～69 歳」（24.8%）、「50～59 歳」（17.5%）、「40～49 歳」（13.2%）となっています。

図表 2　年代



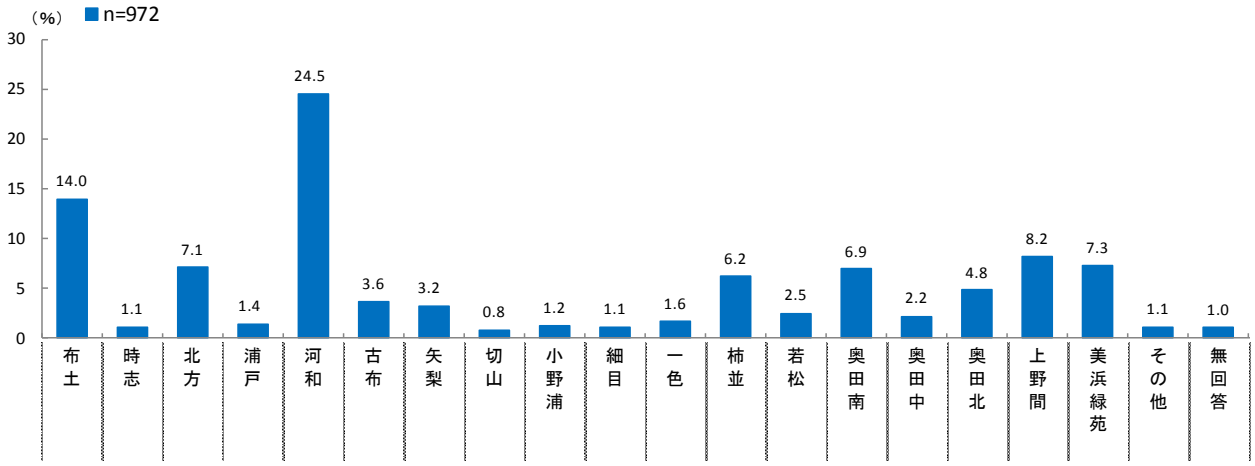
1－3　居住地区

問３　あなたがお住まいの行政区はどちらですか。（1 つに○）

□　「河和」が 24.5%で最も多い

回答者の居住地区は「河和」が 24.5%で最も多く、次いで「布土」（14.0%）、「上野間」（8.2%）、「美浜緑苑」（7.3%）、「北方」（7.1%）となっています。

図表 3　居住地区



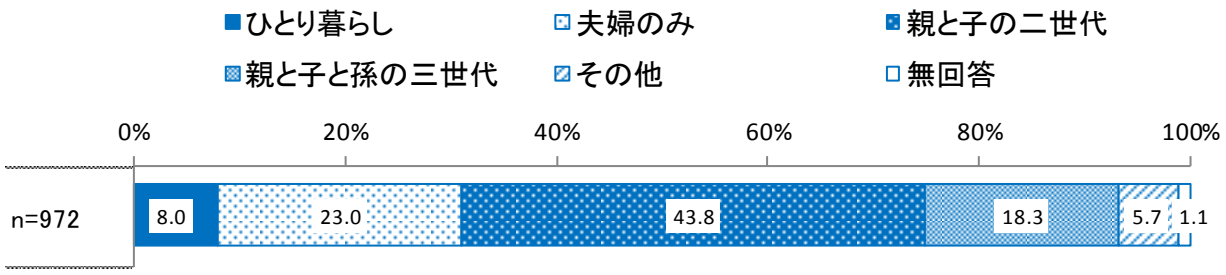
1－4　家族構成

問４　あなたの家族の構成についてうかがいます。（1 つに○）

□　「親と子の二世代」が 43.8%で最も多い

回答者の家族構成は、「親と子の二世代」が 43.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ」（23.0%）、「親と子と孫の三世代」（18.3%）となっています。

図表 4　家族構成



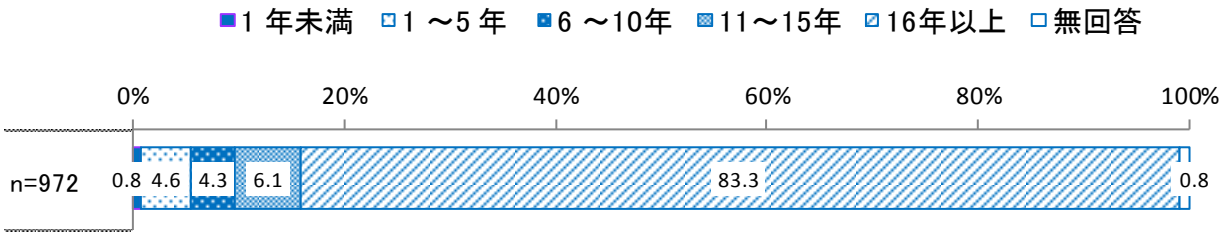
1－5　居住年数

問５　あなたは、美浜町に何年住んでいますか。（1 つに○）

□　「16 年以上」が 83.3%で最も多い

回答者が美浜町に住んでいる年数は、「16 年以上」が 83.3%で全体の 8 割を超えています。

図表 5　居住年数



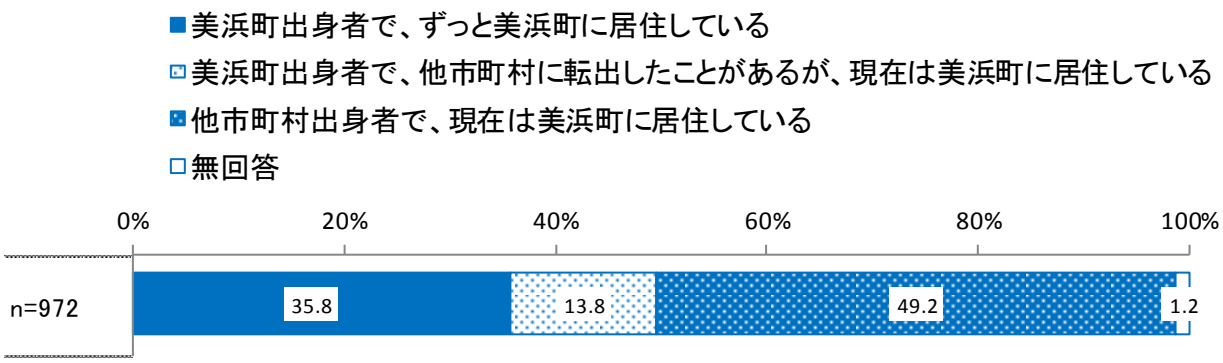
1－6　居住歴

問６　あなたは、美浜町に居住する以前に別の地域に住んでいましたか。（1 つに○）

□　「他市町村出身者で、現在は美浜町に居住している」が 49.2%で最も多い

美浜町に居住する以前にどこに住んでいたかについて、「他市町村出身者で、現在は美浜町に居住している」が 49.2%で最も多く、約半数の人が別の地域から美浜町に来ていることが分かります。

図表 6　居住歴（全体）



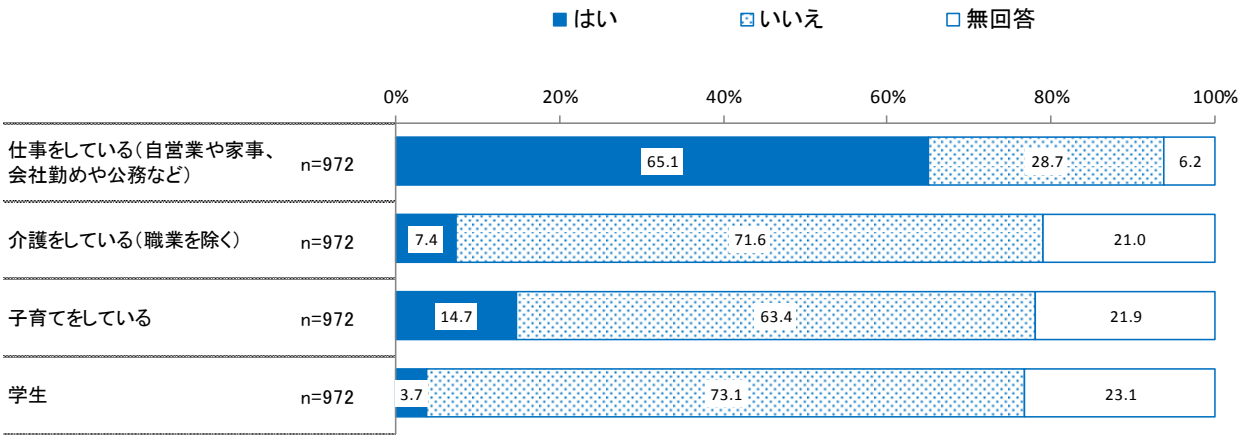
1－7　現在の立場

問７　あなたは、現在どのような立場にありますか。（最も当てはまる数字 1 つずつに○）

□　「仕事をしている（自営業や家事、会社勤めや公務など）」が 65.1%

回答者の現在の立場については、「仕事をしている（自営業や家事、会社勤めや公務など）」が 65.1%と半数以上を占め、次いで「子育てをしている」が 14.7%、「介護をしている（職業を除く）」が 7.4%となっています。

図表 7　現在の立場



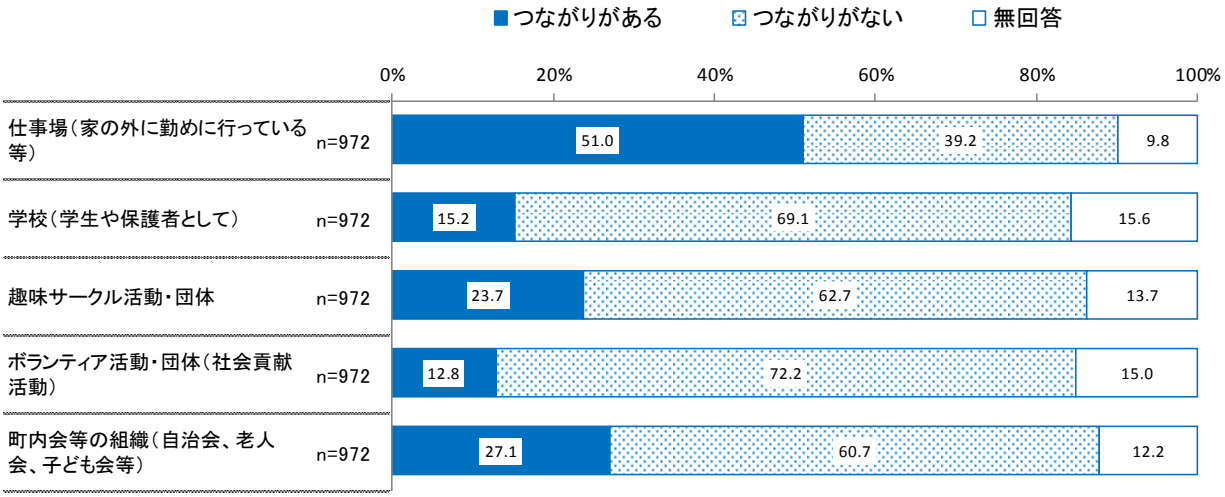
1－8　組織や活動とのつながり

問８　あなたは、現在どのような組織や活動につながりがありますか。
（どちらか当てはまる数字 1 つずつに○）

□　「仕事場（家の外に勤めに行っている等）」が 51.0%で半数を占める

回答者の組織や活動とのつながりについては、「仕事場（家の外に勤めに行っている等）」が 51.0%と最も多く、次いで「町内会等の組織（自治会、老人会、子ども会等）」（27.1%）、「趣味サークル活動・団体」（23.7%）となっています。

図表 8　組織や活動とのつながり



2． 地域（隣近所）との関わり方について

2－1 隣近所における顔見知りの有無

問９ あなたは、隣近所に顔見知りの人がどのくらいいますか。（1 つに○）

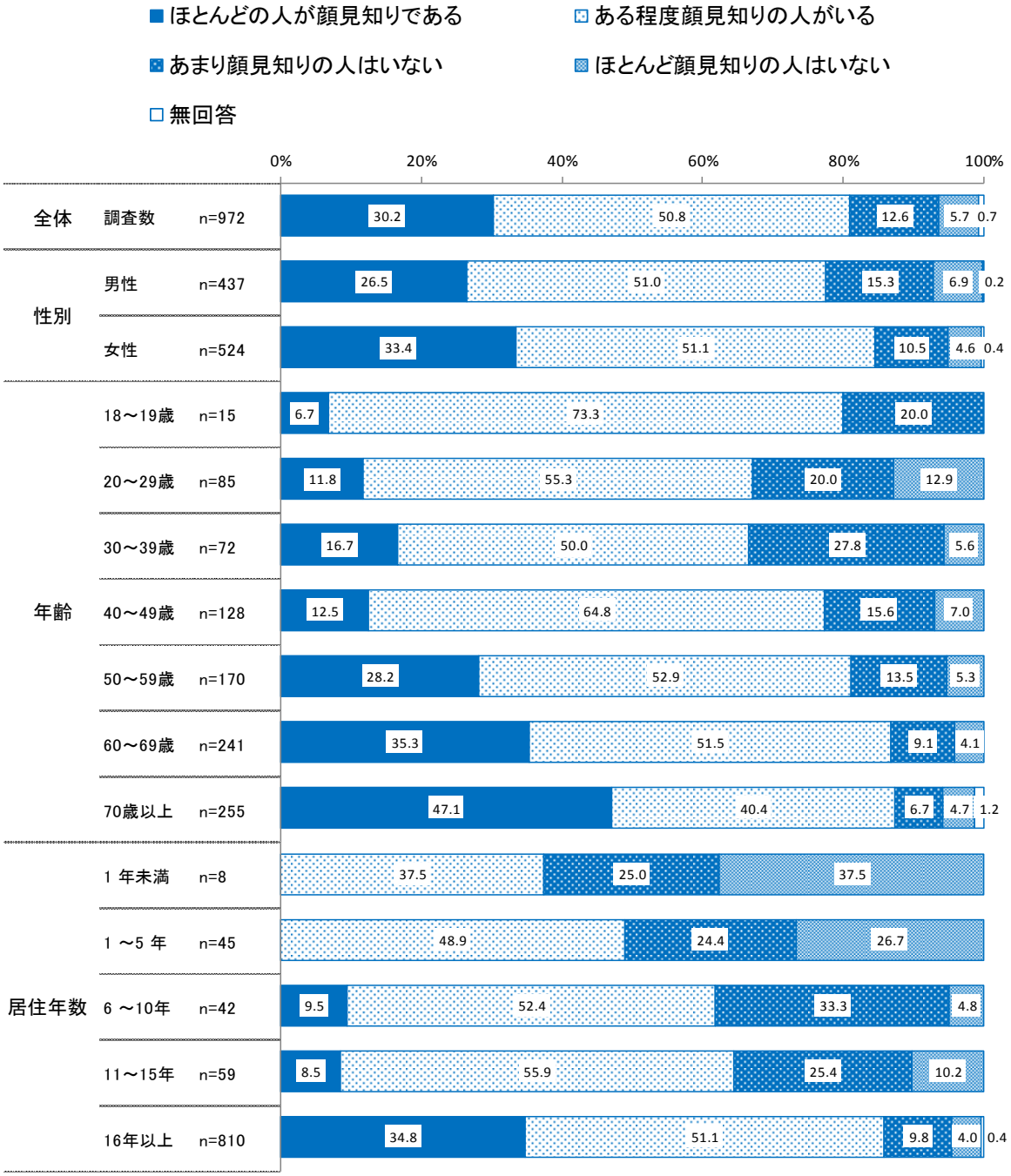
□ 「ある程度顔見知りの人がいる」と回答した人が約半数

隣近所に顔見知りの人がいるかどうかについては、「ある程度顔見知りの人がいる」が 50.8%で約半数となっており、「ほとんどの人が顔見知りである」と「ある程度顔見知りの人がいる」を合わせた“顔見知りの人がいる”人は、81.0%となっています。

性別でみると、“顔見知りの人がいる”人は、男性が 77.5%、女性が 84.5%となっています。

また、年齢は上がるほど、居住年数は長いほど“顔見知りの人がいる”人が多くなっています。

図表 9 隣近所における顔見知りの有無（全体・性別・居住年数）



2－2　隣近所の方への信頼度

問10　あなたは、隣近所にお住まいの方をどの程度信頼していますか。（1 つに○）

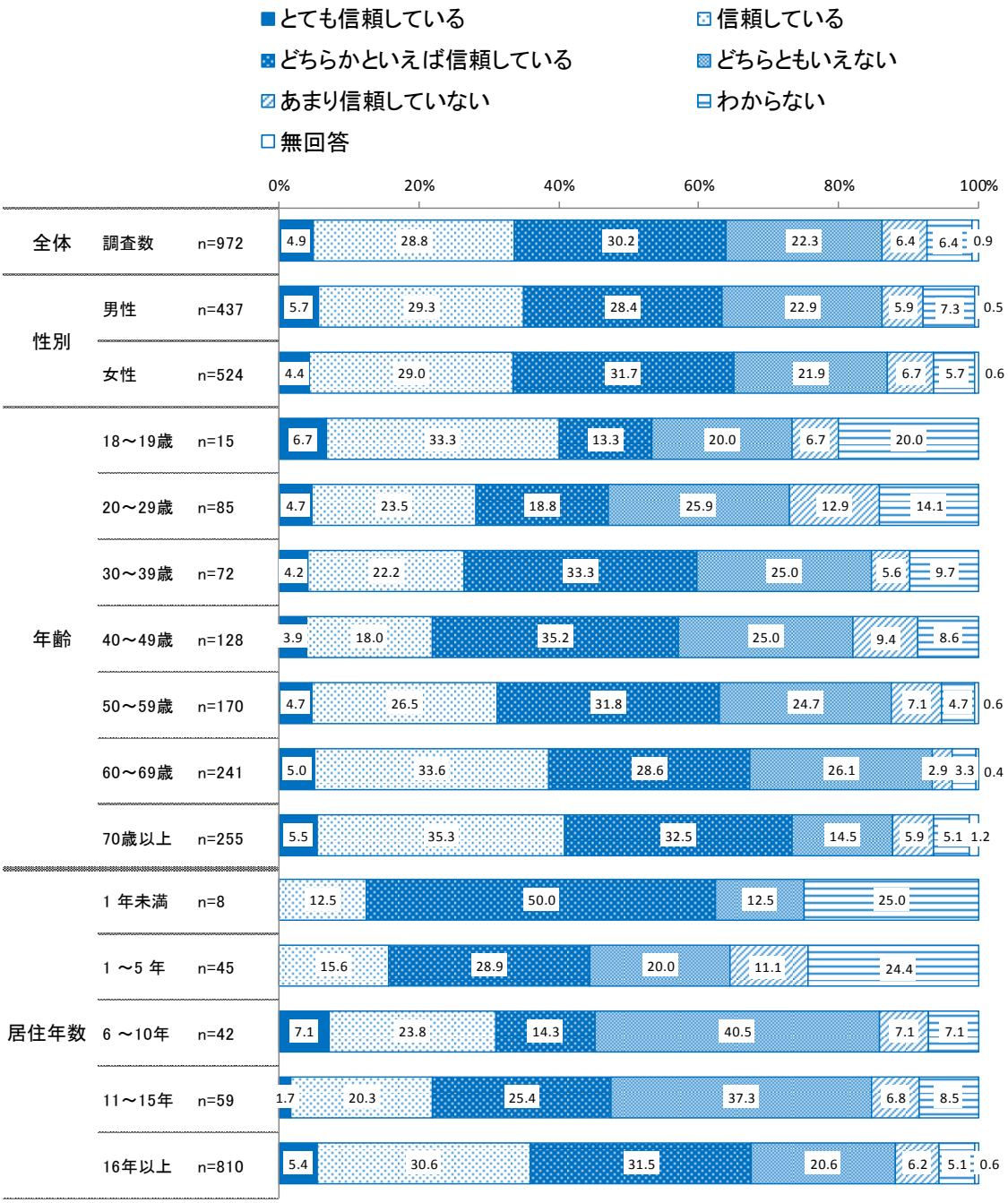
□　「どちらかといえば信頼している」が 30.2%で最も多い

隣近所に対する信頼度については、「どちらかといえば信頼している」が 30.2%と最も多くなっています。また、「とても信頼している」「信頼している」「どちらかといえば信頼している」を合わせた『信頼している』と回答した人は 63.9%となっています。

年齢別でみると、『信頼している』と回答した人が最も多いのは“70 歳以上”（40.8%）、最も少ないのは“40～49 歳”（21.9%）となっています。

居住年数でみると、“16 年以上”が 67.5%と最も多くなっています。

図表 10　隣近所の方への信頼度（全体･性別･年齢別･居住年数）



2－3　隣近所の方とのおつきあいの程度

問11　あなたは、ふだん隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。（1つに○）

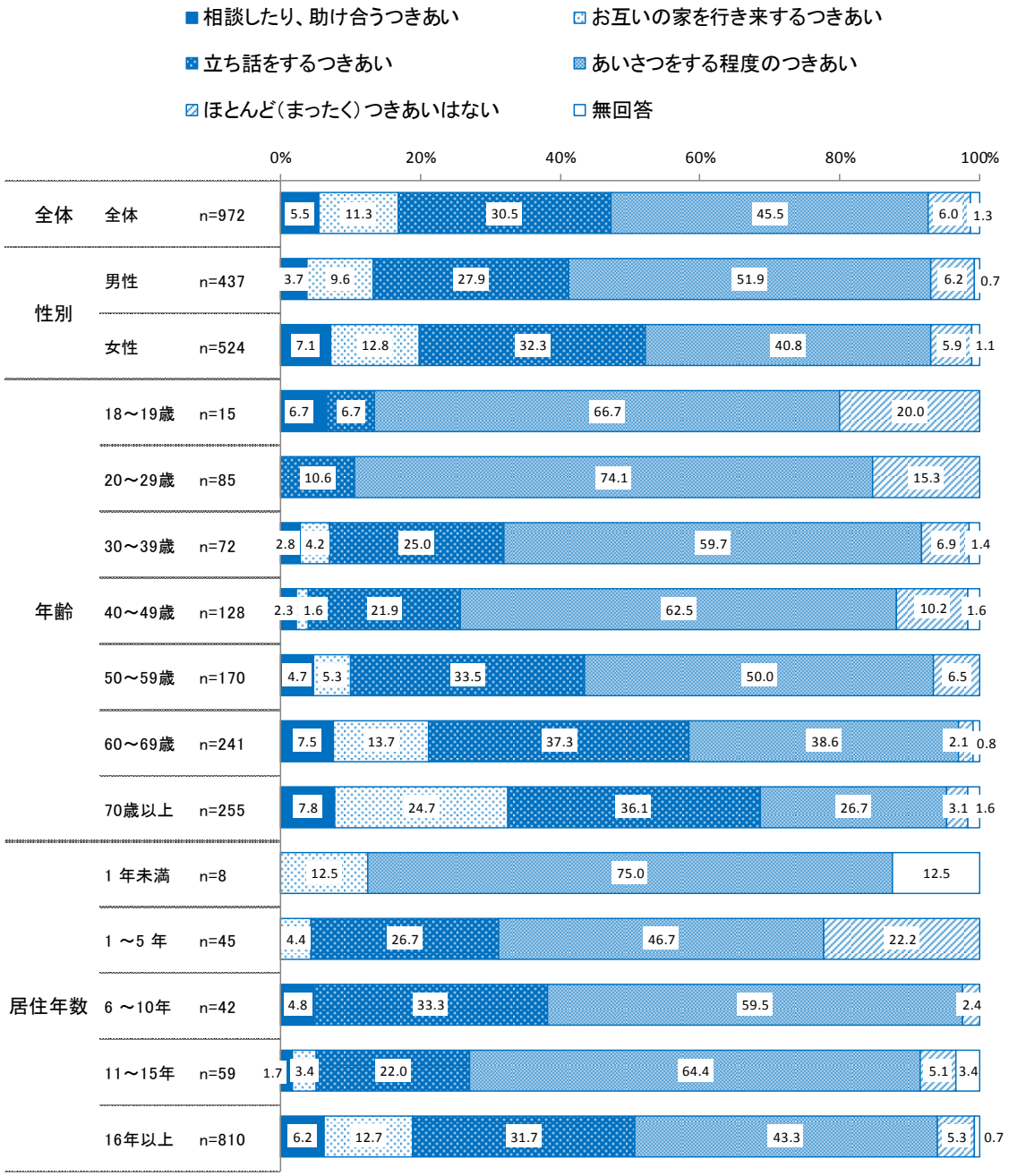
□　「あいさつをする程度のつきあい」が 45.5%で最も多い

隣近所とのおつきあいの程度は、「あいさつをする程度のつきあい」が 45.5%と最も多く、次いで「立ち話をするつきあい」(30.5%)、「お互いの家を行き来するつきあい」(11.3%) となっています。

性別でみると、「相談したり、助け合うつきあい」「お互いの家を行き来するつきあい」「立ち話をするつきあい」と回答した人の割合は、全て女性が男性を上回っています。

年齢別でみると、「相談したり、助け合うつきあい」と回答した人の割合は年齢が上がるにつれて増加しています。

図表 11　隣近所の方とのおつきあいの程度（全体・性別・年齢別・居住年数）



2－4　隣近所とほとんどつきあいがない理由

※問 11 で「5.ほとんど（まったく）つきあいはない」と回答された方

問11-1　ほとんどつきあいがない理由は何ですか。（当てはまる数字すべてに○）

□　「つきあう機会がない」が半数を占める

つきあいがない理由としては、「つきあう機会がない」が 51.7%と最も多く、次いで「忙しくてつきあう時間がない」「同年代の人がいない」（25.9%）となっています。

性別でみると、男性は「町内組織（自治会等）に入っていない」（29.6%）、「かかわりを持ちたくない」（25.9%）、女性は「同年代の人がいない」（32.3%）、「忙しくてつきあう時間がない」（29.0%）が上位に入っています。

図表 12　隣近所とほとんどつきあいがない理由（全体･性別･年齢別）

2－5　地域活動や行事への参加状況

問12　あなたは、地域活動や行事にどの程度参加していますか。（1 つに○）

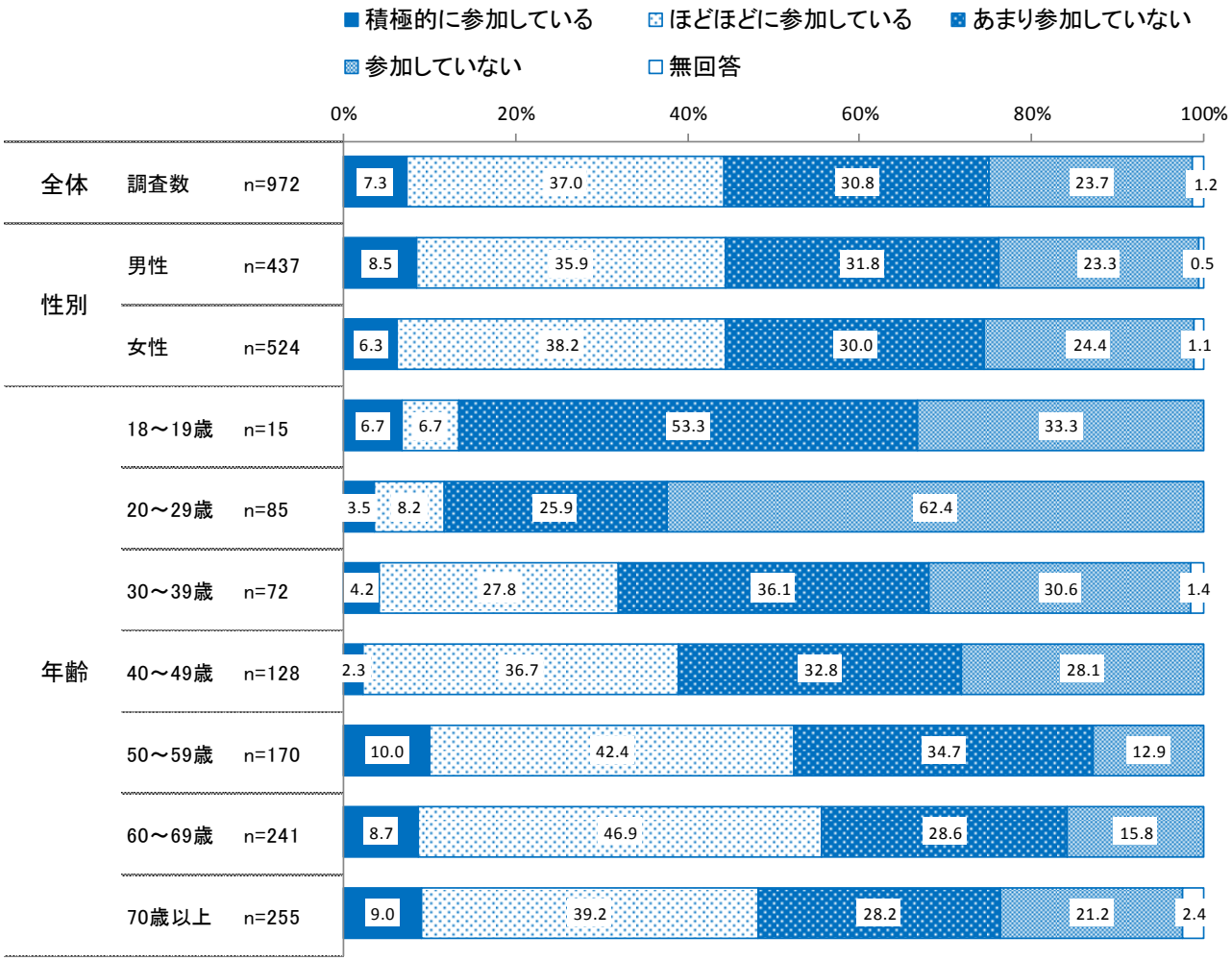
□　「ほどほどに参加している」が 37.0%で最も多い

地域活動や行事への参加状況は、「ほどほどに参加している」が 37.0%で最も多く、次いで「あまり参加していない」（30.8%）、「参加していない」（23.7%）となっています。

年代別でみると、年齢が上がるにつれて参加していると答える人が多くなる傾向にあり、「積極的に参加している」と「ほどほどに参加している」を合わせた『参加している』人は“60～69 歳”が 55.6%と最も多くなっています。

逆に「あまり参加していない」と「参加していない」を合わせた『参加していない』人が最も多いのは“20～29 歳”（88.3%）なっています。

図表 13　地域活動や行事への参加状況（全体・性別・年齢別）



3．　お住まいの地域の現状について

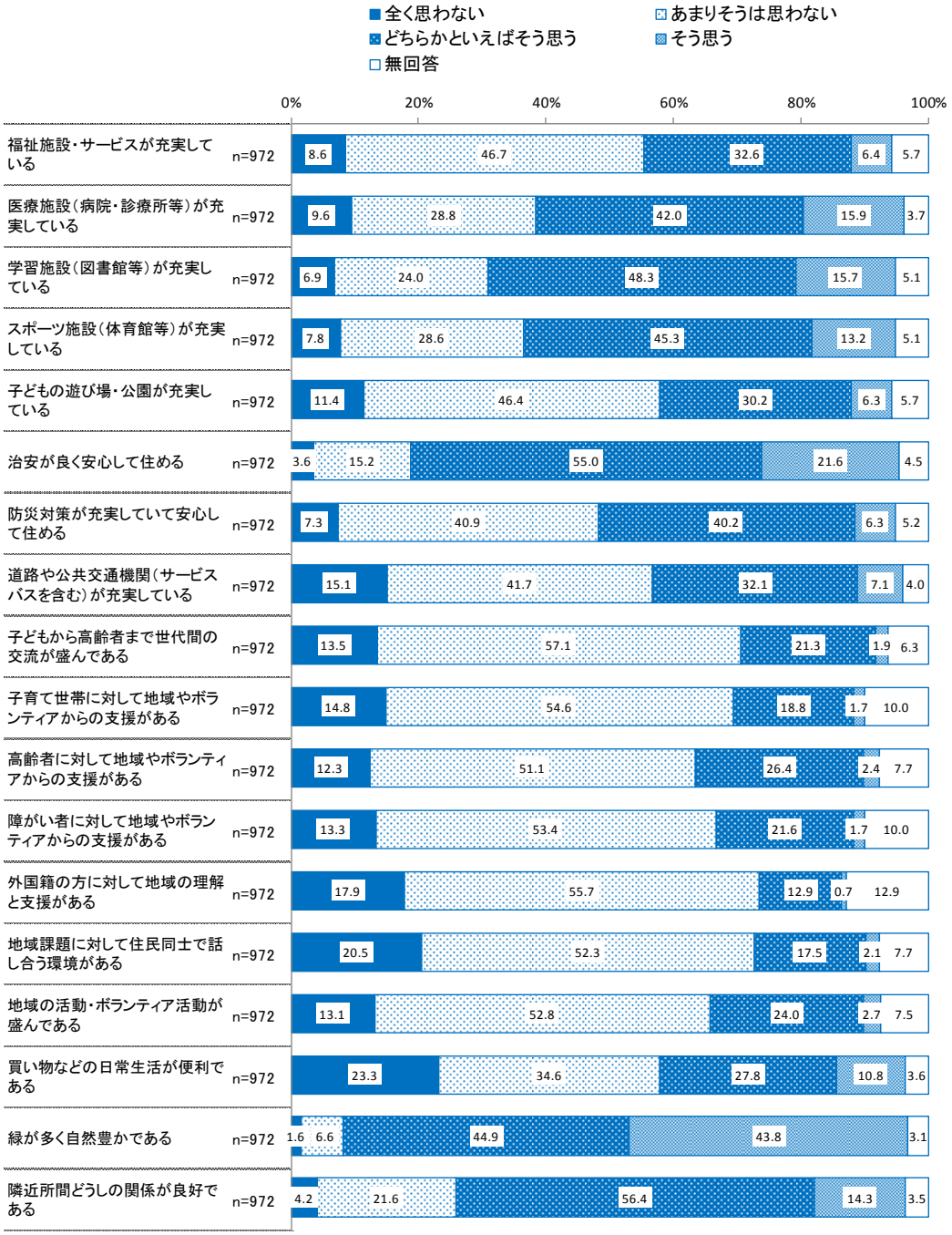
3－1　お住まいの地域の現状について

問13　あなたは、お住まいの地域の現状をどのように捉えていますか。
（最も当てはまる数字 1 つずつに○）

□　「緑が多く自然豊かである」「治安が良く安心して住める」と感じている人が多い

地域の現状については、「緑が多く自然豊かである」「治安が良く安心して住める」「隣近所間どうしの関係が良好である」と感じている人が多くなっています。一方で、「子どもから高齢者まで世代間の交流が盛んである」「外国籍の方に対して地域の理解と支援がある」「地域課題に対して住民同士で話し合う環境がある」といった項目では、そうは感じていないと回答する人が多くなっています。

図表 14　地域活動や行事への参加状況（全体）

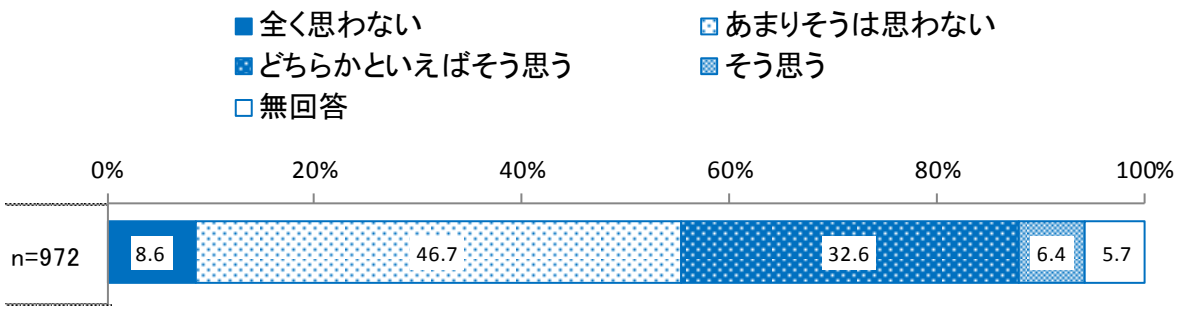


福祉施設・サービスが充実している

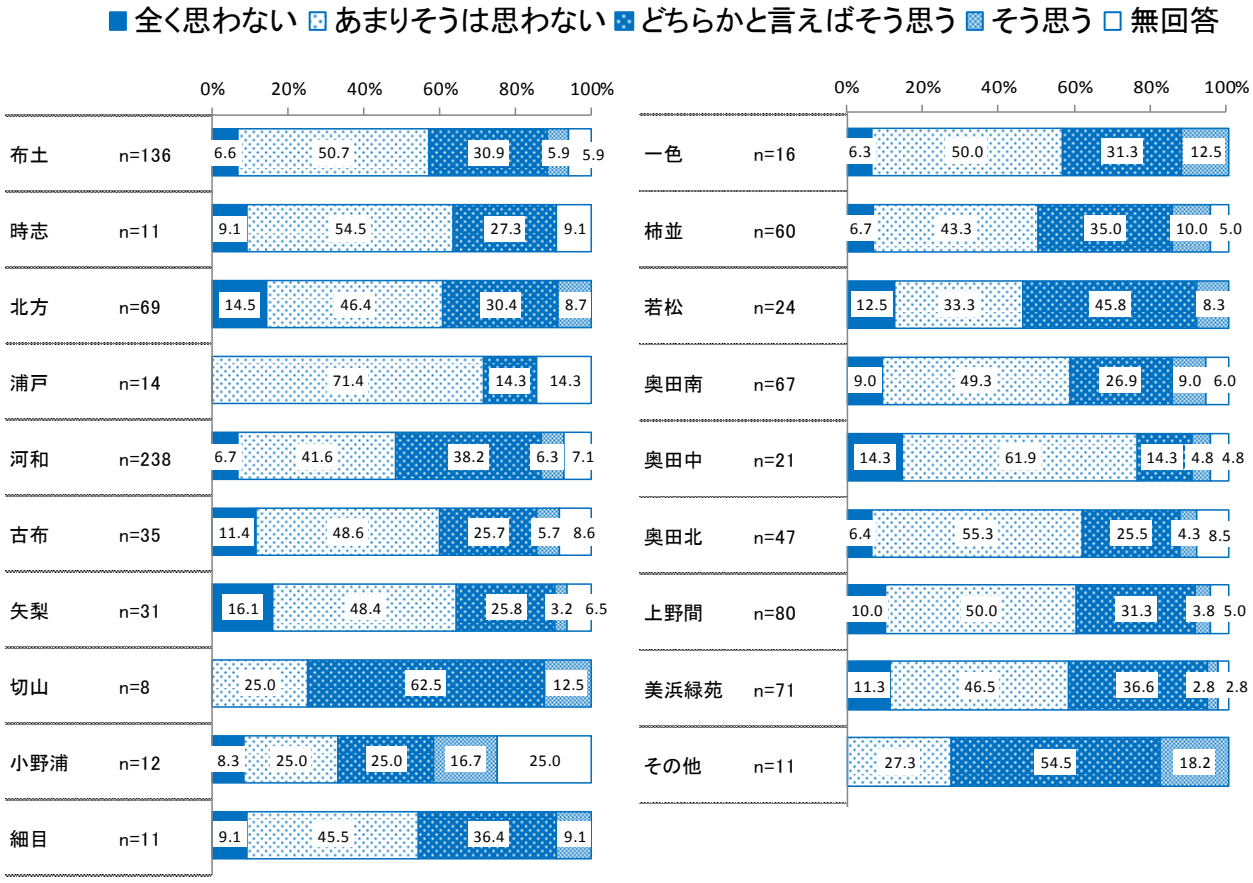
“奥田中”” 浦戸”” 時志” では充実していないと感じている人が多い

福祉施設やサービスが充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、” 切山”（75.0%）、” 若松”（54.1%）、「細目」（45.5%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、” 奥田中”（76.2%）、” 浦戸”（71.4%）、” 時志”（63.6%）で多くなっています。

図表 15 福祉施設・サービスが充実している（全体）



図表 16 福祉施設・サービスが充実している（行政区）

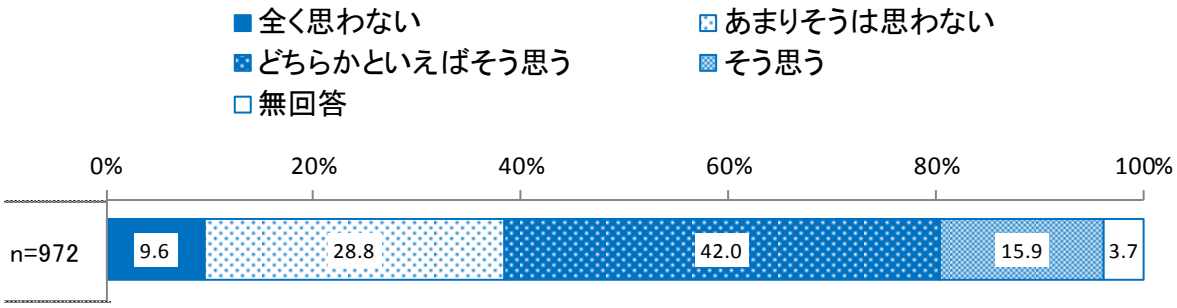


医療施設（病院・診療所等）が充実している

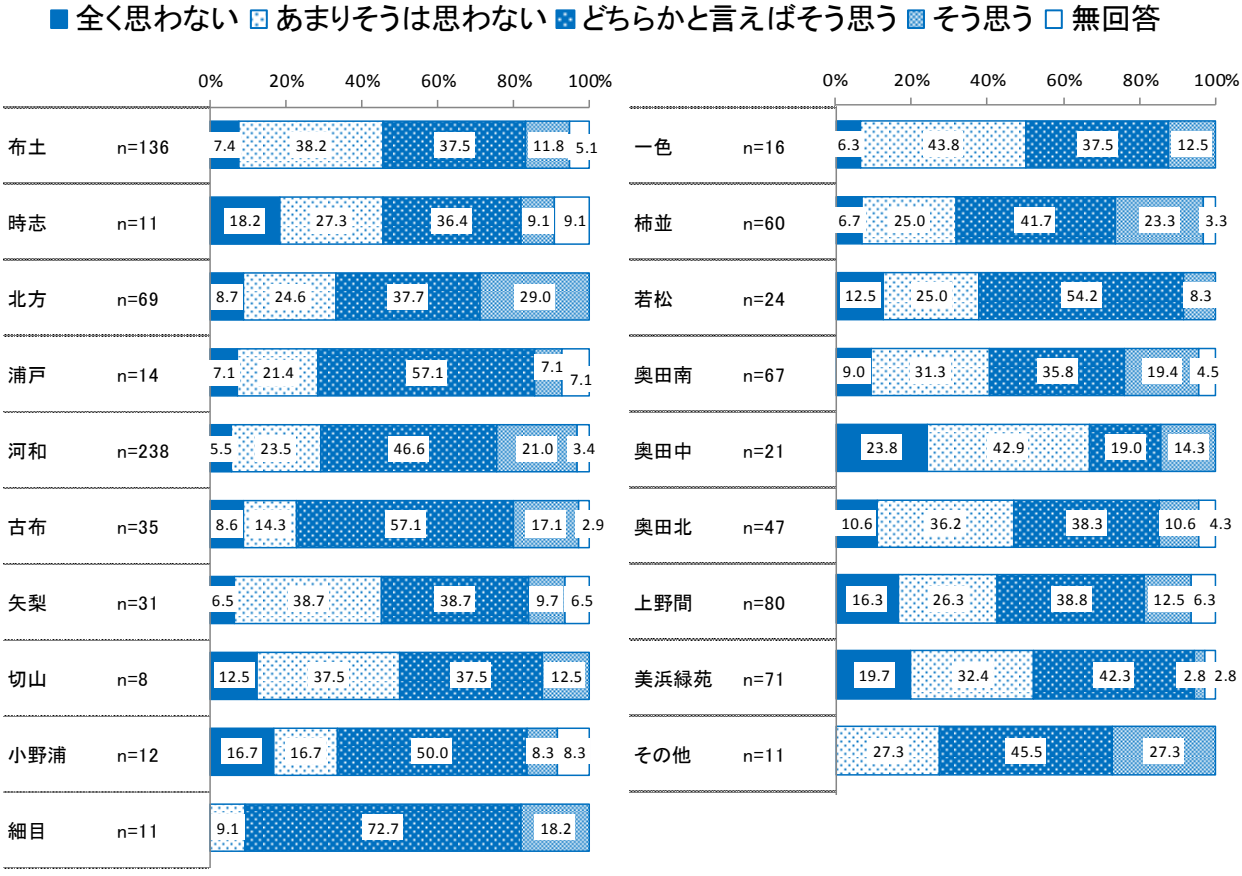
□　“細目”“古布”“河和”では充実していると感じている人が多い

医療施設が充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“細目”（90.9%）、“古布”（74.2%）、“河和”（67.6%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（66.7%）、“美浜緑苑”（52.1%）、“一色”（50.1%）で多くなっています。

図表 17　医療施設(病院･診療所等)が充実している(全体)



図表 18　医療施設(病院･診療所等)が充実している(行政区)

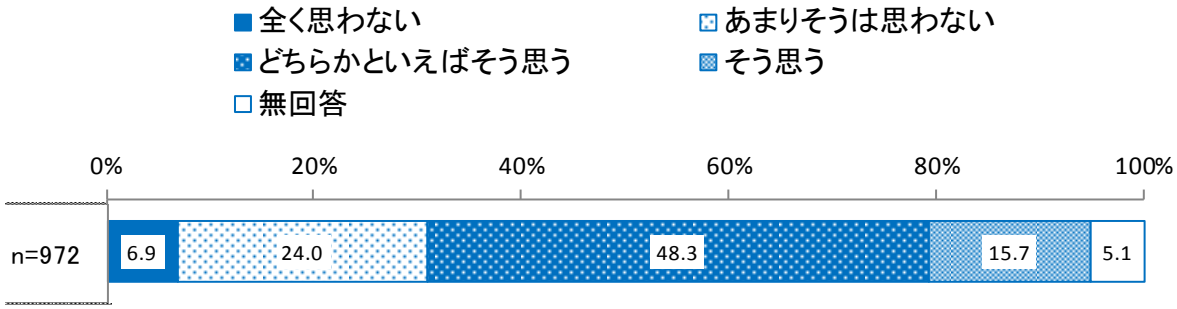


学習施設（図書館等）が充実している

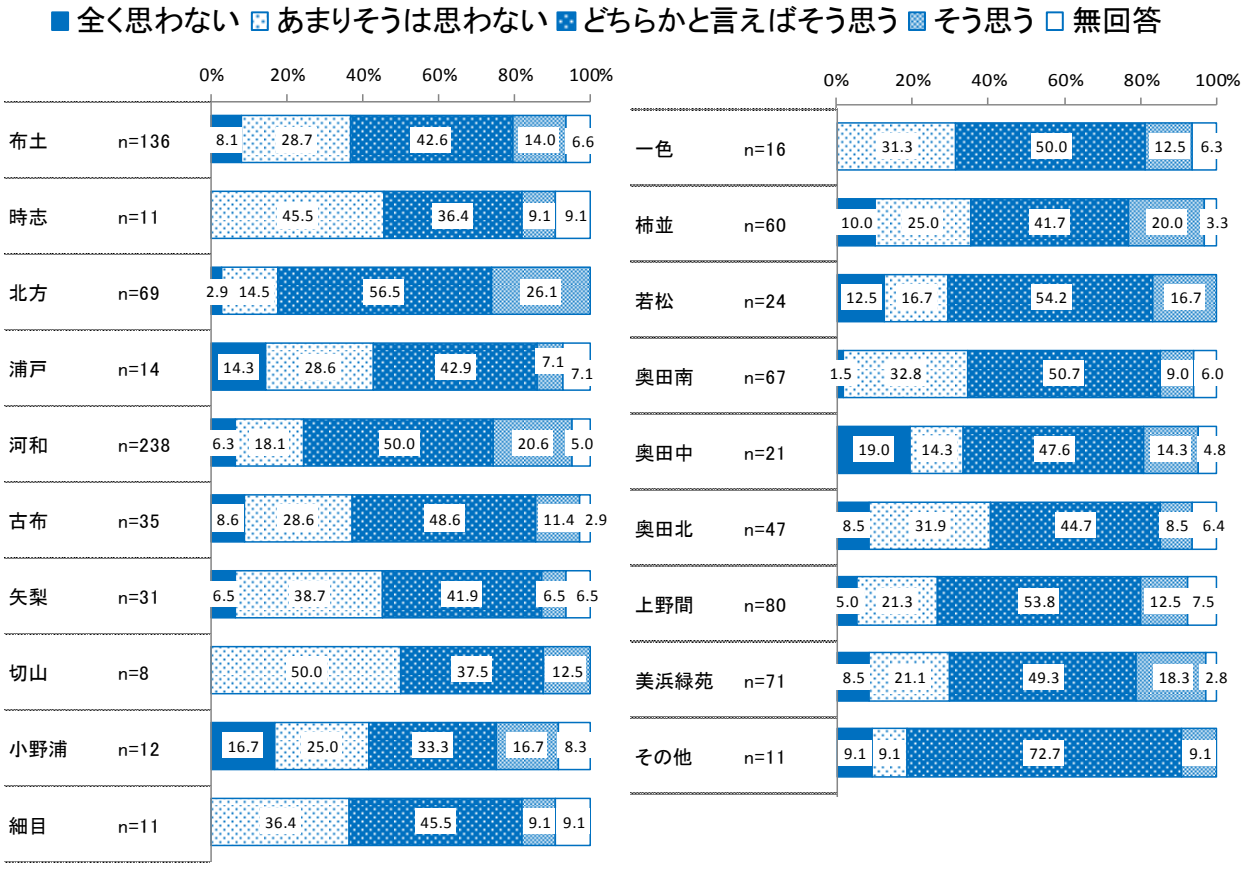
□ “北方”“若松”” 河和”では充実していると感じている人が多い

学習施設が充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“北方”（82.6%）、“若松”（70.9%）、“河和”（70.6%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“切山”（50.0%）、“時志”（45.5%）、“古布”（45.2%）で多くなっています。

図表 19　学習施設（図書館等）が充実している（全体）



図表 20　学習施設（図書館等）が充実している（行政区）

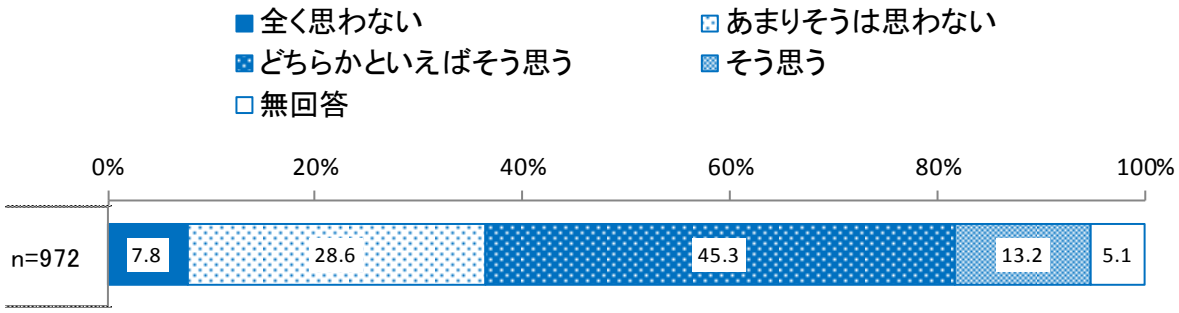


スポーツ施設（体育館等）が充実している

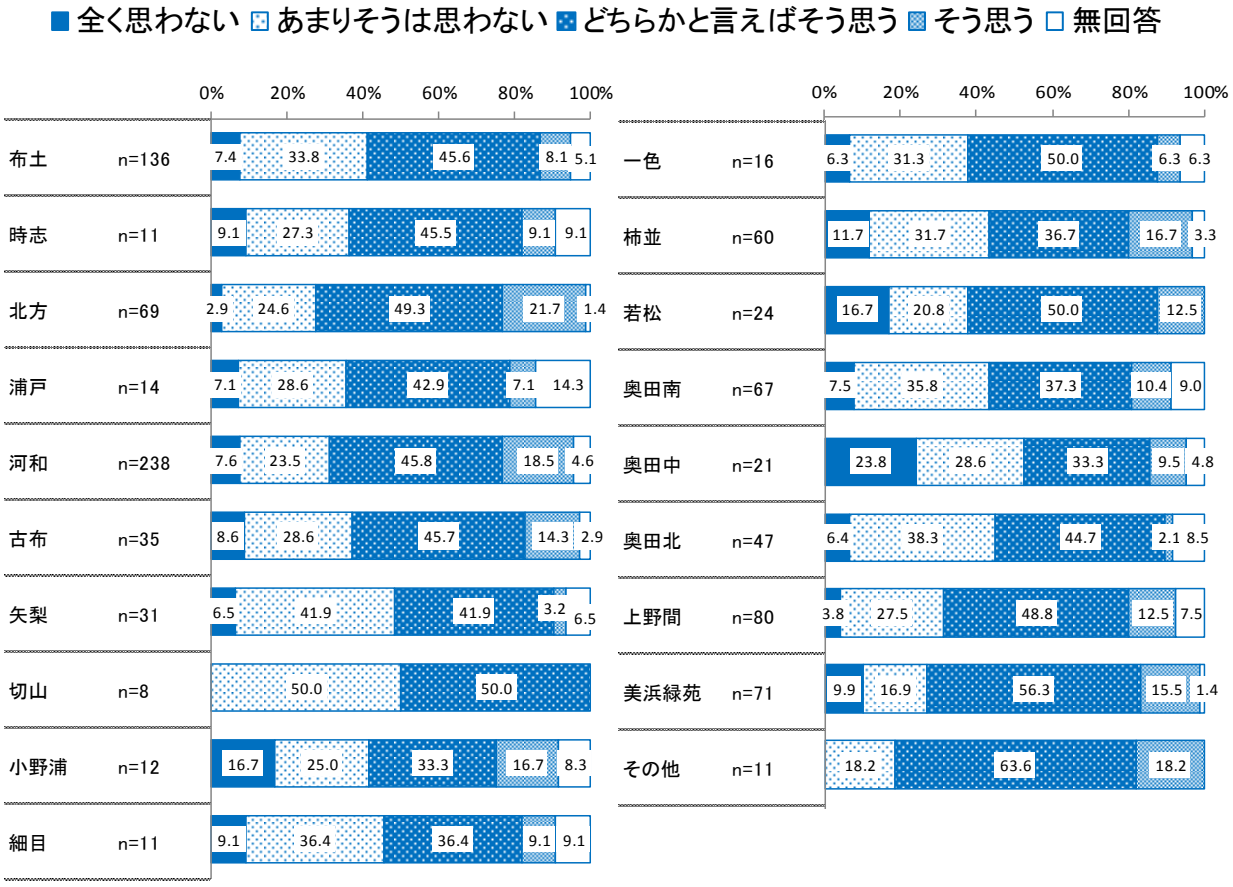
□　“美浜緑苑”“北方”“浦戸”では充実していると感じている人が多い

スポーツ施設が充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“美浜緑苑”（71.8%）、“北方”（71.0%）、“浦戸”（64.3%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（52.4%）、“切山”（50.0%）、“矢梨”（48.4%）で多くなっています。

図表 21　スポーツ施設(体育館等)が充実している(全体)



図表 22　スポーツ施設(体育館等)が充実している(行政区)

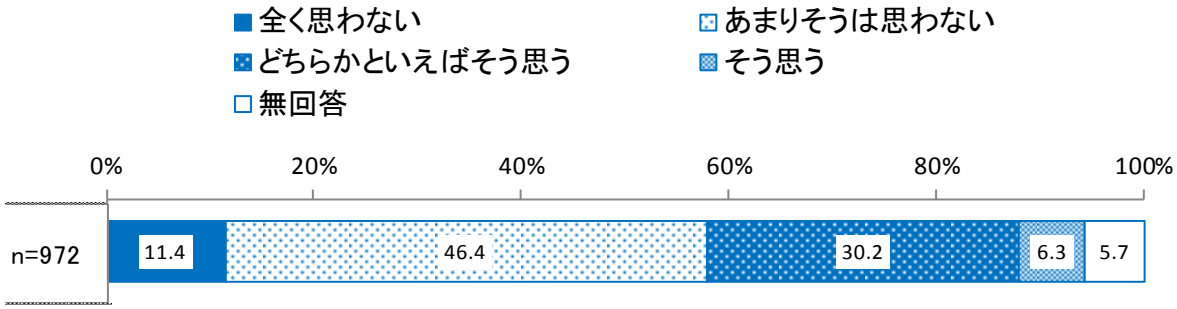


子どもの遊び場・公園が充実している

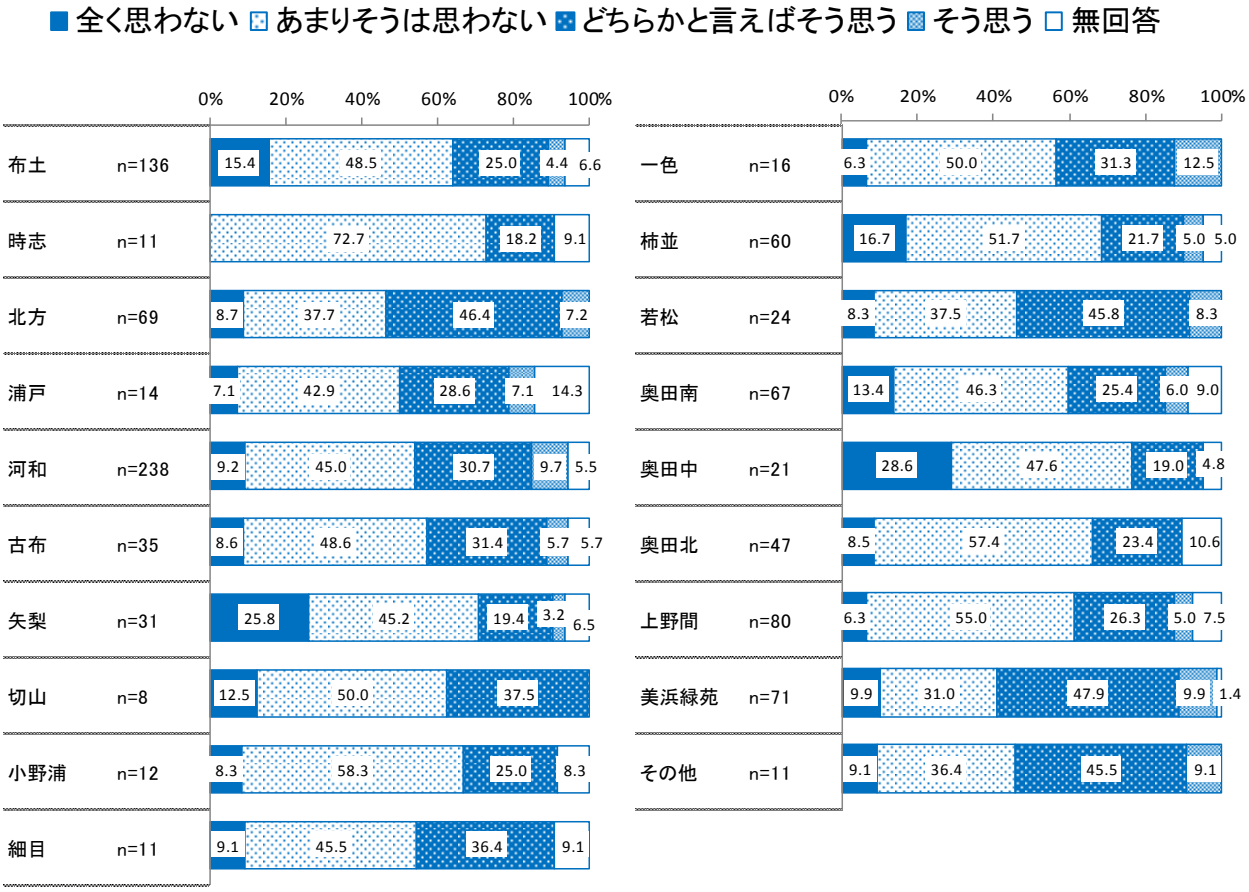
□ “奥田中”“時志”“矢梨”では充実していないと感じている人が多い

子どもの遊び場・公園が充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“美浜緑苑”（57.8%）、“若松”（54.1%）、“北方”（53.6%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（76.2%）、“時志”（72.7%）、“矢梨”（71.0%）で多くなっています。

図表 23 子どもの遊び場・公園が充実している（全体）



図表 24 子どもの遊び場・公園が充実している（行政区）

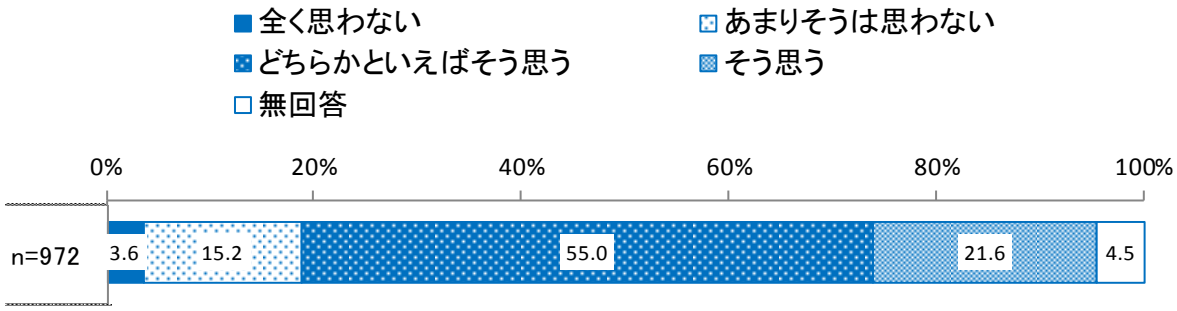


治安が良く安心して住める

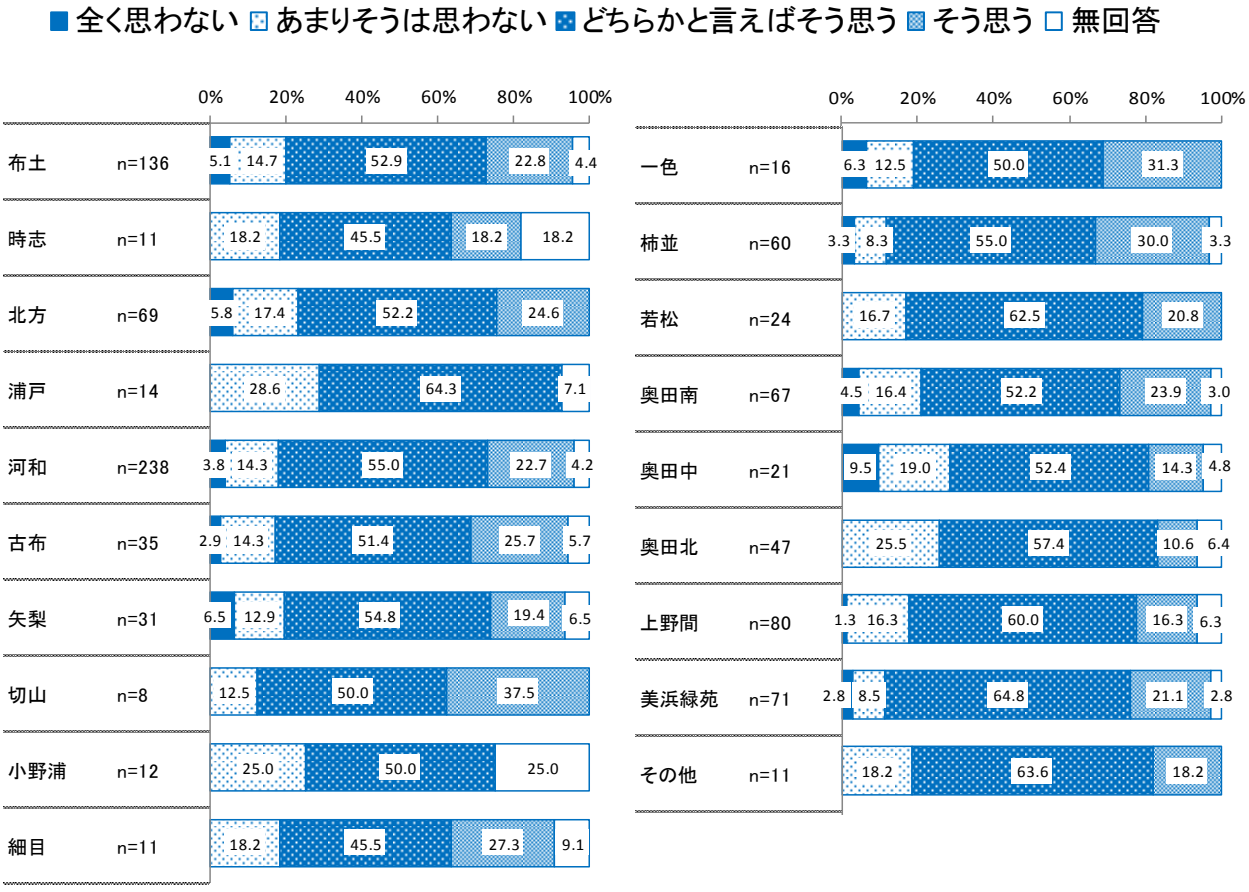
□　“切山”“美浜緑苑”“柿並”では治安が良いと感じている人が多い

治安が良く安心して住めるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“切山”（87.5%）、“美浜緑苑”（85.9%）、“柿並”（85.0%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“浦戸”（28.6%）、“奥田中”（28.5%）、“奥田北”（25.5%）で多くなっています。

図表 25　治安が良く安心して住める（全体）



図表 26　治安が良く安心して住める（行政区）

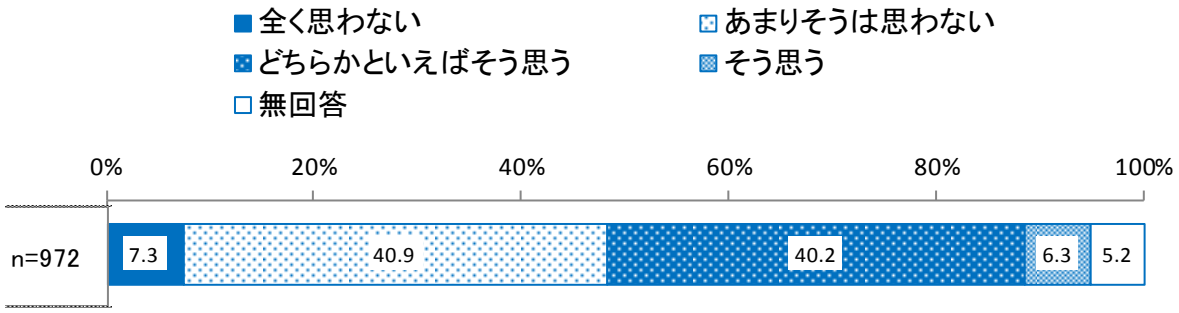


防災対策が充実していて安心して住める

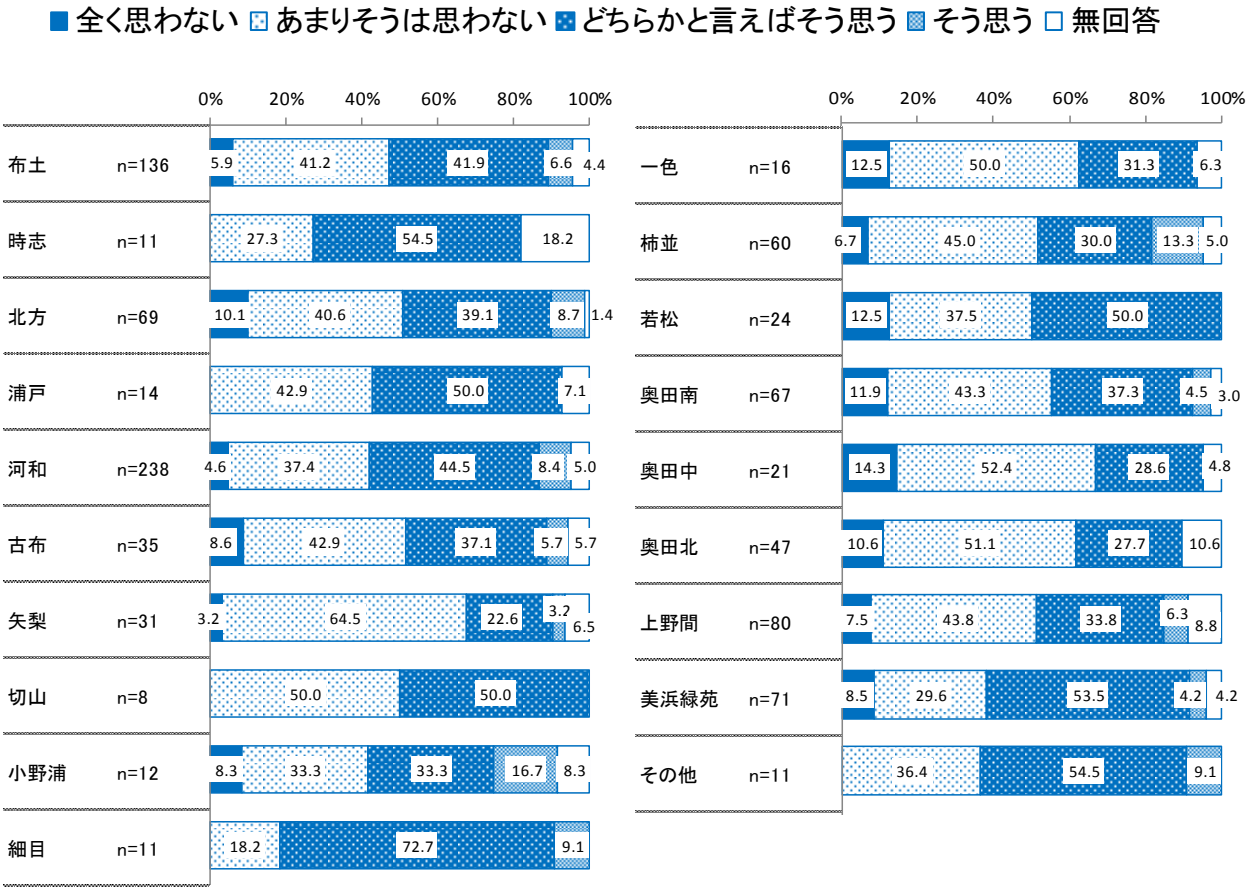
□ “細目”“美浜緑苑”“時志”では、防災対策が充実していると感じている人が多い

防災対策が充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“細目”（81.8%）、“美浜緑苑”（57.7%）、“時志”（54.5%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“矢梨”（67.7%）、“奥田中”（66.7%）、“一色”（62.5%）で多くなっています。

図表 27 防災対策が充実していて安心して住める（全体）



図表 28 防災対策が充実していて安心して住める（行政区）

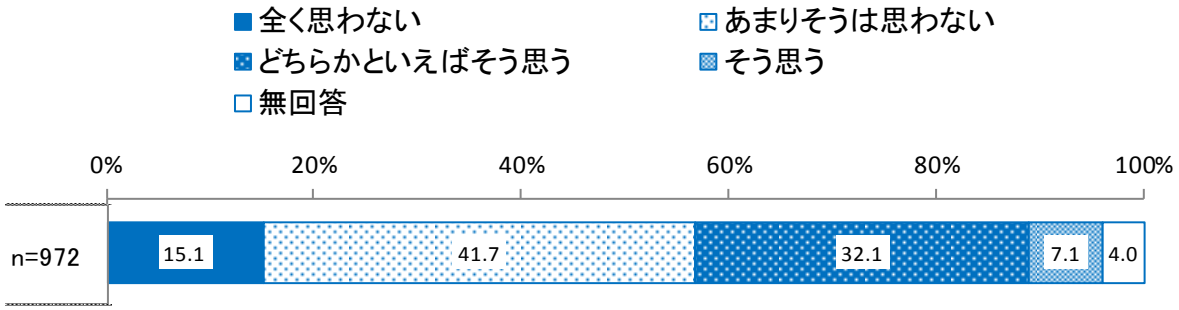


道路や公共交通機関（サービスバスを含む）が充実している

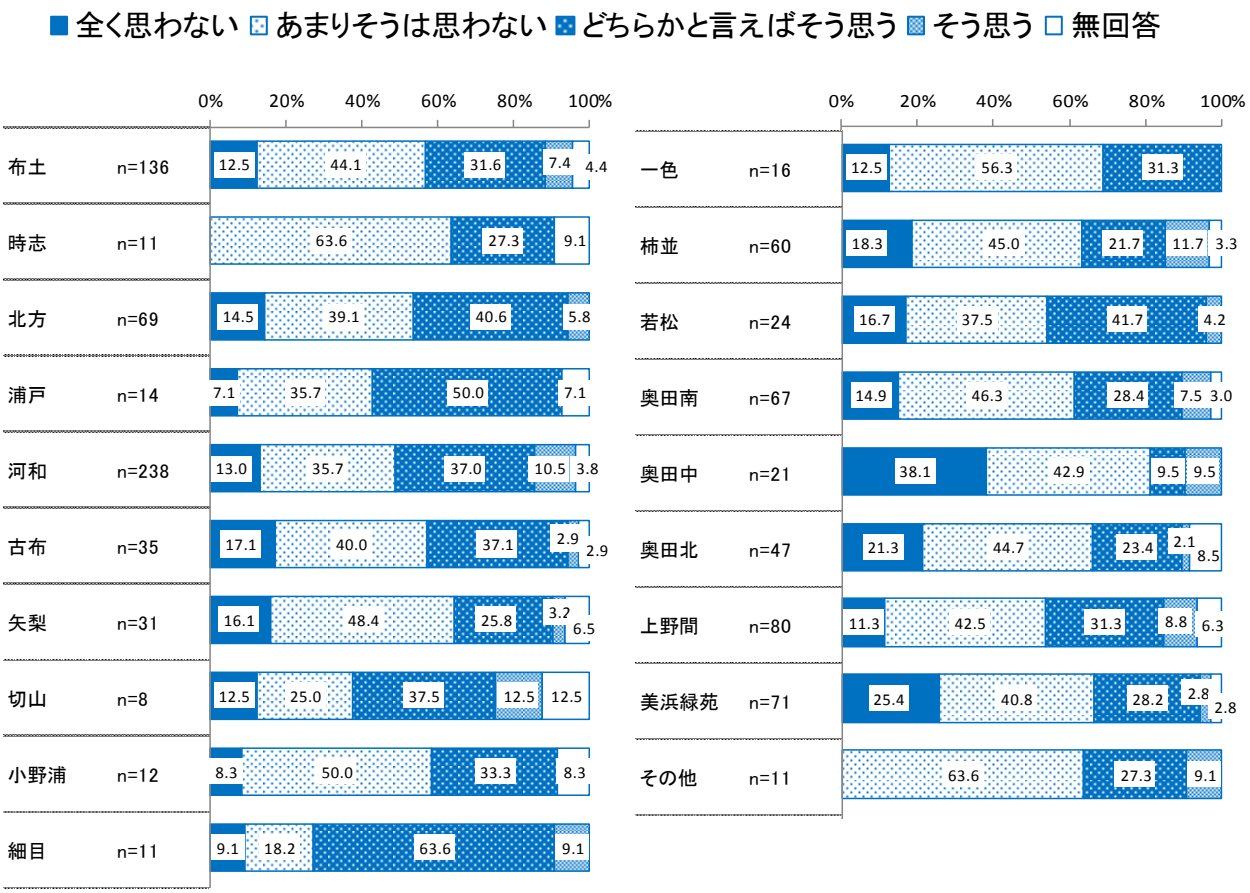
□　“細目”“切山”“浦戸”“河和”では充実していると感じている人が多い

道路や公共交通機関が充実しているかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“細目”（72.7%）、“切山”（50.0%）、“浦戸”（50.0%）、“河和”（47.5%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（81.0%）、“一色”（68.8%）、“美浜緑苑”（66.2%）で多くなっています。

図表 29　道路や公共交通機関（サービスバスを含む）が充実している（全体）



図表 30　道路や公共交通機関（サービスバスを含む）が充実している（行政区）

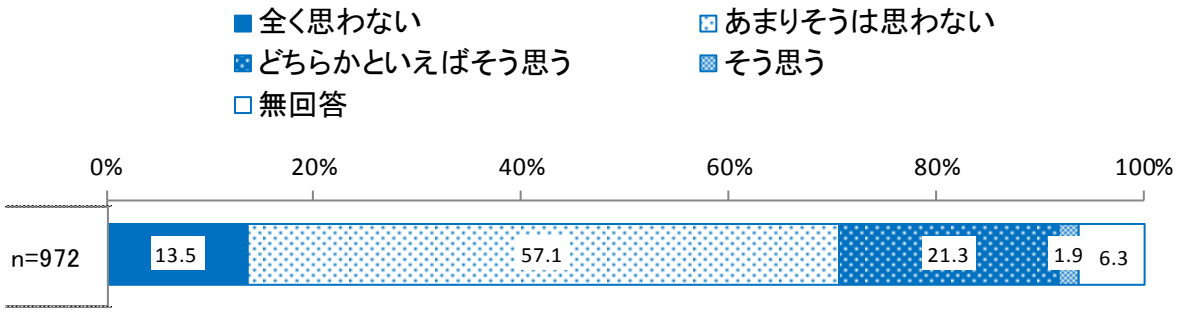


子どもから高齢者まで世代間の交流が盛んである

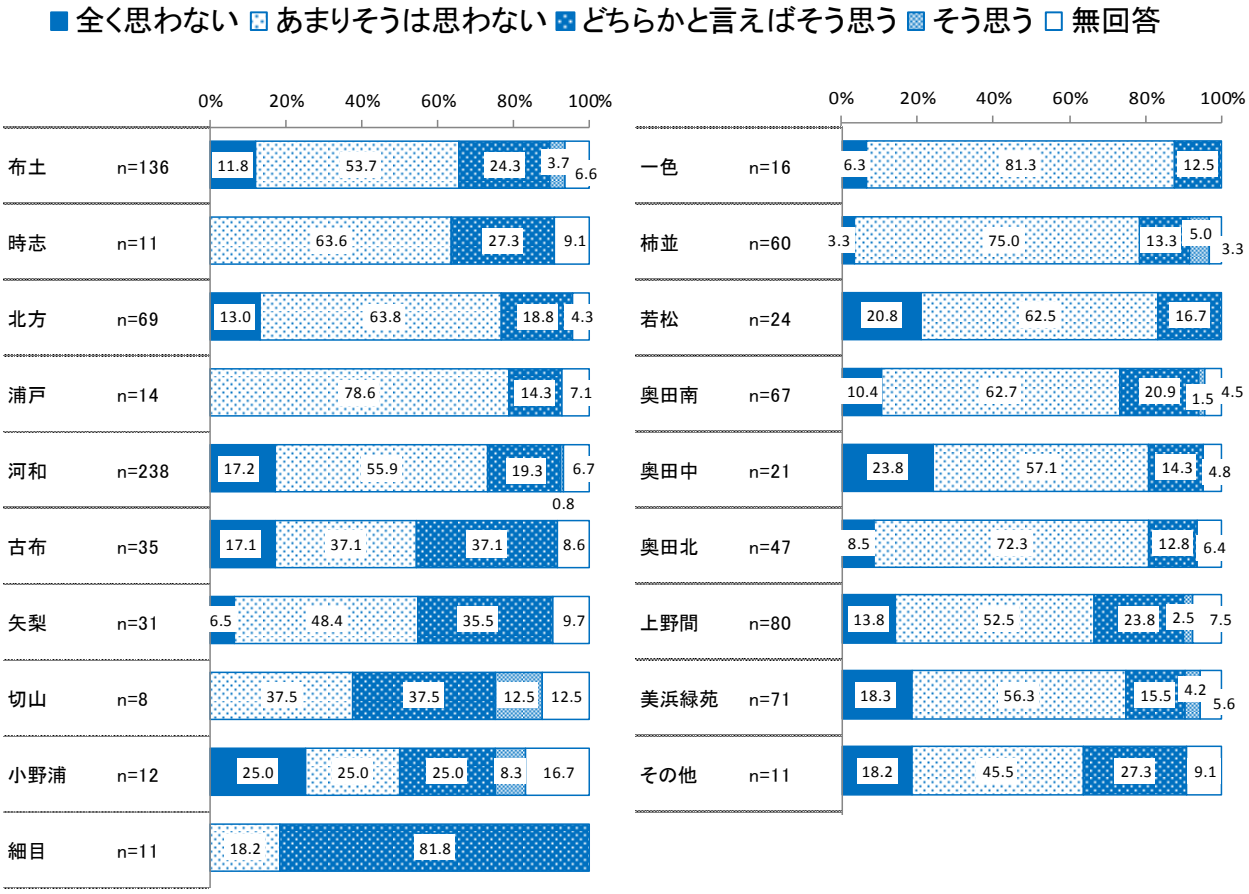
“一色”“若松”“奥田中”“奥田北”では盛んではないと感じている人が多い

世代間の交流が盛んであるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“細目”（81.8%）、“切山”（50.0%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“一色”（87.6%）、“若松”（83.3%）、“奥田中”（80.9%）、“奥田北”（80.8%）で多くなっています。

図表 31 子どもから高齢者まで世代間の交流が盛んである（全体）



図表 32 子どもから高齢者まで世代間の交流が盛んである（行政区）

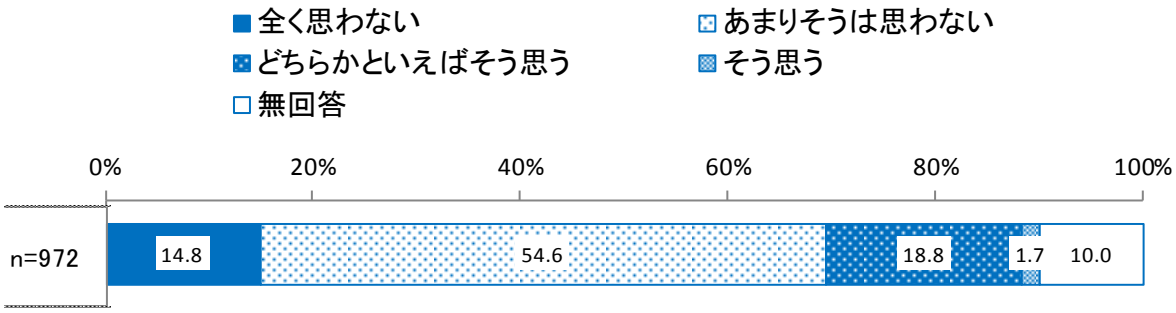


子育て世帯に対して地域やボランティアからの支援がある

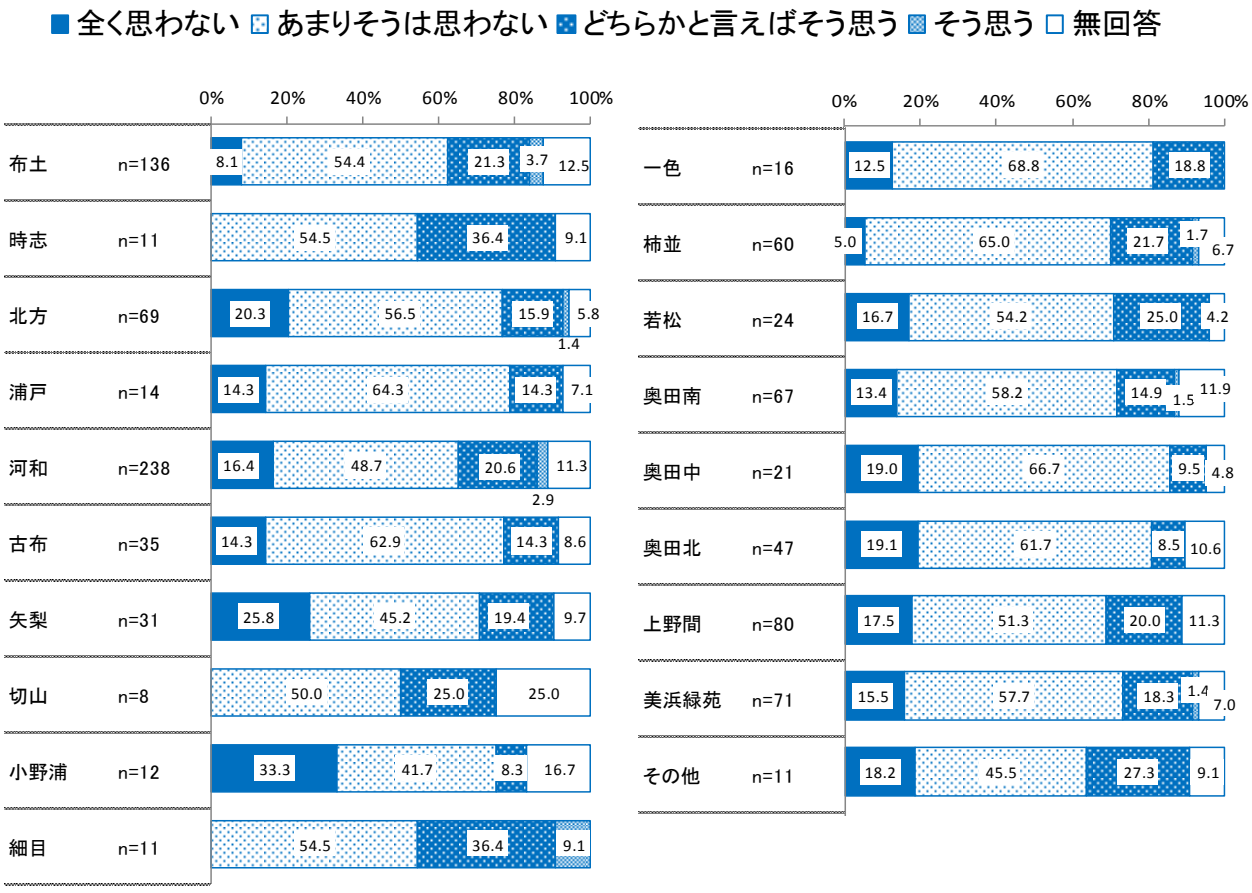
□　“奥田中”“奥田北”“一色”では、支援がないと感じている人が多い

子育て世帯に対する支援があるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“細目”（45.5%）、“時志”（36.4%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（85.7%）、“奥田北”（81.3%）、“一色”（80.8%）で多くなっています。

図表 33　子育て世帯に対して地域やボランティアからの支援がある（全体）



図表 34　子育て世帯に対して地域やボランティアからの支援がある（行政区）

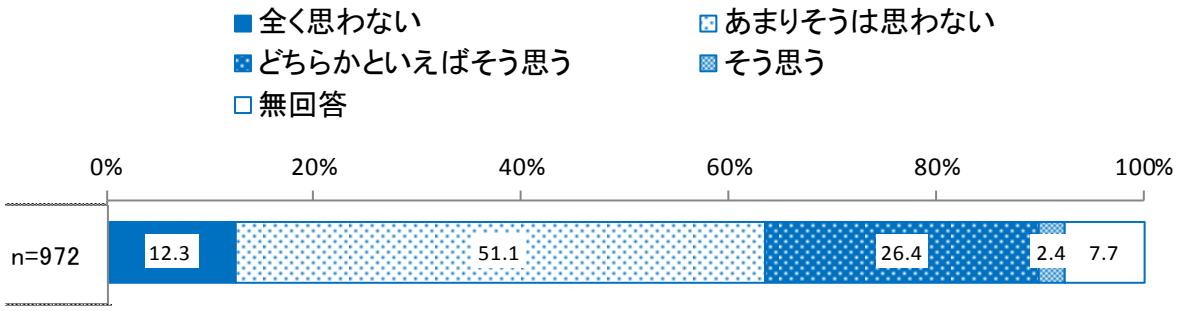


高齢者に対して地域やボランティアからの支援がある

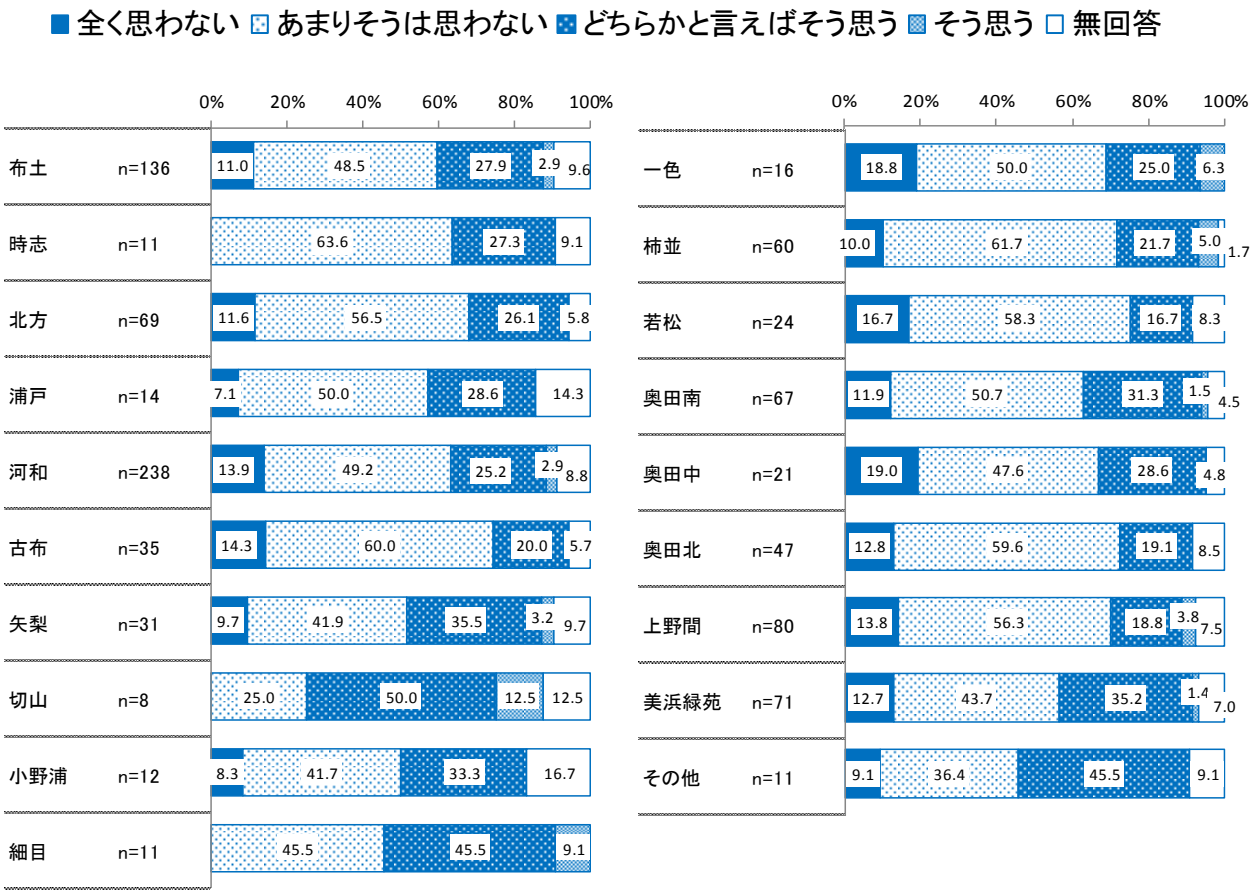
□ “若松”“古布”“奥田北”では、支援がないと感じている人が多い

高齢者に対する支援があるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“切山”（62.5%）、“細目”（54.6%）、“矢梨”（38.7%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“若松”（75.0%）、“古布”（74.3%）、“奥田北”（72.4%）で多くなっています。

図表 35 高齢者に対して地域やボランティアからの支援がある（全体）



図表 36 高齢者に対して地域やボランティアからの支援がある（行政区）

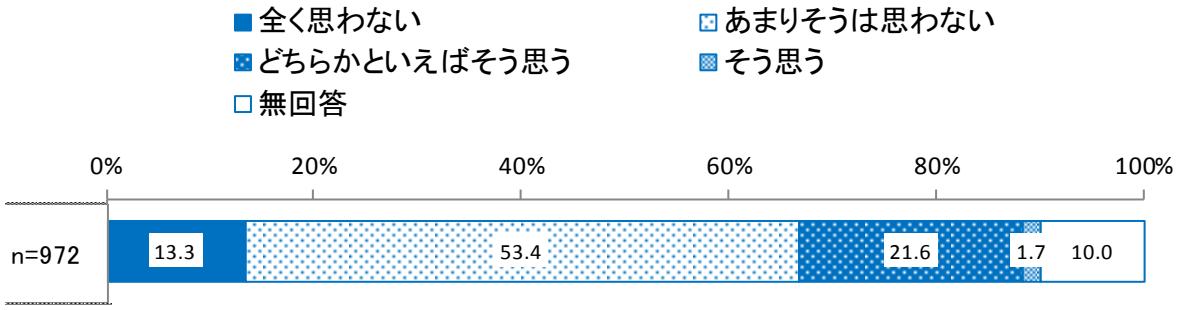


障がい者に対して地域やボランティアからの支援がある

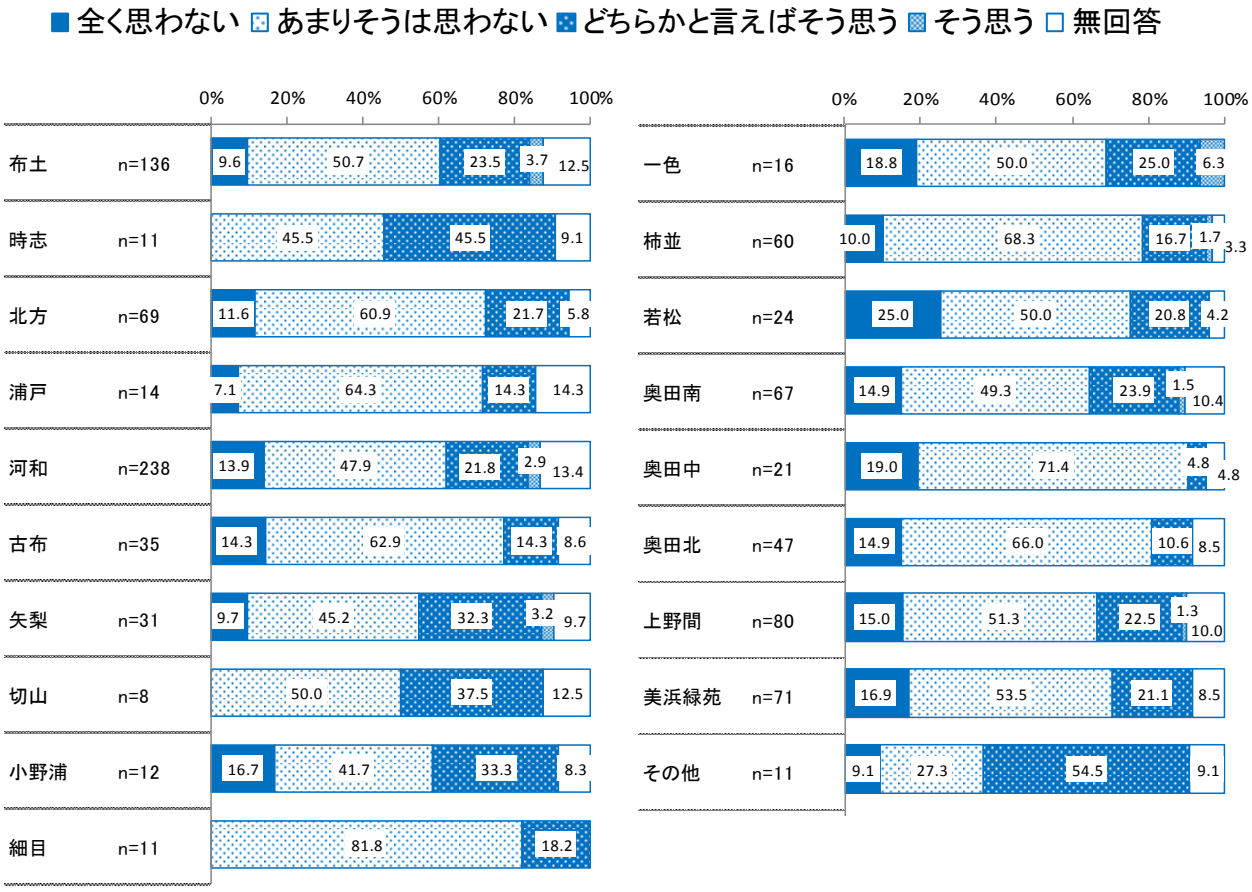
□　“奥田中”“奥田北”「細目」では支援がないと感じている人が多い

障がい者に対しての支援があるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“時志”（45.5%）、“切山”（37.5%）、“矢梨”（35.5%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（90.4%）、“奥田北”（81.8%）、“細目”（80.9%）で多くなっています。

図表 37　障がい者に対して地域やボランティアからの支援がある（全体）



図表 38　障がい者に対して地域やボランティアからの支援がある（行政区）

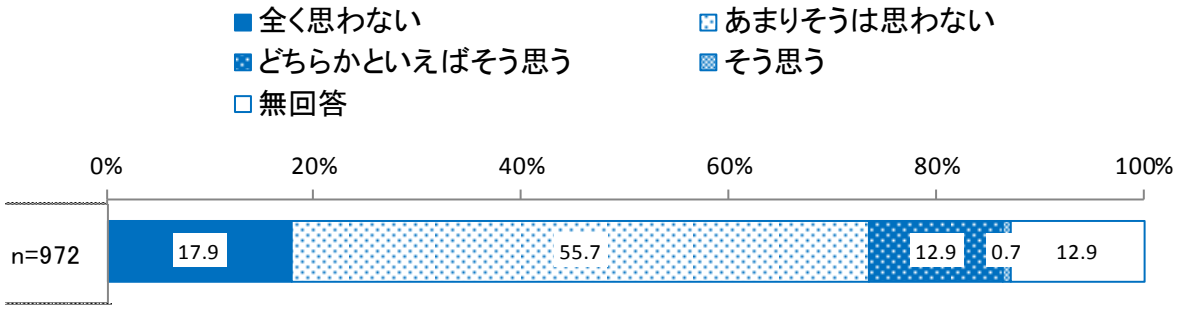


外国籍の方に対して地域の理解と支援がある

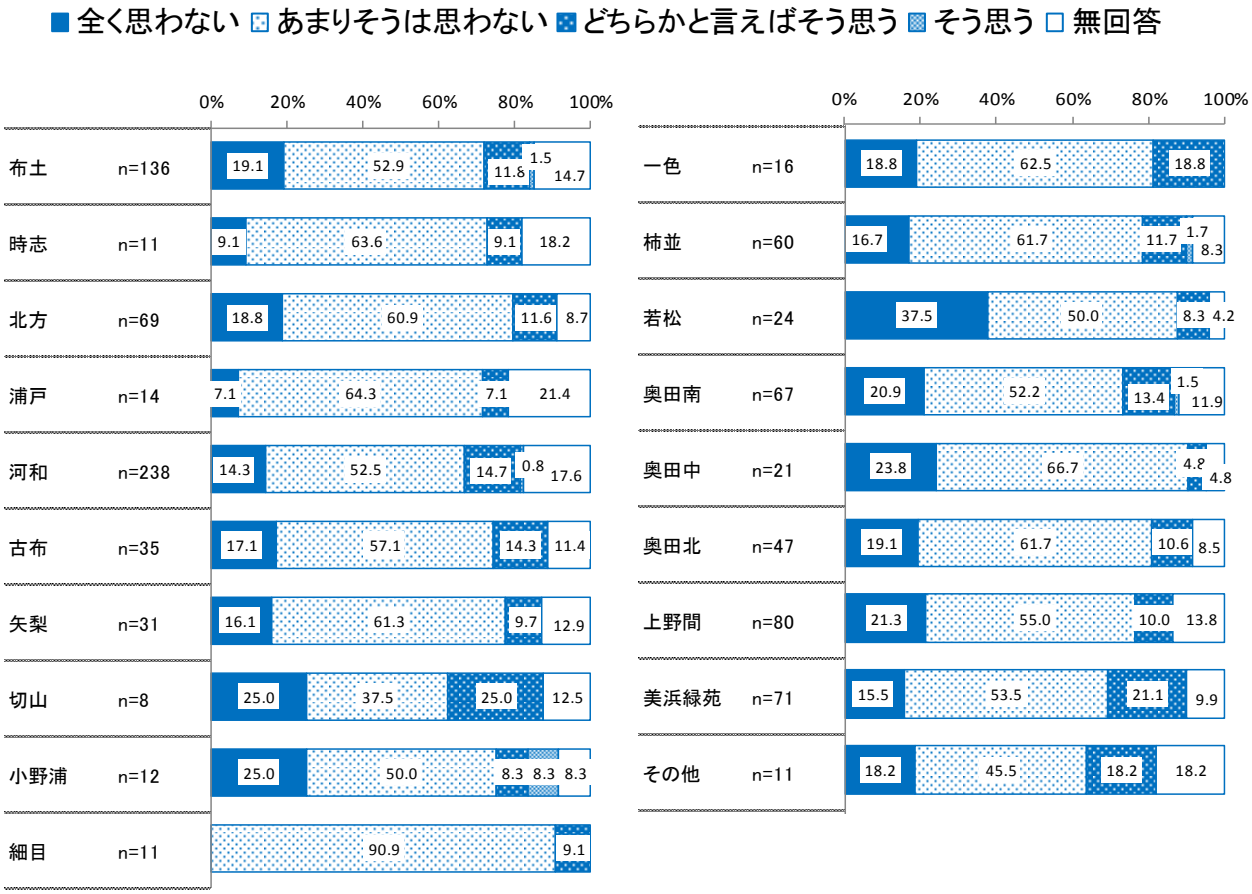
“細目”“奥田中”“若松”では理解と支援がないと感じている人が多い

外国籍の方に対しての理解と支援があるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“切山”（25.0%）、“美浜緑苑”（21.1%）、“一色”（18.8%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“細目”（90.9%）、“奥田中”（90.5%）、“若松”（87.5%）で多くなっています。

図表 39 外国籍の方に対して地域の理解と支援がある（全体）



図表 40 外国籍の方に対して地域の理解と支援がある（行政区）

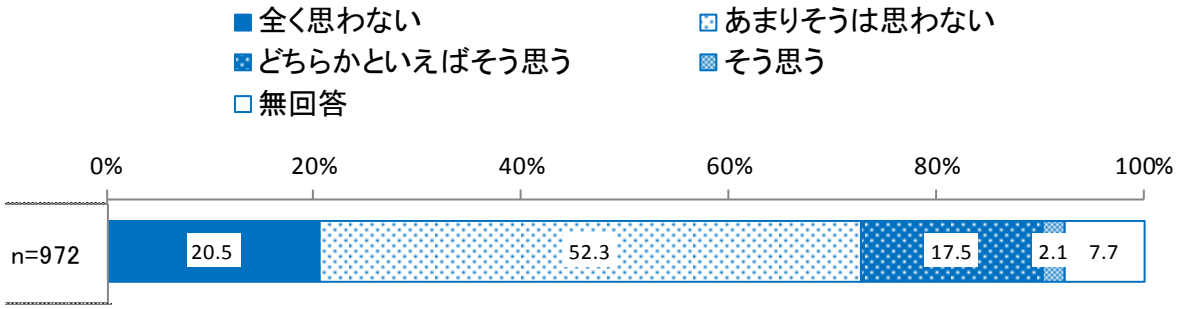


地域課題に対して住民同士で話し合う環境がある

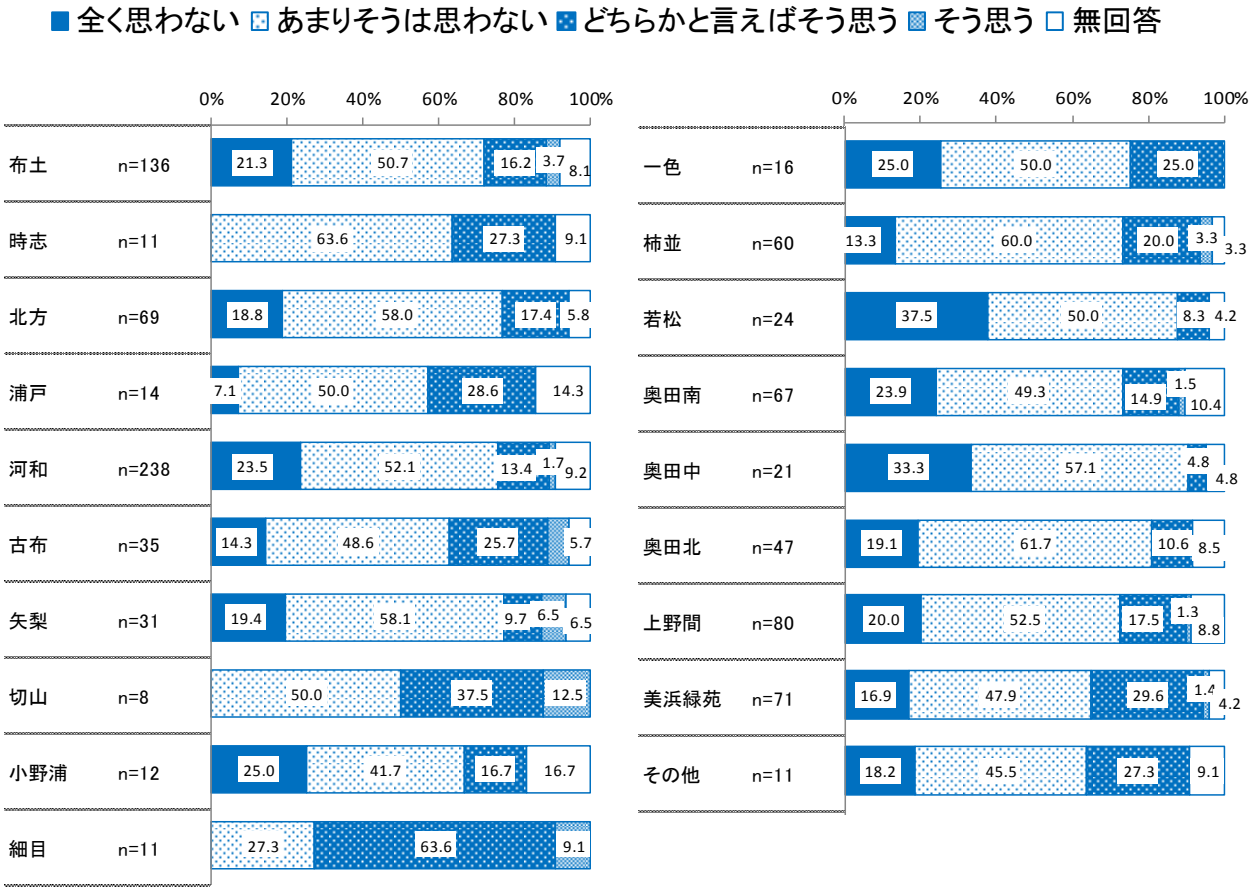
□　“奥田中”“若松”“奥田北”では話し合う環境がないと感じている人が多い

地域課題に対して話し合う環境があるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“細目”（72.7%）、“切山”（50.0%）、“古布”（31.4%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（90.4%）、“若松”（87.5%）、“奥田北”（80.8%）で多くなっています。

図表 41　地域課題に対して住民同士で話し合う環境がある（全体）



図表 42　地域課題に対して住民同士で話し合う環境がある（行政区）

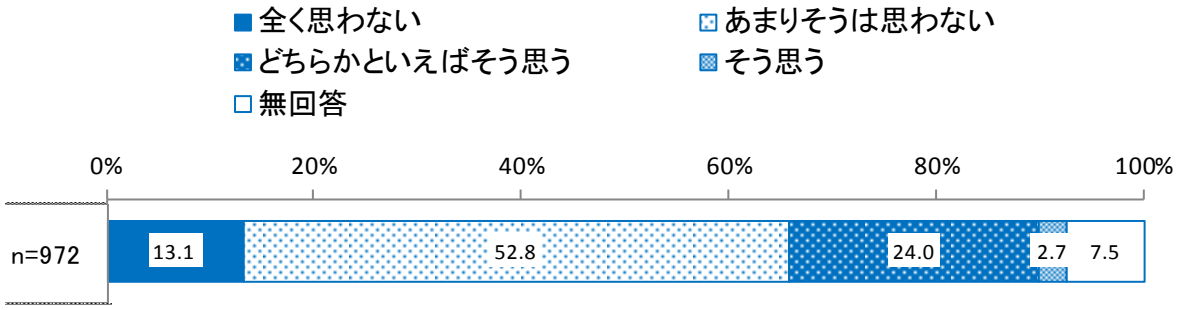


地域の活動・ボランティア活動が盛んである

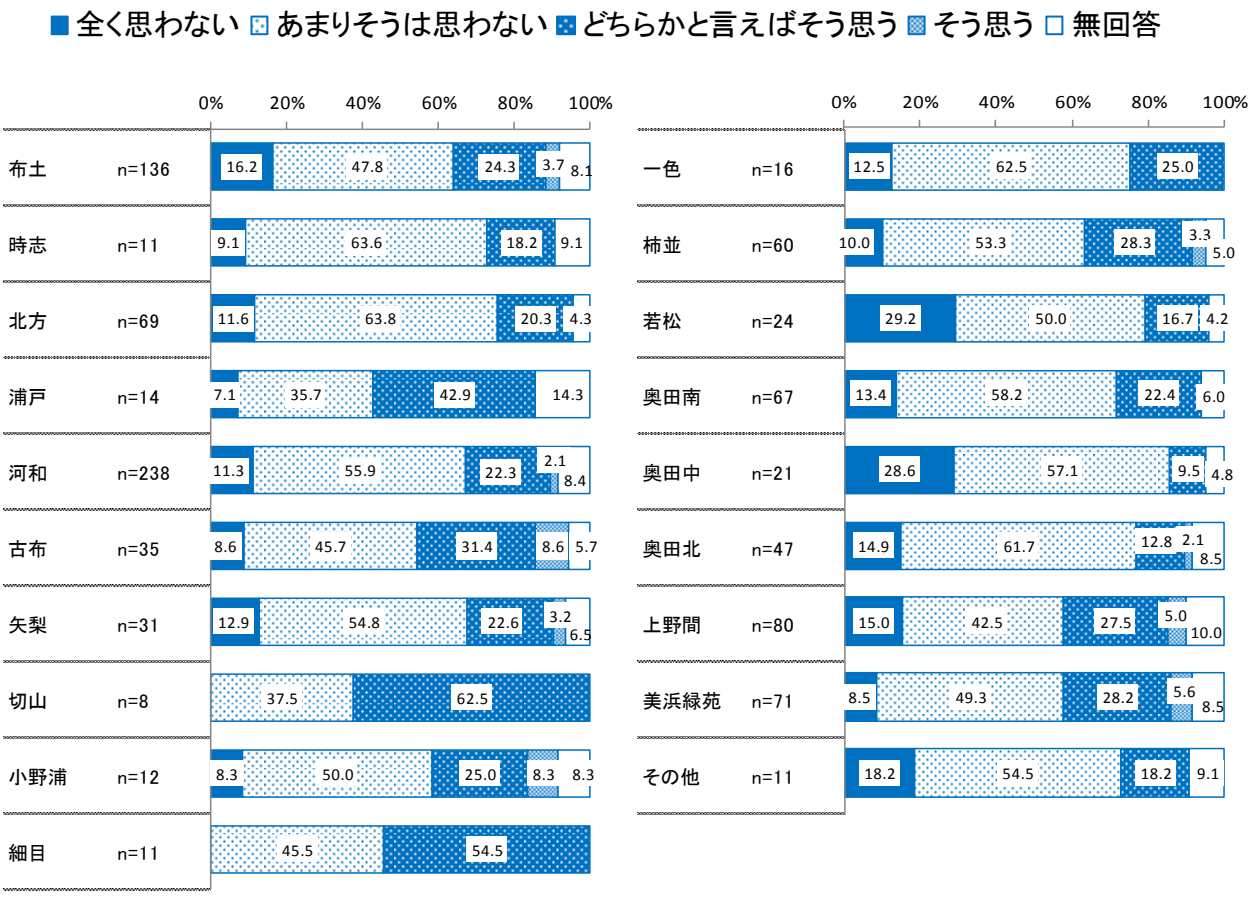
□ “若松”“奥田北”“北方”では盛んでないと考える人が多い

地域の活動・ボランティアが盛んであるかについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“切山”（62.5%）、“細目”（54.5%）、“浦戸”（42.9%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“若松”（79.2%）、“奥田北”（76.6%）、“北方”（75.4%）で多くなっています。

図表 43 地域の活動・ボランティア活動が盛んである（全体）



図表 44 地域の活動・ボランティア活動が盛んである（行政区）

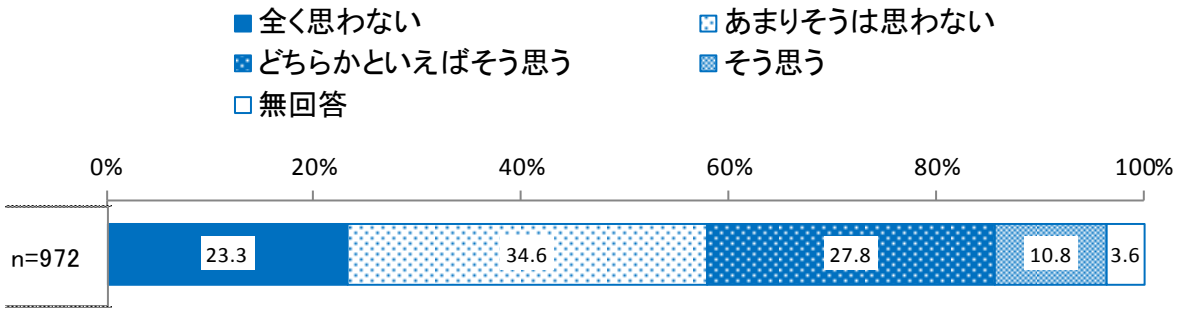


買い物などの日常生活が便利である

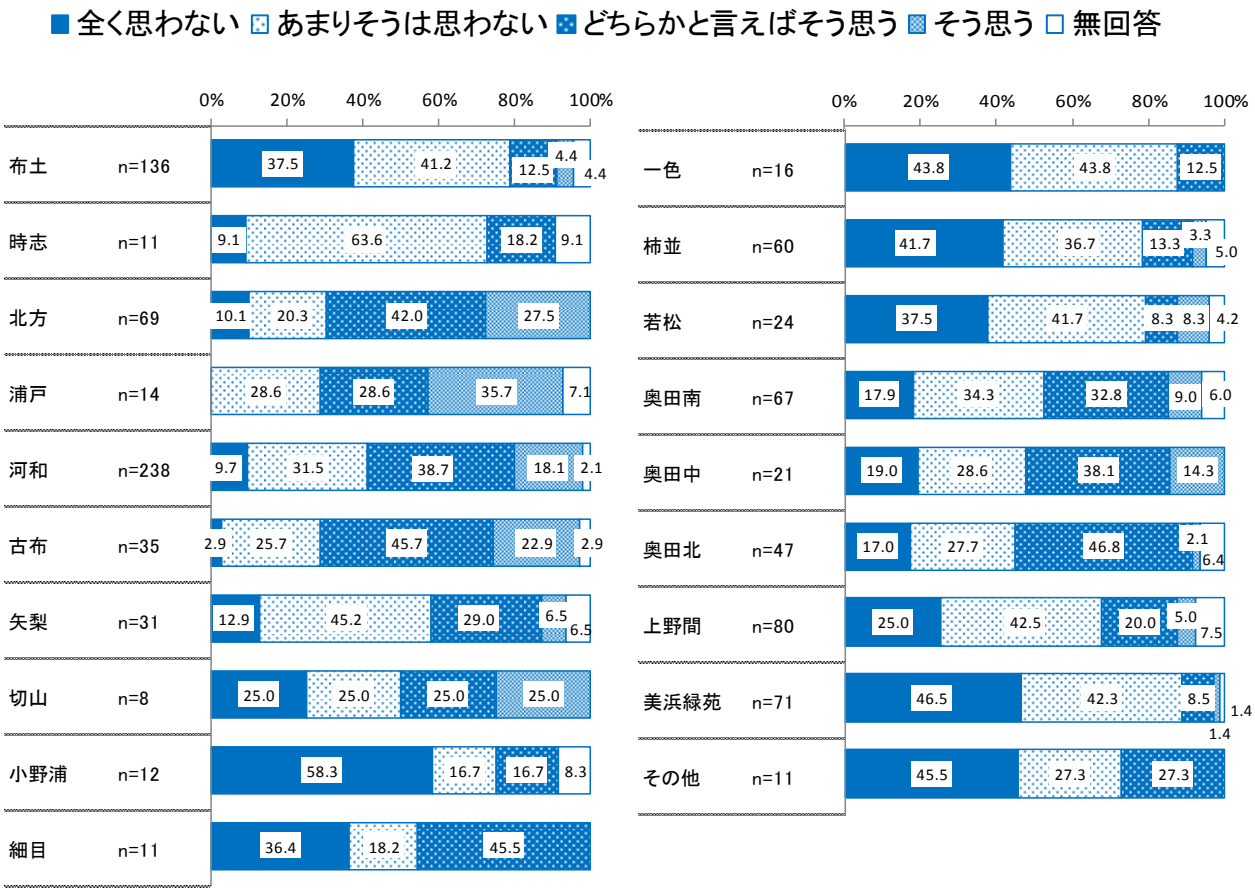
□　“美浜緑苑”“一色”“若松”では日常生活が不便と感じている人が多い

日常生活が便利かについて、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“北方”（69.5%）、“古布”（68.6%）、“浦戸”（64.3%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“美浜緑苑”（88.8%）、“一色”（87.6%）、“若松”（79.2%）で多くなっています。

図表 45　買い物などの日常生活が便利である（全体）



図表 46　買い物などの日常生活が便利である（行政区）

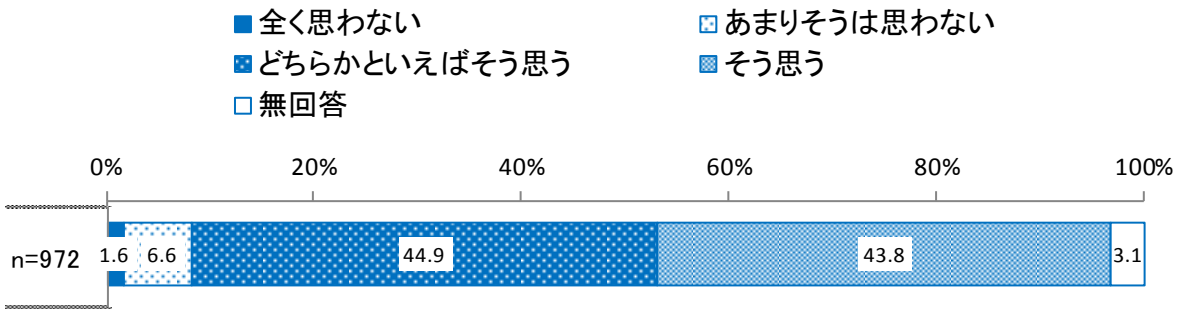


緑が多く自然豊かである

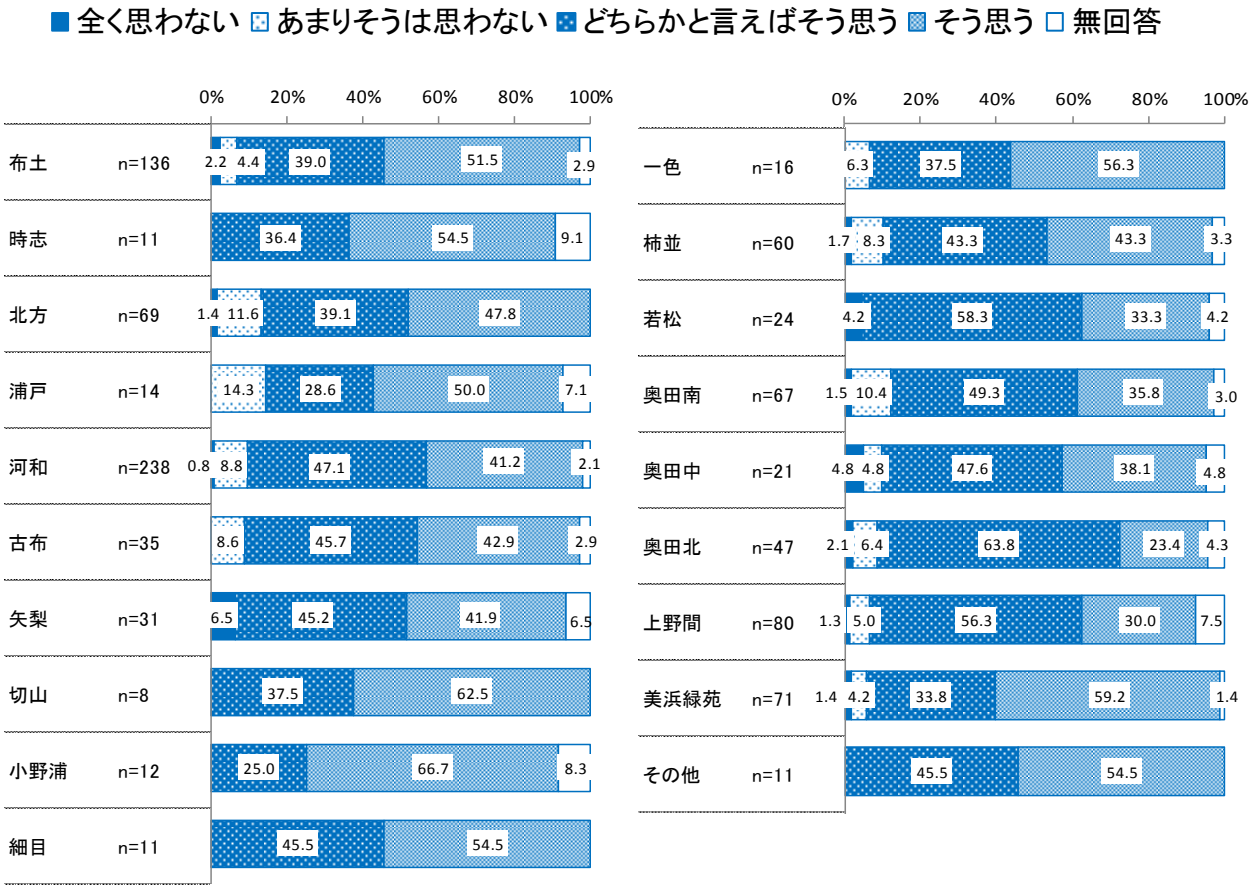
■ すべての地域において、自然豊かであると考えている人が多い

“切山”“細目”では、お住まいの地域について回答者全員が、緑が多く自然豊かであると考えており、”一色”(93.8%)、“美浜緑苑”(93.0%)、“若松”(91.6%)、“時志”(90.9%)、“布土”(90.5%)においてもそう考える人が９割以上となっています。

図表 47 緑が多く自然豊かである(全体)



図表 48 緑が多く自然豊かである(行政区)

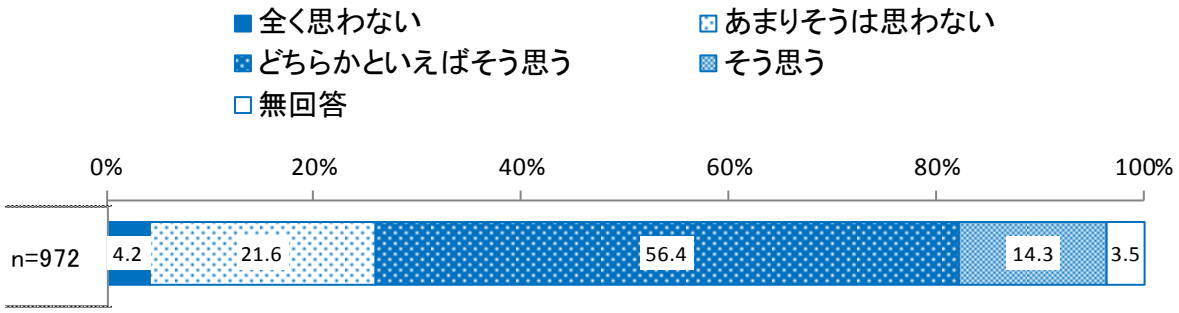


隣近所間どうしの関係が良好である

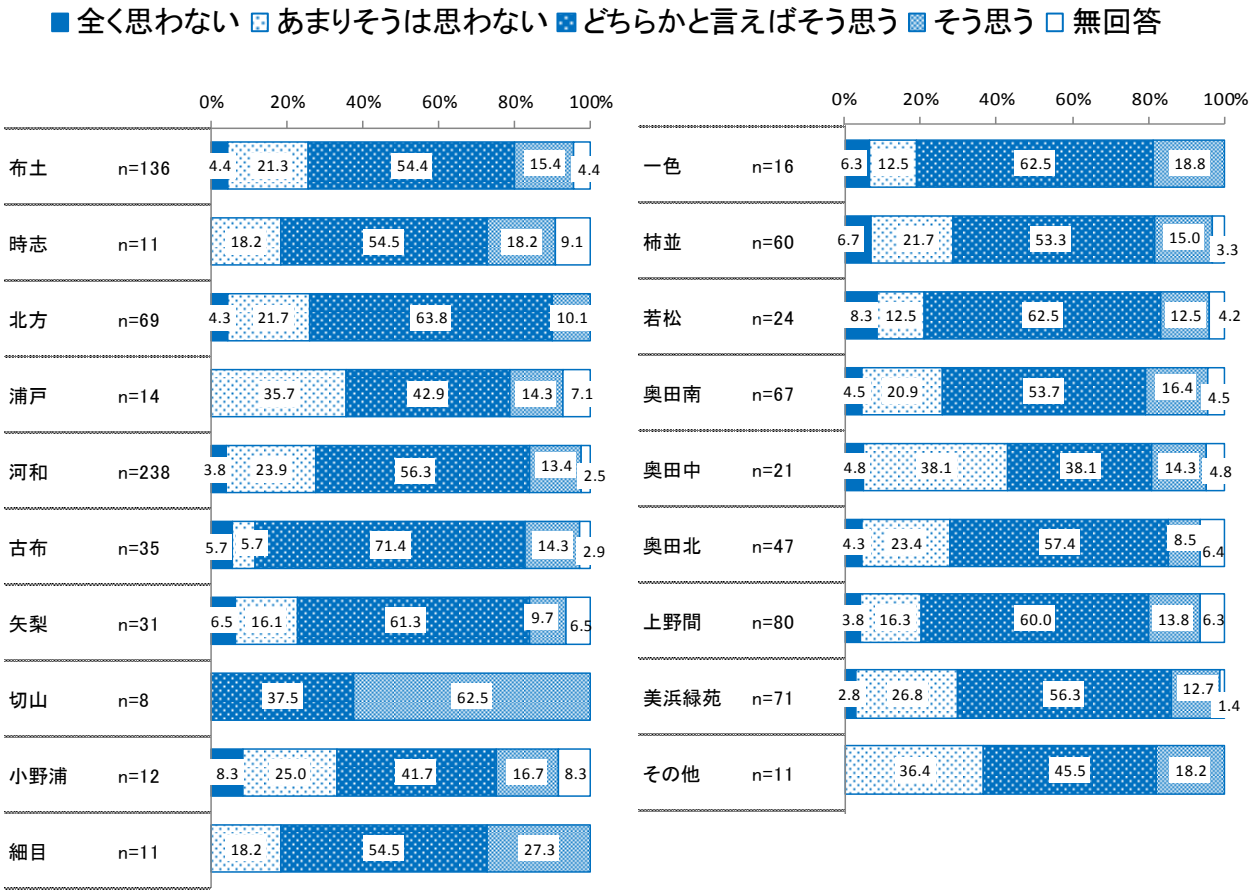
□　“古布”“北方”“一色”“若松”では良好であると考えている人が多い

隣近所間どうしの関係について、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した人は、“古布”（71.4%）、“北方”（63.8%）、“一色”（62.5%）、“若松”（62.5%）で多くなっています。一方で、「全く思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人は、“奥田中”（42.9%）、“浦戸”（35.7%）、“小野浦”（33.3%）で多くなっています。

図表 49　隣近所間どうしの関係が良好である（全体）



図表 50　隣近所間どうしの関係が良好である（行政区）



3－2　お住まいの地区に対する愛着度

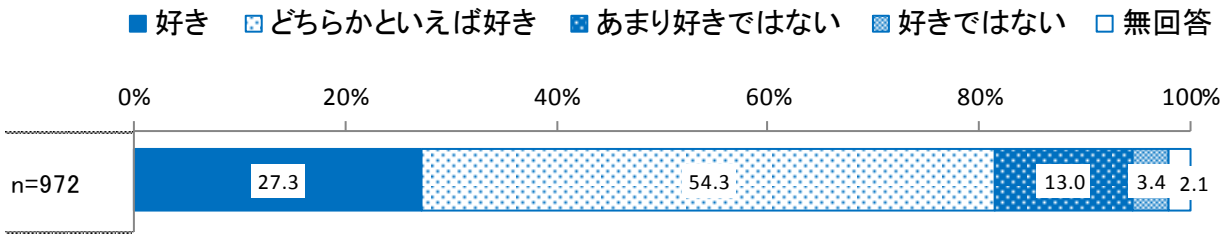
問14　あなたは、ご自身が住んでいる地区が好きですか。（1 つに○）

□　『住んでいる地区が好き』が 81.6%

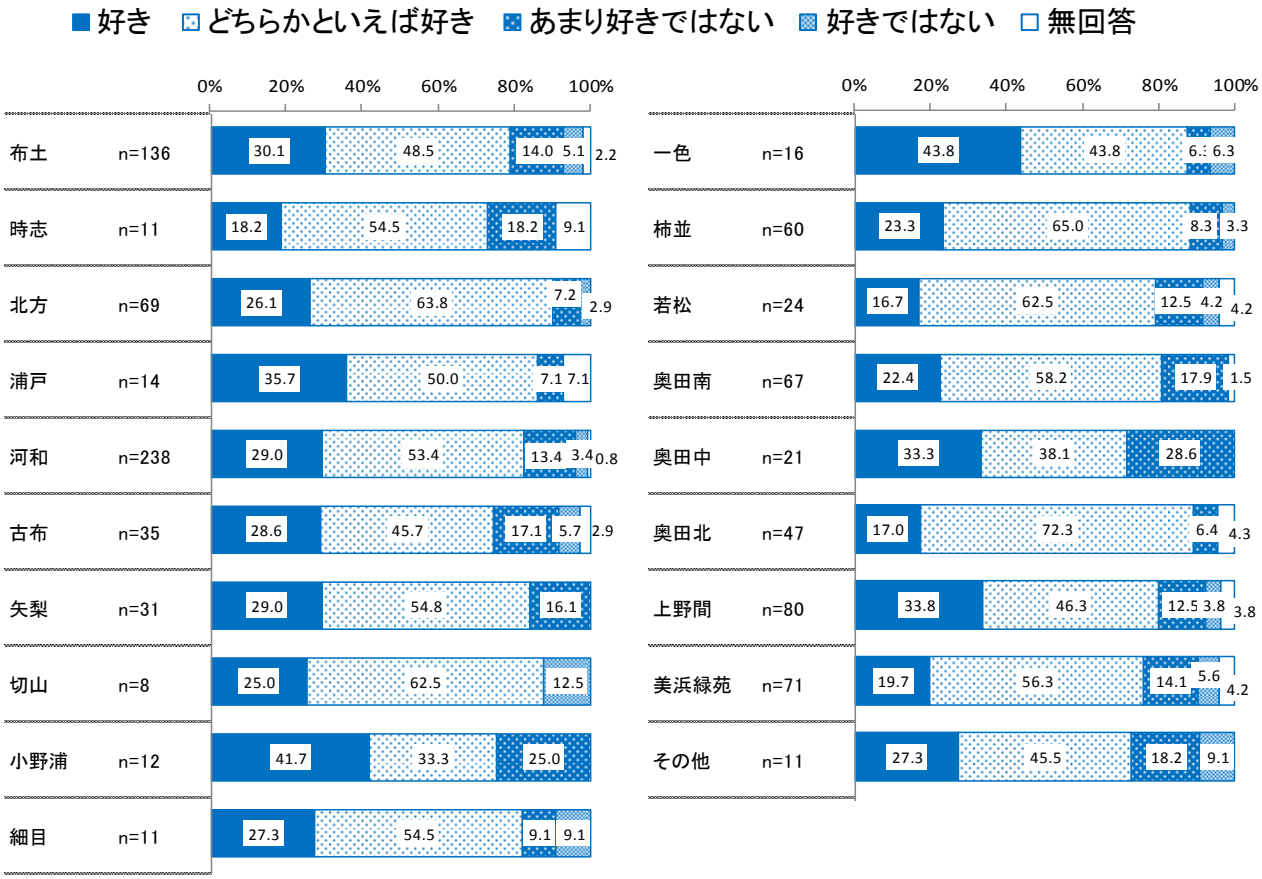
住んでいる地区については、「どちらかといえば好き」が 54.3%と最も多く、「好き」（27.3%）と合わせた『住んでいる地区が好き』と回答した人は 81.6%となっています。一方、「あまり好きではない」（13.0%）と「好きではない」（3.4%）を合わせた『好きではない』と回答した人は 16.4%となっています。

行政区別でみると、『住んでいる地区が好き』な人が多いのは“北方”（89.9%）、“奥田北”（89.3%）、“柿並”（88.3%）で、『好きではない』人が多かったのは、“奥田中”（28.6%）、“小野浦”（25.0%）、“古布”（22.8%）となっています。

図表 51　お住まいの地区に対する愛着度（全体）



図表 52　お住まいの地区に対する愛着度（行政区）



3－3　お住まいの地区の住みやすさ

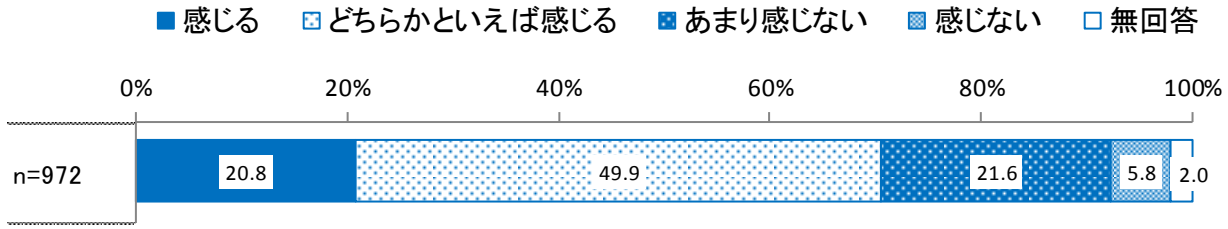
問15　あなたは、ご自身が住んでいる地区を「住みやすい」と感じますか。（1 つに○）

□　『住みやすいと感じる』が 70.7%

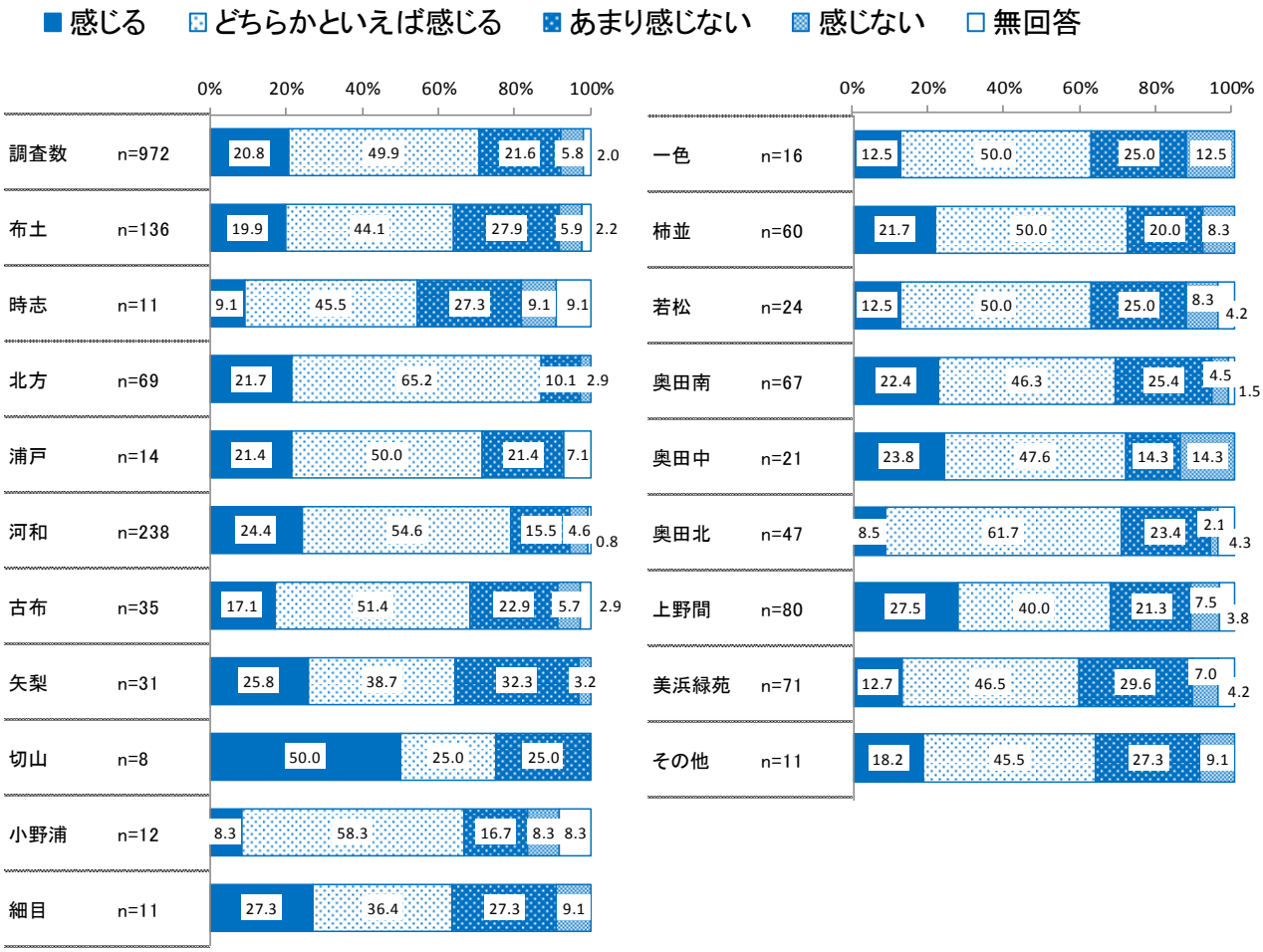
住んでいる地区が住みやすいと感じるかについては、「どちらかといえば感じる」が 49.9%で最も多く、「感じる」（20.8%）と合わせた『住みやすいと感じる』と回答した人が 70.7%となっています。一方で「あまり感じない」（21.6%）と「感じない」（5.8%）を合わせた『住みやすいと感じない』と回答した人は 27.4%となっています。

行政区別でみると、『住みやすいと感じる』人が多かったのは、“北方”（86.9%）、“河和”（79.0%）、“切山”（75.0%）となっており、“住みやすいと感じない”人が多かったのは、“一色”（37.5%）、“美浜緑苑”（36.6%）となっています。

図表 53　お住まいの地区の住みやすさ（全体）



図表 54　お住まいの地区に対する愛着度（行政区）



4． 生活で困っていること・福祉に関する地域に課題について

4－1 日常生活における不安や困りごと

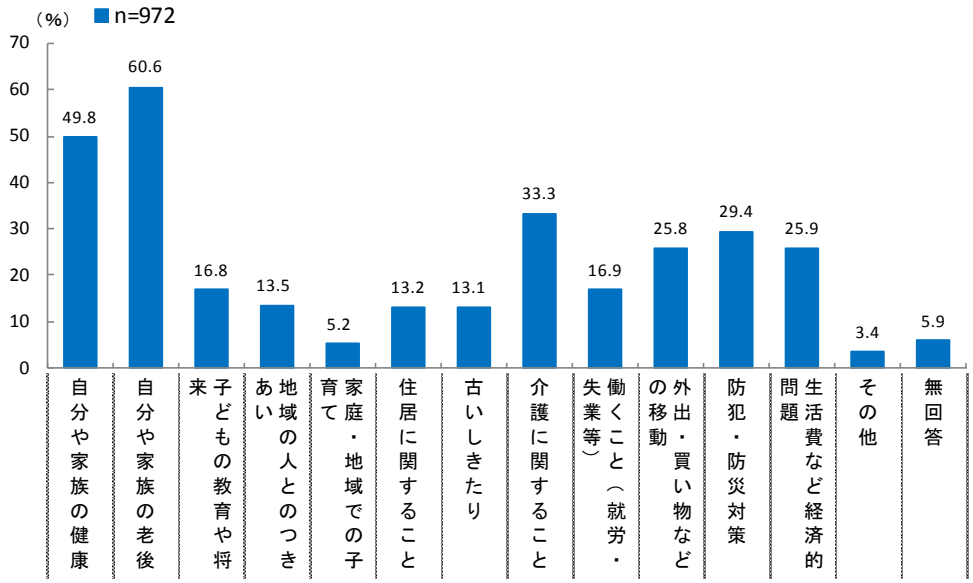
問16 あなたが日常生活の中で感じている不安やお困りごとについてうかがいます。
（当てはまる数字すべてに○）

□ 「自分や家族の老後」が 60.6%と最も多い

日常生活での不安や困りごとについては、「自分や家族の老後」が 60.6%と最も多く、次いで「自分や家族の健康」（49.8%）、「介護に関すること」（33.3%）、「防犯・防災対策」（29.4%）となっています。

そのほか、“18～19 歳”“20～29 歳”では「働くこと（就業・失業等）」、“30～39 歳”“40～49 歳”では「子どもの教育や将来」、“60～69 歳”では「防犯・防災対策」が上位に入っています。

図表 55 日常生活における不安や困りごと（全体）



図表 56 日常生活における不安や困りごと（性別･年齢別）

（%）

	性別		年齢						
	男性	女性	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査数(人)	437	524	15	85	72	128	170	241	255
自分や家族の健康	53.8	46.8	33.3	23.5	45.8	43.8	47.6	58.5	57.3
自分や家族の老後	61.1	60.1	33.3	43.5	56.9	65.6	73.5	65.1	53.3
子どもの教育や将来	15.1	18.3	20.0	12.9	38.9	39.1	14.7	11.6	6.3
地域の人とのつきあい	14.6	12.6	13.3	10.6	15.3	18.0	16.5	14.9	8.6
家庭･地域での子育て	5.0	5.3	13.3	4.7	22.2	9.4	2.9	2.5	2.0
住居に関すること	14.0	12.8	6.7	5.9	11.1	14.1	18.8	15.8	10.2
古いしきたり	12.6	13.4	6.7	11.8	13.9	24.2	14.1	12.4	7.8
介護に関すること	33.9	33.0	－	14.1	20.8	39.1	33.5	37.8	37.3
働くこと(就労･失業等)	17.2	16.8	33.3	37.6	30.6	22.7	26.5	10.4	2.0
外出･買い物などの移動	26.5	25.2	26.7	37.6	30.6	24.2	21.2	23.7	26.3
防犯･防災対策	26.5	31.9	26.7	27.1	30.6	28.1	31.2	30.3	29.0
生活費など経済的問題	28.1	24.4	－	25.9	31.9	32.8	27.1	29.9	18.4
その他	3.7	3.2	13.3	1.2	2.8	2.3	4.1	3.3	3.9
無回答	4.6	6.5	6.7	5.9	5.6	3.9	4.7	5.4	7.5

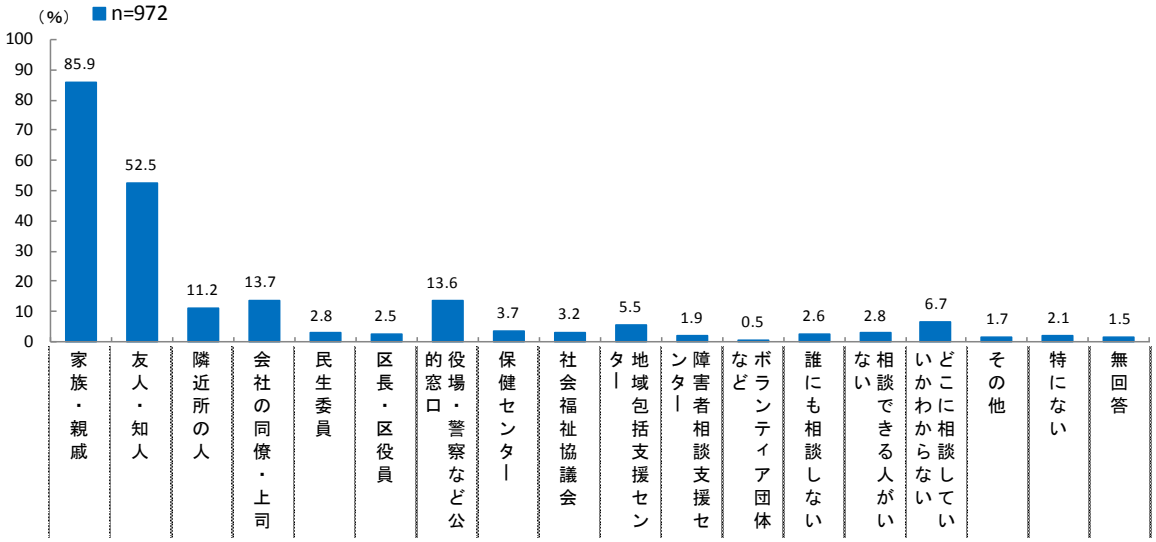
4－2　相談する相手や場所

問 17　あなたが困ったときに相談する人や場所はどこですか。（当てはまる数字すべてに○）

□　「家族・親戚」と相談する人が 85.9%

困った時の相談相手・場所については、「家族・親戚」が 85.9%と最も多く、次いで「友人・知人」（52.5%）となっています。

図表 57　相談する相手･場所（全体）



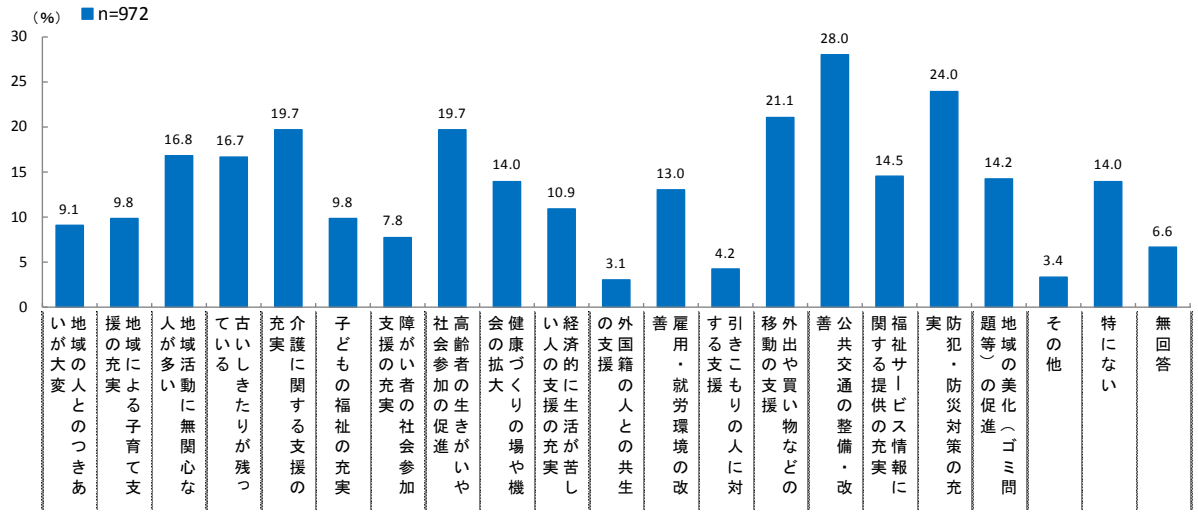
4－3　お住まいの地域の問題や課題

問 18　あなたが住んでいる地域の問題や課題について、感じていることは何ですか。
（当てはまる数字すべてに○）

□　「公共交通の整備・改善」が 28.0%

地域の問題や課題としては、「公共交通の整備・改善」が 28.0%と最も多く、次いで「防犯・防災対策の充実」（24.0%）、「外出や買い物などの移動の支援」（21.1%）となっています。

図表 58　お住まいの地域の問題や課題（全体）



行政区別でみると、特に“時志”で「健康づくりの場や機会の拡大」（45.5%）、“北方”で「福祉サービス情報に関する提供の充実」“小野浦”で「外出や買い物などの移動の支援」（50.0%）、「公共交通の整備・改善」（58.3%）を問題や課題であると回答する人が多くなっています。

図表 59 お住まいの地域の問題や課題（行政区）

（%）

	布土	時志	北方	浦戸	河和	古布	矢梨	切山	小野浦	細目
調査数(人)	136	11	69	14	238	35	31	8	12	11
地域の人とのつきあいが大変	8.1	－	7.2	7.1	8.0	14.3	9.7	－	25.0	9.1
地域による子育て支援の充実	8.1	9.1	10.1	－	10.5	5.7	12.9	－	8.3	9.1
地域活動に無関心な人が多い	19.9	9.1	17.4	14.3	16.0	25.7	16.1	12.5	16.7	9.1
古いしきたりが残っている	22.8	9.1	11.6	28.6	13.4	14.3	25.8	37.5	8.3	36.4
介護に関する支援の充実	17.6	36.4	14.5	14.3	18.5	11.4	16.1	25.0	8.3	9.1
子どもの福祉の充実	6.6	18.2	10.1	－	7.6	8.6	19.4	－	16.7	9.1
障がい者の社会参加支援の充実	2.9	－	7.2	14.3	8.8	8.6	12.9	－	8.3	9.1
高齢者の生きがいや社会参加の促進	16.9	27.3	18.8	7.1	21.8	20.0	19.4	25.0	8.3	9.1
健康づくりの場や機会の拡大	16.2	45.5	14.5	7.1	16.0	11.4	9.7	－	8.3	－
経済的に生活が苦しい人の支援の充実	7.4	－	11.6	28.6	13.0	11.4	19.4	12.5	－	9.1
外国籍の人との共生の支援	2.2	－	1.4	－	2.5	8.6	3.2	－	－	－
雇用･就労環境の改善	5.1	－	15.9	7.1	14.3	17.1	12.9	12.5	8.3	18.2
引きこもりの人に対する支援	2.2	－	1.4	－	3.4	11.4	3.2	－	8.3	－
外出や買い物などの移動の支援	27.9	18.2	10.1	－	9.7	11.4	25.8	12.5	50.0	45.5
公共交通の整備･改善	30.1	27.3	27.5	14.3	21.8	11.4	38.7	25.0	58.3	18.2
福祉サービス情報に関する提供の充実	13.2	9.1	18.8	－	15.1	11.4	16.1	－	16.7	－
防犯･防災対策の充実	21.3	27.3	29.0	14.3	24.4	14.3	16.1	25.0	25.0	27.3
地域の美化（ゴミ問題等）の促進	16.2	9.1	15.9	－	14.7	17.1	6.5	－	－	18.2
その他	1.5	－	2.9	7.1	2.9	8.6	9.7	－	－	－
特にない	12.5	－	18.8	14.3	15.5	14.3	16.1	－	－	36.4
無回答	6.6	9.1	4.3	14.3	5.9	5.7	6.5	12.5	16.7	－

	一色	柿並	若松	奥田南	奥田中	奥田北	上野間	美浜緑苑	その他
調査数(人)	16	60	24	67	21	47	80	71	11
地域の人とのつきあいが大変	12.5	13.3	16.7	6.0	9.5	6.4	8.8	14.1	－
地域による子育て支援の充実	12.5	6.7	8.3	9.0	14.3	6.4	17.5	9.9	9.1
地域活動に無関心な人が多い	6.3	16.7	37.5	9.0	4.8	12.8	8.8	33.8	9.1
古いしきたりが残っている	12.5	15.0	8.3	13.4	19.0	10.6	28.8	9.9	18.2
介護に関する支援の充実	18.8	18.3	12.5	26.9	14.3	31.9	23.8	21.1	27.3
子どもの福祉の充実	6.3	5.0	8.3	11.9	23.8	17.0	11.3	8.5	18.2
障がい者の社会参加支援の充実	6.3	5.0	4.2	14.9	－	14.9	8.8	4.2	9.1
高齢者の生きがいや社会参加の促進	18.8	10.0	20.8	20.9	23.8	34.0	18.8	18.3	27.3
健康づくりの場や機会の拡大	6.3	16.7	－	14.9	9.5	17.0	10.0	15.5	9.1
経済的に生活が苦しい人の支援の充実	6.3	6.7	8.3	16.4	9.5	4.3	11.3	9.9	18.2
外国籍の人との共生の支援	12.5	3.3	－	9.0	－	4.3	2.5	1.4	9.1
雇用･就労環境の改善	12.5	20.0	20.8	19.4	19.0	8.5	8.8	14.1	9.1
引きこもりの人に対する支援	12.5	5.0	4.2	9.0	－	4.3	5.0	5.6	－
外出や買い物などの移動の支援	37.5	30.0	45.8	14.9	14.3	23.4	16.3	43.7	27.3
公共交通の整備･改善	37.5	33.3	37.5	31.3	38.1	27.7	23.8	35.2	36.4
福祉サービス情報に関する提供の充実	18.8	15.0	8.3	17.9	14.3	21.3	11.3	14.1	9.1
防犯･防災対策の充実	18.8	23.3	29.2	20.9	23.8	38.3	22.5	22.5	36.4
地域の美化（ゴミ問題等）の促進	12.5	13.3	12.5	19.4	14.3	21.3	17.5	5.6	9.1
その他	6.3	3.3	4.2	－	4.8	4.3	1.3	8.5	－
特にない	31.3	10.0	8.3	16.4	14.3	14.9	10.0	8.5	27.3
無回答	6.3	6.7	8.3	9	9.5	6.4	8.8	4.2	－

※ それぞれの項目において最も割合の高い行政区

４－４　地域の問題や課題への対応

問 19　あなたは、地域の問題や課題に困ったとき、どのようにしますか。（1つに○）

□　「自発的ではないが、呼びかけがあれば協力していきたい」が約７割

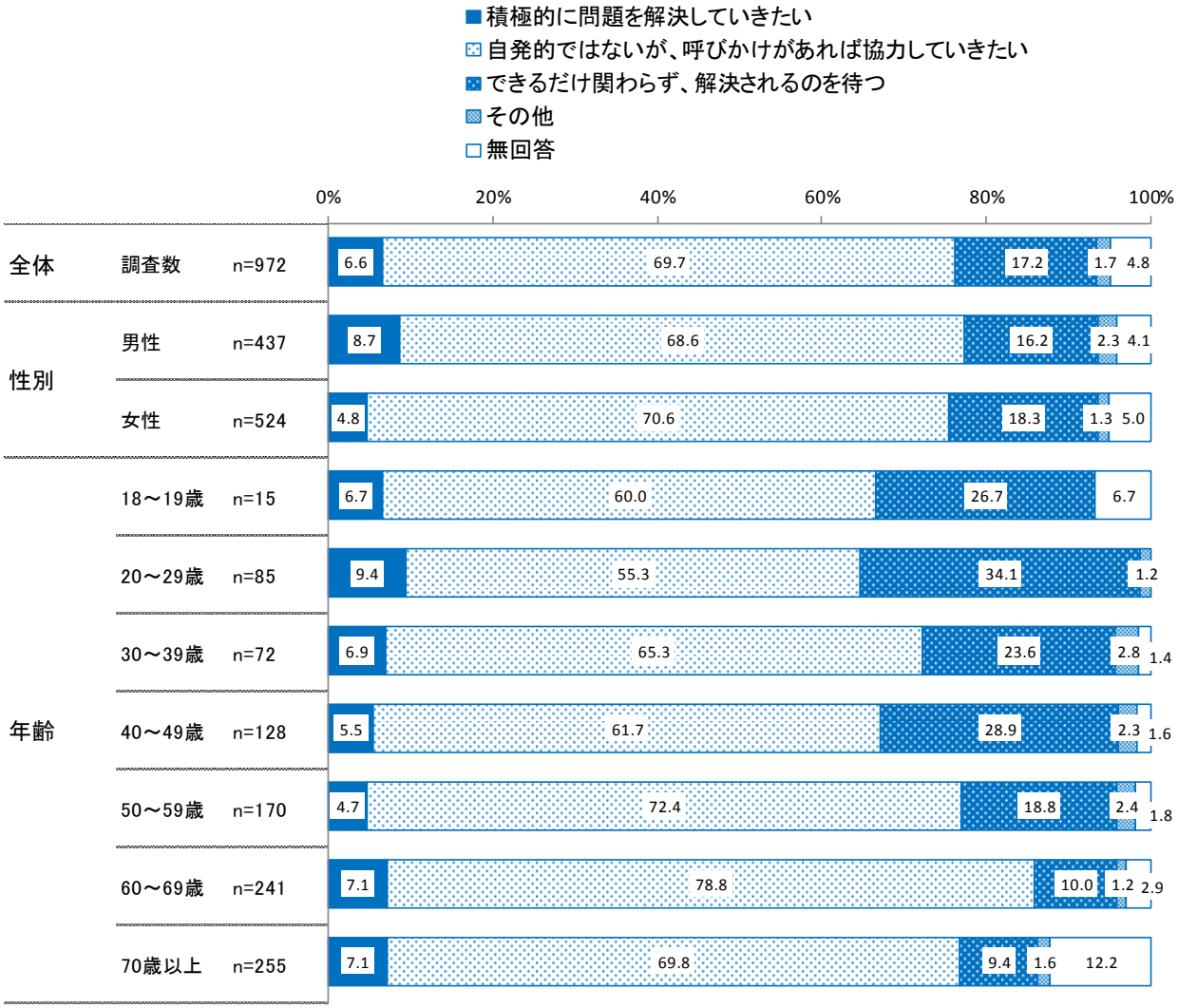
地域の問題や課題への対応については、「自発的ではないが、呼びかけがあれば協力していきたい」が 69.7％と最も多く、「積極的に問題を解決していきたい」（6.6％）と合わせた『問題を解決していきたい』人が 76.3％となっています。

性別でみると、『問題を解決していきたい』人は、“男性”が 77.3％、“女性”が 75.4％で、ともに７割以上の割合となっています。

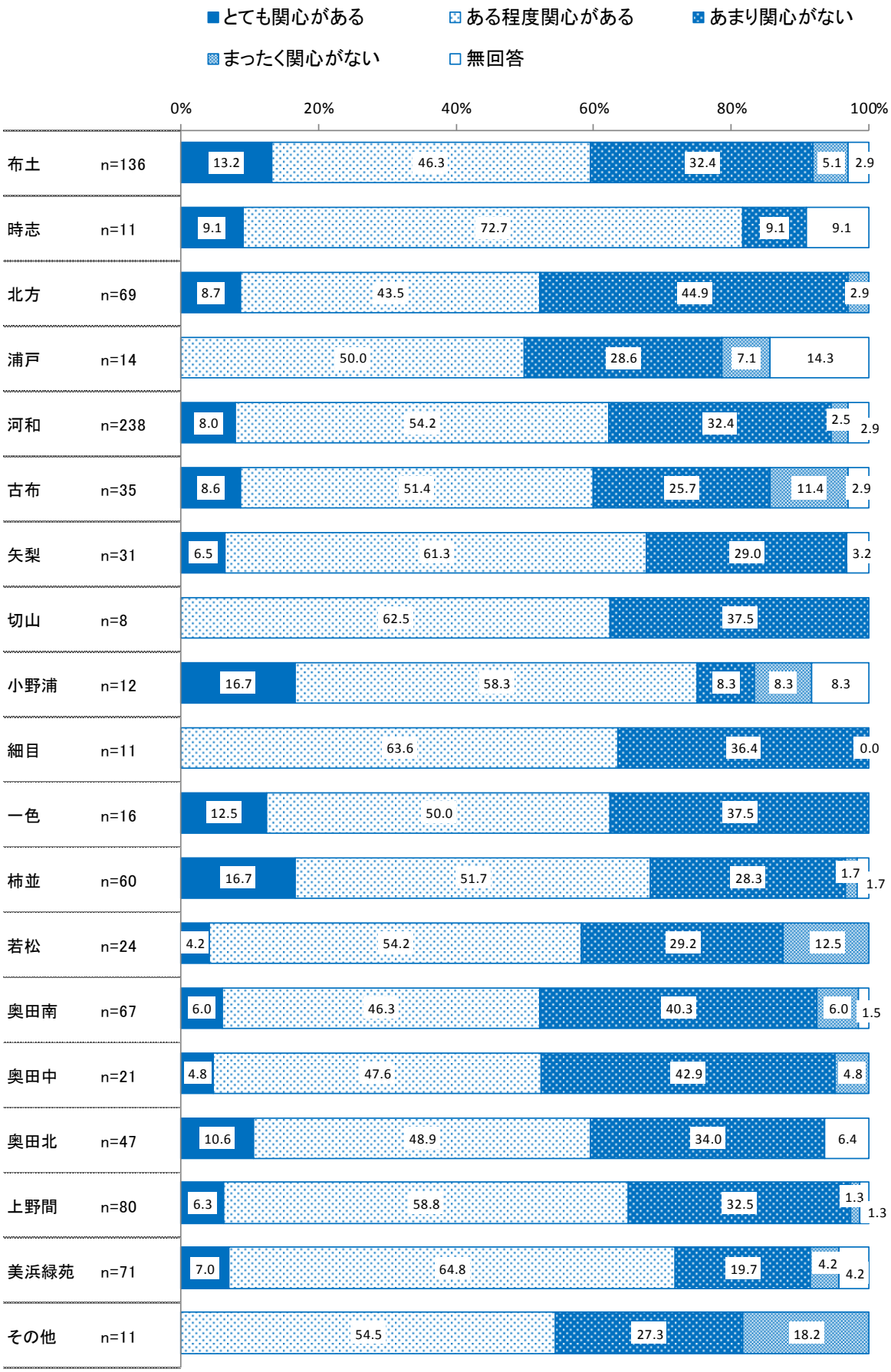
年齢別でみると、『問題を解決していきたい』人が最も多いのは“60～69 歳”（85.9％）で、次いで“50～59 歳”（77.1％）、“70 歳以上”（76.9％）となっています。一方で“20～29 歳”は「できるだけ関わらず、解決されるのを待つ」が 34.1％と最も多くなっています。

行政区別でみると、“切山”“細目”では全ての人が『問題を解決していきたい』と回答しています。また、“時志”（90.9％）、“美浜緑苑”（83.1％）、“古布”（82.9％）、“一色”（81.3％）、“奥田南”（80.6％）でも８割以上が問題解決に積極的です。

図表 60　地域の問題や課題への対応（全体･性別･年齢別）



図表 61 地域の問題や課題への対応（行政区）



4－5　地域福祉への関心

問 20　あなたは、地域福祉について関心を持っていますか。（1つに○）

□　“関心がある”人は 61.6%

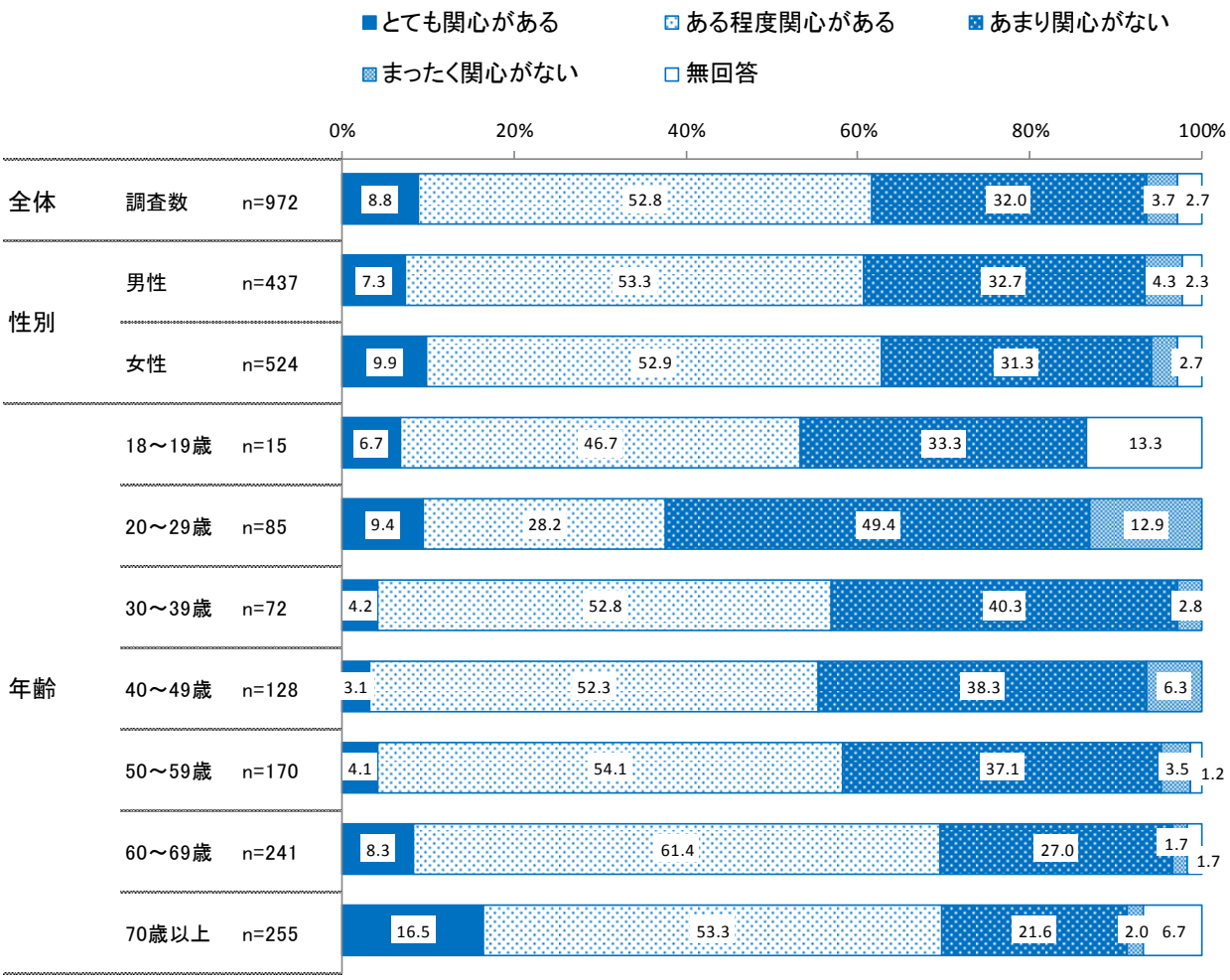
地域福祉への関心については、「ある程度関心がある」が 52.8%で最も多く、「とても関心がある」（8.8%）と合わせた『関心がある』人が 61.6%となっています。

性別でみると、“男性”（60.6%）、“女性”（62.8%）ともに６割以上が『関心がある』と回答しています。

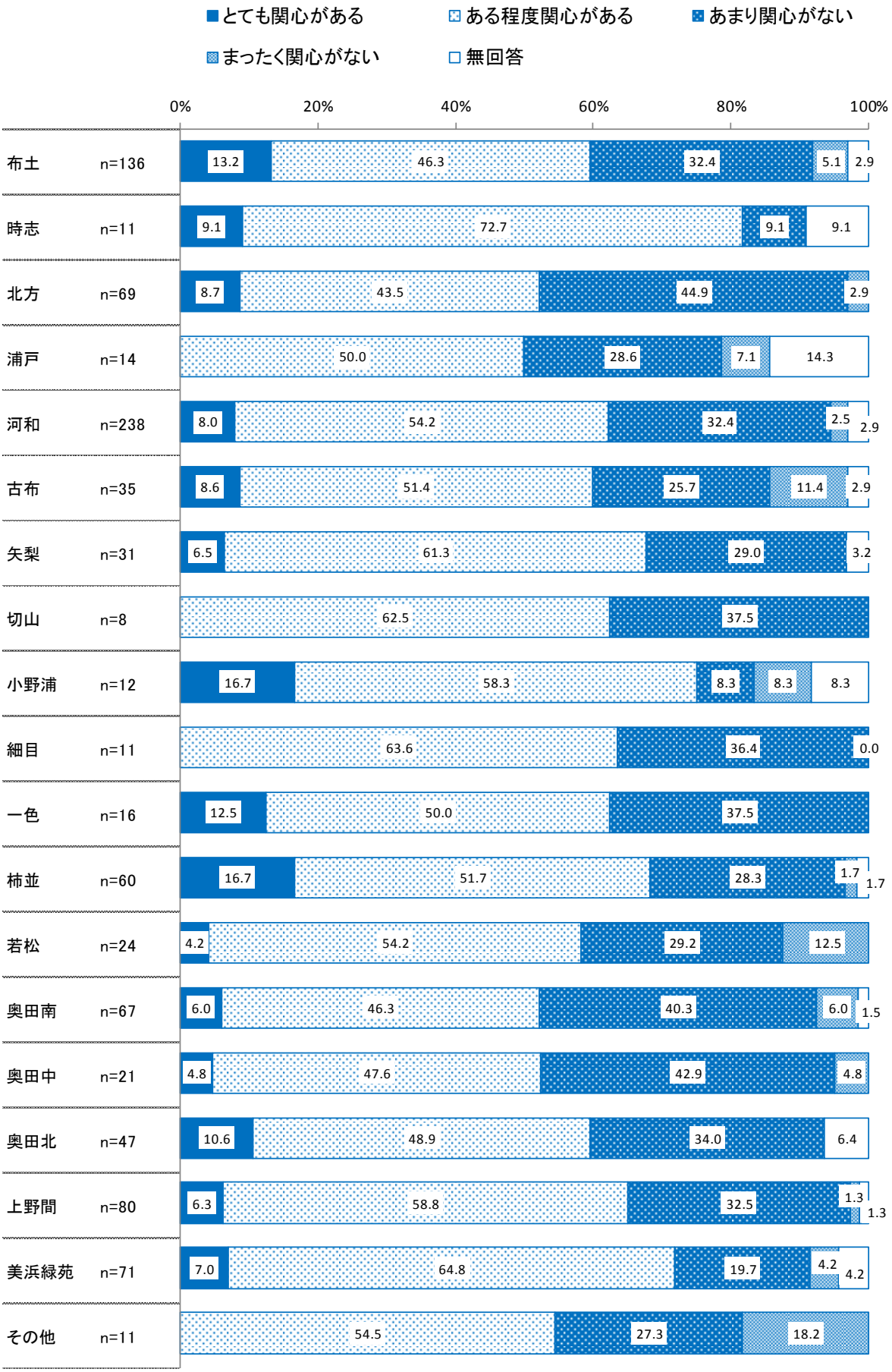
年齢別でみると、『関心がある』人は、“70 歳以上”が 69.8%と最も多く、次いで“60～69 歳”（69.7%）、“50～59 歳”（58.2%）となっています。一方で、“20～29 歳”は 37.6%で、全ての年代の中で唯一 50%を下回っています。

行政区別でみると、『関心がある』人は、“時志”（81.8%）、“小野浦”（75.0%）、“美浜緑苑”（71.8%）で多くなっています。

図表 62　地域福祉への関心（全体･性別･年齢別）



図表 63 地域福祉への関心（行政区）



４－６　緊急時の対応状況

問 21　災害などの緊急時の対応状況について教えてください。（最も当てはまる数字 １ つずつに○）

災害時の避難場所について知っていますか

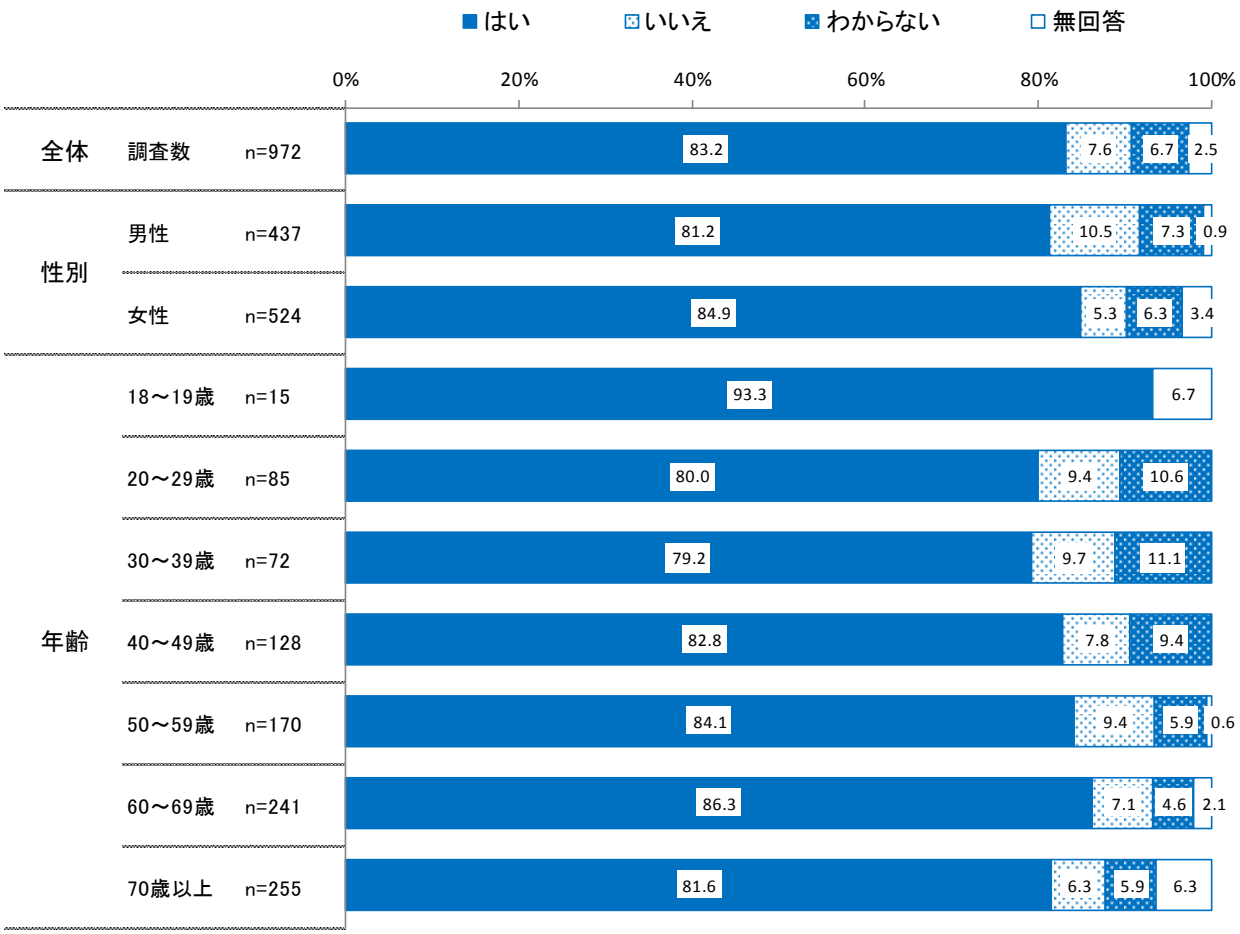
□　「はい」が 83.2%、「いいえ」が 7.6%

災害時の避難場所を知っているかについては、「はい」が 83.2%、「いいえ」が 7.6%となっており、８割以上の人が知っていると回答しています。

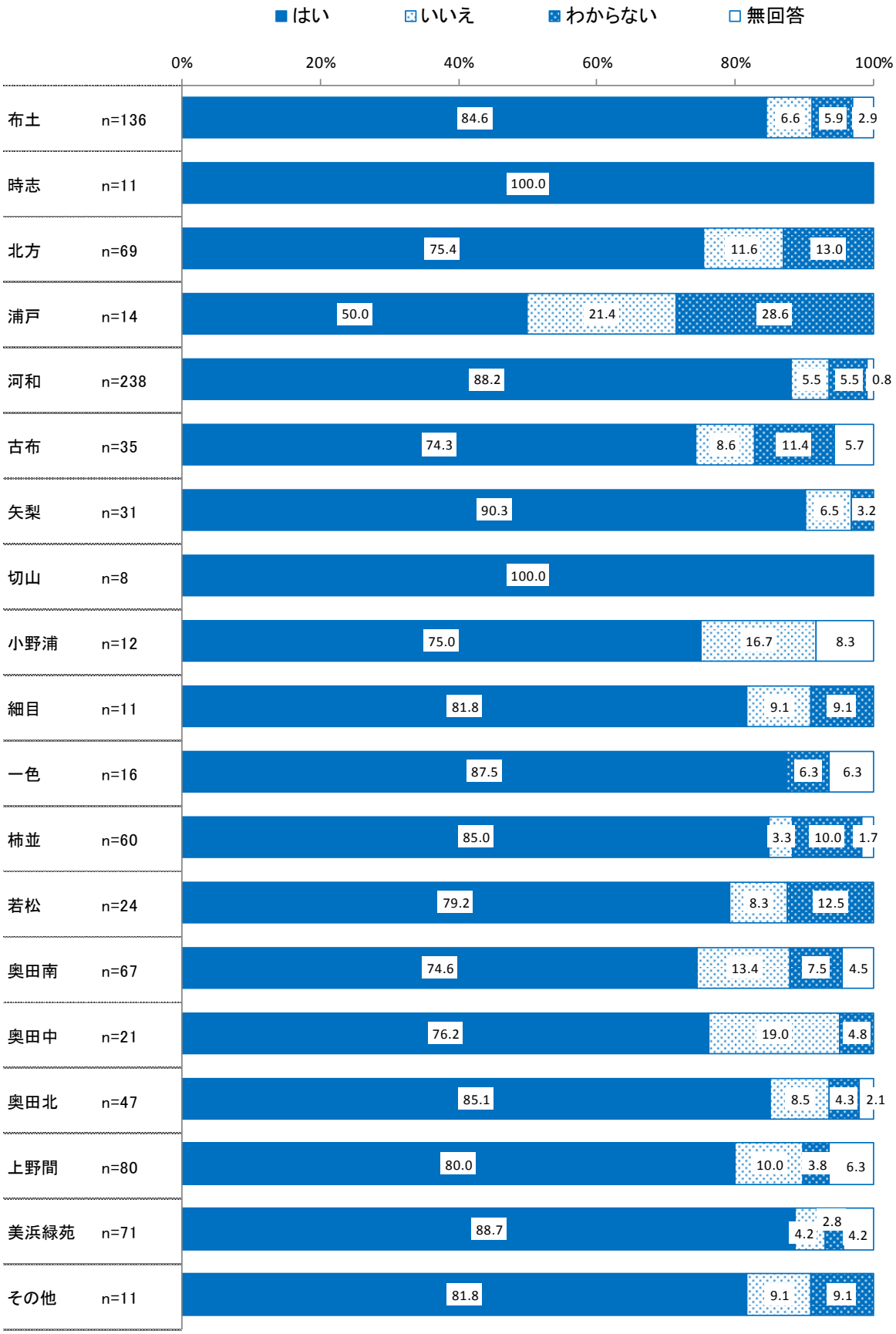
性別でみると、“男性”、“女性”ともに８割以上の人が知っており、年齢別でみても全ての年代において８割前後の人が知っていると回答しています。

行政区別でみると、“時志”、“切山”では全ての人が「はい」と回答しています。また、“美浜緑苑”（88.7%）、“河和”（88.2%）、“一色”（87.5%）でも「はい」と回答した人が多くなっています。一方で、「いいえ」と回答した人が多いのは、“浦戸”（21.4%）、“奥田中”（19.0%）、“小野浦”（16.7%）となっています。

図表 64　災害時の避難場所について知っていますか（全体･性別･年齢別）



図表 65　災害時の避難場所について知っていますか（行政区）



隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人（ひとり暮らし高齢者や障がいのある人）を知っていますか

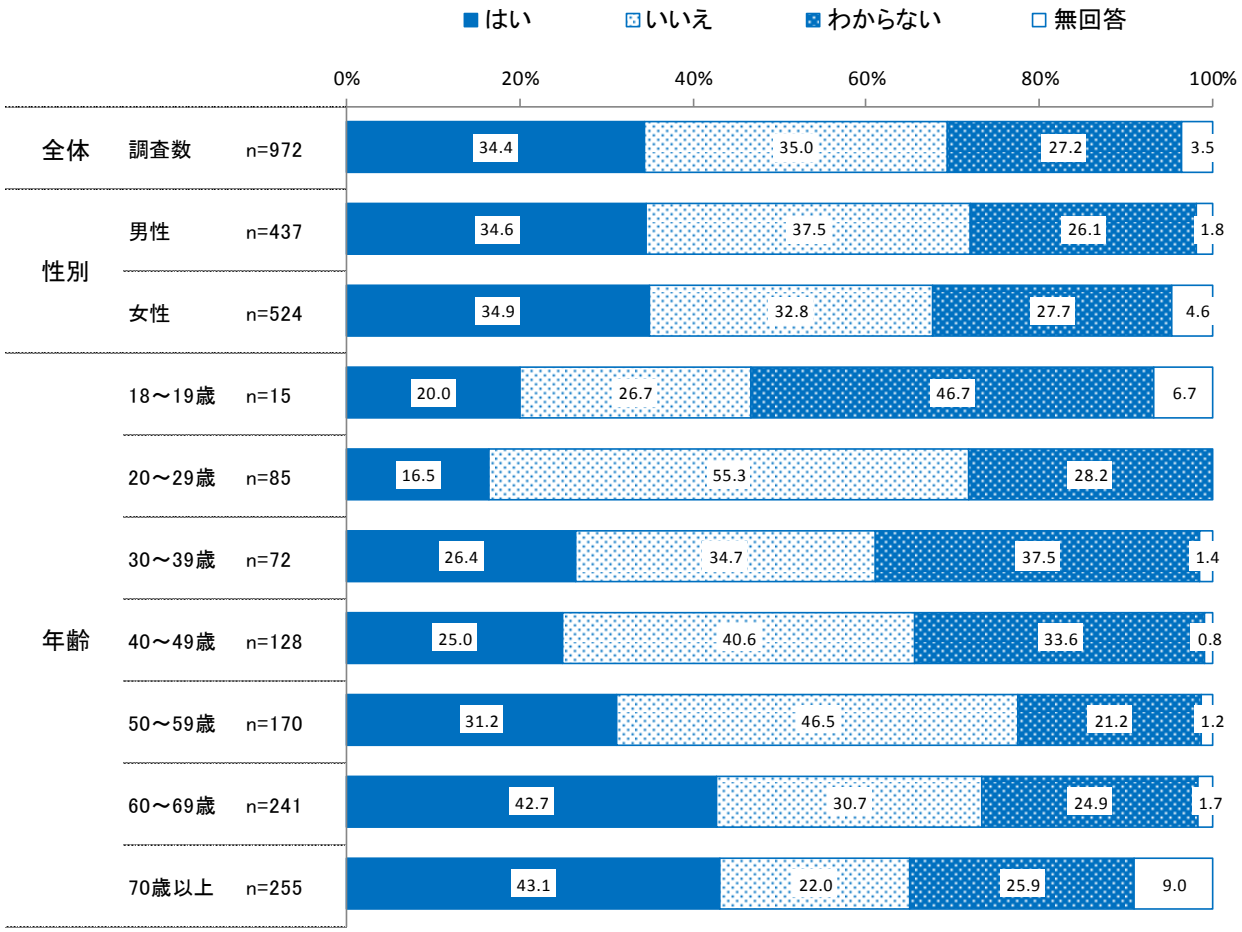
□　「はい」34.4%、「いいえ」35.0%

隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人を知っているかについては、「はい」が 34.4%、「いいえ」が 35.0%となっています。

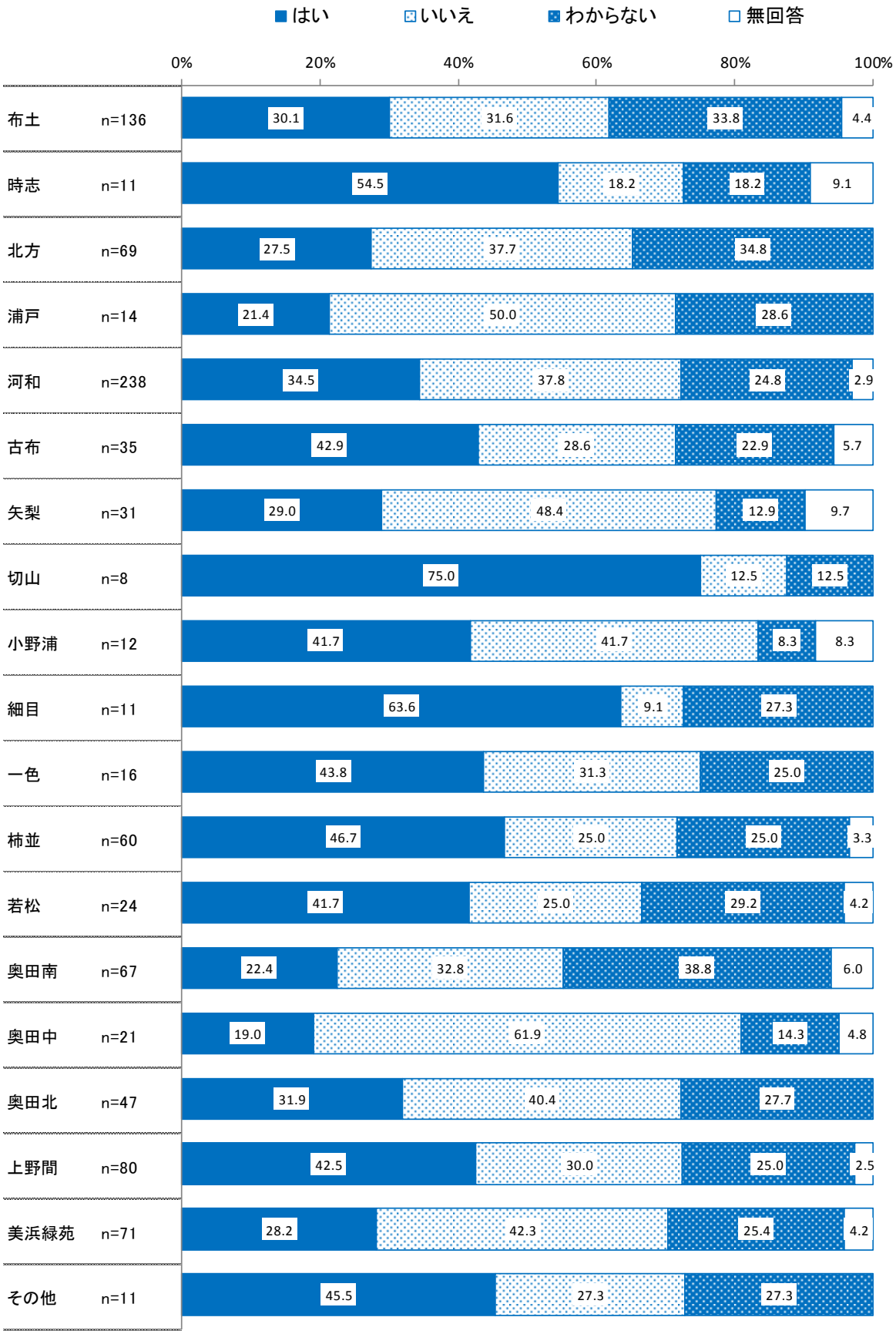
年齢別でみると、“18～19 歳”（20.0%）“20～29 歳”（16.5%）といった若い世代で知っている人は約２割ですが、“60～69 歳”（42.7%）、“70 歳以上”（43.1%）といった高齢者世代では４割以上の人が知っていると回答しています。

行政区別でみると、「はい」と回答した人は、“切山”（75.0%）、“細目”（63.6%）、“時志”（54.5%）で多くなっています。一方で、「いいえ」と回答した人は“奥田中”（61.9%）、“浦戸”（50.0%）、“小野浦”（41.7%）で多くなっています。

図表 66　隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人を知っていますか（全体･性別･年齢別）



図表 67 隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人を知っていますか（行政区）

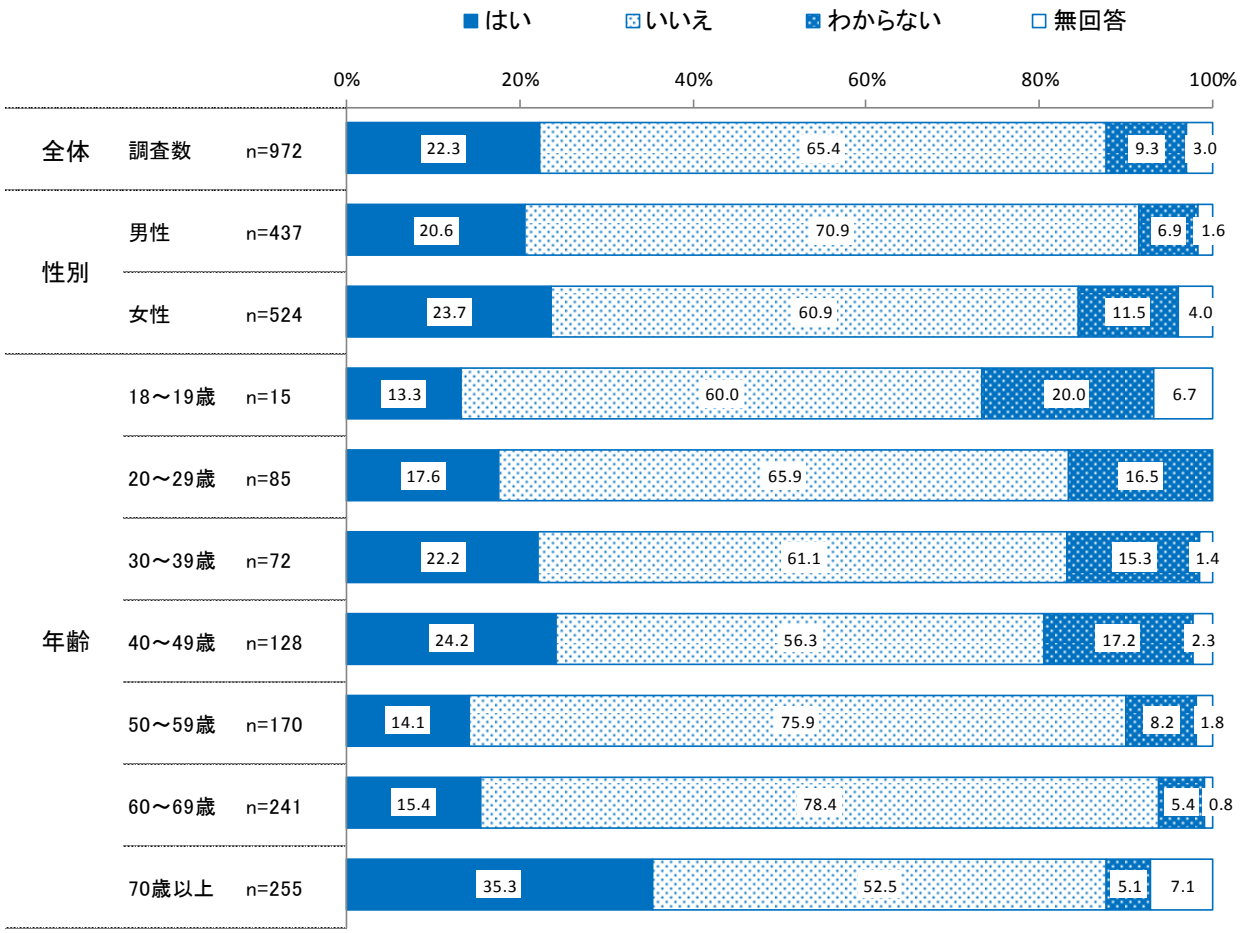


災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか

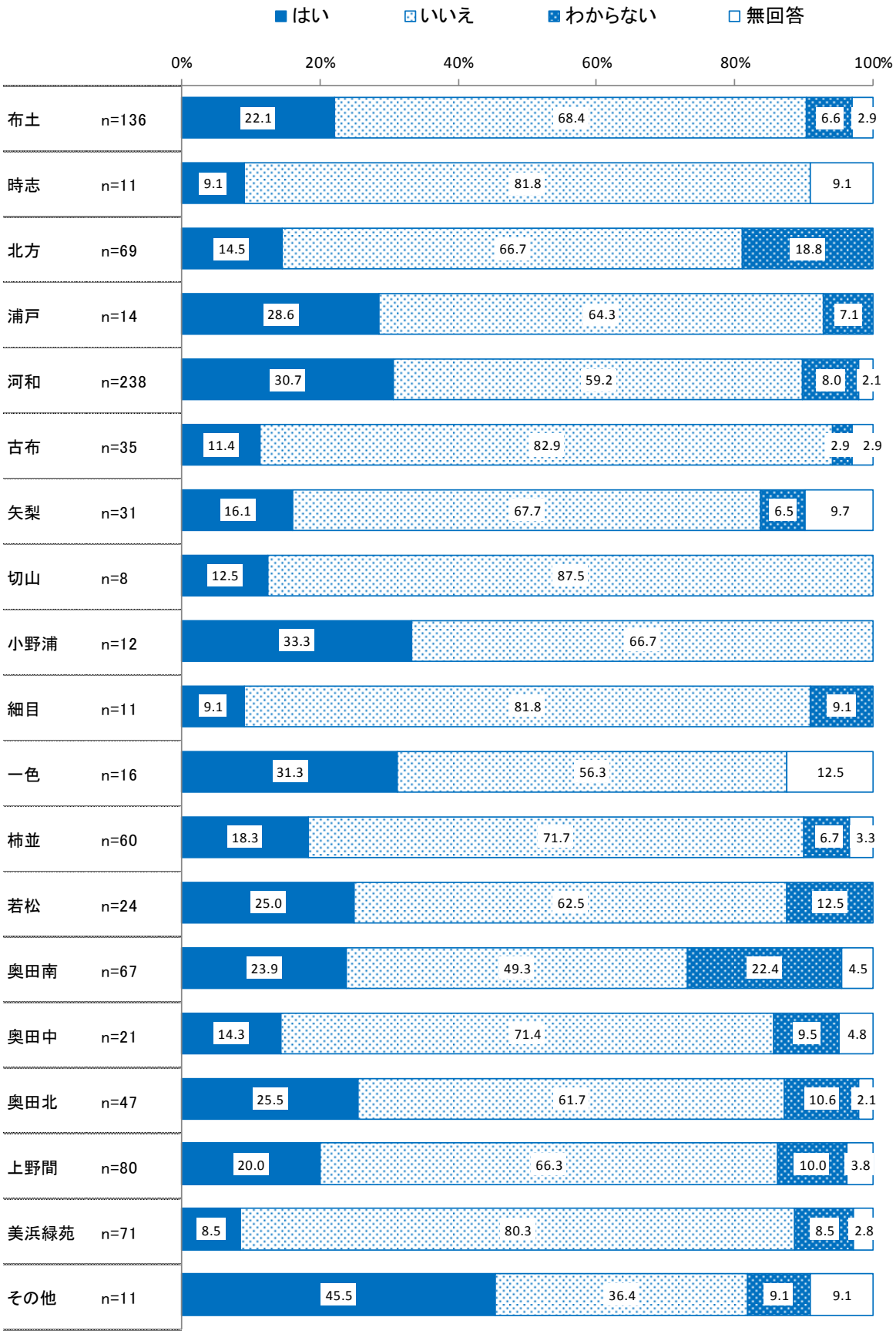
□　「はい」22.3%、「いいえ」65.4%

緊急時に手助けが必要かについては、「はい」が 22.3%、「いいえ」が 65.4%となっています。
性別でみると“男性”より“女性”の方が 3.1 ポイント多くなっています。
年齢別でみると、“70 歳以上”（35.3%）が最も多く、次いで“40～49 歳”（24.2%）、“30～39 歳”（22.2%）となっています。
行政区別でみると、「はい」と回答した人は、“小野浦”（33.3%）、“一色”（31.3%）、“河和”（30.7%）で多くなっています。一方で、「いいえ」と回答した人は、“切山”（87.5%）、“古布”（82.9%）、“時志”（81.8%）で多くなっています。

図表 68　災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか（全体･性別･年齢別）



図表 69 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか（行政区）



4－7　地域で個人情報を共有することの要否

問 22　大規模災害に備えて、地域で個人情報を共有することについて、どのように思いますか。
（※主に自力で避難が困難な方が対象）（1つに○）

□　個人情報の共有が『必要だと思う』が 80.0%

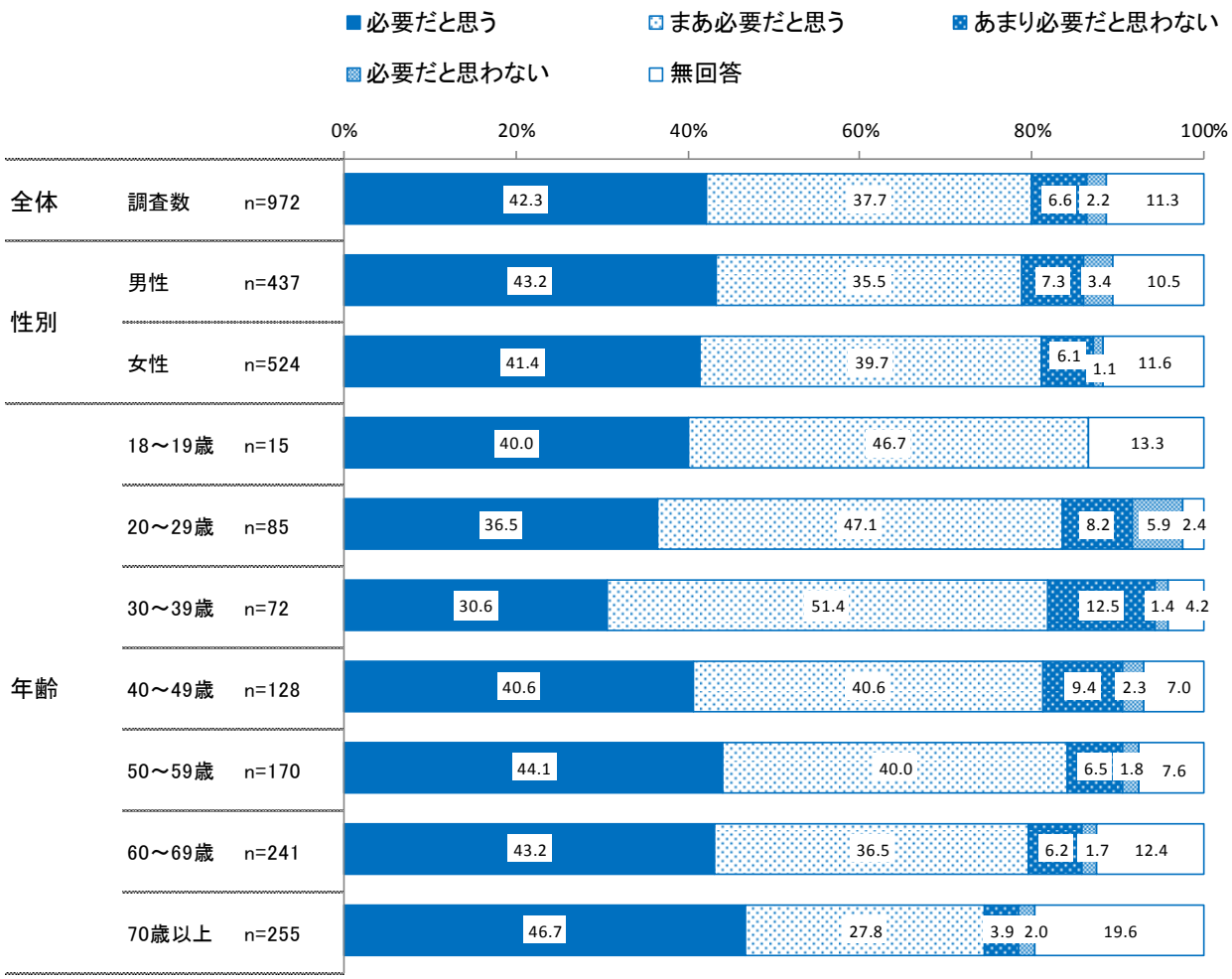
地域で個人情報を共有することについては、「必要だと思う」が 42.3%と最も多く、「まあ必要だと思う」（37.7%）と合わせた『必要だと思う』人は 80.0%となっています。一方で、「あまり必要だと思わない」と「必要だと思わない」を合わせた『必要だと思わない』人は 8.8%にとどまっています。

性別でみると、『必要だと思う』人は男性では 78.7%、女性では 81.1%となっています。

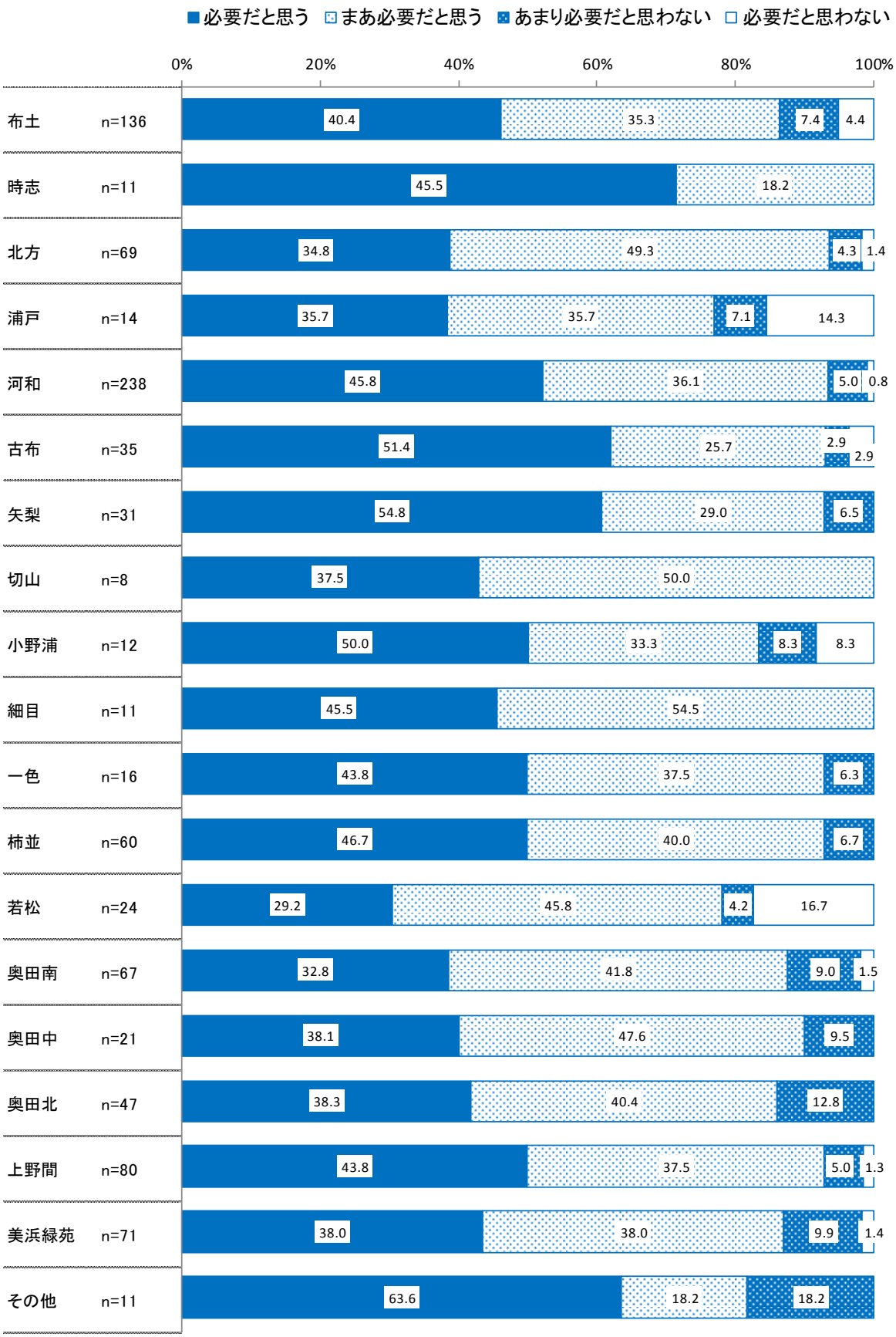
年齢別でみると、『必要だと思う』人が最も多いのは「70 歳以上」（46.7%）で、最も少ないのは「30～39 歳」（30.6%）となっています。

行政区別でみると、“細目”では全ての人が『必要だと思う』と回答しています。また、“切山”（87.5%）、“柿並”（86.7%）、“奥田中”（85.7%）でも必要と感じている人が多くなっています。

図表 70　地域で個人情報を共有することの要否（全体･性別･年齢別）



図表 71 地域で個人情報を共有することの要否（行政区）



5．　地域福祉を支える人材や地域福祉資源の活用について

5－1　民生委員・児童委員の認知度

問 23　あなたは、民生委員･児童委員を知っていますか。（1 つに○）

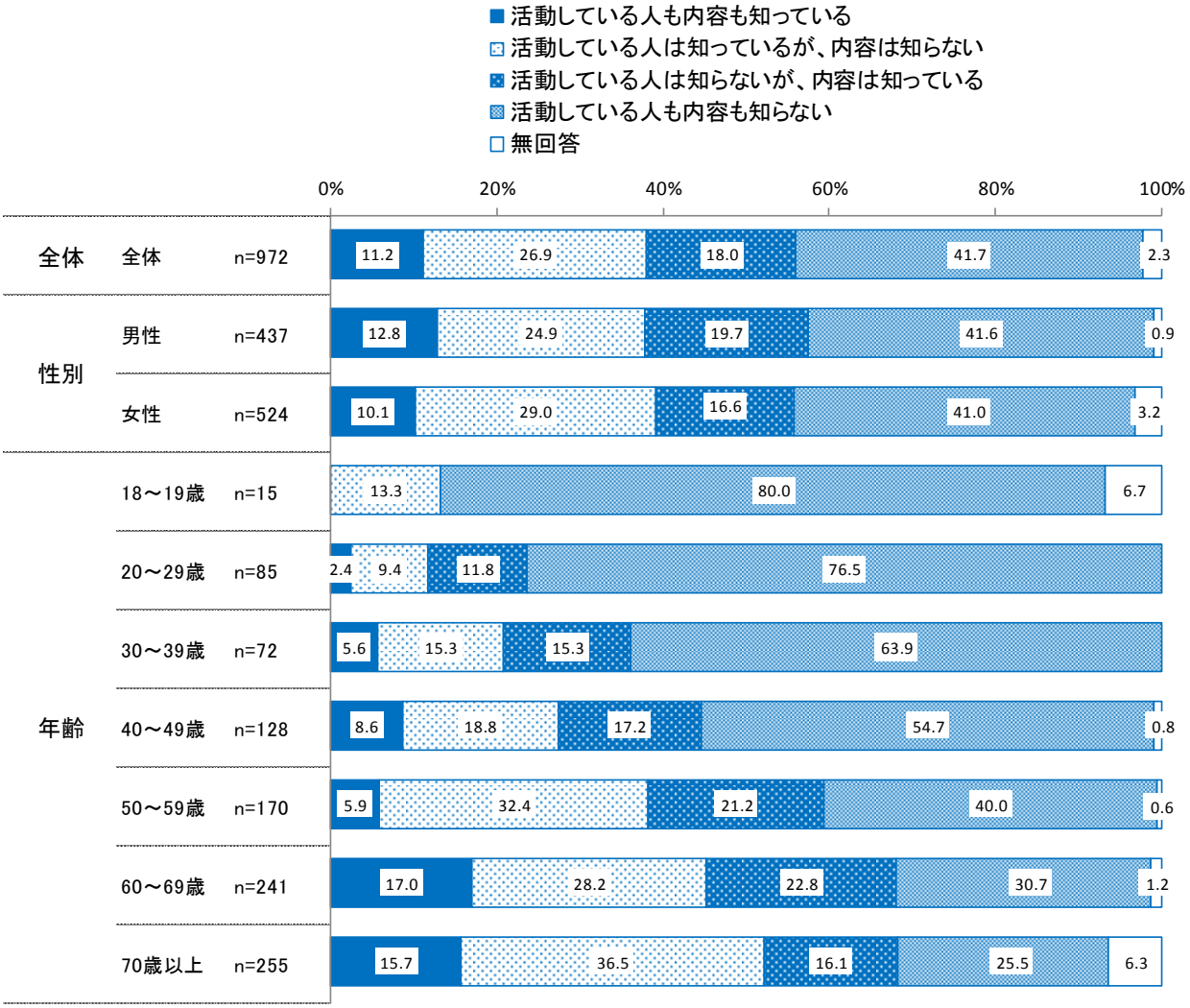
□　「活動している人も内容も知らない」が約４割

民生委員・児童委員の認知度については、「活動している人も内容も知っている」「活動している人は知っているが内容は知らない」「活動している人は知らないが、内容は知っている」を合わせた『民生委員・児童委員を知っている』人は 56.1％となっています。

性別でみると、『民生委員・児童委員を知っている』人は“男性”で 57.4％、“女性”で 55.7％となっています。

年齢別でみると、年齢が上になるほど認知度が高くなっており、“70 歳以上”の認知度は 68.3％となっています。

図表 72　民生委員･児童委員の認知度（全体･性別･年齢別）



5－2　美浜町地域包括支援センターの認知度

問 24　美浜町地域包括支援センター（社会福祉協議会内に設置）について知っていますか。（1 つに○）

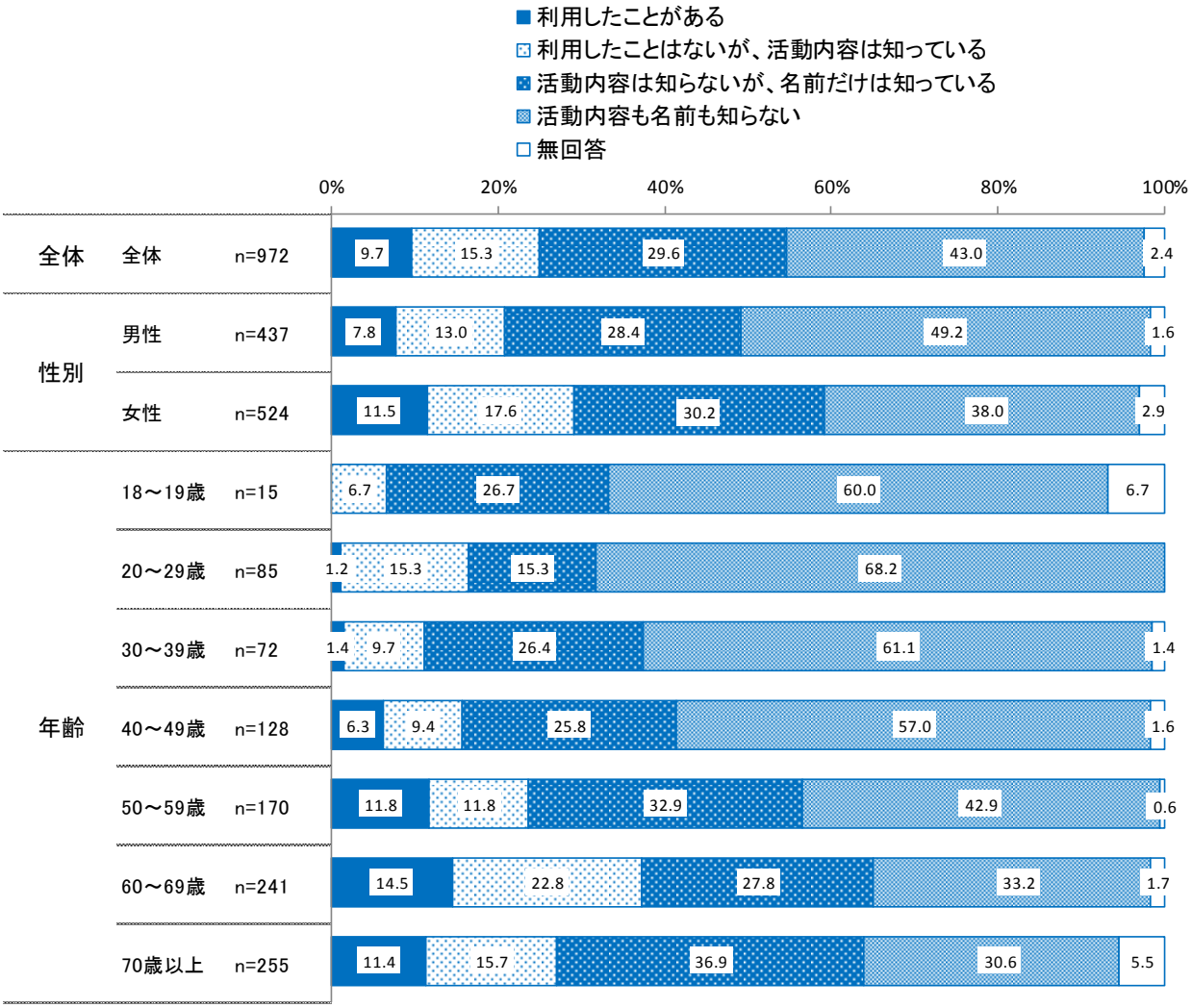
□　「活動内容も名前も知らない」が 43.0%

地域包括支援センターの認知度については、「利用したことがある」「利用したことはないが、活動内容は知っている」「活動内容は知らないが、名前だけは知っている」を合わせた『地域包括支援センターを知っている』人は 54.6%となっています。

性別でみると、『地域包括支援センターを知っている』人は、“男性”が 49.2%、“女性”が 59.3%で、男性より女性に多くに認知されています。

年齢別でみると、“18～19 歳”（33.4%）、“20～29 歳”（31.8%）、“30～39 歳”（37.5%）では３割台の認知度ですが、“60～69 歳”（65.1%）、“70 歳以上”（64.0%）では６割以上の認知度となっており、若い世代より高齢者世代のほうが認知度は高くなっています。

図表 73　美浜町地域包括支援センターの認知度（全体・性別・年齢別）



5－3　ボランティア活動への参加経験の有無

問 25　あなたは、ボランティア活動に参加したことはありますか。（1 つに○）

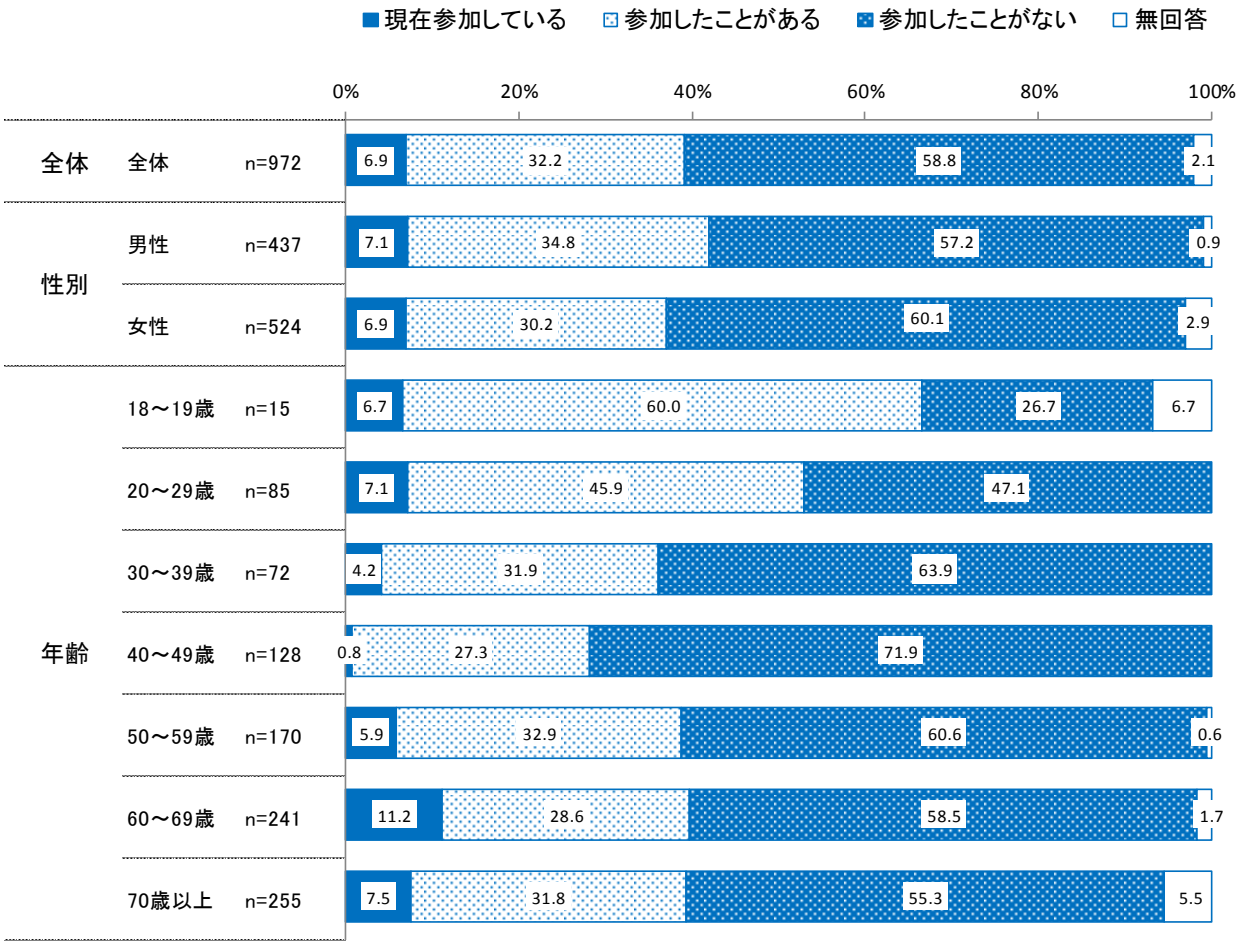
□　「参加したことがない」が 58.8%

ボランティア活動については、「参加したことがない」が 58.8%で、「参加したことがある」(32.2%)や「現在参加している」（6.9%）よりも多くなっています。

性別でみると、「現在参加している」「参加したことがある」を合わせた『参加経験がある』人は“男性”で 41.9%、“女性”で 37.1%となっています。

年齢別でみると、『参加経験がある』人は、“18～19 歳”（66.7%）と“20～29 歳”（53.0%）が半数以上となっています。一方で、最も参加経験者が少ないのは“40～49 歳”（28.1%）となっています。

図表 74　ボランティア活動への参加経験の有無（全体･性別･年齢別）



5－4　ボランティア活動への参加意向

問 26　あなたは、今後ボランティア活動に参加したいですか。（1 つに○）

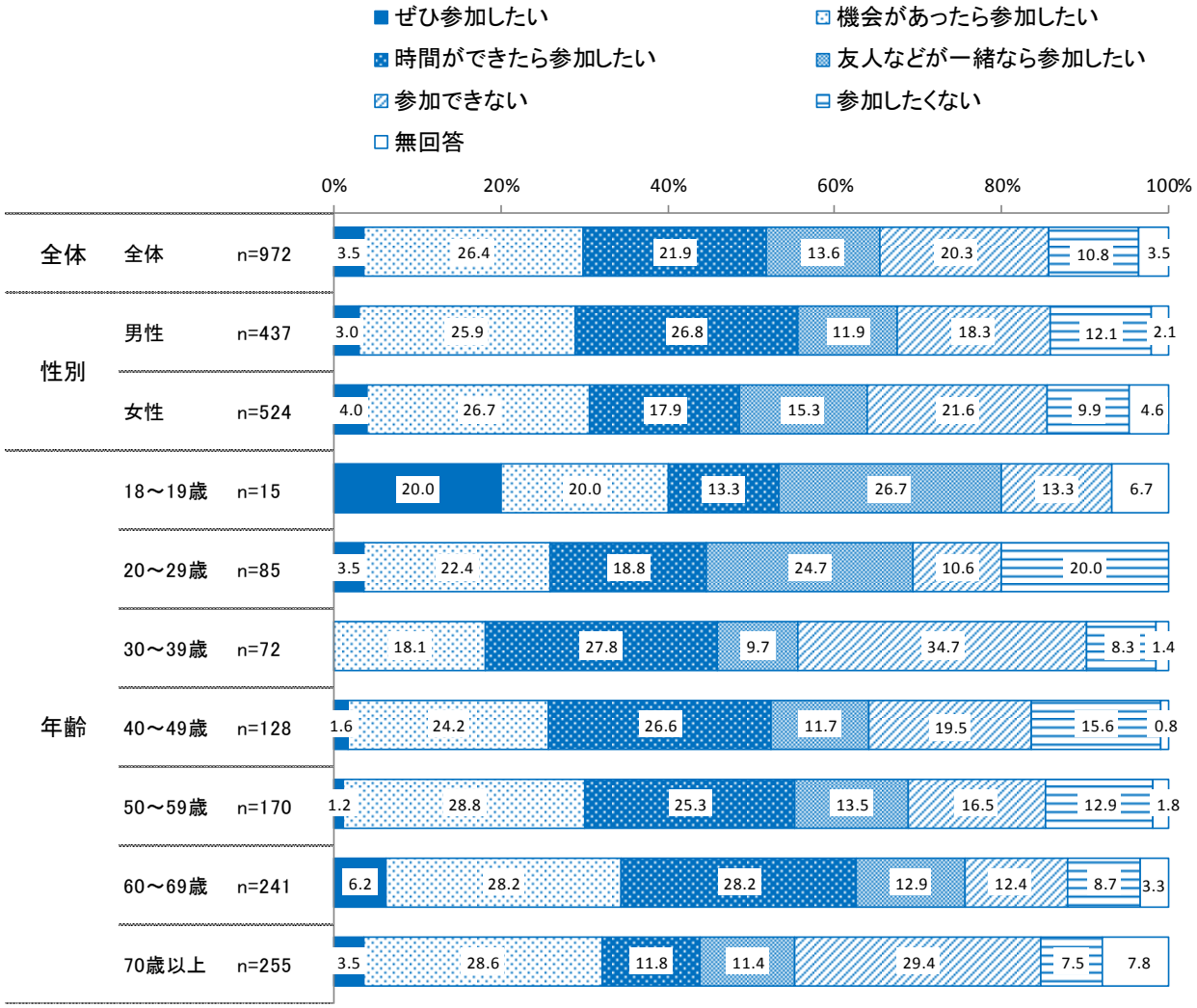
□　「機会があったら参加したい」が 26.4%で最も多い

今後ボランティア活動に参加したいかについては、「機会があったら参加したい」が 26.4%で最も多く、「ぜひ参加したい」（3.5%）、「友人などが一緒なら参加したい」（13.6%）と合わせた『参加したい』人が 65.4%となっています。

性別でみると、『参加したい』人は、“男性”で 67.6%、“女性”で 63.9%となっています。

年齢別でみると、『参加したい』人が最も多いのは“18～19 歳”（80.0%）、次いで“60～69 歳”（75.5%）なっています。一方で、「参加できない」と回答した人が最も多かったのは“30～39 歳”（34.7%）で、次いで“70 歳以上”（36.9%）となっています。

図表 75　ボランティア活動への参加意向（全体・性別・年齢別）



5－5　ボランティア活動に参加できない（参加しない）理由

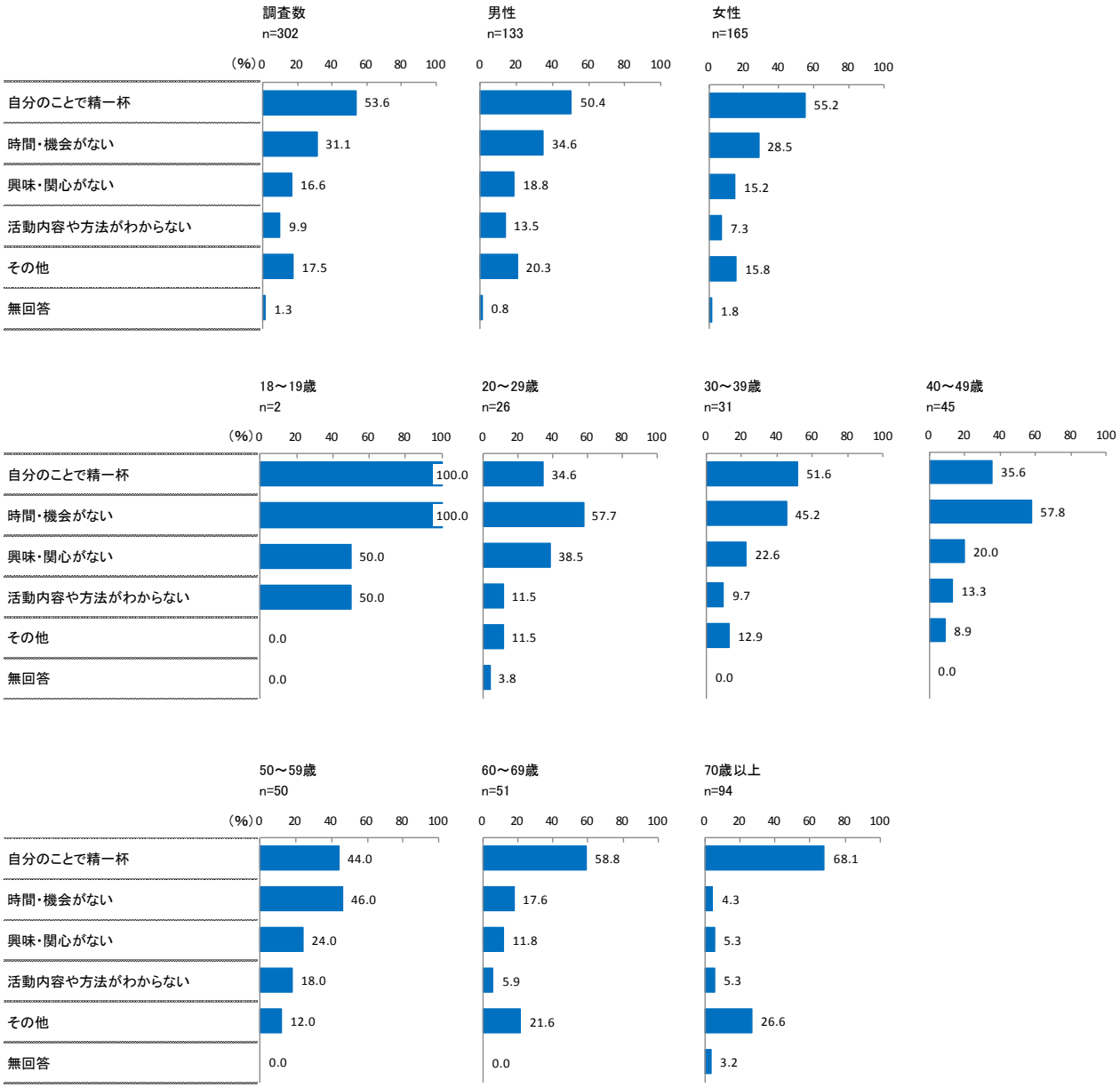
※問 26 で「5.参加できない」「6.参加したくない」と回答された方

問 26-1　ボランティア活動に参加できない(参加しない)理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○)

□　「自分のことで精一杯」が 53.6%で最も多い

ボランティア活動に参加できない（参加しない）理由については、男女ともに「自分のことで精一杯」が 5 割以上となっています。年齢別では、20 歳代から 50 歳代は「時間・機会がない」と回答する人が多くなっています。

図表 76　ボランティア活動に参加できない(参加しない)理由(全体･性別･年齢別)



6． 福祉団体について

6－1 美浜町社会福祉協議会の認知度

問 27 あなたは、美浜町社会福祉協議会について知っていますか。（1 つに○）

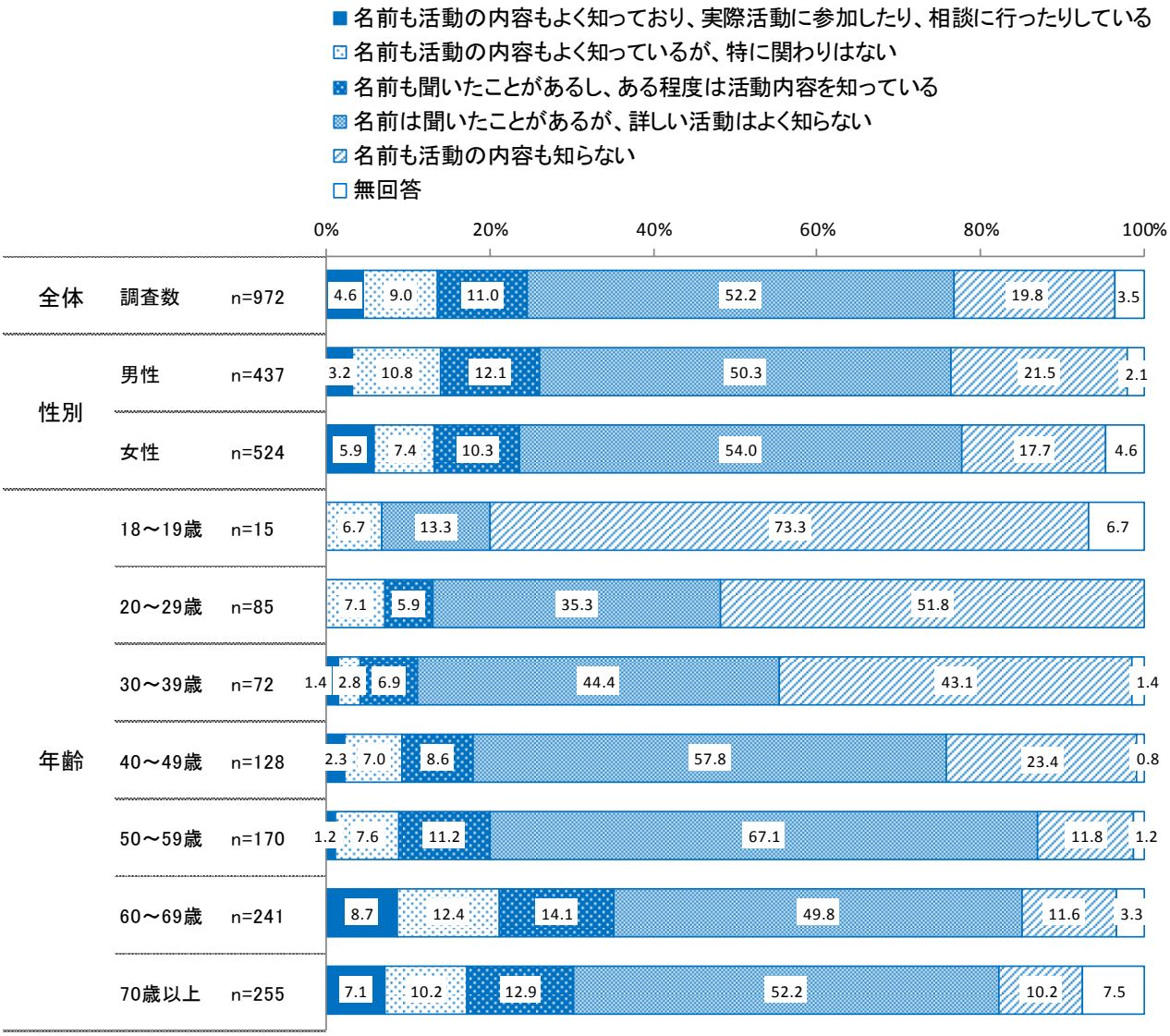
□ 「名前は聞いたことがあるが、詳しい活動はよく知らない」が 52.2%

社会福祉協議会の認知度について、「名前も活動の内容もよく知っており、実際活動に参加したり、相談に行ったりしている」「名前も活動の内容もよく知っているが、特に関わりはない」「名前も聞いたことがあるし、ある程度は活動内容を知っている」「名前は聞いたことがあるが、詳しい活動は良く知らない」を合わせた『社会福祉協議会を知っている』人は、76.8%となっています。

性別でみると、『社会福祉協議会を知っている』人は、男性で 76.4%、女性で 77.7%となっています。

年齢別でみると、『社会福祉協議会を知っている』人が多いのは、“50～59 歳”（87.1%）、“60～69 歳”（85.0%）、“70 歳以上”（82.4%）となっており、高齢者世代のほうが認知度は高くなっています。

図表 77 美浜町社会福祉協議会の認知度（全体・性別・年齢別）



6－2　美浜町社会福祉協議会の今後の活動・支援

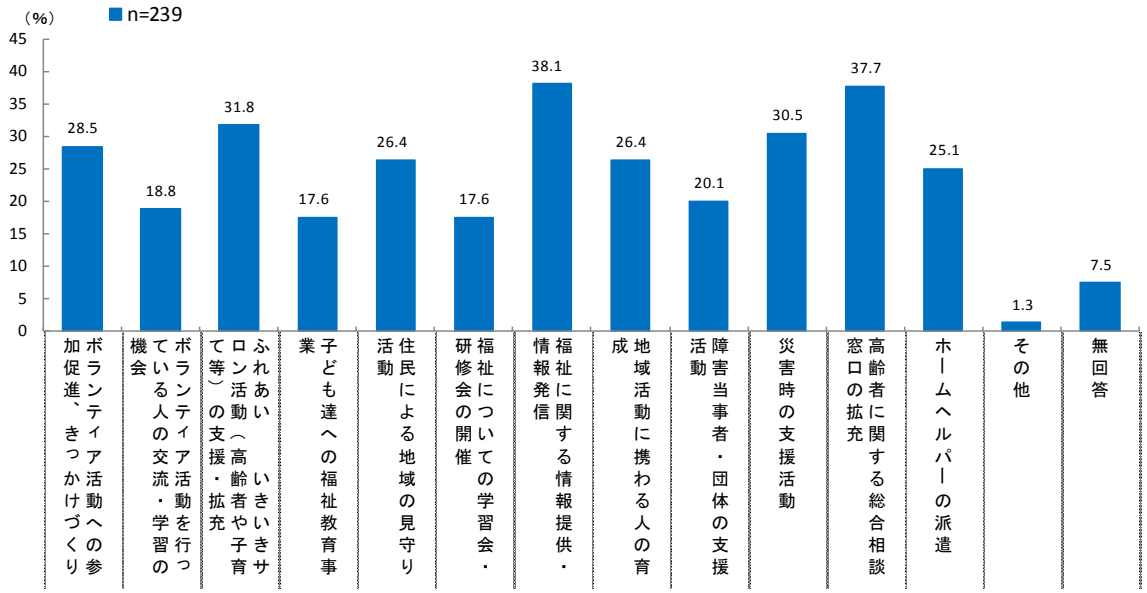
※問 27 で「1」～「3」と回答された方

問 27-1　美浜町社会福祉協議会が行う活動･支援として、今後充実させていくとよいと思われるものはどれですか。（当てはまるものすべてに○）

□　「福祉に関する情報提供・情報発信」が 38.1%で最も多い

今後充実させていくとよい活動・支援について、「福祉に関する情報提供・情報発信」が 38.1%で最も多く、次いで「高齢者に関する総合相談窓口の拡充」（37.7%）、「ふれあい　いきいきサロン活動（高齢者や子育て等）の支援・拡充」（31.8%）、「災害時の支援活動」（30.5%）となっています。

図表 78　美浜町社会福祉協議会の今後の活動･支援（全体）



図表 79　美浜町社会福祉協議会の今後の活動･支援（行政区）

（%）

	布土	時志	北方	浦戸	河和	古布	矢梨	切山	小野浦	細目
調査数(人)	136	11	69	14	238	35	31	8	12	11
ボランティア活動への参加促進、きっかけづくり	28.6	75.0	26.7	60.0	23.6	37.5	–	–	50.0	25.0
ボランティア活動を行っている人の交流･学習の機会	8.6	–	20.0	80.0	14.5	25.0	16.7	100.0	25.0	12.5
ふれあい　いきいきサロン活動(高齢者や子育て等)の支援･拡充	31.4	25.0	33.3	20.0	36.4	37.5	16.7	50.0	25.0	12.5
子ども達への福祉教育事業	14.3	–	13.3	20.0	16.4	25.0	16.7	–	25.0	25.0
住民による地域の見守り活動	34.3	50.0	13.3	20.0	21.8	25.0	33.3	–	75.0	25.0
福祉についての学習会･研修会の開催	17.1	–	26.7	20.0	12.7	37.5	16.7	–	–	12.5
福祉に関する情報提供･情報発信	28.6	50.0	20.0	60.0	36.4	75.0	66.7	50.0	50.0	37.5
地域活動に携わる人の育成	40.0	50.0	26.7	60.0	16.4	50.0	–	50.0	50.0	25.0
障害当事者･団体の支援活動	11.4	–	40.0	40.0	27.3	25.0	–	–	25.0	12.5
災害時の支援活動	25.7	25.0	13.3	40.0	21.8	62.5	33.3	–	25.0	37.5
高齢者に関する総合相談窓口の拡充	42.9	25.0	40.0	40.0	40.0	50.0	33.3	–	50.0	37.5
ホームヘルパーの派遣	34.3	–	20.0	40.0	27.3	25.0	16.7	–	50.0	50.0
その他	–	–	–	–	1.8	–	–	–	–	–
無回答	5.7	–	6.7	–	9.1	–	–	–	–	12.5

	一色	柿並	若松	奥田南	奥田中	奥田北	上野間	美浜緑苑	その他
調査数(人)	16	60	24	67	21	47	80	71	11
ボランティア活動への参加促進、きっかけづくり	33.3	40.0	33.3	15.4	–	31.3	21.4	37.5	–
ボランティア活動を行っている人の交流･学習の機会	16.7	20.0	11.1	23.1	–	18.8	14.3	25.0	66.7
ふれあい　いきいきサロン活動(高齢者や子育て等)の支援･拡充	16.7	30.0	33.3	23.1	–	37.5	28.6	45.8	–
子ども達への福祉教育事業	33.3	10.0	44.4	15.4	–	12.5	14.3	25.0	–
住民による地域の見守り活動	33.3	30.0	33.3	30.8	–	18.8	21.4	29.2	–
福祉についての学習会･研修会の開催	16.7	10.0	22.2	15.4	–	31.3	14.3	20.8	33.3
福祉に関する情報提供･情報発信	50.0	30.0	33.3	15.4	–	50.0	35.7	45.8	66.7
地域活動に携わる人の育成	50.0	50.0	33.3	–	50.0	25.0	21.4	12.5	–
障害当事者･団体の支援活動	33.3	20.0	33.3	–	–	31.3	7.1	12.5	33.3
災害時の支援活動	50.0	50.0	55.6	15.4	–	31.3	42.9	33.3	66.7
高齢者に関する総合相談窓口の拡充	33.3	40.0	33.3	23.1	50.0	37.5	28.6	37.5	33.3
ホームヘルパーの派遣	16.7	20.0	11.1	7.7	–	31.3	28.6	20.8	–
その他	–	–	–	7.7	–	6.3	–	–	–
無回答	16.7	–	–	15.4	50.0	12.5	14.3	4.2	–

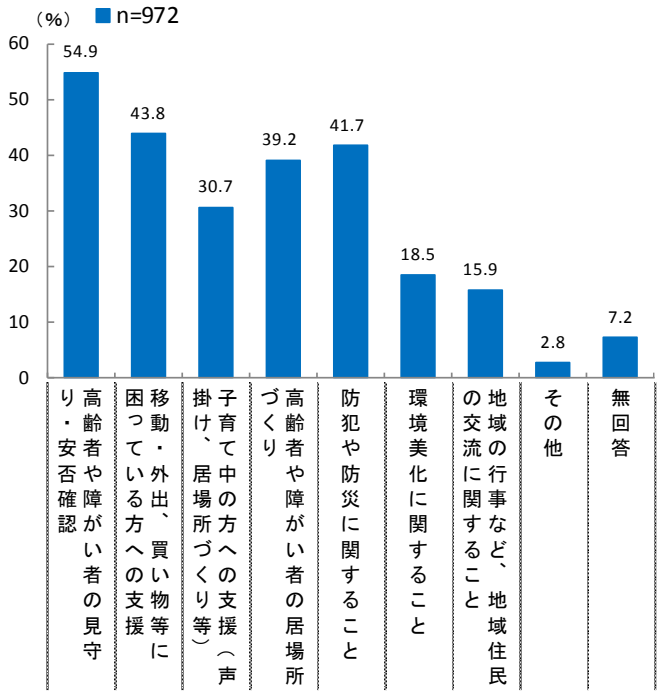
6－3　「協働のまちづくり」を進めるうえで取り組むべき活動

問 28　今後、住民と行政（町）と関係福祉団体（社会福祉協議会等）による「協働のまちづくり」を進めるうえで、取り組む活動には何が良いと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

□　「高齢者や障がい者の見守り・安否確認」が 54.9%で最も多い

「協働のまちづくり」を進めるうえで取り組む活動については、「高齢者や障がい者の見守り・安否確認」が 54.9%で最も多く、次いで「移動・外出、買い物等に困っている方への支援」（43.8%）、「防犯や防災に関すること」（41.7%）となっています。

図表 80 「協働のまちづくり」を進めるうえで取り組むべき活動（全体）



図表 81 「協働のまちづくり」を進めるうえで取り組むべき活動（行政区）

（%）

	布土	時志	北方	浦戸	河和	古布	矢梨	切山	小野浦	細目
調査数(人)	136	11	69	14	238	35	31	8	12	11
高齢者や障がい者の見守り･安否確認	54.4	54.5	49.3	64.3	54.2	51.4	67.7	50.0	66.7	63.6
移動･外出、買い物等に困っている方への支援	44.9	18.2	31.9	14.3	41.2	42.9	41.9	50.0	66.7	36.4
子育て中の方への支援(声掛け、居場所づくり等)	25.7	27.3	40.6	14.3	34.0	25.7	32.3	25.0	25.0	27.3
高齢者や障がい者の居場所づくり	39.7	36.4	30.4	50.0	41.2	45.7	51.6	25.0	41.7	18.2
防犯や防災に関すること	42.6	45.5	42.0	21.4	46.6	28.6	45.2	37.5	41.7	72.7
環境美化に関すること	19.9	18.2	21.7	－	21.4	20.0	19.4	12.5	8.3	－
地域の行事など、地域住民の交流に関すること	16.9	9.1	17.4	21.4	18.1	25.7	29.0	25.0	16.7	27.3
その他	2.9	－	1.4	7.1	2.9	2.9	6.5	－	－	－
無回答	7.4	9.1	8.7	14.3	6.3	5.7	6.5	－	25.0	－

	一色	柿並	若松	奥田南	奥田中	奥田北	上野間	美浜緑苑	その他
調査数(人)	16	60	24	67	21	47	80	71	11
高齢者や障がい者の見守り･安否確認	56.3	61.7	45.8	52.2	57.1	61.7	58.8	45.1	54.5
移動･外出、買い物等に困っている方への支援	50.0	46.7	45.8	41.8	33.3	48.9	45.0	60.6	54.5
子育て中の方への支援(声掛け、居場所づくり等)	25.0	21.7	33.3	28.4	28.6	29.8	31.3	38.0	27.3
高齢者や障がい者の居場所づくり	18.8	31.7	29.2	41.8	52.4	51.1	32.5	43.7	27.3
防犯や防災に関すること	43.8	41.7	45.8	40.3	52.4	40.4	37.5	32.4	45.5
環境美化に関すること	6.3	13.3	12.5	23.9	14.3	21.3	20.0	16.9	9.1
地域の行事など、地域住民の交流に関すること	6.3	11.7	16.7	13.4	19.0	10.6	11.3	9.9	18.2
その他	－	5.0	4.2	4.5	－	2.1	－	4.2	－
無回答	12.5	3.3	8.3	14.9	－	4.3	8.8	2.8	－

7．　地域活動について

7－1　地域活動への協力の可否

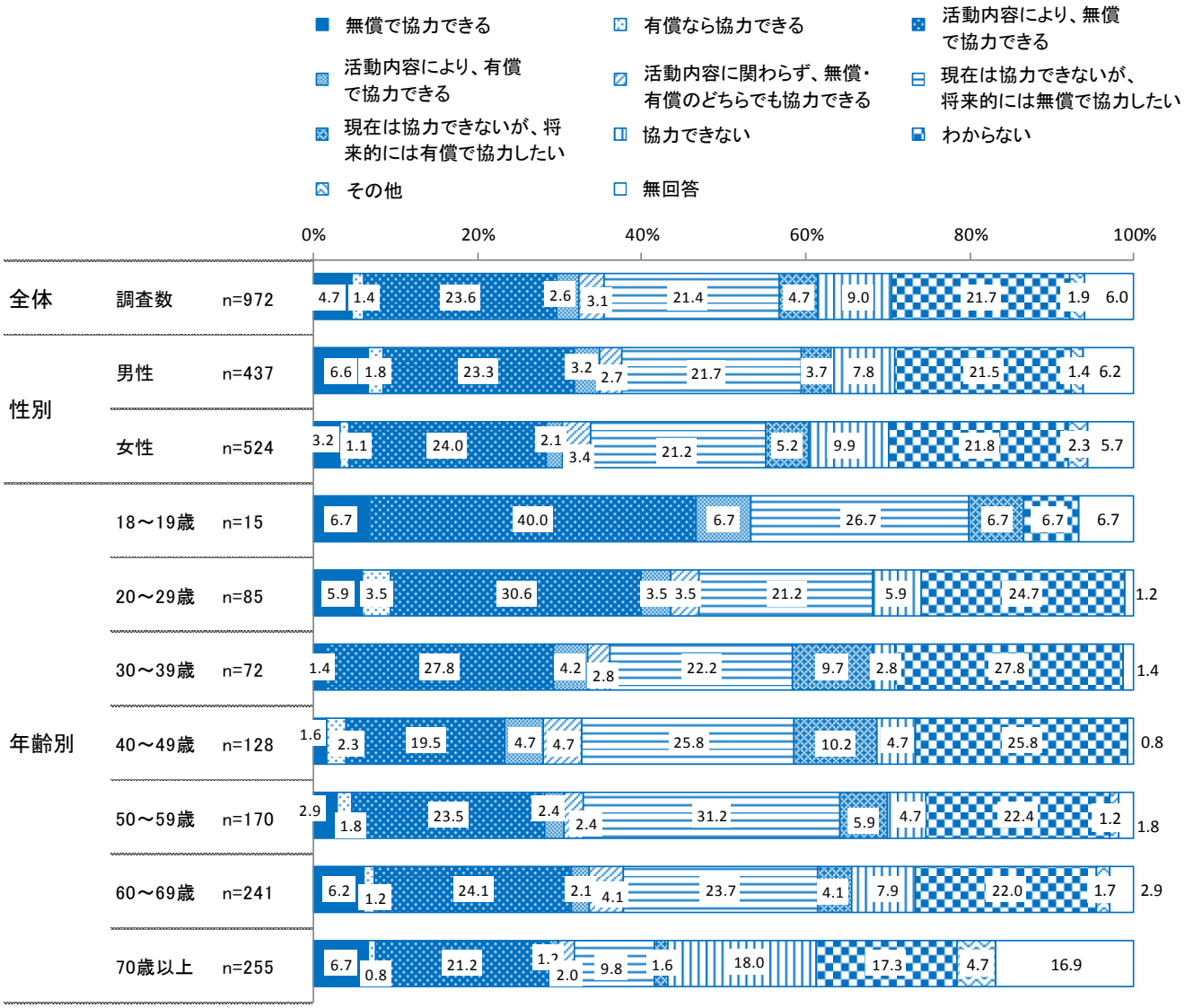
問 29　地域活動に協力できるかについてお聞かせください。（1 つに○）

□　「活動内容により、無償で協力できる」が 23.6%で最も多い

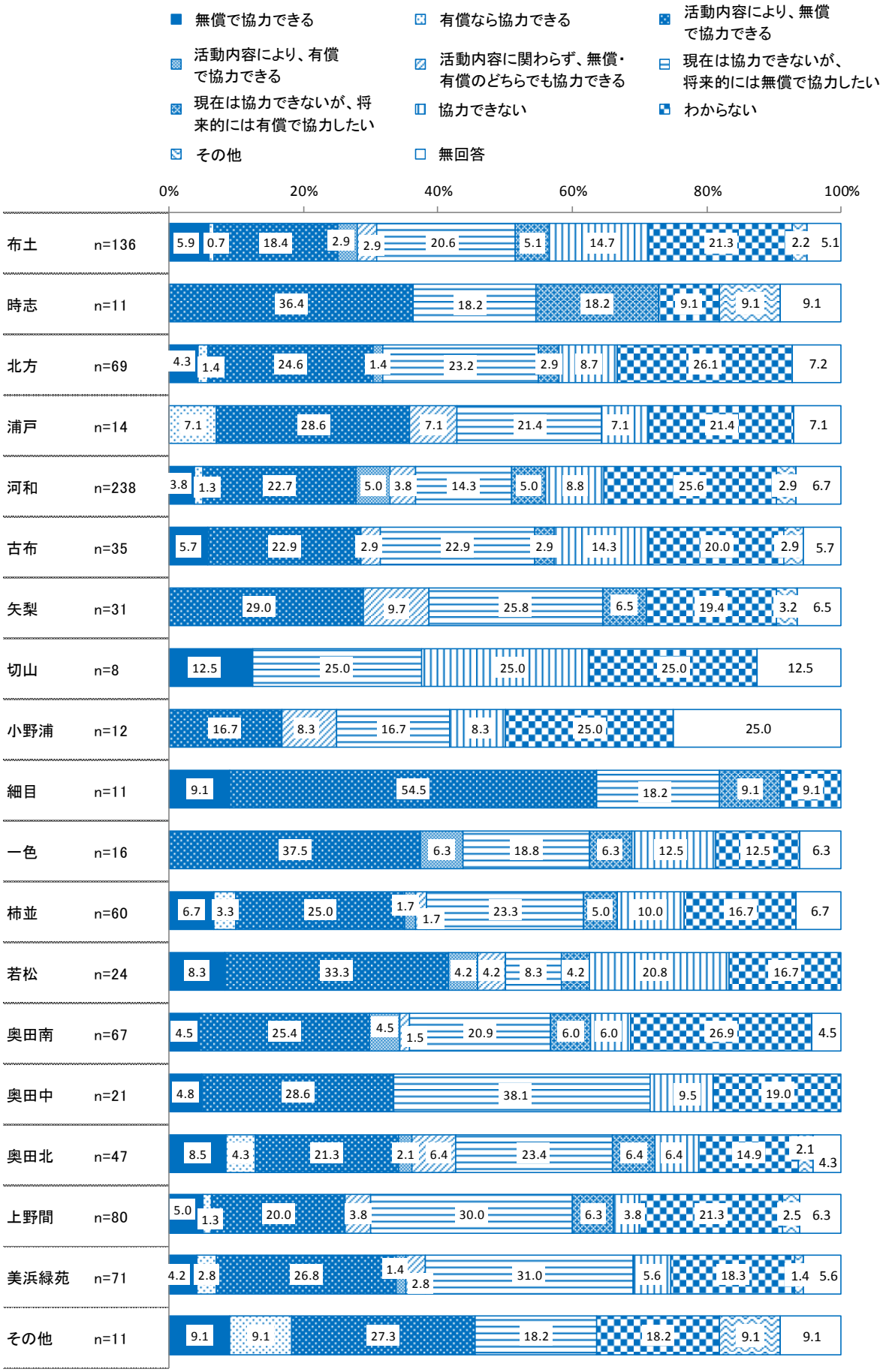
地域活動への協力の可否については、「活動内容により、無償で協力できる」が 23.6%で最も多く、次いで「わからない」（21.7%）、「現在は協力できないが、将来的には無償で協力したい」（21.4%）、「協力できない」（9.0%）となっています。

行政区別でみると、「活動内容により、無償で協力できる」と回答した人が多かったのは、“細目”（54.1%）、“一色”（37.5%）、“時志”（36.4%）となっています。

図表 82　地域活動への協力の可否（全体）



図表 83 地域活動への協力の可否（行政区）

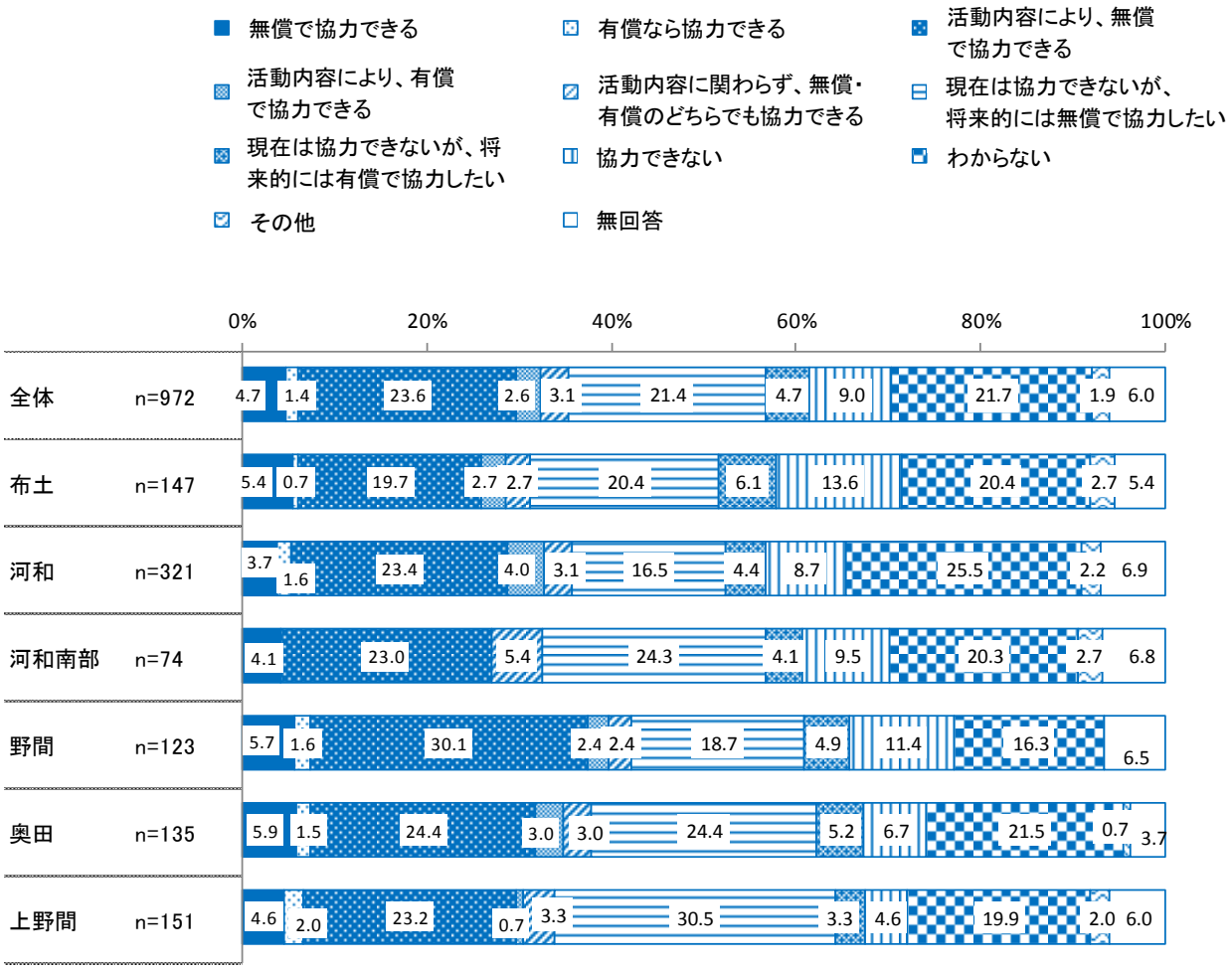


地域活動への協力の可否について小学校区別でみると、「活動内容により、無償で協力できる」と回答した人が最も多かったのは“野間”(30.1%)で３割以上となっており、次いで“奥田”(24.4%)、“河和”(23.4%)、“上野間”(23.2%)が多くなっています。また、「現在は協力できないが、将来的には無償で協力したい」と回答した人が最も多かったのは“上野間”(30.5%)で３割以上となっており、次いで“奥田(24.4%)、”河和南部“(24.3%)、”布土“(20.4%)が多くなっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、”布土“(13.6%)、”野間“(11.4%)で１割以上となっています。

また、「わからない」と回答した人は、“河和”(25.5%)、“奥田”(21.5%)、“布土”(20.4%)、“河和南部”(20.3%)で２割以上となっています。

図表 84　地域活動への協力の可否(小学校区)



7－2　協力可能な活動

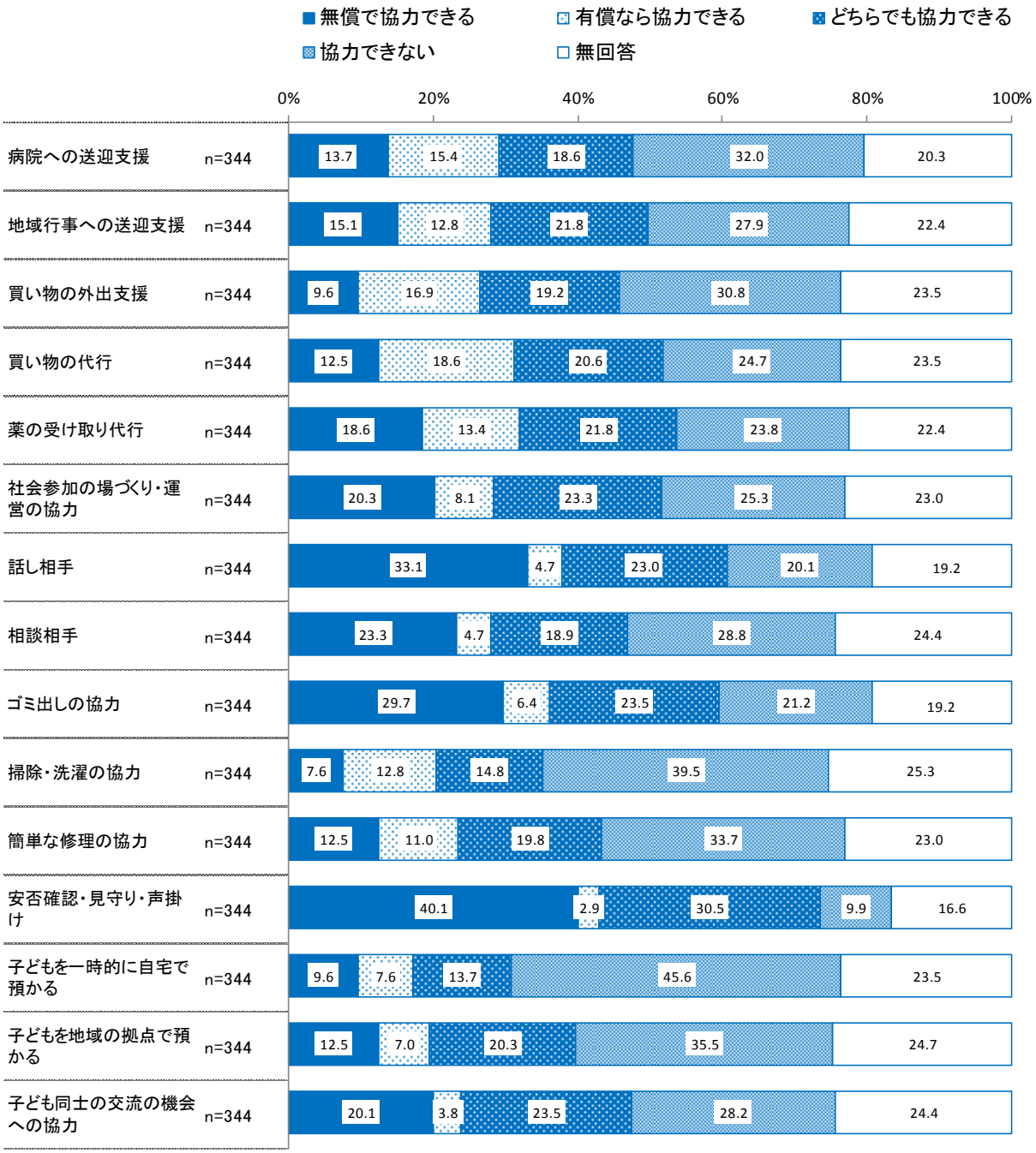
問 29-1　下記の(ア)～(ソ)の活動の中で、あなたが協力できそうな活動に○を付けてください。
（最も当てはまる数字 1 つずつに○）

□　「安否確認・見守り・声掛け」「話し相手」「ゴミ出しの協力」が多い

無償で協力できる活動としては「安否確認・見守り・声掛け」「話し相手」「ゴミ出しの協力」、有償なら協力できる活動としては「買い物の代行」「買い物の外出支援」「病院への送迎支援」が多くなっています。

一方で、協力できない活動としては、「子どもを一時的に自宅で預かる」「掃除・洗濯の協力」「子どもを地域の拠点で預かる」が多くなっています。

図表 85　協力可能な活動(全体)



病院への送迎支援

□　『協力できる』と回答した人が最も多いのは“30～39 歳”

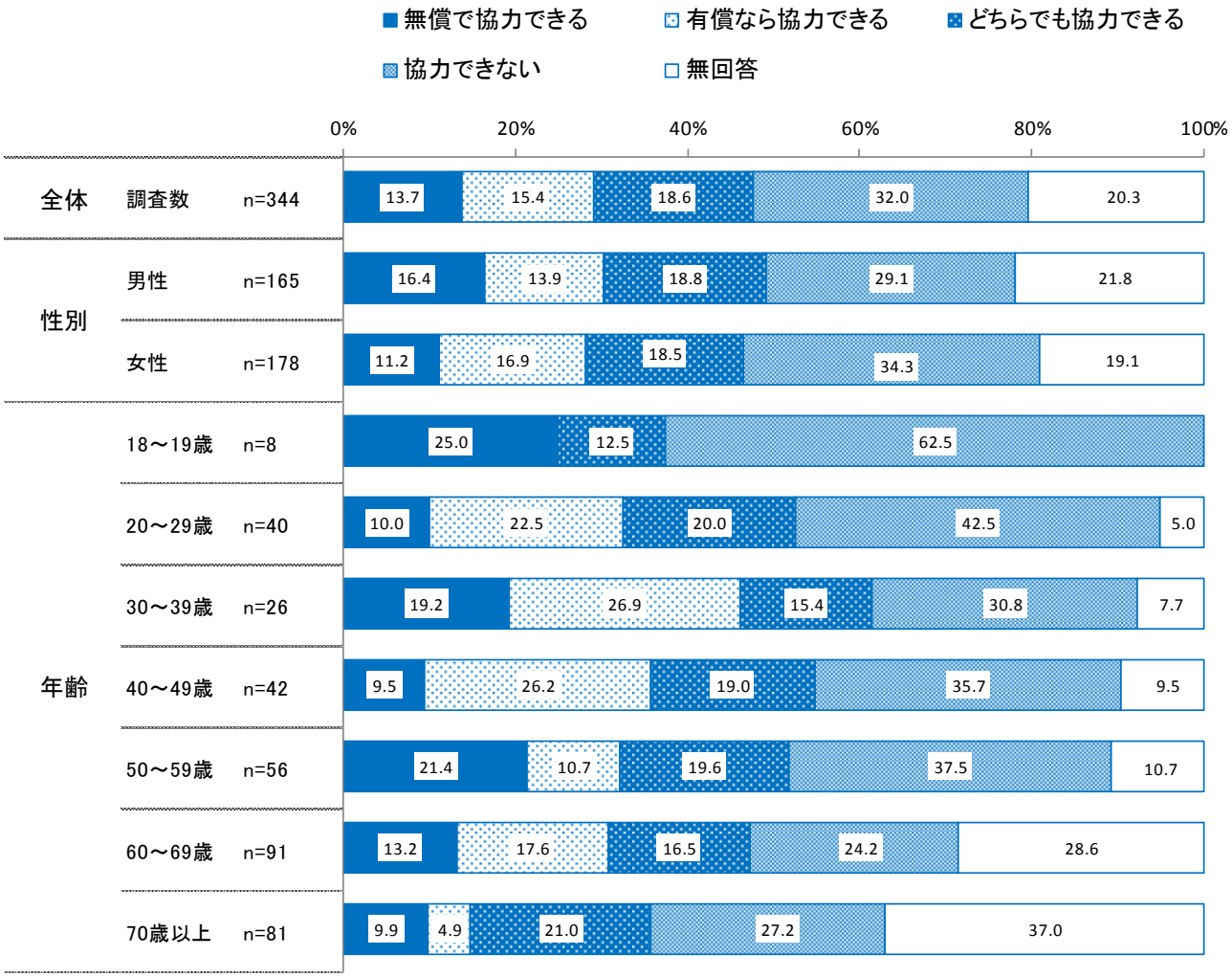
病院への送迎支援について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 49.1%、“女性”が 46.6%で半数近くの人が協力できると考えています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人が最も多かったのは“30～39 歳”の 61.5%で、次いで“40～49 歳”(54.7%)、“20～29 歳”(52.5%)となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は“男性”が 29.1%、“女性”が 34.3%でやや女性のほうがが多くなっています。年齢別では“18～19 歳”が 62.5%と最も多く、次いで“20～29 歳”(42.5%)、“50～59 歳”(37.5%)となっています。

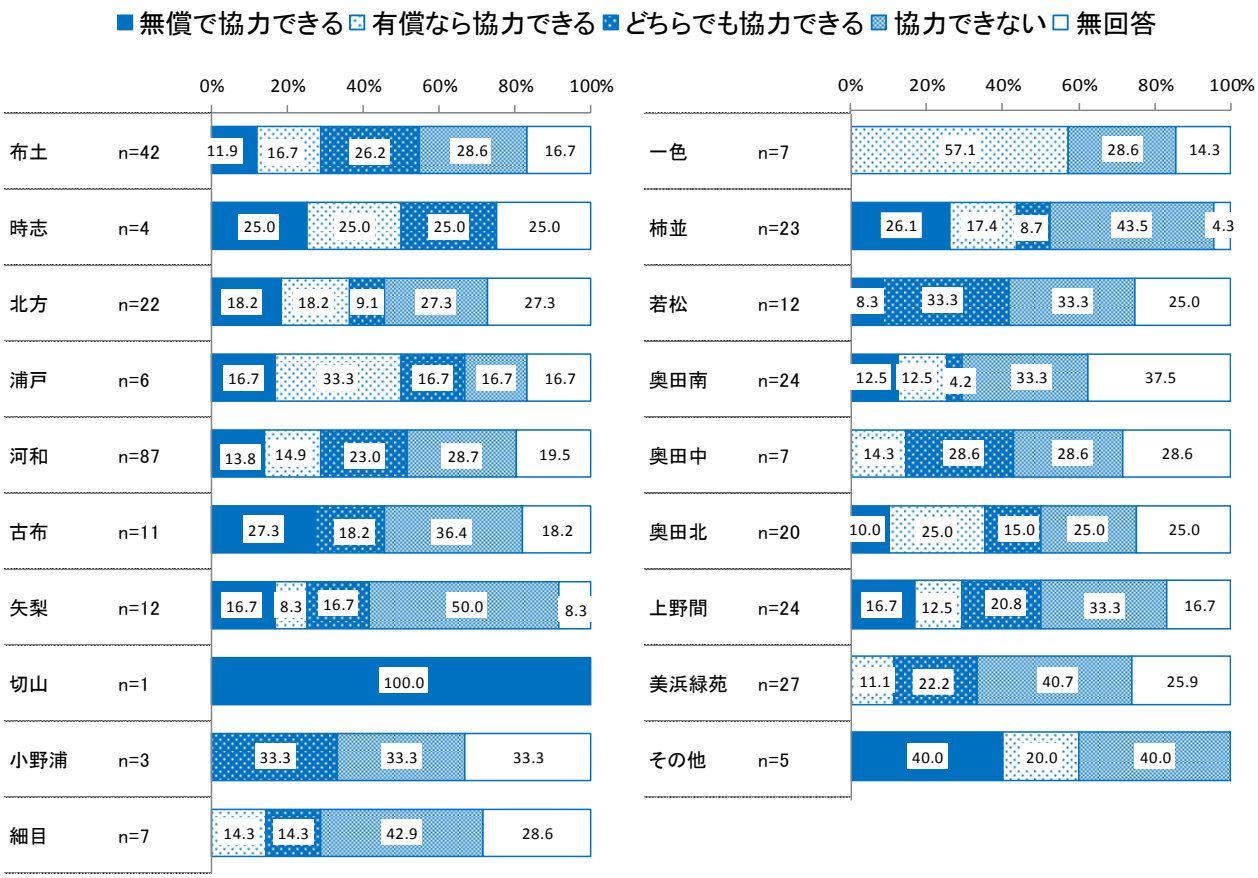
行政区別でみると、“切山”(100.0%)、“時志”(75.0%)、“浦戸”(66.7%)などで『協力できる』と回答した人が多くなっていますが、一方で“矢梨”では「協力できない」と回答した人が 50.0%となっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“布土”(56.5%)、“河和”(51.3%)で５割以上となっています。一方で、「協力できない」と回答した人は“河和南部”(41.7%)で多くなっています。

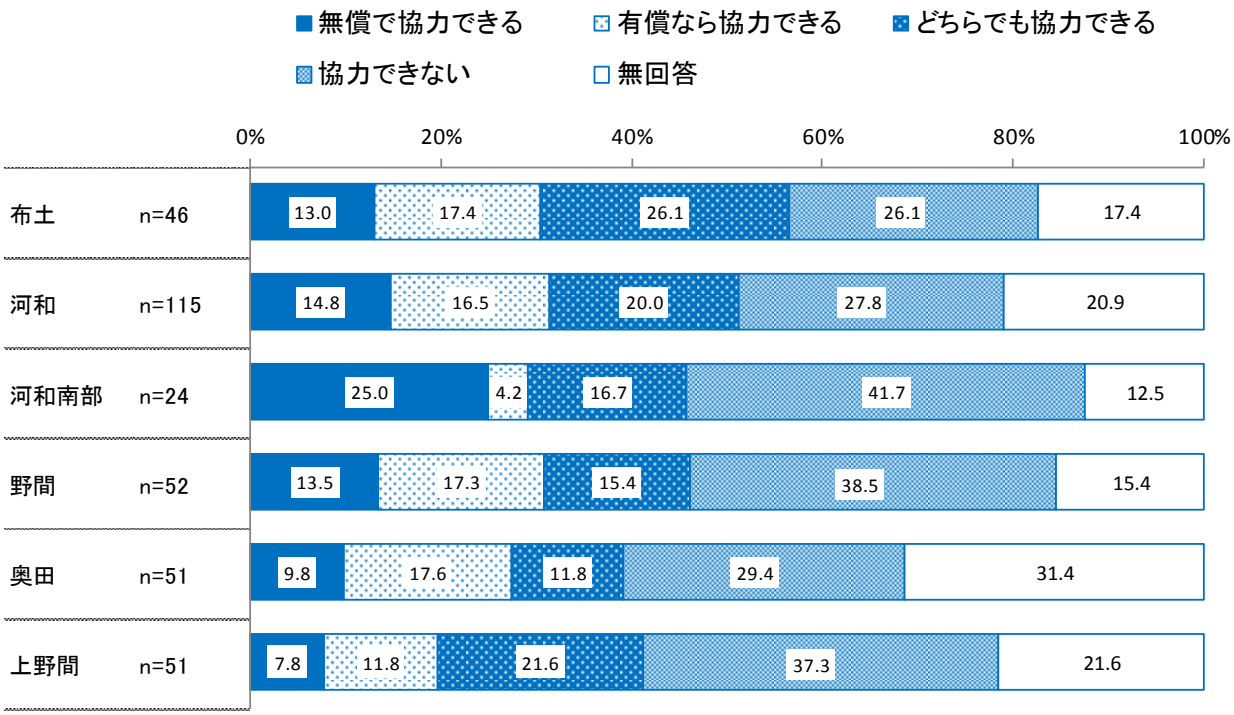
図表 86　病院への送迎支援(全体･性別･年齢別)



図表 87 病院への送迎支援（行政区）



図表 88 病院への送迎支援（小学校区）



地域行事への送迎支援

□　“30～39 歳”の 7 割以上が『協力できる』と回答している

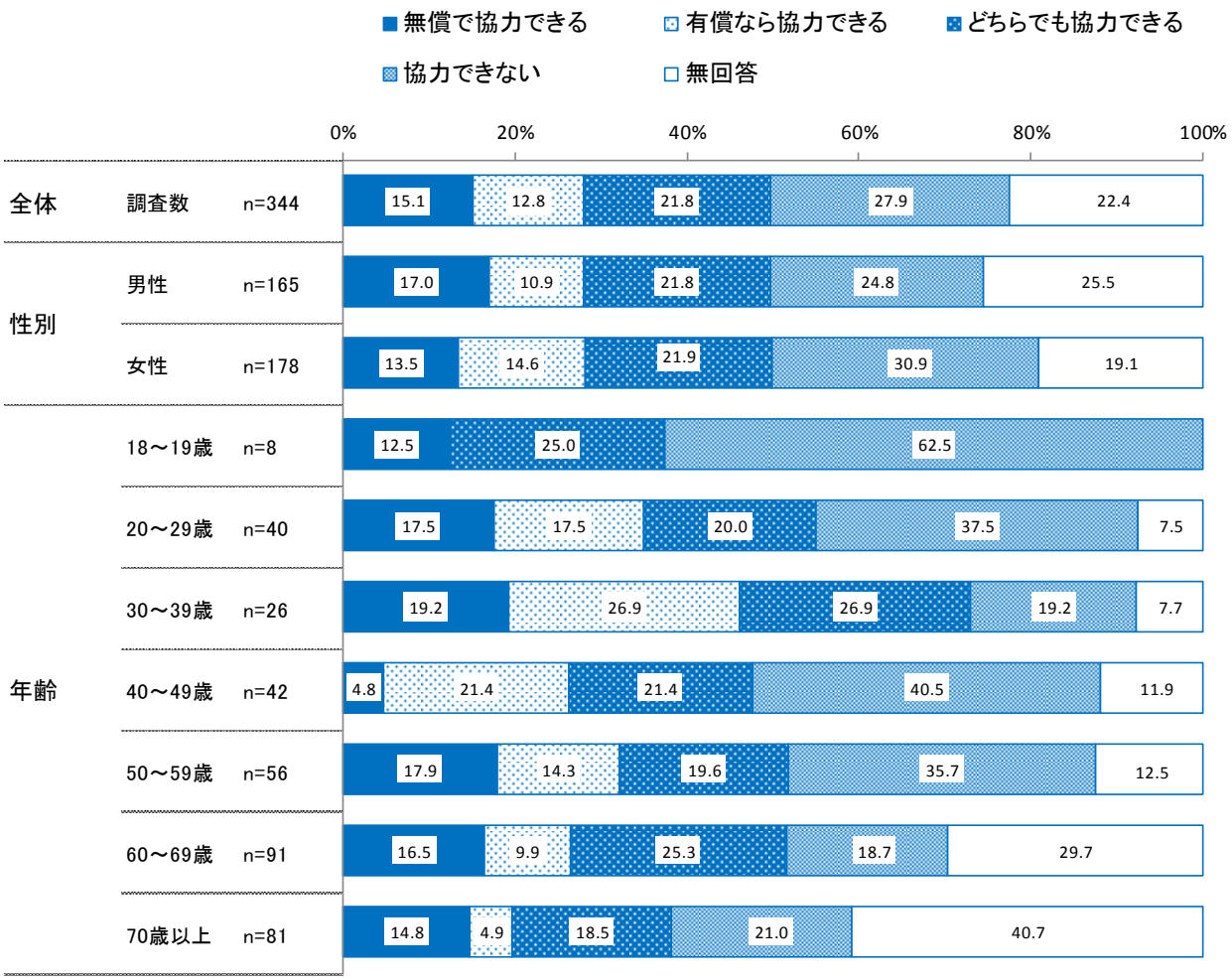
地域行事への送迎支援について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 49.7%、“女性”が 50.0%とほぼ同じ割合となっています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人は“30～39 歳”が 73.0%と最も多く、次いで“20～29 歳”（55.0%）、“50～59 歳”（51.8%）、“60～69 歳”（51.7%）となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、“男性”が 24.8%、“女性”が 30.9%で女性のほうが高い割合となっています。年齢別でみると、“18～19 歳”が 62.5%と最も多く、次いで“40～49 歳”（40.5%）、“20～29 歳”（37.5%）となっています。

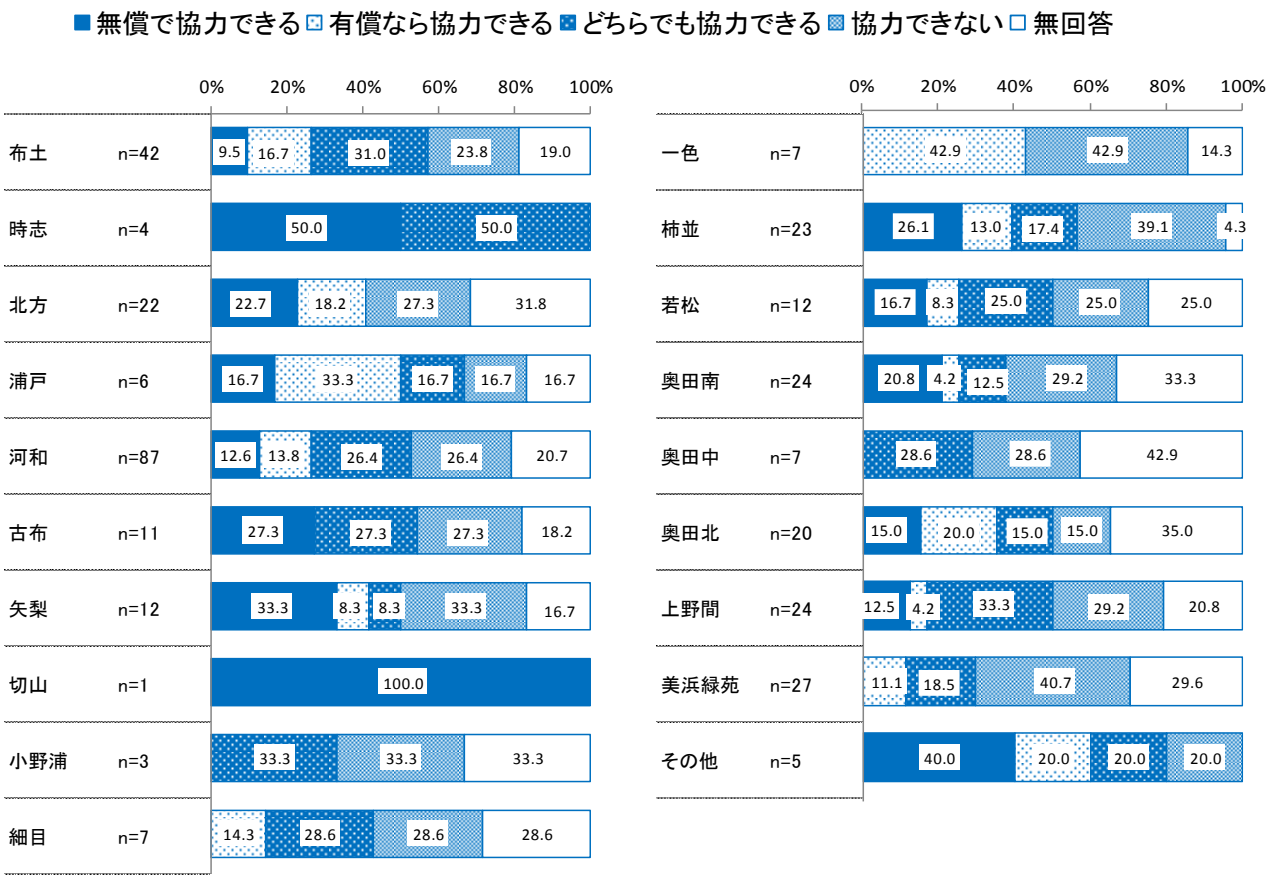
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“時志”“切山”（100.0%）、“浦戸”（66.7%）などで多くなっていますが、一方で“一色”（42.9%）、“美浜緑苑”（40.7%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“布土”（60.8%）、“河和南部”（54.2%）、“河和”（51.4%）で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は“上野間”（35.3%）、“野間”（34.6%）で多くなっています。

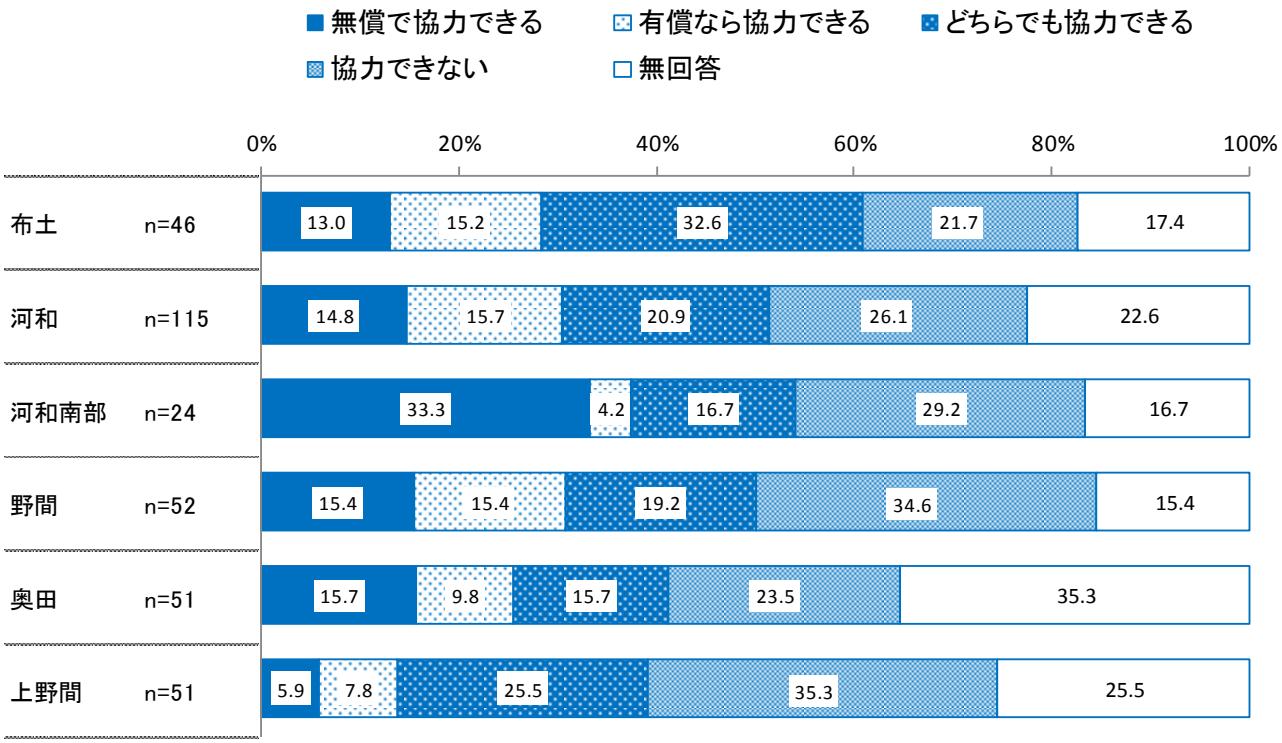
図表 89　地域行事への送迎支援（全体･性別･年齢別）



図表 90 地域行事への送迎支援(行政区)



図表 91 地域行事への送迎支援(小学校区)



買い物の外出支援

□　『協力できる』と回答した人が最も多いのは“30～39 歳”

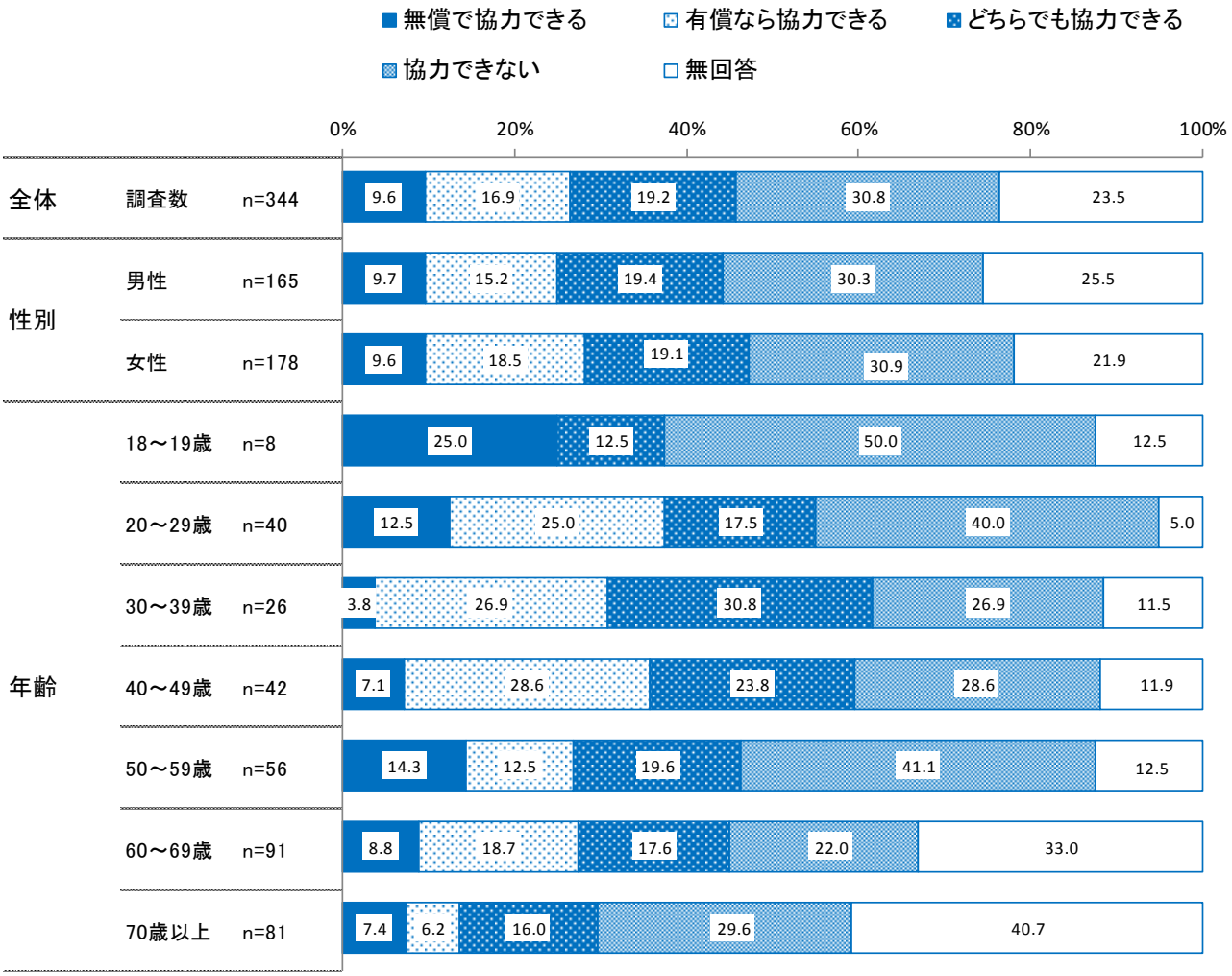
買い物の外出支援について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 44.3%、“女性”が 47.2%となっています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人は“30～39 歳”が 61.5%と最も多く、次いで“40～49 歳”（59.5%）、“20～29 歳”（55.0%）となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は“18～19 歳”（50.0%）、“50～59 歳”（41.1%）、“20～29 歳”（40.0%）となっています。

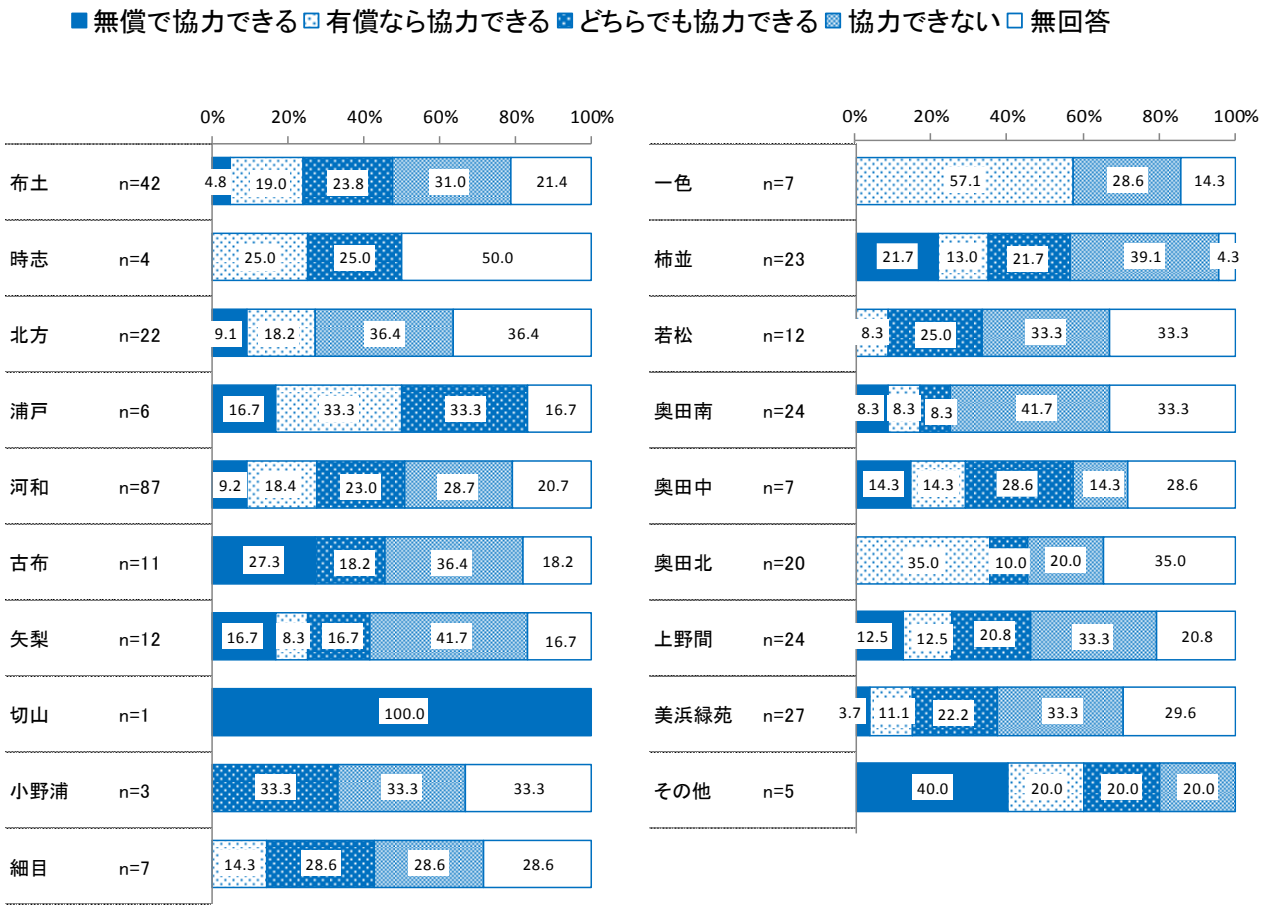
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“時志”“切山”（100.0%）、“奥田中”（57.2%）、“一色”（57.1%）などで多くなっていますが、一方で“矢梨”“奥田南”（41.7%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“野間”（48.1%）、“布土”“河和”（47.8%）で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“河和南部”（37.5%）で多くなっています。

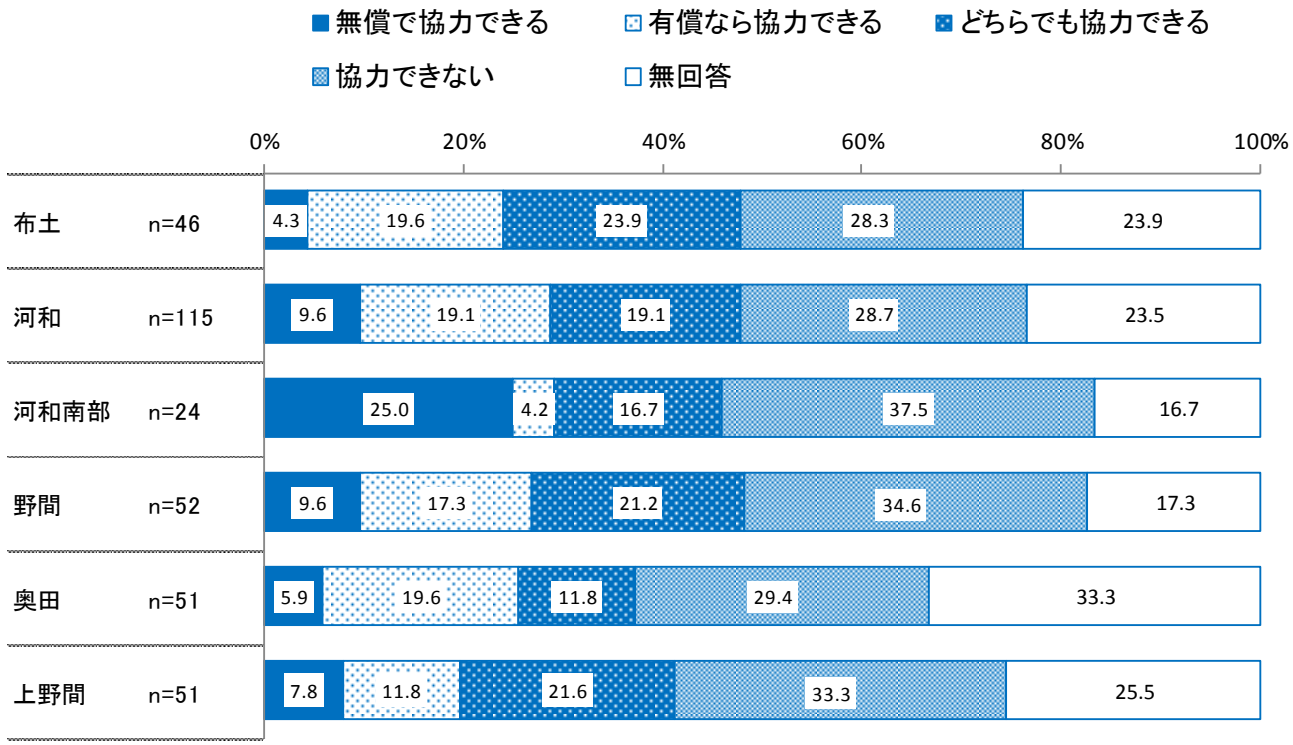
図表 92　買い物の外出支援（全体･性別･年齢別）



図表 93 買い物の外出支援（行政区）



図表 94 買い物の外出支援（小学校区）



買い物の代行

□　“30～39 歳”の 8 割以上が『協力できる』と回答している

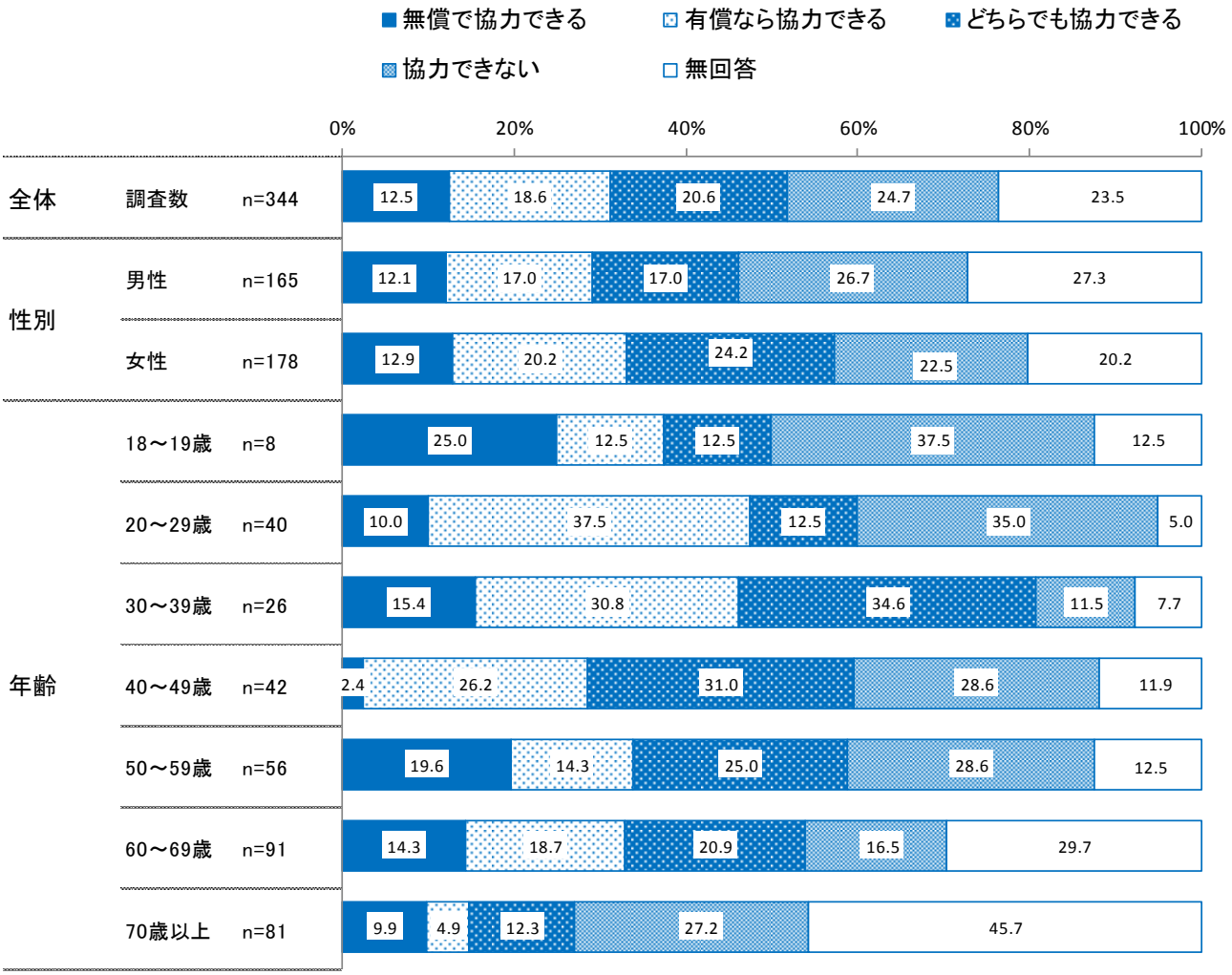
買い物の代行について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 46.1%、“女性”が 57.3%と、女性のほうが男性よりも多くなっています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人が最も多いのは“30～39 歳”（80.8%）で、8 割を超えており、次いで“20～29 歳”（60.0%）、“40～49 歳”となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、“18～19 歳”（37.5%）が最も多く、次いで“20～29 歳”（35.0%）、“40～49 歳”“50～59 歳”（28.6%）となっています。

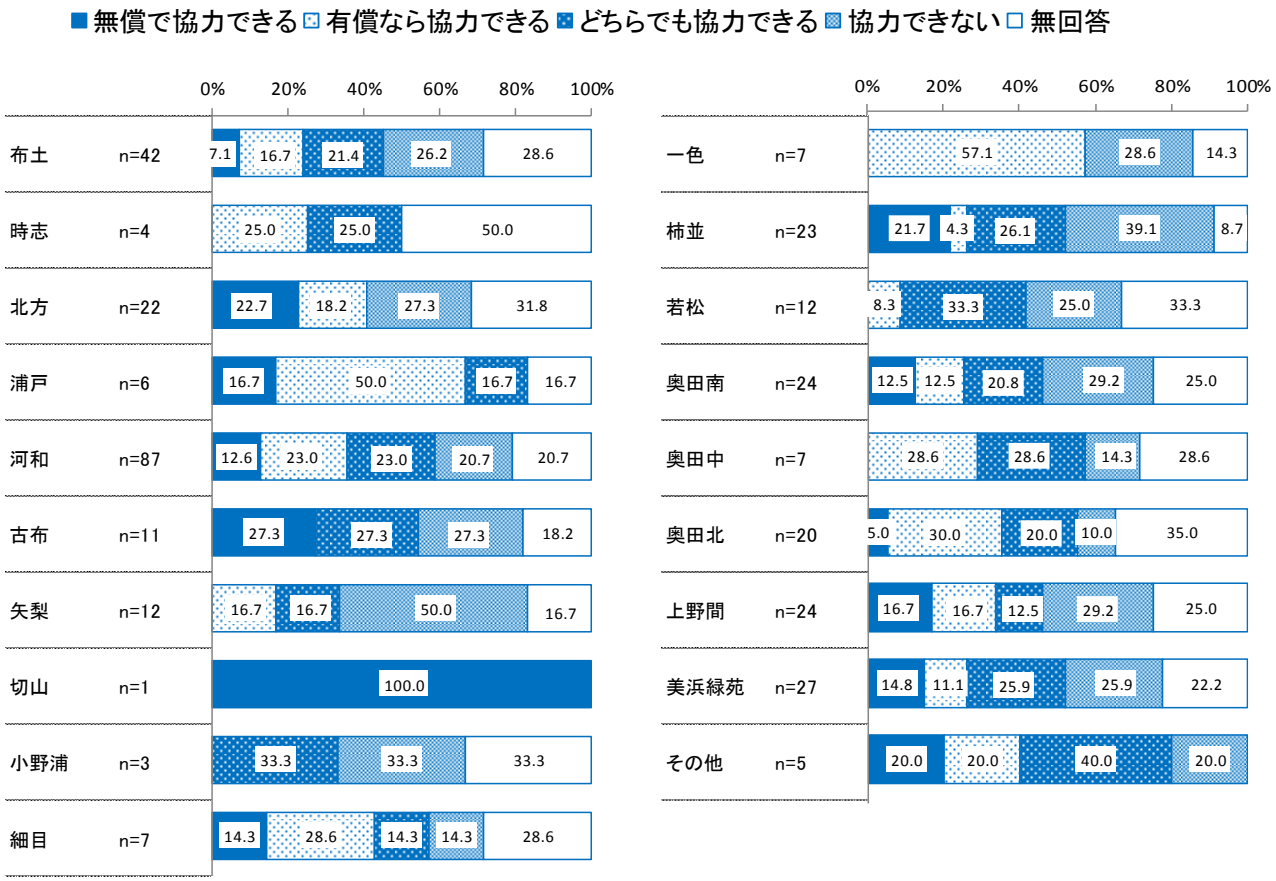
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”（100.0%）、“浦戸”（83.4%）などで多くなっていますが、一方で“矢梨”（50.0%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“河和”（56.6%）、“奥田”（51.0%）、“野間”（50.0%）で 5 割を超えています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“河和南部”（37.5%）で多くなっています。

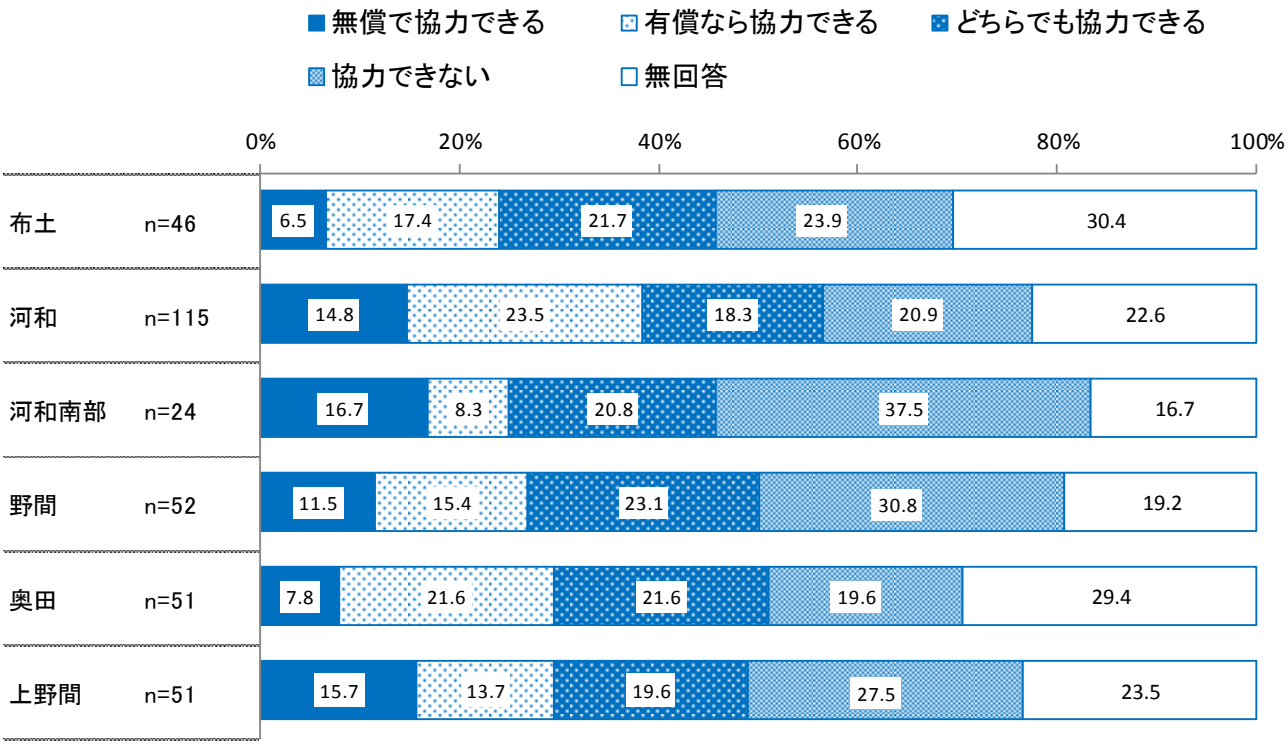
図表 95　買い物の代行（全体･性別･年齢別）



図表 96 買い物の代行（行政区）



図表 97 買い物の代行（小学校区）



薬の受け取り代行

■　女性の 6 割以上が『協力できる』と回答している

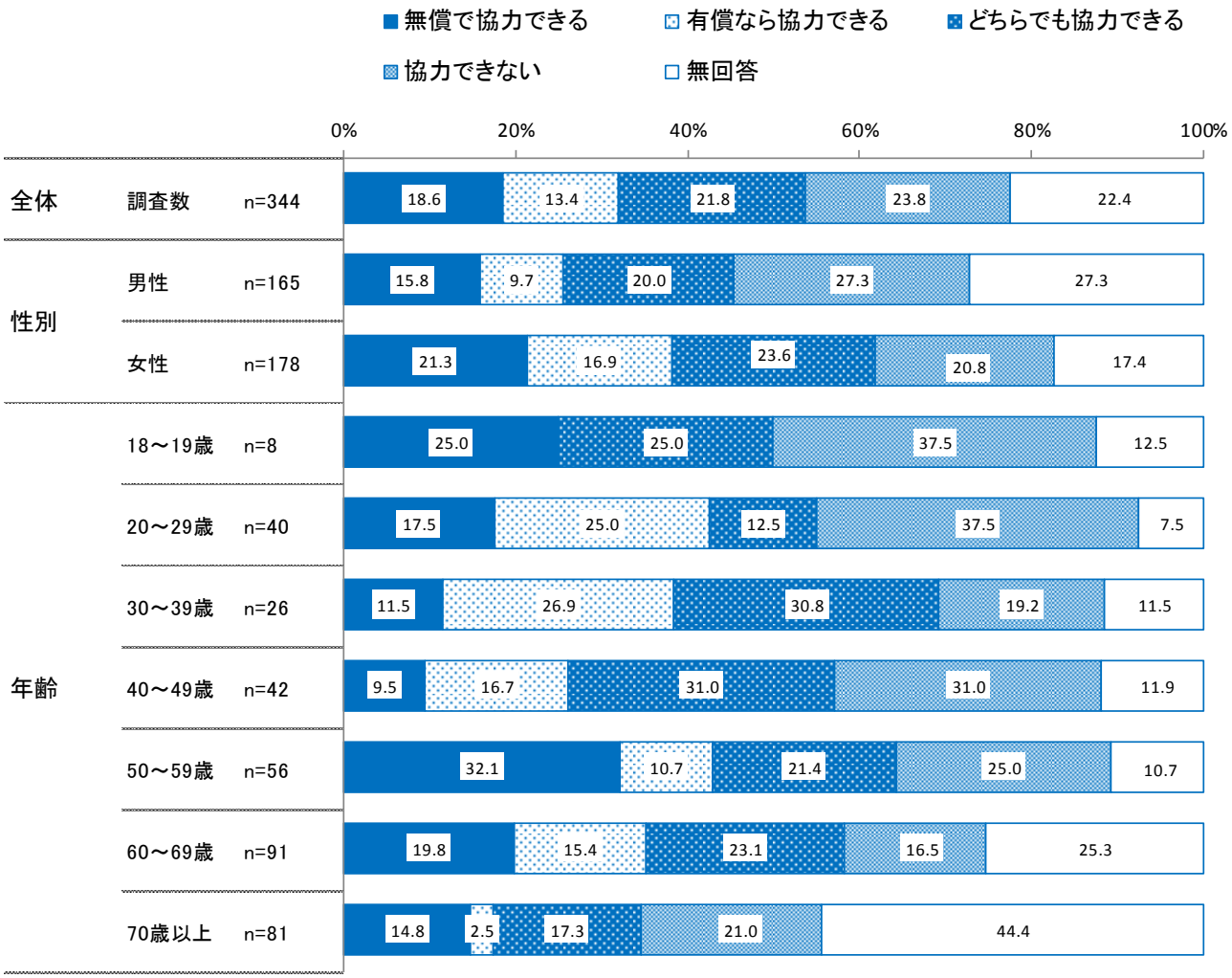
薬の受け取り代行について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 45.5%、“女性”が 61.8%となっており、女性のほうが男性よりも高い割合となっています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人は“30～39 歳”が 69.2%と最も多く、次いで“50～59 歳”（64.2%）、“60～69 歳”（58.3%）となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、“18～19 歳”“20～29 歳”（37.5%）が最も多く、次いで“40～49 歳”（31.0%）となっています。

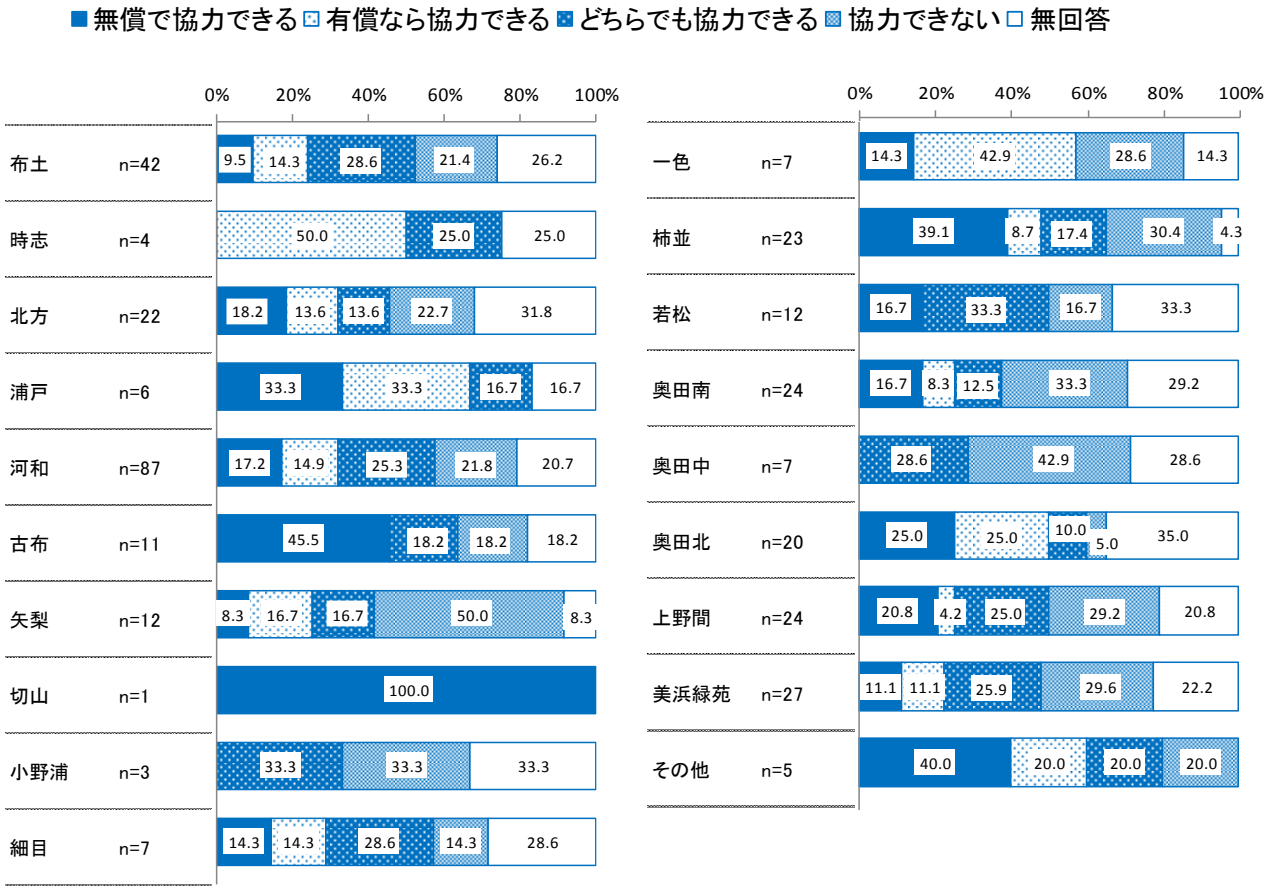
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”（100.0%）、“浦戸”（83.3%）、“時志”（75.0%）などで多くなっていますが、一方で“矢梨”（50.0%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“野間”（57.7%）、“河和”（56.6%）、“布土”（54.4%）で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“河和南部”（33.3%）、“上野間”（29.4%）で多くなっています。

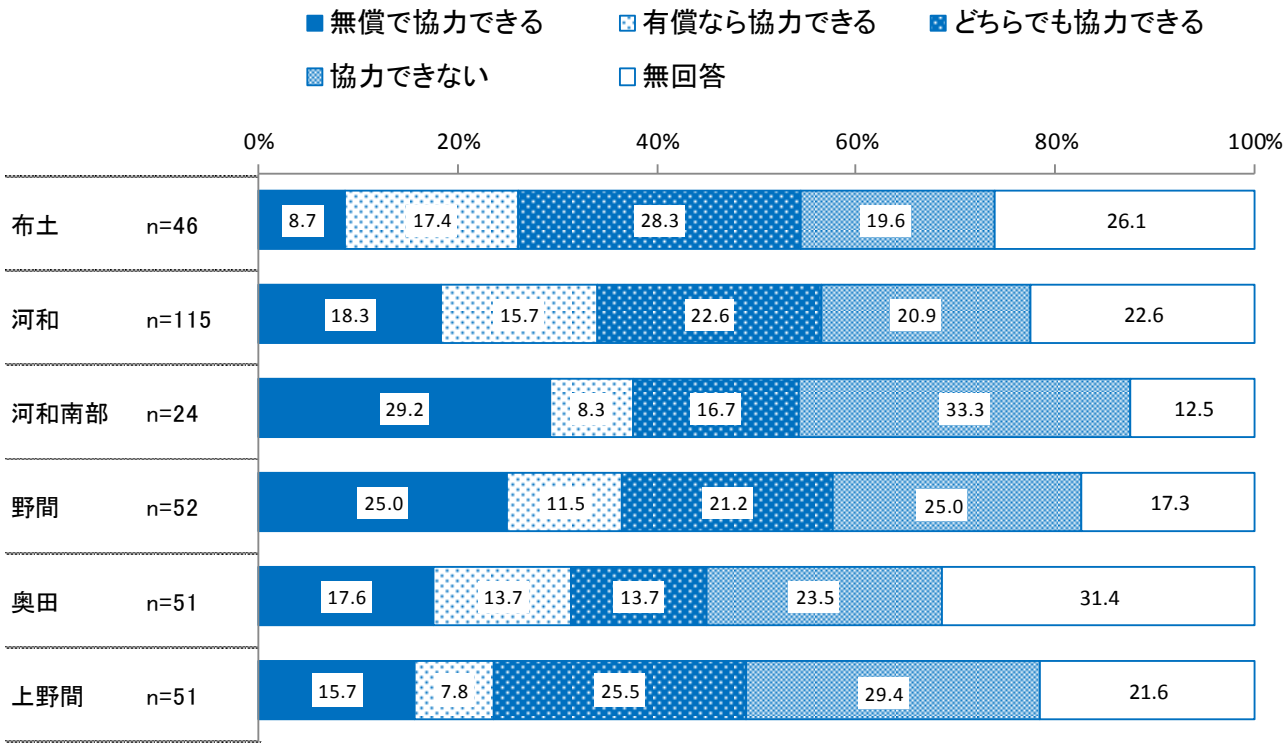
図表 98　薬の受け取り代行（全体･性別･年齢別）



図表 99 薬の受け取り代行（行政区）



図表 100 薬の受け取り代行（小学校区）



社会参加の場づくり・運営の協力

□　『協力できる』と回答した人が多いのは 18 歳～30 歳代

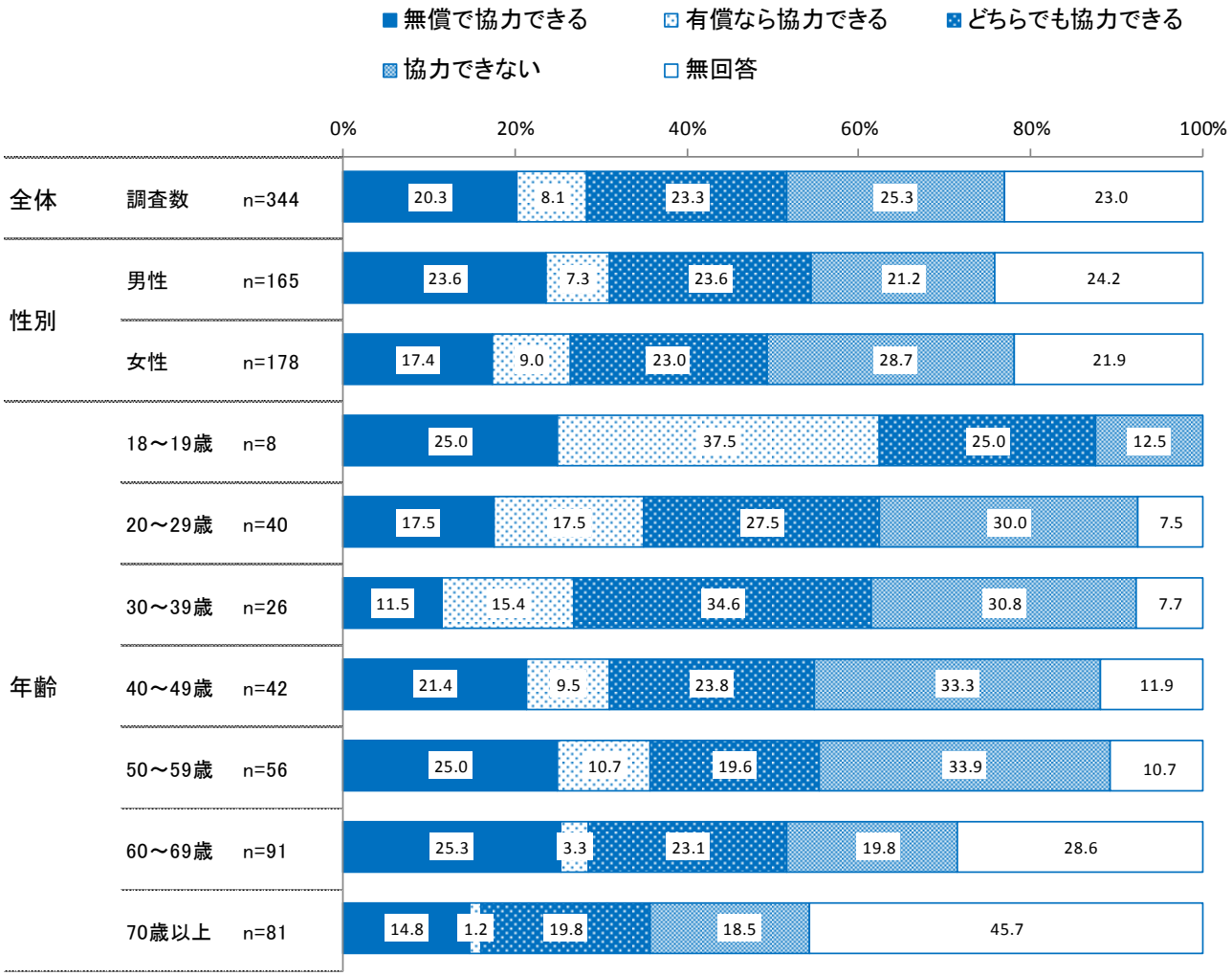
社会の場づくり・運営の協力について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 54.5%、“女性”が 49.4%で男性の割合のほうが女性よりも高くなっています。年齢別でみると、“18～19 歳”が 87.5%と最も多く、次いで“20～29 歳”（62.5%）、“30～39 歳”（61.5%）となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、“50～59 歳”が 33.9%と最も多く、次いで“40～49 歳”（33.3%）、“20～29 歳”（30.8%）となっています。

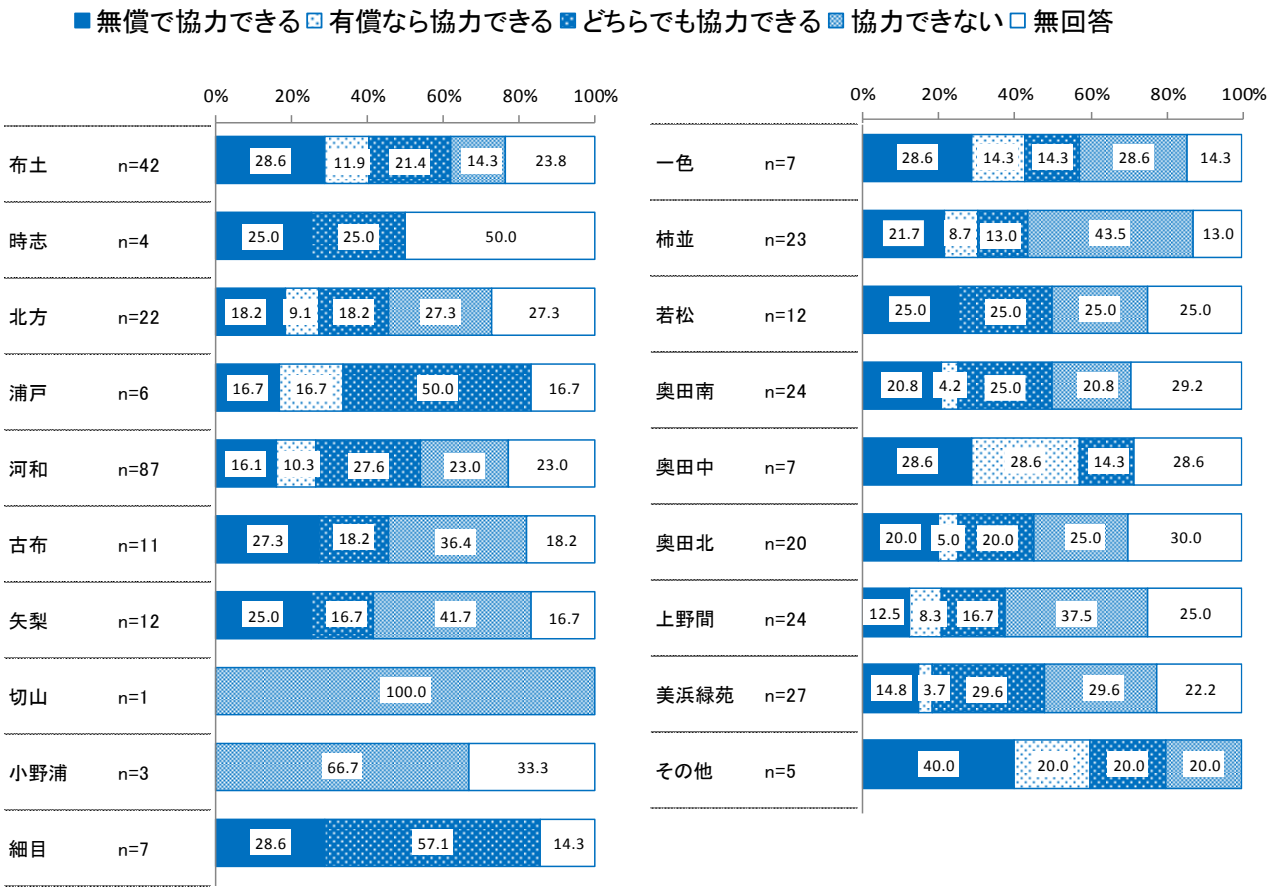
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“細目”（85.7%）、“浦戸”（83.4%）、“奥田中”（71.5%）などで多くなっていますが、一方で“切山”（100.0%）、“小野浦”（66.7%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“布土”（60.9%）、“河和”（53.9%）、“奥田”（51.0%）で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“河和南部”（41.7%）が４割を超えています。

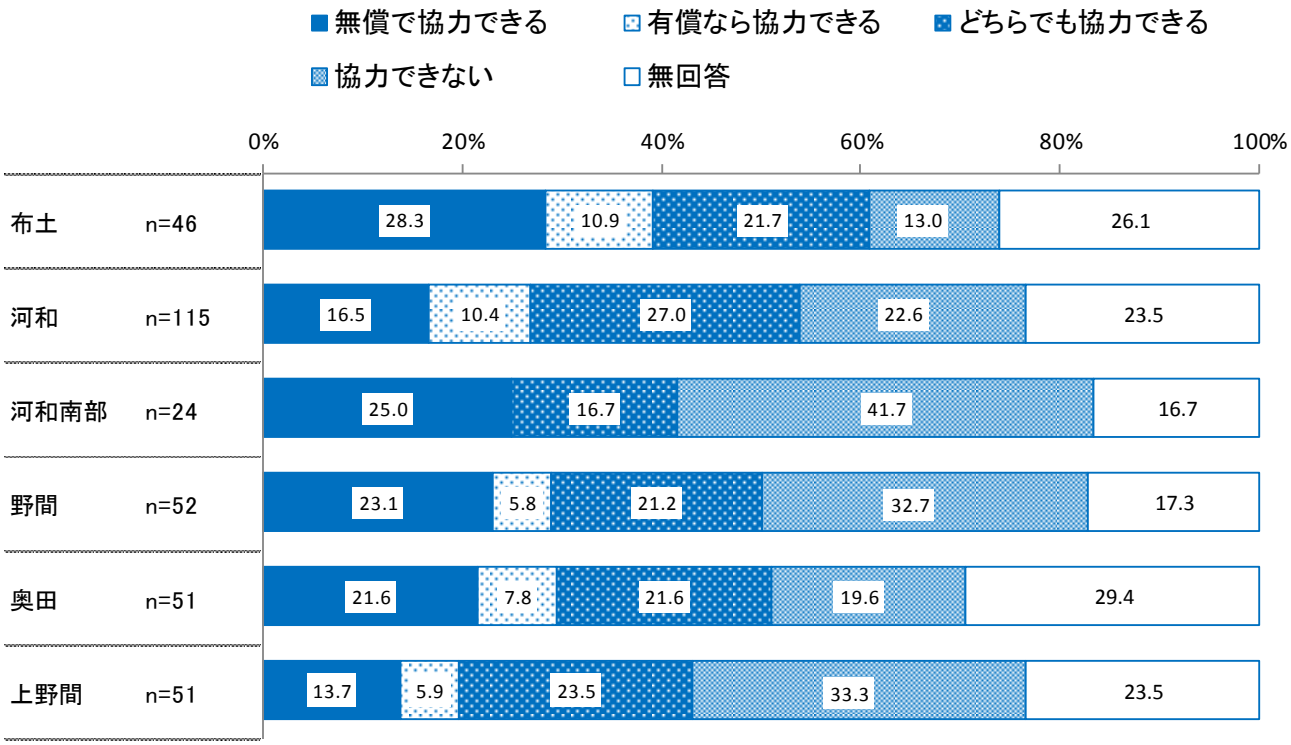
図表 101　社会参加の場づくり･運営の協力（全体･性別･年齢別）



図表 102 社会参加の場づくり･運営の協力（行政区）



図表 103 社会参加の場づくり･運営の協力（小学校区）



話し相手

■　『協力できる』と回答した人は 18 歳～30 歳代の若い世代が多い

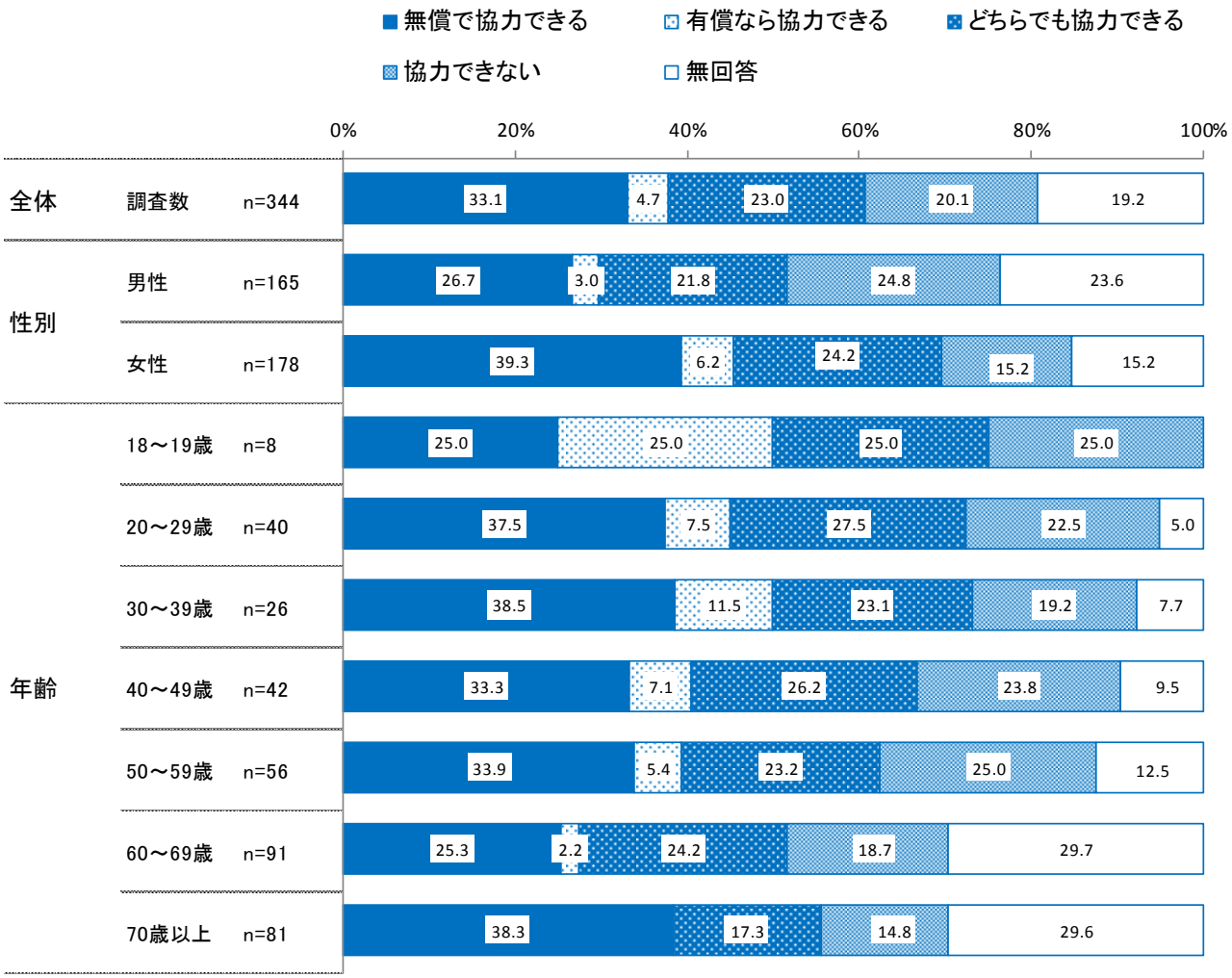
話し相手について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 51.5%、“女性”が 69.7%で、女性の割合が男性を上回っています。年齢別でみると、“18～19 歳”が 75.0%と最も多く、次いで“30～39 歳”(73.1%)、“20～29 歳”(72.5%) となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、“18～19 歳”“50～59 歳”が 25.0%と最も多く、次いで“40～49 歳”(23.8%) となっています。

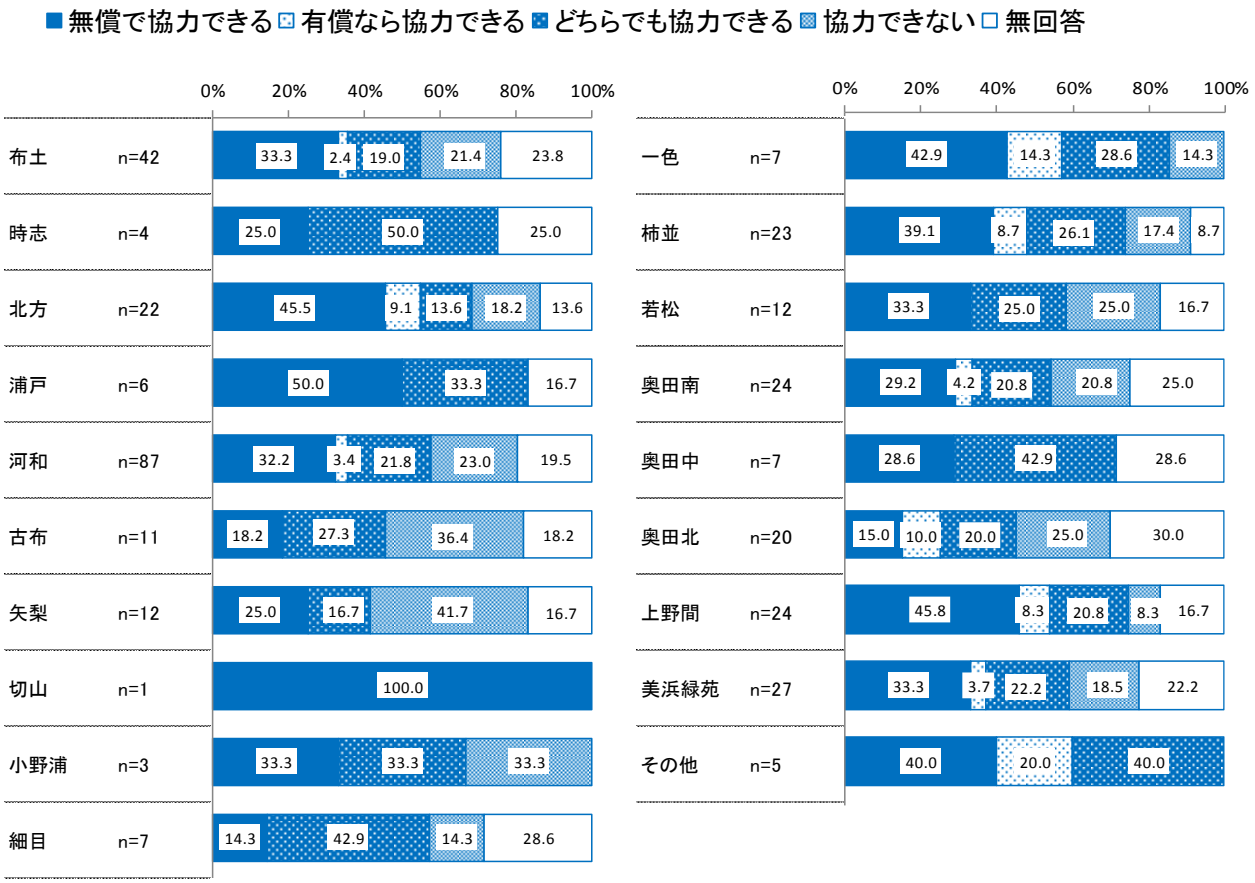
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”(100.0%)、“浦戸”(83.3%)、“一色”(85.8%) などで多くなっていますが、一方で“矢梨”(41.7%) では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“野間”(69.2%)、“上野間”(66.7%)、“河和”(60.9%) で６割を超えています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“河和南部”(37.5%) で４割弱となっています。

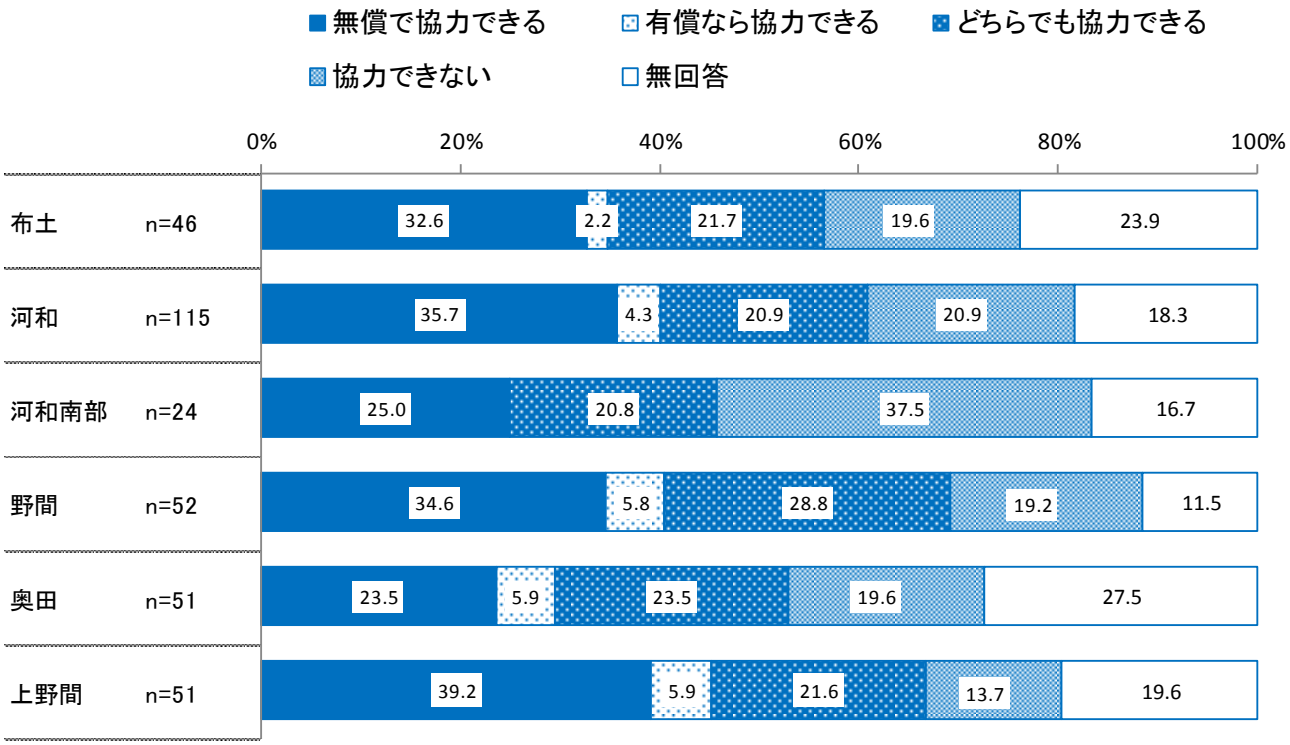
図表 104　話し相手（全体･性別･年齢別）



図表 105 話し相手（行政区）



図表 106 話し相手（小学校区）



相談相手

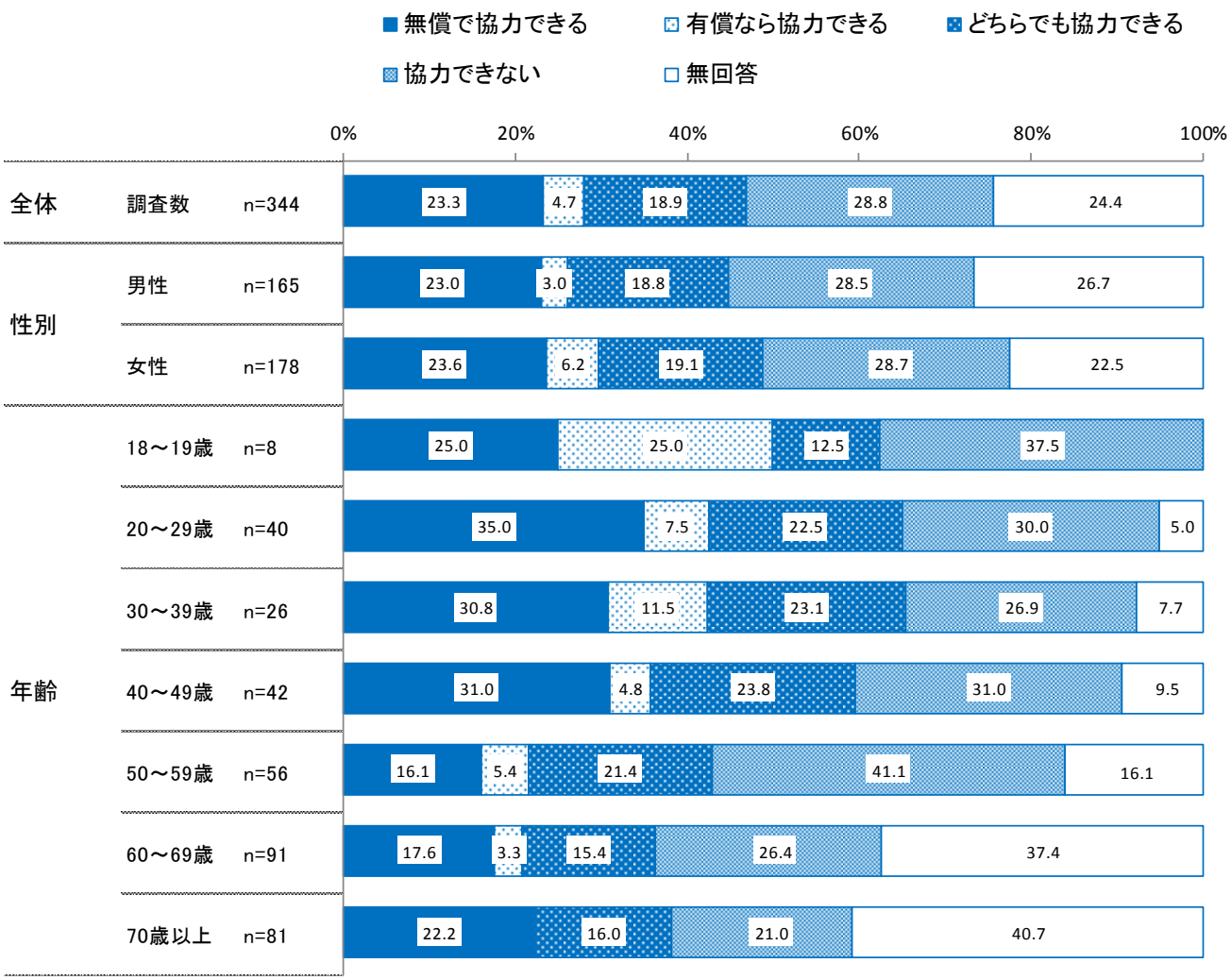
◘　話し相手と同じく、若い世代のほうが『協力できる』人が多くなっている

相談相手について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 44.8%、“女性”が 48.9%となっています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人は、“30～39 歳”が 65.4%と最も多く、次いで“20～29 歳”（65.0%）、“18～19 歳”（62.5%）となっています。

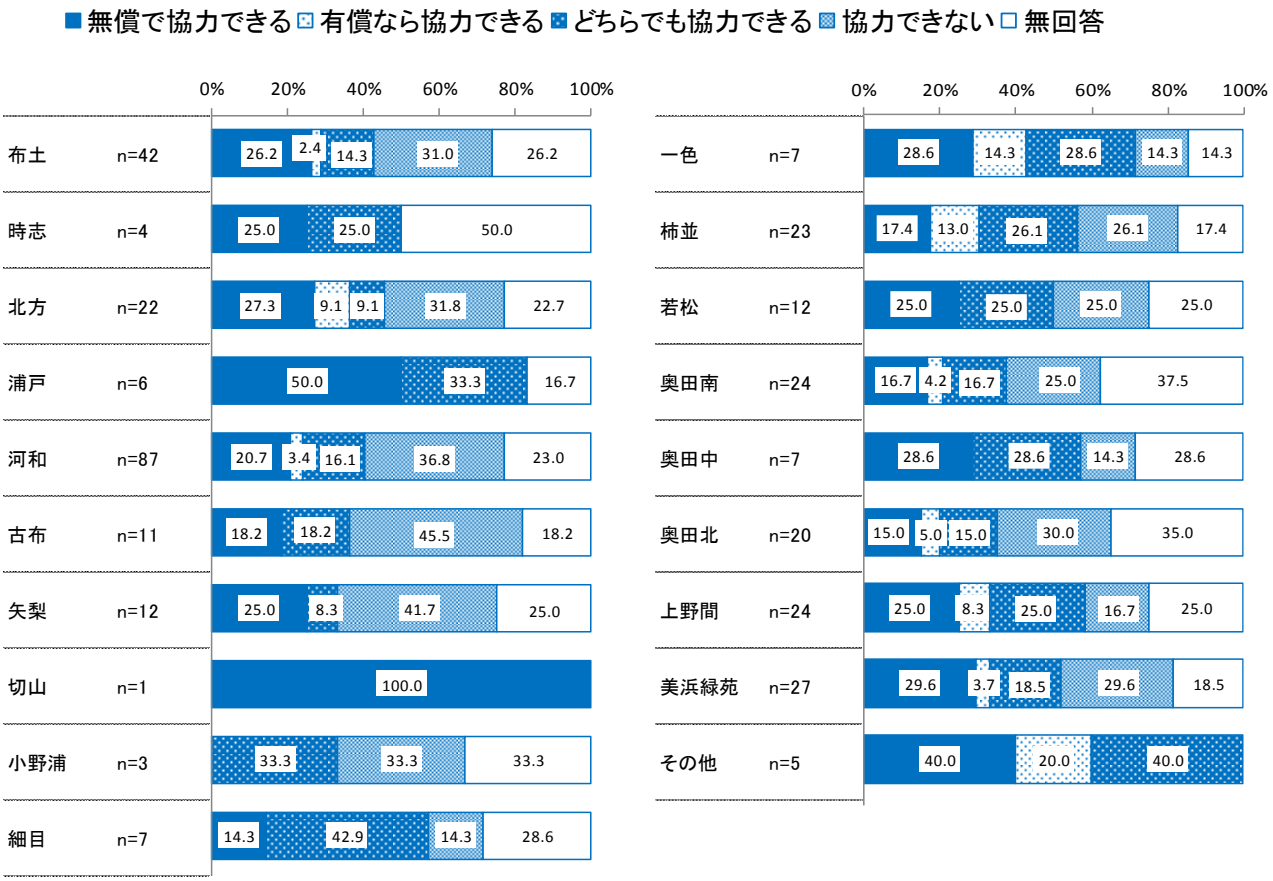
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”（100.0%）、“浦戸”（83.3%）、“一色”（75.0%）などで多くなっていますが、一方で“矢梨”（41.7%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“野間”（55.7%）、“上野間”（55.0%）で５割を超えています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“河和南部”（41.7%）、“河和”（33.9%）で多くなっています。

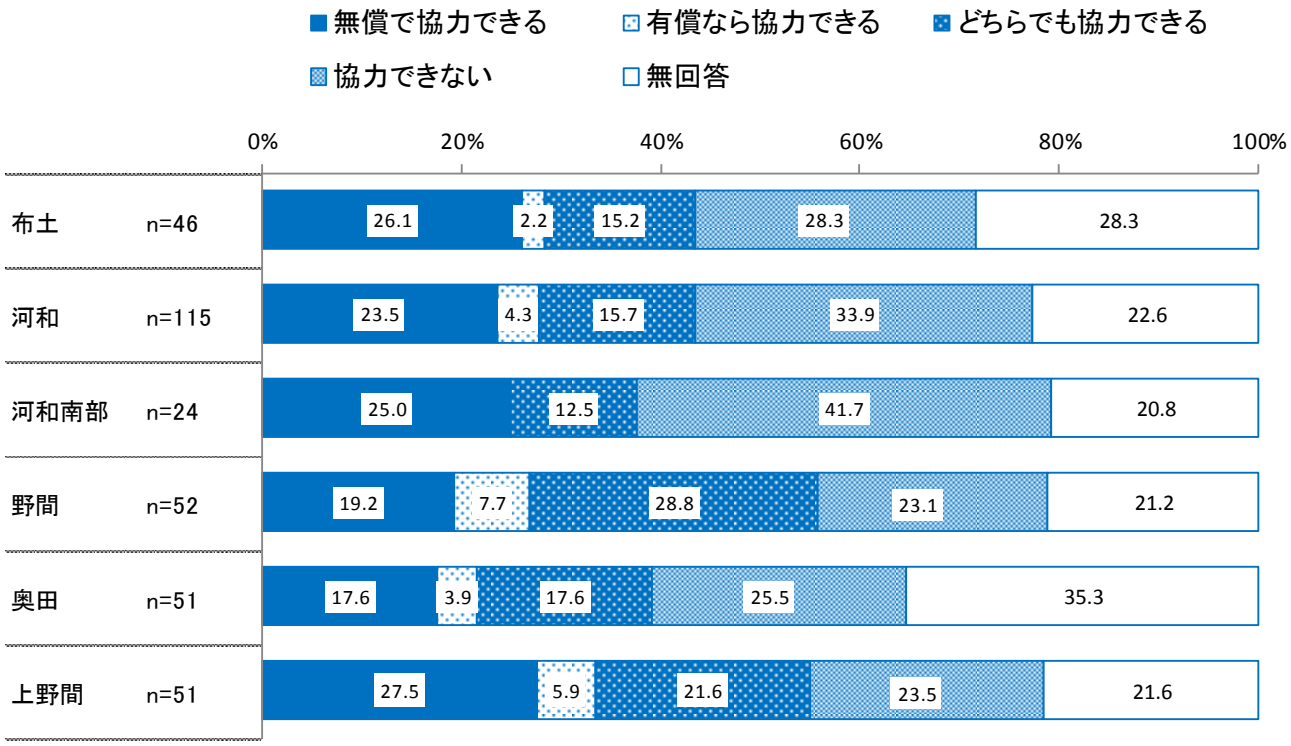
図表 107　相談相手（全体･性別･年齢別）



図表 108 相談相手（行政区）



図表 109 相談相手（小学校区）



ゴミ出しの協力

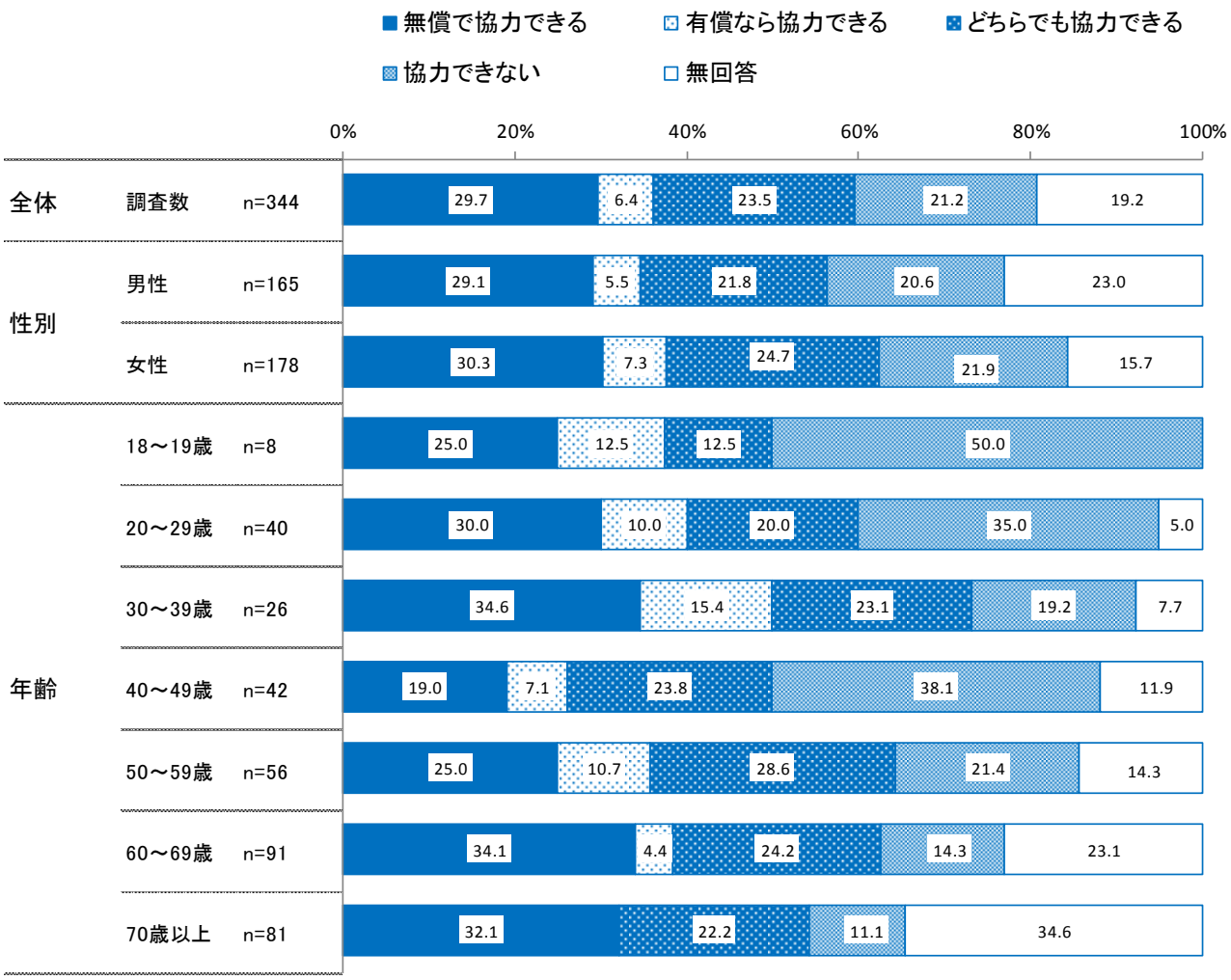
■　『協力できる』と回答した人は“30～39 歳”“50～59 歳”“60～69 歳”が多い

ゴミ出しの協力について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 56.4%、“女性”が 62.3%と女性の割合が男性を上回っています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人は、“30～39 歳”が 73.1%と最も多く、次いで“50～59 歳”(64.3%)、“60～69 歳”(62.7%)となっています。

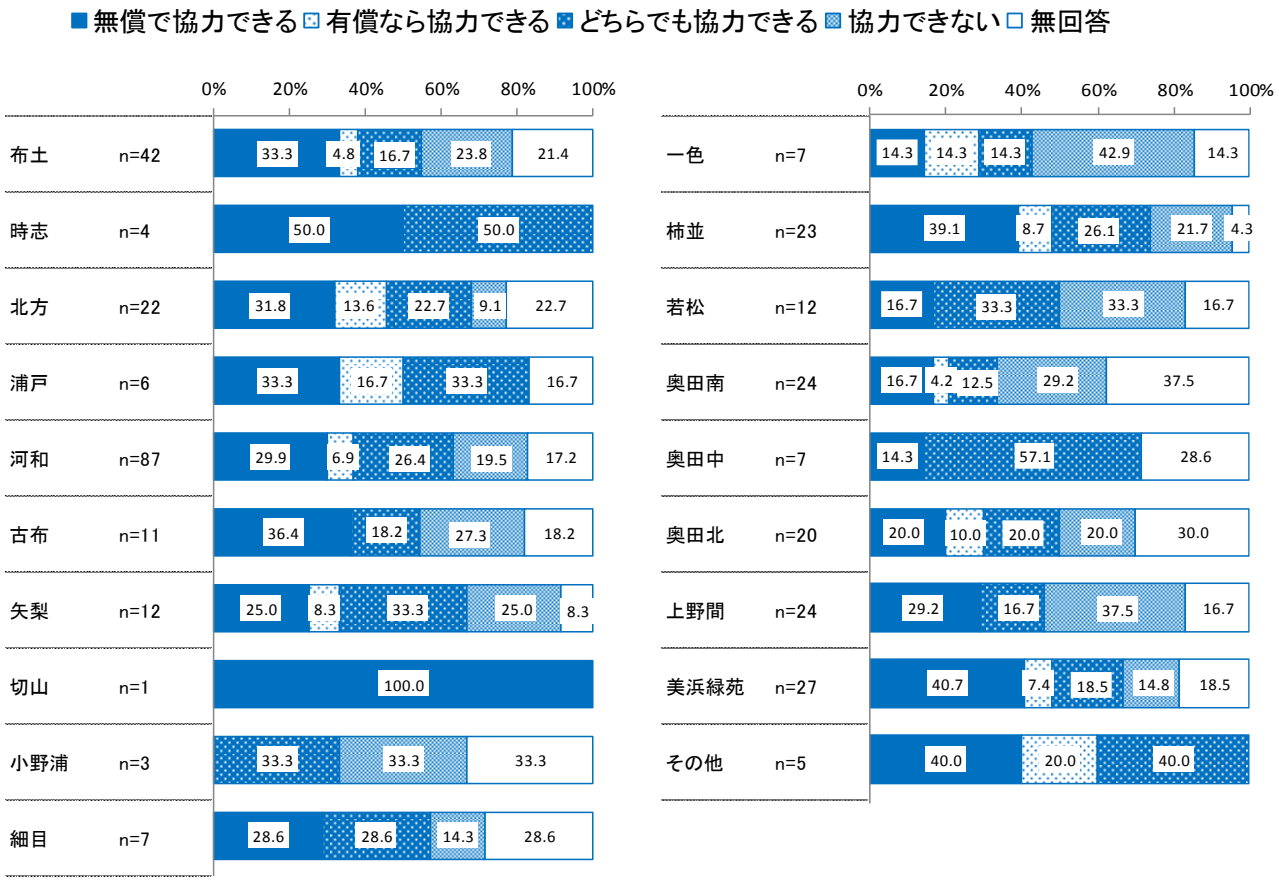
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“時志”“切山”(100.0%)、“浦戸”(83.3%)などで多くなっていますが、一方で“一色”(42.9%)では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“河和”(65.2%)、“河和南部”(62.5%)で６割を超えています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“野間”(26.9%)、“上野間”(25.5%)で多くなっています。

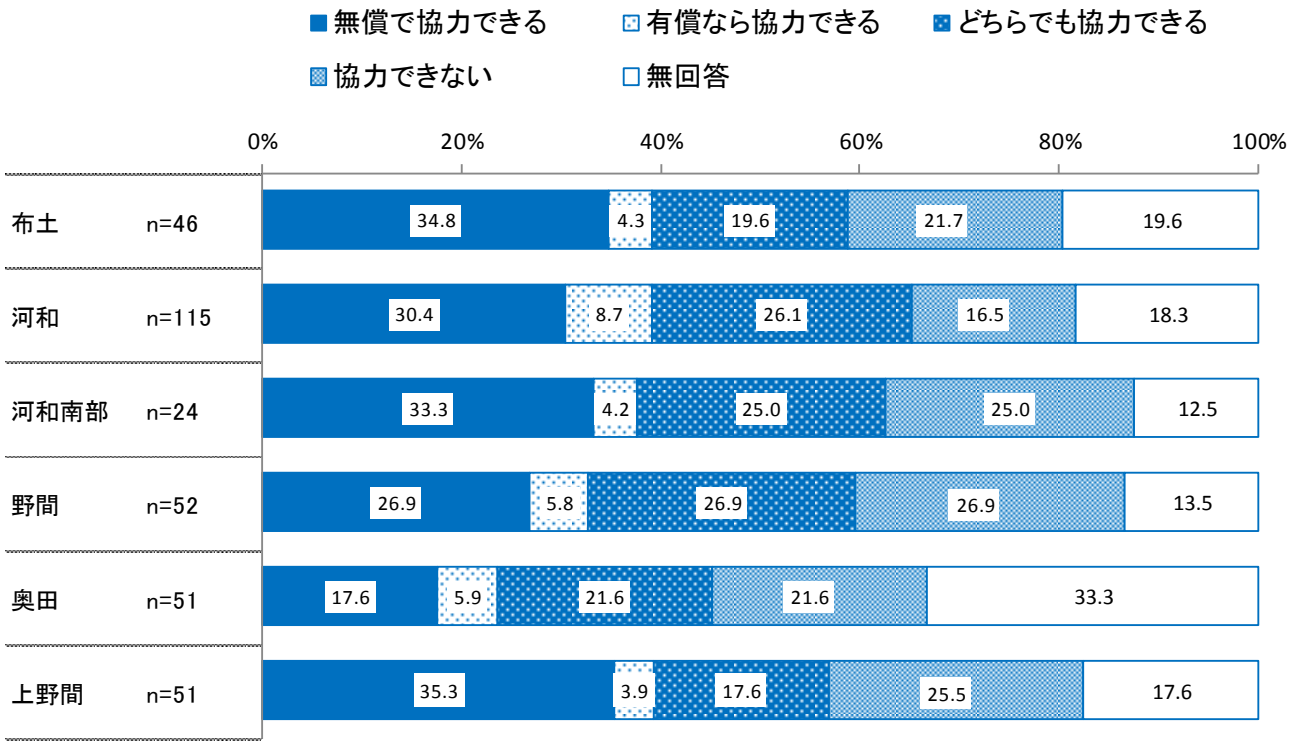
図表 110　ゴミ出しの協力(全体･性別･年齢別)



図表 111 ゴミ出しの協力（行政区）



図表 112 ゴミ出しの協力（小学校区）



掃除・洗濯の協力

□　性別では”女性”、年齢別では 20 歳代～40 歳代が『協力できる』と回答

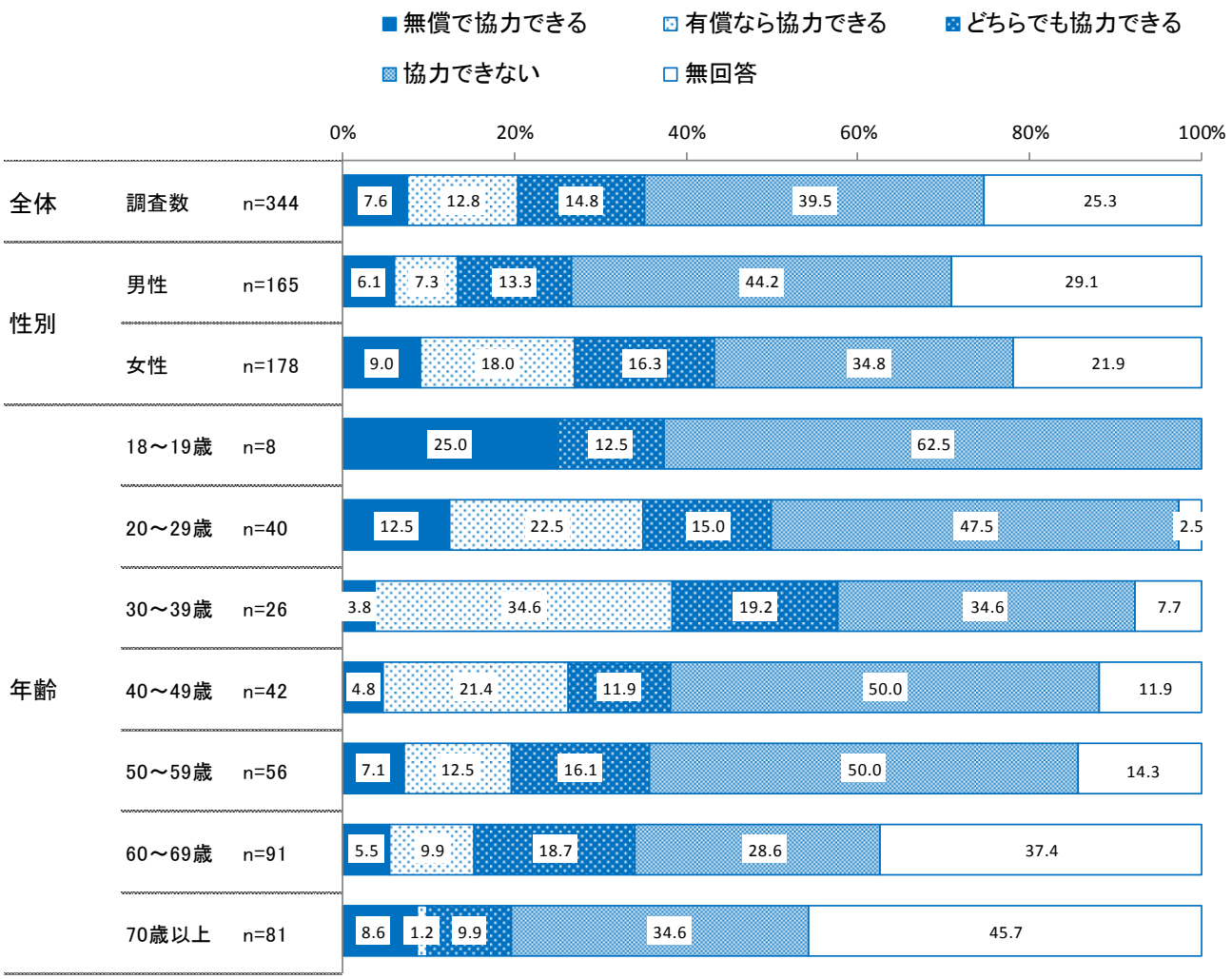
掃除・選択の協力について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 26.7%、“女性”が 43.3%となっており、女性の割合のほうが男性よりも高くなっています。年齢別でみると、『協力できる』と回答した人は、“30～39 歳”が 57.6%と最も多く、次いで“20～29 歳”（50.0%）、“40～49 歳”（38.1%）となっています。

一方で、「協力できない」と回答した人は、“18～19 歳”が 62.5%と最も多く、次いで“40～49 歳”“50～59 歳”（50.0%）となっています。

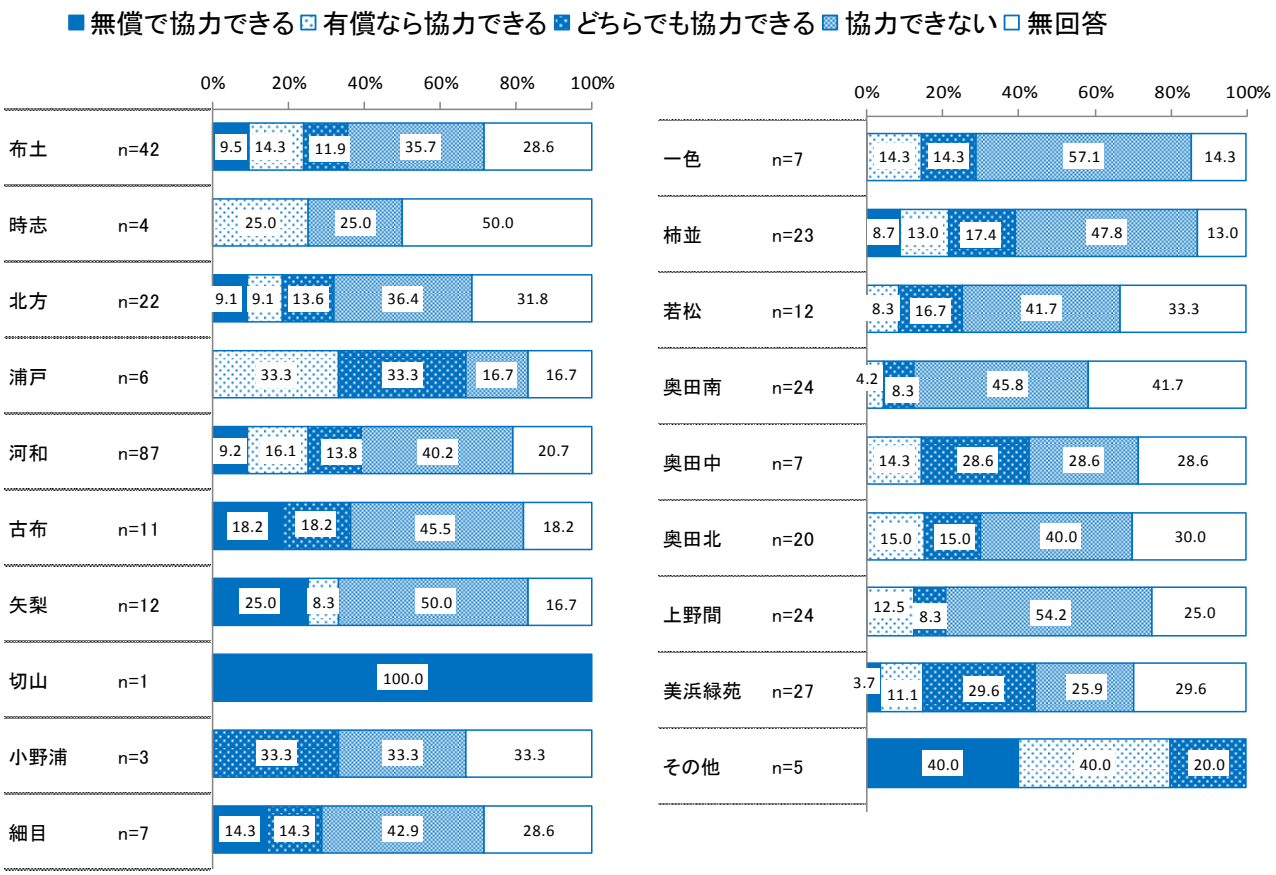
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”（100.0%）、“浦戸”（66.6%）などで多くなっていますが、一方で“一色”（57.1%）、“上野間”（54.2%）、“矢梨”（50.0%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“河和”（39.2%）、“河和南部”（37.5%）で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“野間”（46.2%）、“河和南部”（45.8%）で多くなっています。

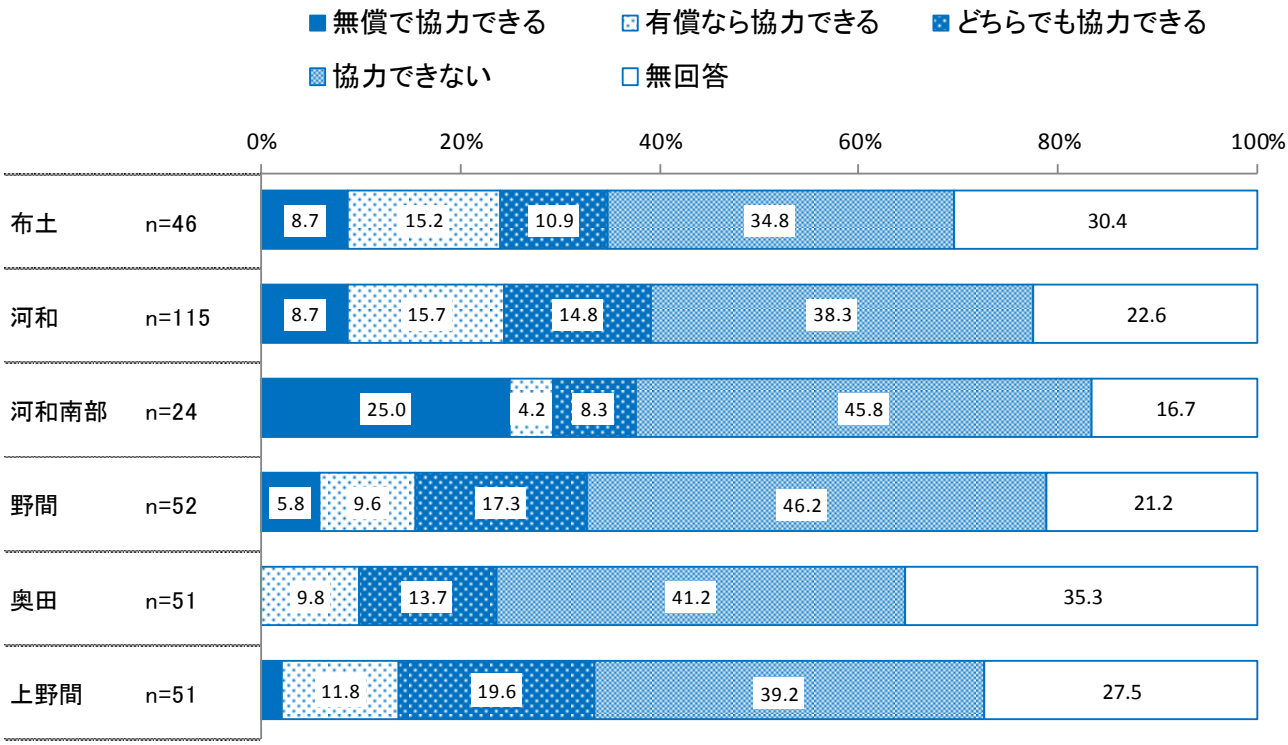
図表 113　掃除･洗濯の協力（全体･性別･年齢別）



図表 114 掃除･洗濯の協力(行政区)



図表 115 掃除･洗濯の協力(小学校区)



簡単な修理の協力

□　『協力できる』と回答したのは“男性”が多い

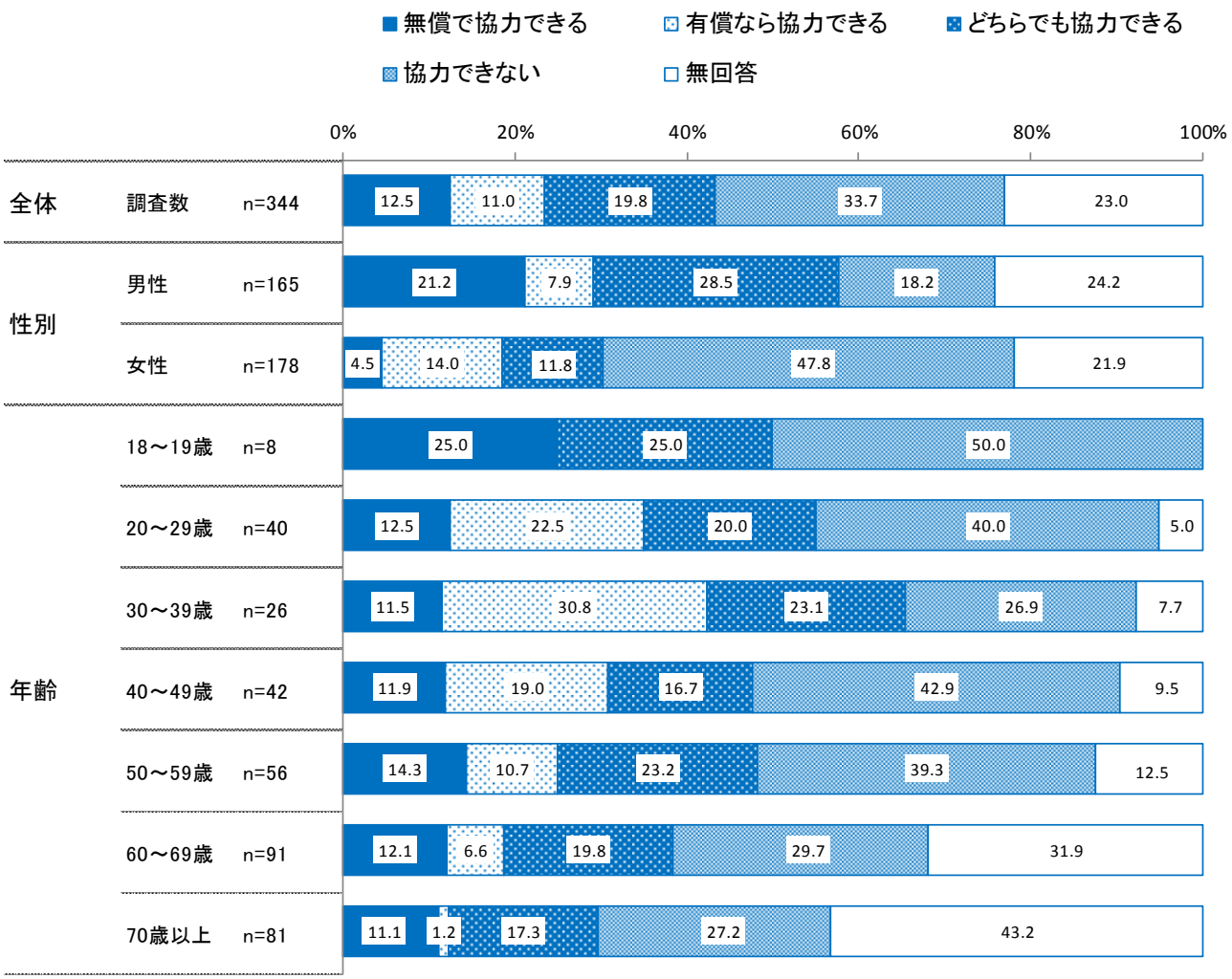
簡単な修理の協力について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 57.6%、“女性”が 30.3%で、男性の割合のほうがが女性よりも大幅に高くなっています。年齢別でみると、“30～39 歳”が 65.4%と最も多く、次いで“20～29 歳”（55.0%）、“18～19 歳”（50.0%）となっています。

一方で、「協力できない」と回答したのは、性別でみると“女性”が 47.8%と半数近くになっています。年齢別でみると“18～19 歳”が 50.0%と最も多く、次いで“40～49 歳”（42.9%）、“20～29 歳”（40.0%）となっています。

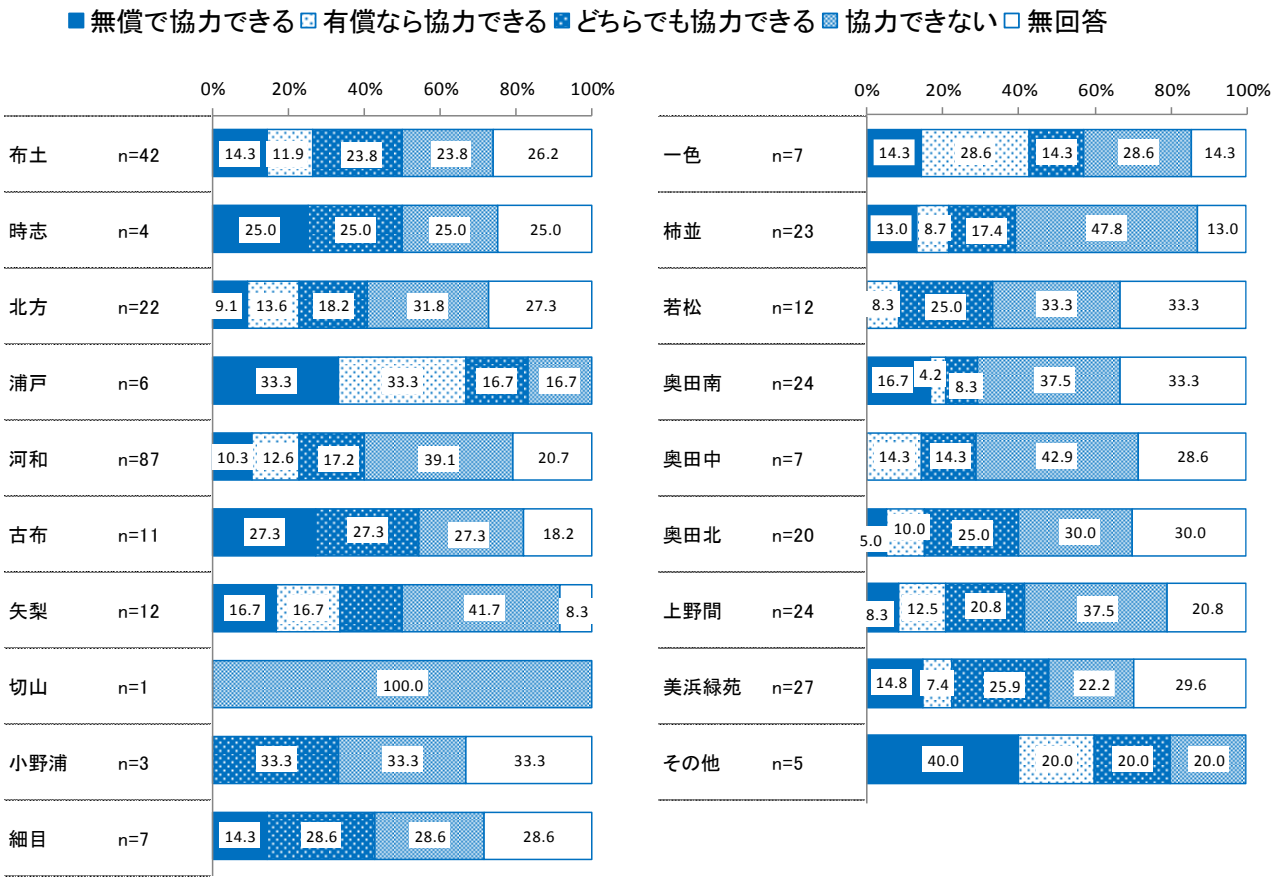
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“一色”（57.2%）、“矢梨”（50.1%）などで多くなっていますが、一方で“切山”（100.0%）、“柿並”（47.8%）では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“布土”（50.0%）、“河和南部”（49.9%）、“上野間”（45.1%）で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“野間”（38.5%）、“河和南部”（37.5%）で多くなっています。

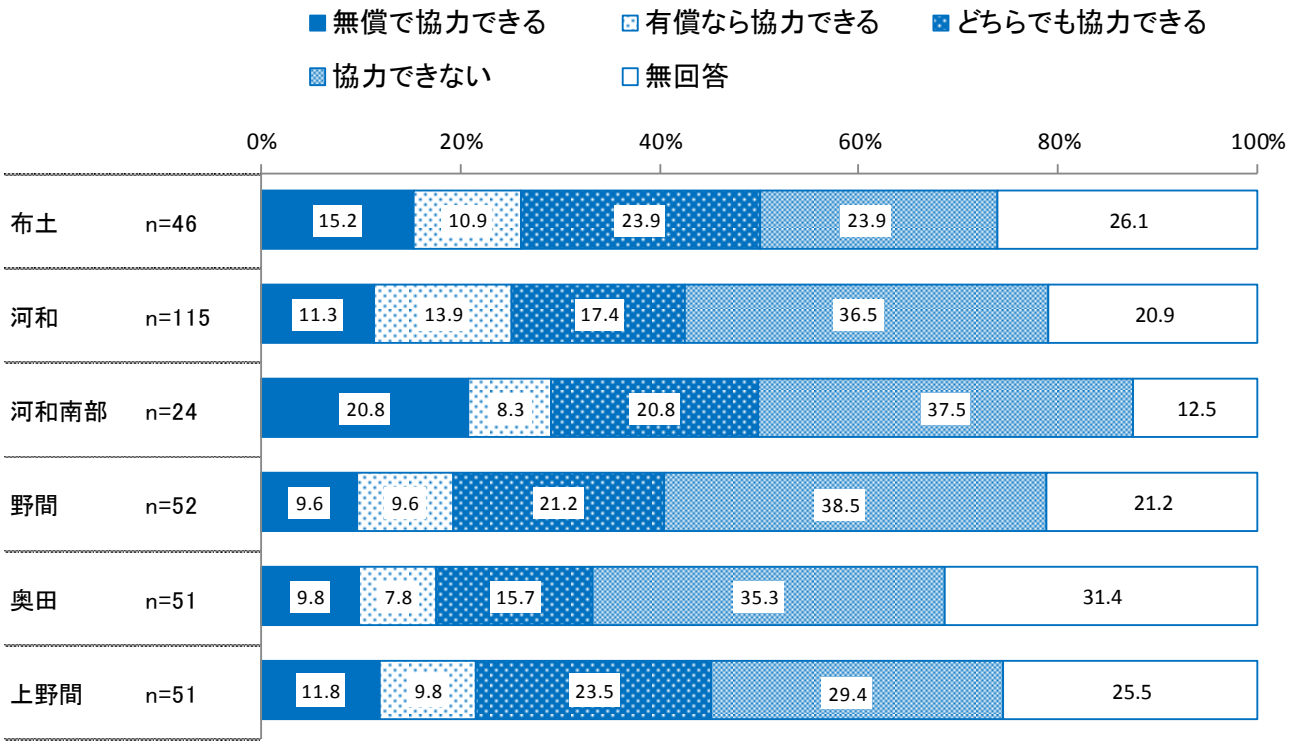
図表 116　簡単な修理の協力（全体･性別･年齢別）



図表 117 簡単な修理の協力（行政区）



図表 118 簡単な修理の協力（小学校区）



安否確認・見守り・声掛け

□　“30～39 歳”の 9 割以上が『協力できる』と回答している

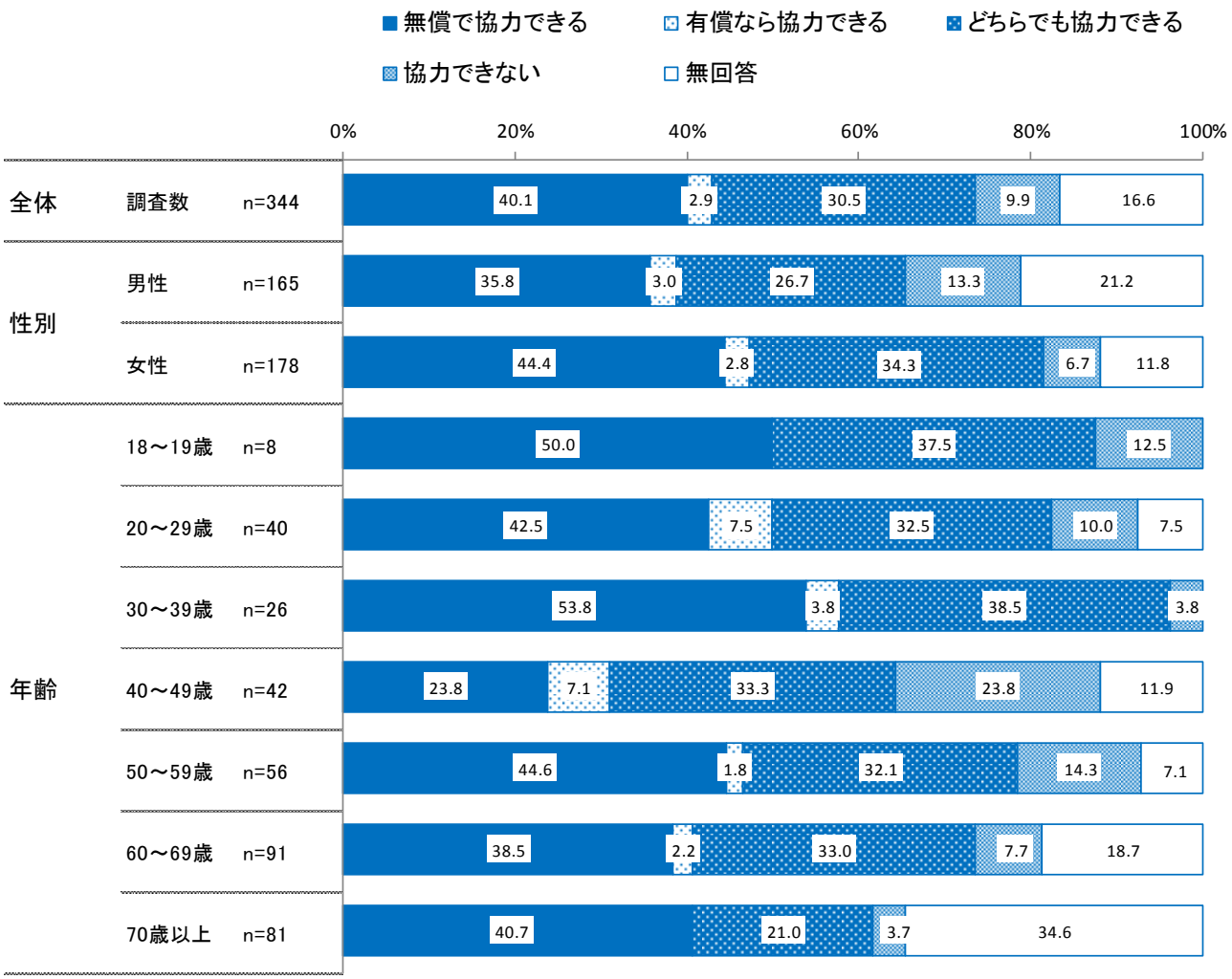
安否確認・見守り・声掛けについて、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 65.5%、“女性”が 81.5%となっています。年齢別でみると、“30～39 歳”が 96.1%と最も多く、次いで“18～19 歳”(87.5%)、“20～29 歳”(82.5%) となっています。

一方で、「協力できない」と回答したのは、性別でみると“男性”が 13.3%、“女性”が 6.7%となっています。年齢別でみると“40～49 歳”が 23.8%と最も多く、次いで“50～59 歳”(14.3%)、“18～19 歳”(12.5%) となっています。

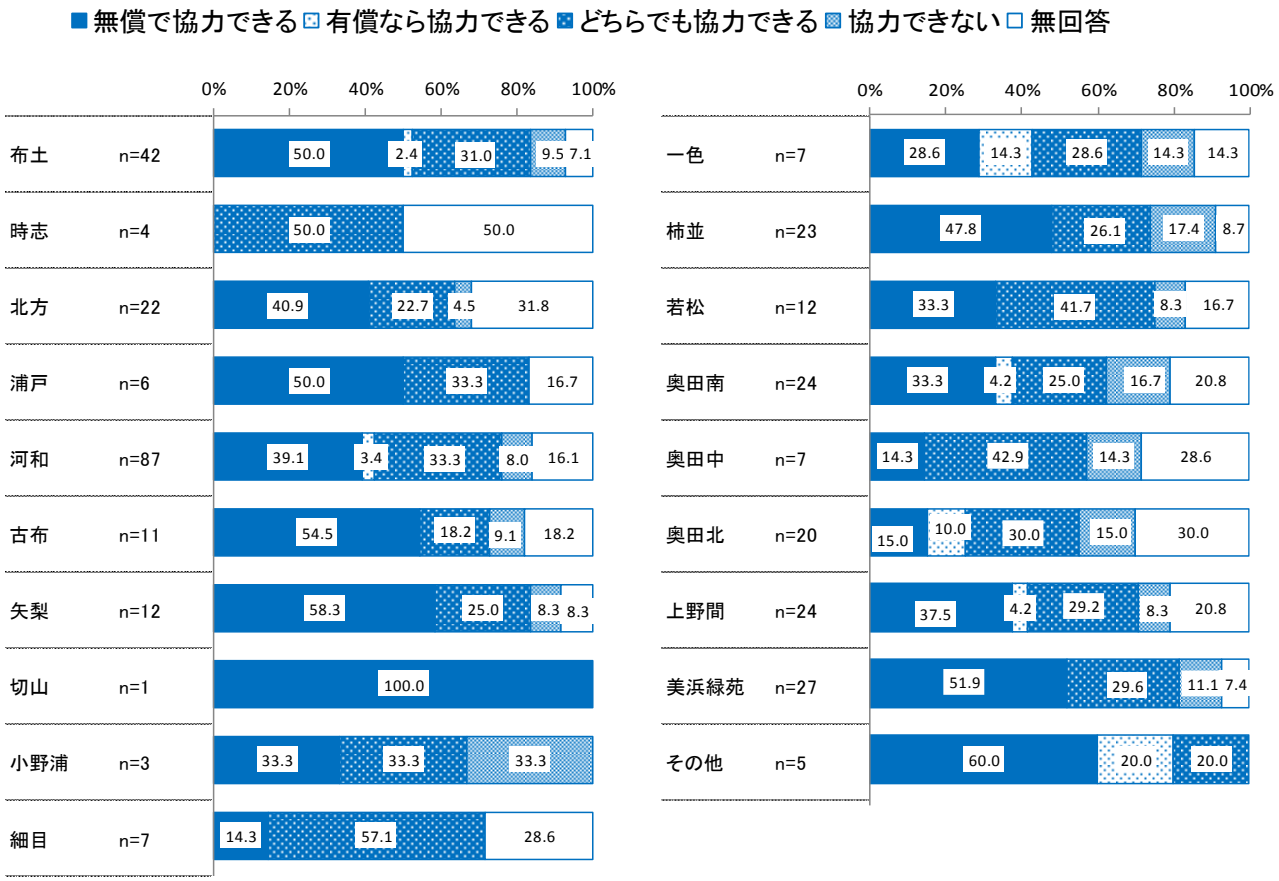
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”(100.0%)、“布土”(83.4%)、“浦戸”“矢梨”(83.3%) などで多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“布土”(80.5%)、“河和南部”(79.1%)、“上野間”(76.5%) で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“奥田”(15.7%)、“野間”(13.5%) で多くなっています。

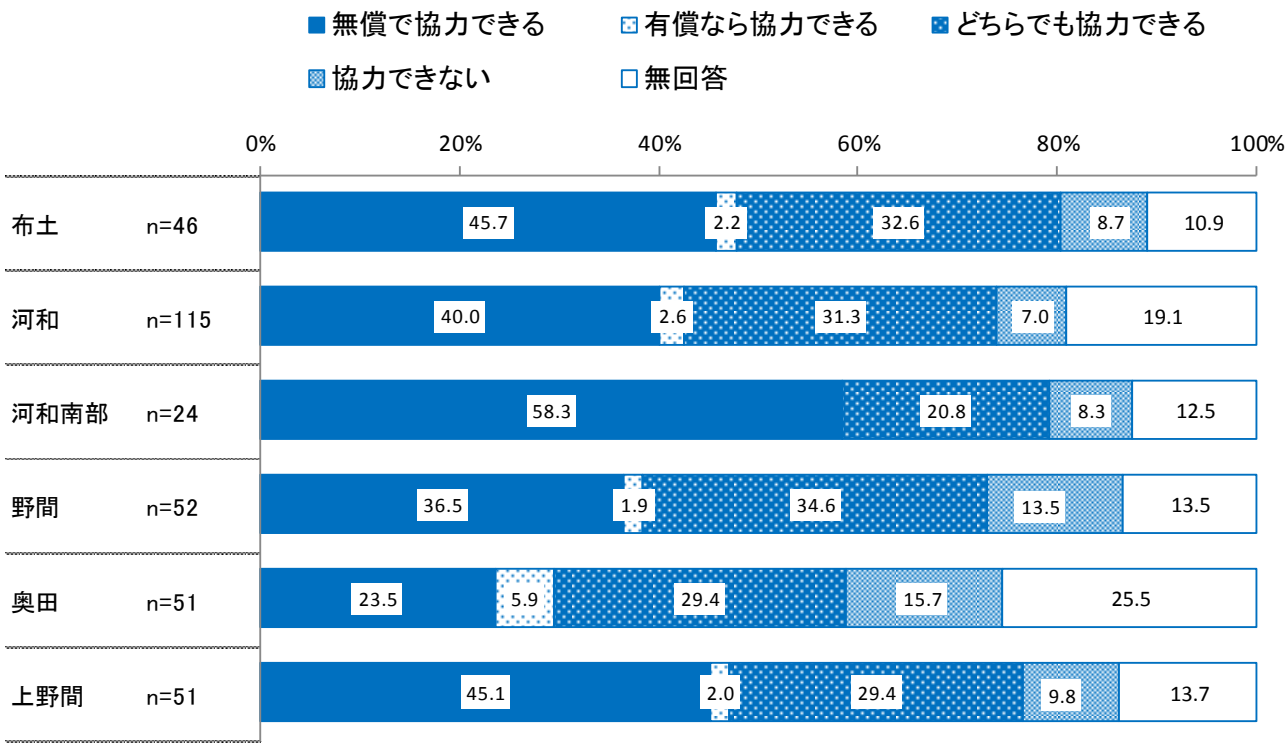
図表 119　安否確認･見守り･声掛け(全体･性別･年齢別)



図表 120 安否確認・見守り・声掛け（行政区）



図表 121 安否確認・見守り・声掛け（小学校区）



子どもを一時的に自宅で預かる

“30～39 歳”の半数が『協力できる』と回答している

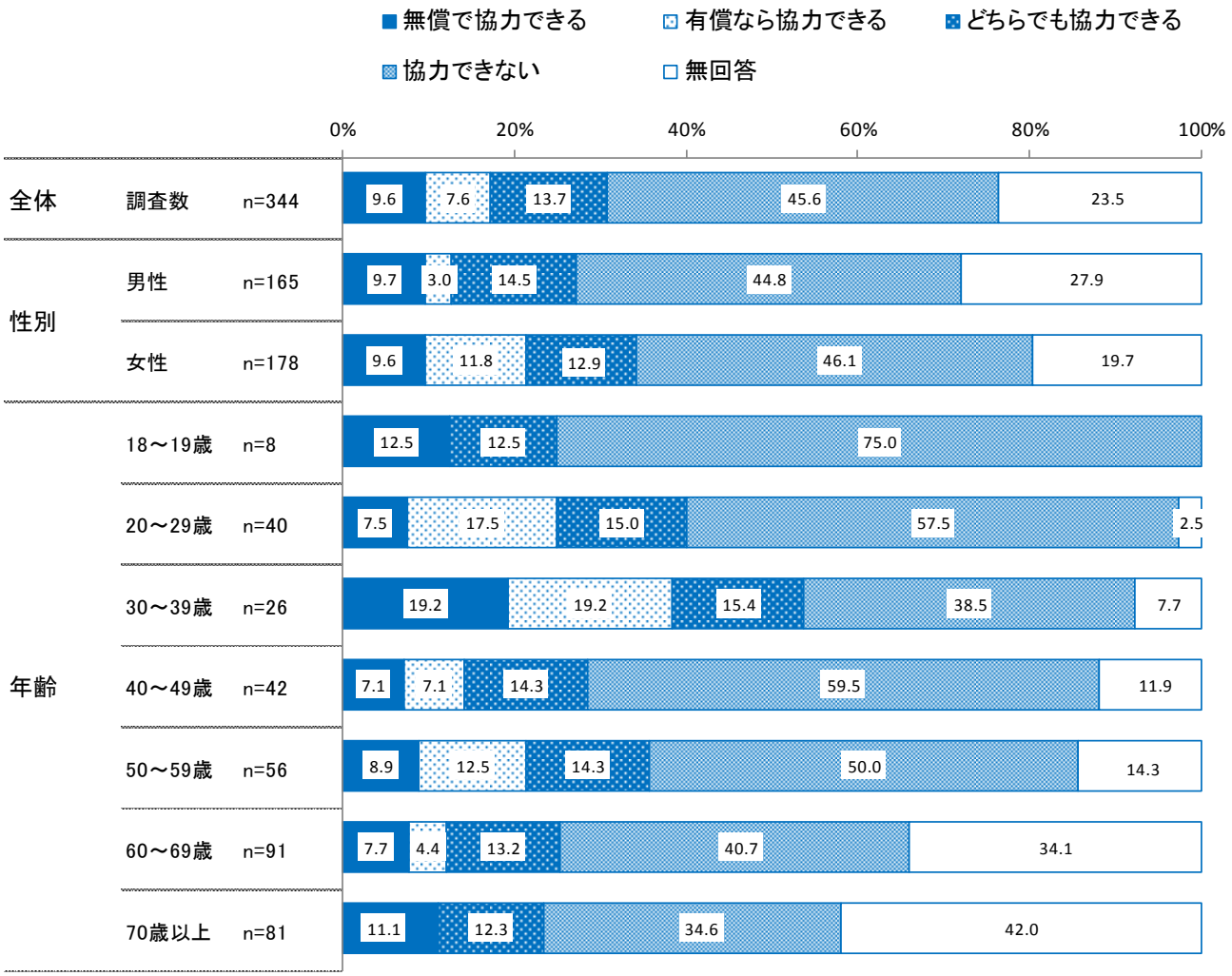
子どもを一時的に自宅で預かることについて、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 27.2%、“女性”が 34.3%となっています。年齢別でみると、“30～39 歳”が 53.8%と最も多く、次いで“20～29 歳”(40.0%)、“50～59 歳”(35.7%)となっています。

一方で、「協力できない」と回答したのは、性別でみると“男性”が 44.8%、“女性”が 46.1%となっています。年齢別でみると“18～19 歳”が 75.0%と最も多く、次いで“40～49 歳”(59.5%)、“20～29 歳”(57.5%)となっています。

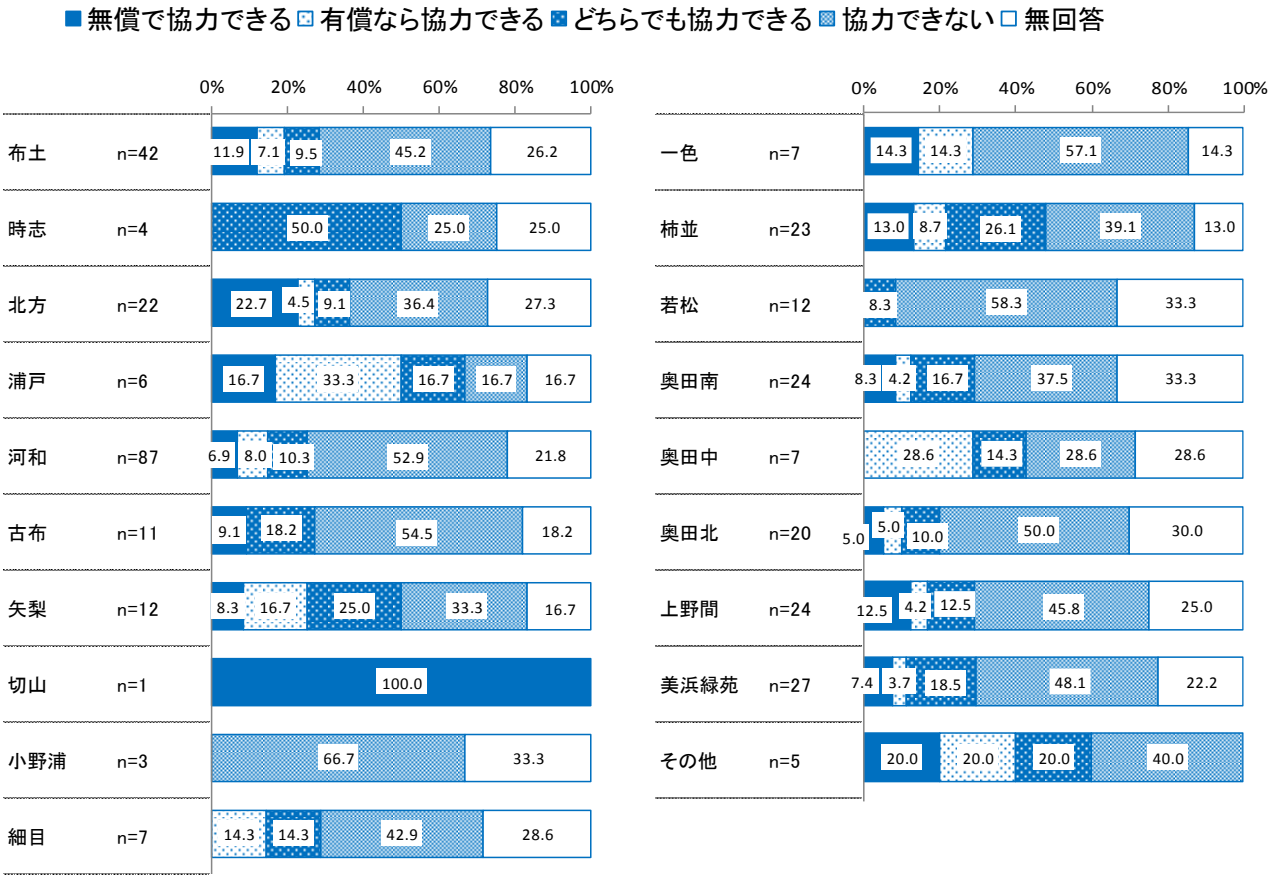
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”(100.0%)、“浦戸”(66.7%)、“時志”“矢梨”(50.0%)などで多くなっていますが、一方で“小野浦”(66.7%)、“若松”(58.3%)、“一色”(57.1%)では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“河和南部”(41.6%)で４割を超えています。一方で、「協力できない」と回答した人は全ての小学校区で４割を超えており、特に“野間”(48.1%)、“河和”(47.8%)、“上野間”(47.1%)で多くなっています。

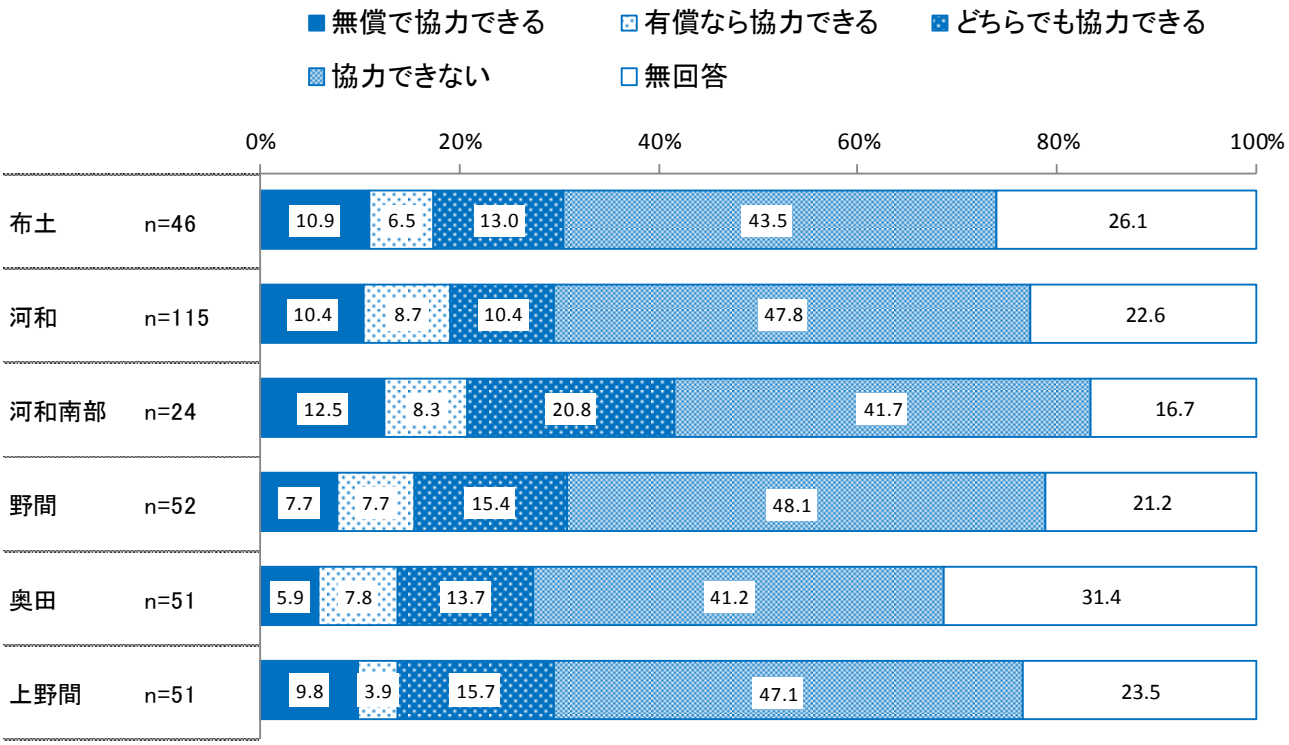
図表 122　子どもを一時的に自宅で預かる(全体･性別･年齢別)



図表 123 子どもを一時的に自宅で預かる(行政区)



図表 124 子どもを一時的に自宅で預かる(小学校区)



子どもを地域の拠点で預かる

“18～19 歳”“30～39 歳”の 7 割以上が『協力できる』と回答

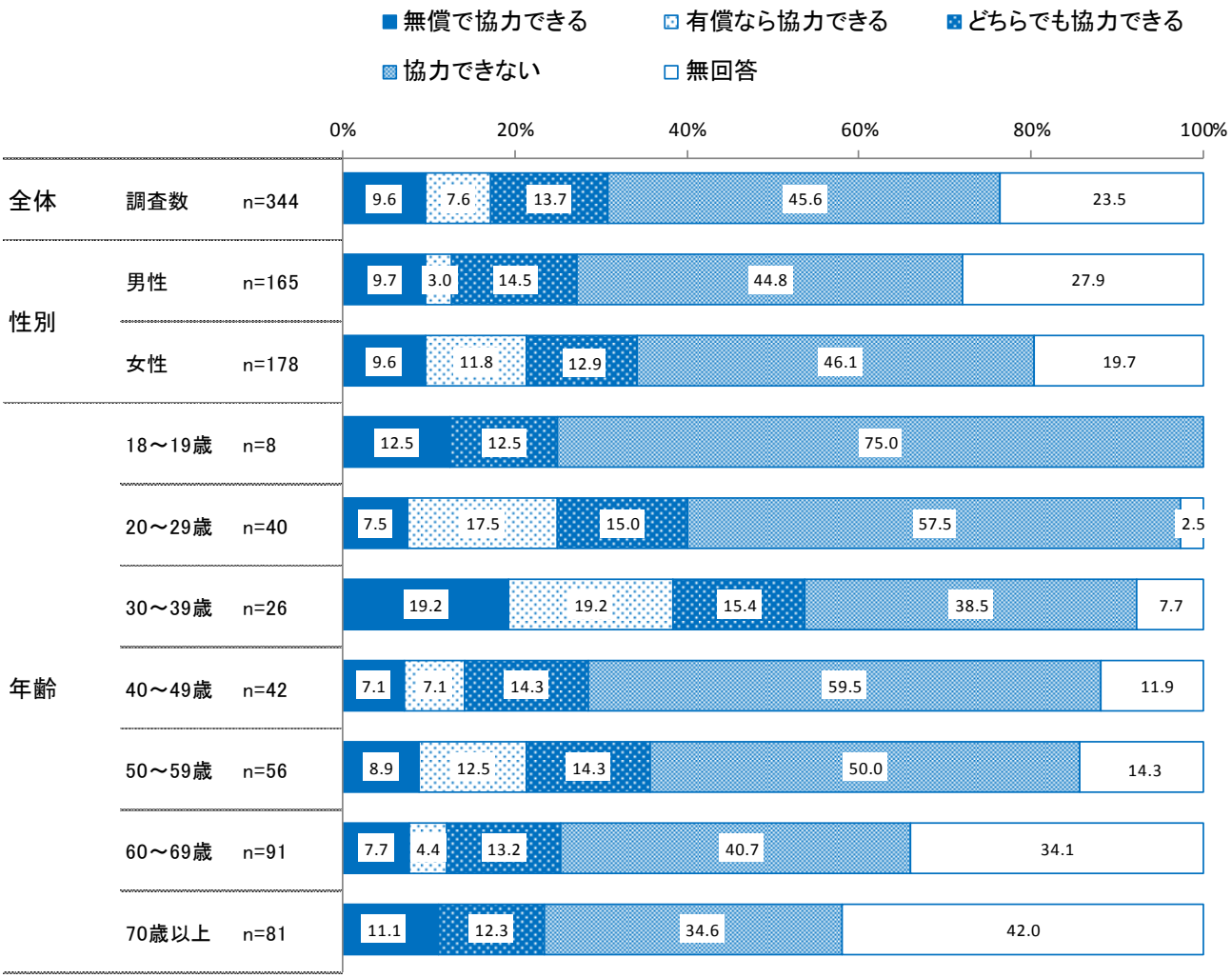
子どもを地域の拠点で預かることについて、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 35.1%、“女性”が 44.4%となっています。年齢別でみると、“18～19 歳”が 75.0%と最も多く、次いで“30～39 歳”(73.1%)、“20～29 歳”(52.5%)となっています。

一方で、「協力できない」と回答したのは、“男性”が 36.4%、“女性”が 34.3%となっています。年齢別でみると、“40～49 歳”が 47.6%と最も多く、次いで“20～29 歳”(45.0%)、“50～59 歳”(37.5%)となっています。

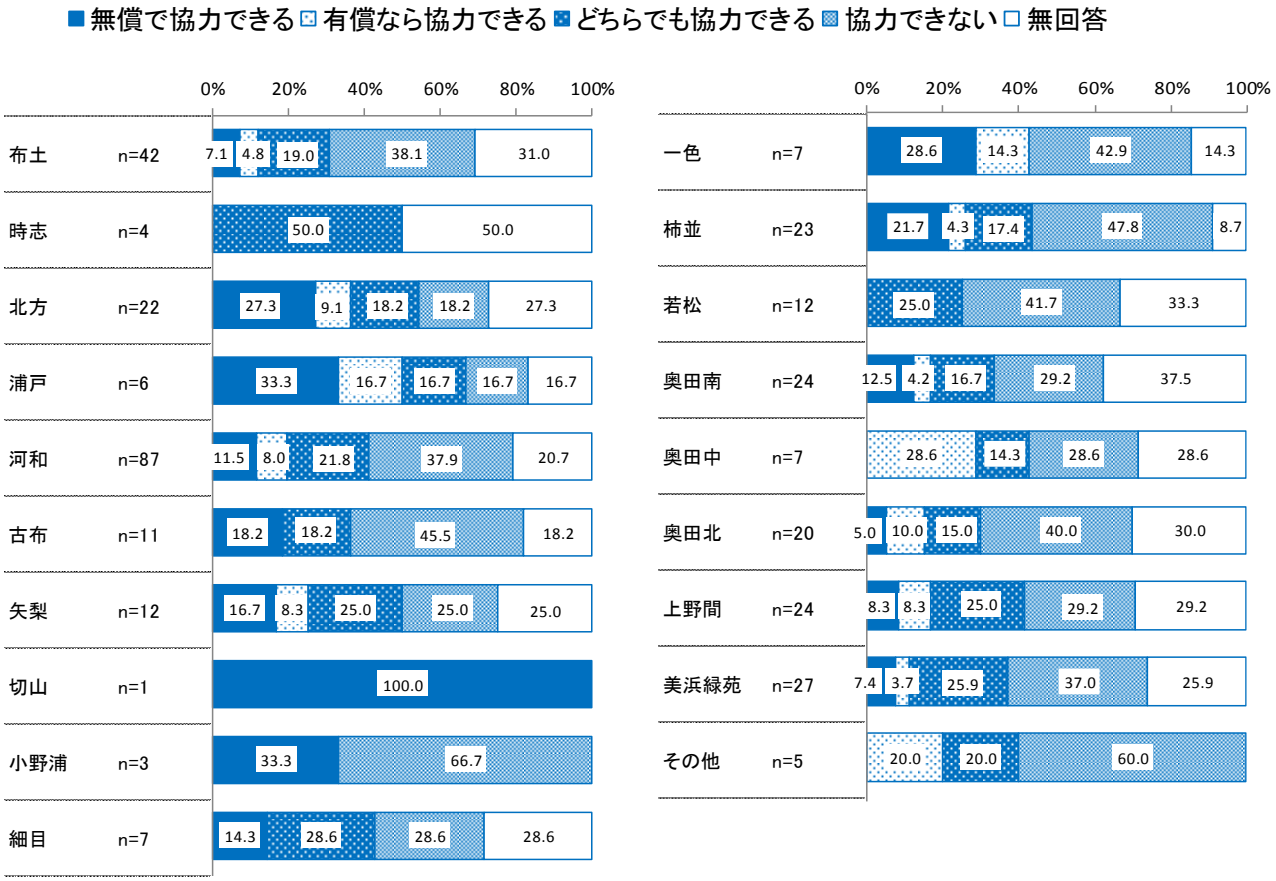
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“切山”(100.0%)、“浦戸”(66.7%)、“北方”(54.6%)などで多くなっていますが、一方で“小野浦”(66.7%)では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“河和南部”(45.8%)、“河和”(45.3%)で４割を超えています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“野間”(44.2%)で４割を超えています。

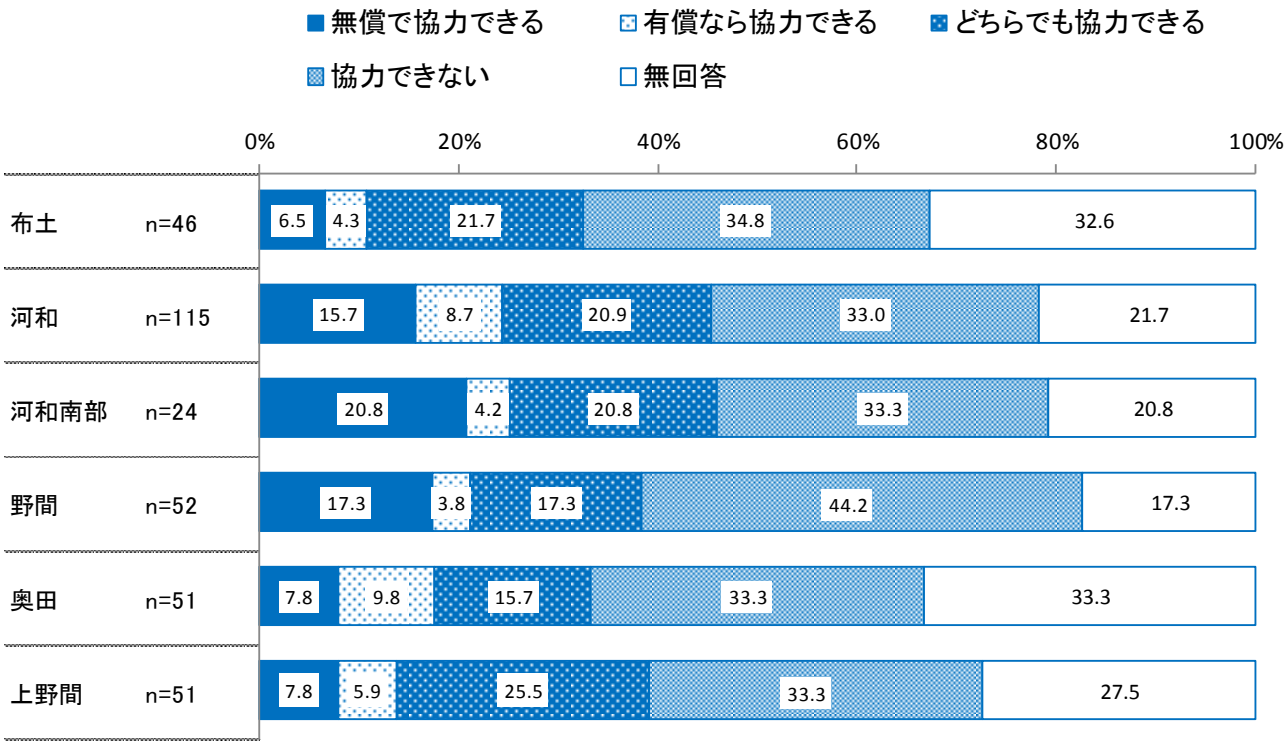
図表 125　子どもを地域の拠点で預かる(全体･性別･年齢別)



図表 126 子どもを地域の拠点で預かる(行政区)



図表 127 子どもを地域の拠点で預かる(小学校区)



子ども同士の交流の機会への協力

■　『協力できる』と回答したのは 18 歳～30 歳代の若い世代が多い

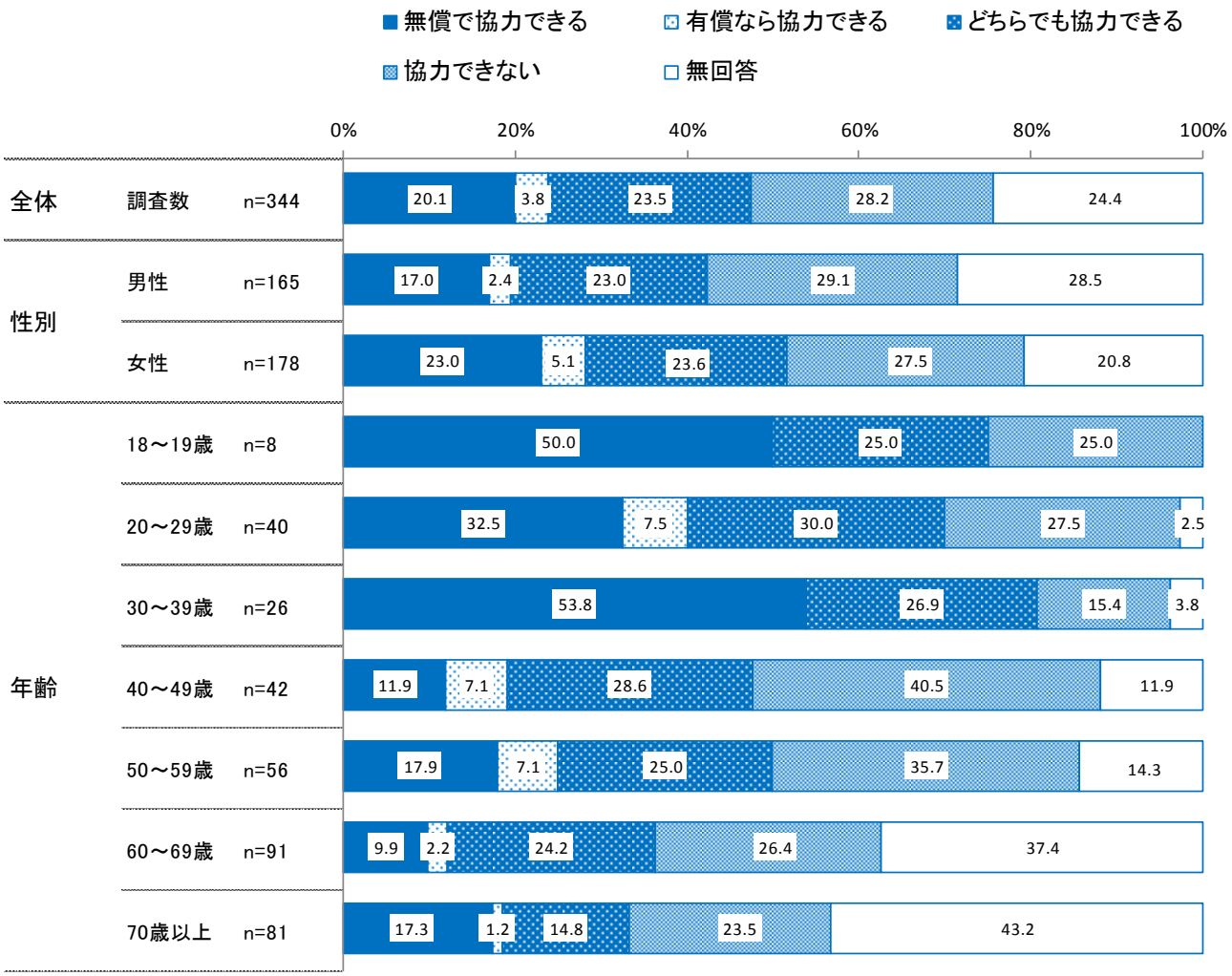
子ども同士の交流の機会への協力について、「無償で協力できる」「有償なら協力できる」「どちらでも協力できる」を合わせた『協力できる』と回答した人は、“男性”が 42.4%、“女性”が 51.7%となっています。年齢別でみると、“30～39 歳”が 80.7%と最も多く、次いで“18～19 歳”(75.0%)、“20～29 歳”(70.0%)となっています。

一方で、「協力できない」と回答したのは、“男性”が 29.1%、“女性”が 27.5%となっています。年齢別でみると、“40～49 歳”が 40.5%と最も多く、次いで“50～59 歳”(35.7%)、“20～29 歳”(27.5%)となっています。

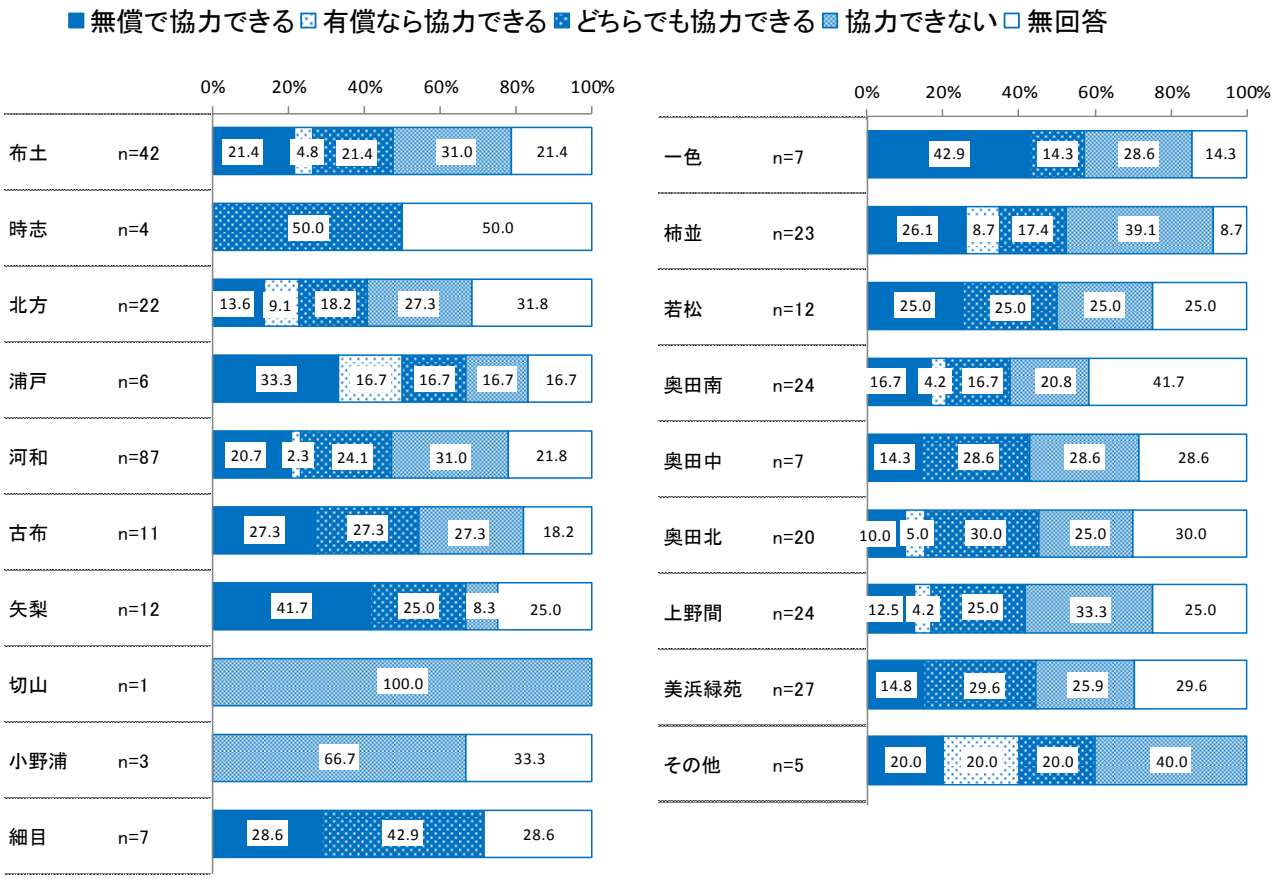
行政区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“細目”(71.5%)、“浦戸”“矢梨”(66.7%)などで多くなっていますが、一方で“切山”(100.0%)、“小野浦”(66.7%)では「協力できない」と回答した人が多くなっています。

小学校区別でみると、『協力できる』と回答した人は、“河和南部”(58.3%)、“野間”(51.9%)で多くなっています。一方で、「協力できない」と回答した人は、“野間”(30.8%)、“河和”(29.6%)、“上野間”(29.4%)で多くなっています。

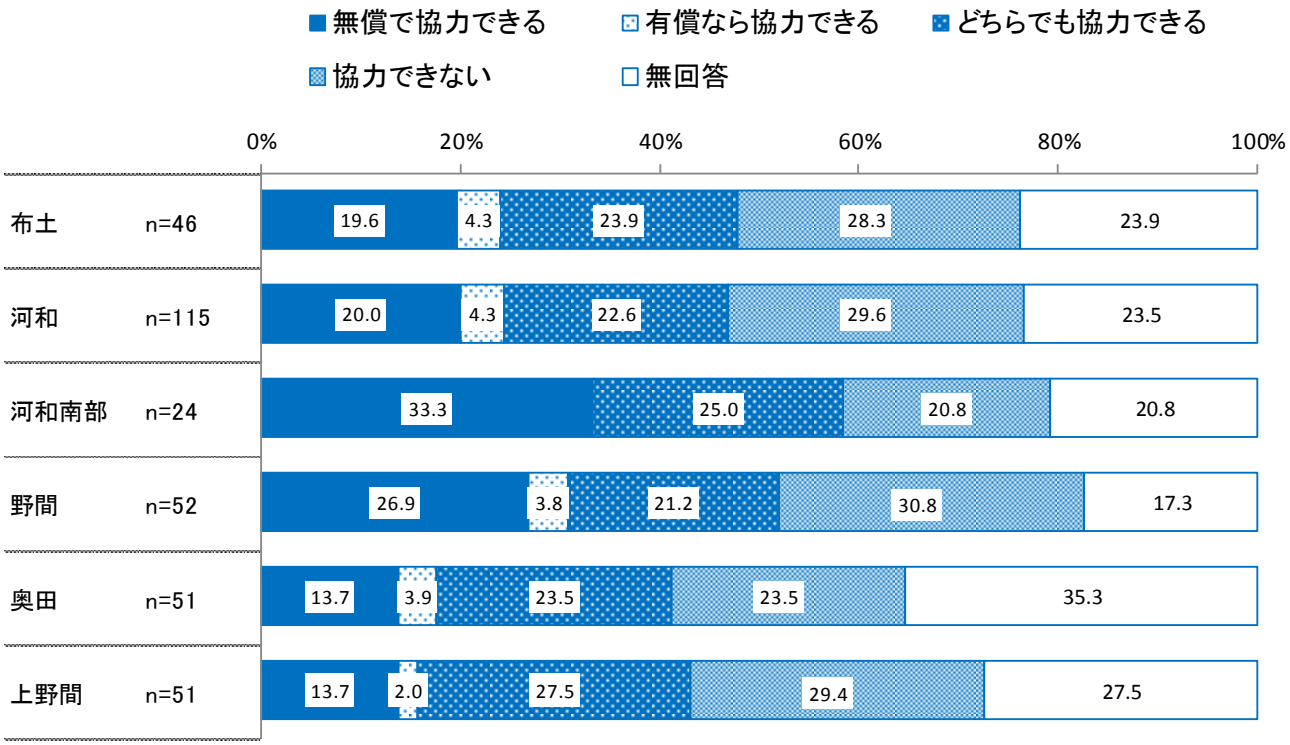
図表 128　子ども同士の交流の機会への協力(全体･性別･年齢別)



図表 129 子ども同士の交流の機会への協力（行政区）



図表 130 子ども同士の交流の機会への協力（小学校区）



8．　自由回答

問 30　誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

地域のつながり
最近は隣組に入らない人が多くなってきました。区の人に話しても個人情報と言って調べる事はできないと。加入していない人は寄付（例：祭、花人、区費）も払わず、ゴミは捨てる。不公平だと思います。
今は隣近所の付き合いは回覧板のみの方がほとんどです。付き合いというにはあまりにも寂しいと思います。
隣近所との話し合い、お互いの信頼を深める。
隣組の親交の充実を想う。
隣近所の助け合いを大事にしたい。
まず隣近所の人同士が話し合える、相談できる、助け合える環境づくりが大切です。そのためには区会が中心となり、行政の支援を受けながら住民同士の協力で進めていく事が大切と思います。
隣近所の人と触れ合うことがほとんどない。もう少しお互いが知り合う機会が必要であると思う。
我が家は河和区だが、家の周りは自治会が違うので（浦戸区）、あいさつ程度しかしたことがない。どの家がどういう家族構成なのか分からない。全く交流がない。なぜ河和区の中に浦戸区があるのか理解できない。
1ヶ月に1回くらい、皆が集まれるイベントを行ってほしい。（安否確認が出来るから）
料理とか健康に関する学習、体験、講座があれば、いろいろ参加して外出する機会を増やしたいと希望します。
交流の場として、各年代層に合わせた企画で人の集まる機会を、公民館など地域の人に分かりやすい場所で設けられたら楽しい町になると思います。
この1年自分自身の健康がすぐれず、一人暮らしのため、気軽に声をかけてくれる友達が欲しい。
地域に関する情報がもっと様々な場面で手に入れることができるといいと思った。
となり近所の交流がない。途中で入って来た者に地域の人がやさしくない。中々自分から入っていくことが難しい。（よそものあつかいを受ける）
不燃物当番など、勤めていた時はお金を出してでも誰かにお願いしたかった。今の年寄りは元気な方も多く、簡単な仕事は若い人より便利だと思う。若い方は仕事に行って、年寄りが子ども（近所）をみてあげたりする場があると、子どもに元気をもらいながら年寄りの憩いの場になると一石二鳥ですね。そうすれば自然と隣近所の会話ができ、楽しそう。元気な年寄りがたくさんいます。色々協力してもらえる様に。宜しくね。
昔は当たり前だった、近所の子が集う公園・空き地などが無くなり、ゲームで遊ぶことが主流となっている。子どもの中での縦の社会の中での教え合いや核家族が主となっている現在、高齢者からの昔の知恵など、昔できて当然だったことを大切にしていきたい。人と人をつなぐことが大事だと思います。

少子高齢化
少子化が少子化を生む時代になってきている。男女の出会いの場が少なく、独身者が多くなってきている。昔の様に世話好きなおばさんもいなくなってきている。相思相愛なら良いが、一方的な求愛行動は今では「ストーカー行為」とみなされ、積極的になれないのではないか。そこで集団見合いなどのイベントを行ったらどうかと思います。
高齢化が進んでいる状況で、若い世帯との交流が少ないため、現在、学区での運動会が小学校、中学校、保育園と合同で実施すれば交流が図られると思います。
美浜町は超高齢化がすすんでおり、介護保険だけではサービスを充実させることが困難な状況になっている。この先もそれは進んでいくと思われ、ボランティアの力を借りることが有効ではないかと思う。美浜町のボランティア団体の現状は分かりづらく、活動もどの程度のことをしてもらえるのかも分からない。60代、70代の元気なシニア世代に働きかけてボランティアに参加してもらう。参加してもらったら、税金や介護保険料が少し割引になるなどの特典をつけてみたら良いと思う。
高齢者が多いので、高齢者に対する支援を充実させてほしいです。特に自発的に他の人と関わらない人に対して、1 人になっていないか、話し相手はいるか、など見てほしいです。
少子高齢化が進んでいるので、子どもが増える対策（移住のすすめ等）に力を入れてはどうかなと思います。子育てに適した環境を整え、福祉政策も進めて子どもを増やしていく事が将来につながると思います。
どの地域も同じと思うが、少子高齢化がますます進みそう。どちらも大切であるが、特に少子化対策には力を入れていく必要があると思う。若い人が定住して、安心して福祉面でも整った中で子育てができるようになるといい。
社会問題とされている少子高齢化が進んでいる中、実際に行われている事は何かと疑問に思います。共働き世帯が多いのがあり、出生率も低いので、支援などを積極的に行った方がいいと思います。働く人が減り、納税者が減っていくので、悪循環をなくし、納税を増やす取組（未来）が必要だと思います。
子どもが少なくなる一方なので、活気がない。老人の割合が多い。若い人が少ないので不安になる。

まちづくり
住民一人ひとりが安心して住める町づくり。安心、安全を願います。
観光として収入を得るならば、美浜町は拠点となる場に大きな窓口が必要であると思う。しかし安住するには、その単発な観光からは難しいので、分けて考える？今住む人たちが暮らしやすくするには、ひとりひとりの思いや意識をカタチにすることが必要だけれど、これだけ個々に動いている人たちをどうまとめ、どう活かしていくかで左右されるかと思う。その危機感を行政が感じ、イベントに終わらない取組が必要。
全てを行うには無理が出る。自分は人生の中間点にきてるからこそ介護や町の美化など必要ないとは言わないけど、ふる里の将来を考えると医療と子ども（雇用含め）この2点は必須だと思います。

誰もが住みやすいという理想論の実現は困難。高齢化による老人の増加は著しく、美浜町も深刻な問題であるかと感じております。まずは町の活性化を図ることを考えて頂きたいと思います。各世代の年齢層の構築のためには町の豊かさが必要不可欠です。老々介護のみが介在する美浜町になる危惧を抱いております。
美浜町は限界集落の名前もあがっているが、その対策の具体的な動きが感じられない。（広報みはまでも毎月人口減少）町役場・美浜町も大切だが、株式会社美浜町としての活動もお願いしたい。
近くの小学校、新入生減少。住まいの周りの空き家。空地の草ぼうぼう。街道沿いのお店の閉まり。店そのものの減少。手が打てるのだろうか。平日の病院、喫茶店での客はご婦人ばかり（高齢）。ある場所では高年齢の方でいっぱい。こんな事、20 年も前から分かっていたことで、昨日今日始まった話ではない。行政としても自身としても、ぼーっとしている間にここまでになり、以後もっとひどくなる。10 年、15 年、20 年後のために今年、来年、そして目先にとらわれない行政の（職員も）考え、少しずつでも変化させよう。このアンケート調査から、そのいくつかが浮かび上がるのを期待しています。
町が閉鎖的すぎる。事なかれ主義。建前主義。体裁を重んじる町を脱却しなければ良い町にならない。そして町に欲深い人が多く、自分が太ることばかり考えている地域なので、もっと深く考えたほうがいいと思う。弱者はどこまでも弱くなっていく町のような気がする。
せっかく電車始発の町・交通の便利さを前面に、若い世代の人が呼べる町・働くための交通のアクセスのいい町・工場や企業・生活の為に下水道等の充実を求めます。住みやすくするためには空き家を利用することも、町の空洞化が減ると思います。他の地域から呼べると思います。
この町にせっかく日本福祉大学という大学があるので、大学と連携して住民任せでなく町主導で、奥田駅前整備しかり、特色のある（例えば福祉の町とか）町づくりを検討してほしい。
若い人が多く住む活気のある町になるとよい。現状ではどんどん高齢者の割合が高くなり、将来が心配になる。
枠にとらわれず、今必要な”福祉”や今後必要になってくる”福祉”を町民と作っていくスタンスが必要。ボトムアップの地域福祉を作って欲しい。大学生との協働など人材育成にも取り組んでほしい。
少しでも不安を無くし、距離を置いて温かく見守っていける町づくり。
若者が住みやすい町づくり。今までても生まれた町から他の市町村へ移っている人も多々いる。
若者もいない老人世帯ばかりで古い街並みなので、救急車、消防自動車も必要以上に大きな家が車の進入を妨げているのが現状。生活に必要な屋敷だけを残し、後は解体し空地にすれば、緊急車両や若い者たちの車も入り、リフォームし、生活する割合が増すかもしれない。本町が段階的に解体助成金のような制度を構築する努力をすることが、より良い住みやすい町づくりに繋がると思う。
地域住民の為に住みやすい町づくりに頑張ってください。
若い世代の意見を生かした町づくりをしてほしいです。場所によっては子どもたちが多くいたりしますが、成長後、親世代のみの世帯がだんだん増えてくると思うので、その対策もしてほしいです。住みたい町 No.1 の美浜になるように大人の人達に期待しています。みんなが離れたくない町にしてください。

美浜町としての現状がよく分かりません。ボランティアとか助け合いとか最近多く聞きますが、ここのような田舎町で出来る事はたかが知れています。身の丈に合ったまちづくりをして、必要最低限の活動をして、町民に負担をかけることのない様にお願いします。
犯罪のない町、ごみが捨てやすい、独り住まいの老人が独立しないような地域と自治体が協力し合える町づくりをお願いします。
高齢化社会になり、隣近所の方の役に立ちたいと思いますが、個人の中へどうして、どの程度の関わりを持てば気持ちよく接することができるのか？タイミングに少々不安あり。お店も閉店やら現在町通りがさみしくなり、農地も荒れてるところがあり。道路の脇、草が多く、いかにも人が減少してるなと思われます。富貴から河和、役場、内海までの半島の中道が 50 年も通じないのは不安を感じ、よけいに名古屋の通勤、流通に不利。観光にも力がないのでは。学校も子どもがいないと活気が出ませんね。何か元気になる様交通の改善も考えてみては。 武豊、大府など仕事先が近くにあり、子育ても安心できる場、どうしたらできるのでしょうかね。年間を通して人が集まる場所って何かしら。車の流れ、人の流れ、若い人、高齢者と交流って、どうしたら良いかという考えはすぐにありませんか。南保育園は無くなり、加藤化学は我が物顔で道、海とも使ってますね。町として何か対策はしていますか。あさり取り、海水浴は昔の話で、海が変わりましたね。
地域福祉、住みよい美浜町に充実させてください。よろしく。
あいさつ運動から住みよいまちづくりを進めてもらいたい。
孫が 3 人いるので、これから子育てが不安なくできるような環境を整えてほしいと思います。奥田駅前の運動公園には子供たちが安全に遊べる広場みたいなところを加えてほしい（無料で）と思います。町の人口を増やすには、若い子育て世代が喜んで暮らせるような町づくりが必要ではないでしょうか。このままでは子どもがいなくなってしまうのかと心配です。
外（都会）の知恵を内（知多）に活かす流れが必要。それは、私の様に外で 10 年過ごした人が戻ってくるような戦略が必要。具体的には同窓会開催支援、地域情報を出身者へ配信、U ターンした若者への取材（どうして戻ってきたのか、何が都会より良かったのか）を、やはり出身者（今都会に住でいる方）に発信。
人それぞれ必要な情報や援助は変わっていくと思うので、その時々に求めるものが、いつでも利用できる環境にあると良い。ハード面、ソフト面の充実を願います。
若い人が住みたくなるような魅力的な町になるように期待します。
このまま子供が増えなければ美浜町は衰退します。子どもを中心に置いた町づくりが必要です。行政を行うにあたり、まず子どもたちの事を考えて下さい。自ずと答えが見つかるはずです。

環境
住宅地の中で、所有者の宅地の雑草の管理です。背丈が伸び放題の場所がある。
通学道路のひび割れがある。（緑苑地区です）
海の日付近で海のごみを拾う日があるといいと思っています。
スポーツ自転車の走行が目立つので道路沿いの草刈りをしっかりしてほしい。
駅近辺（247 号沿い）の草、ゴミが酷い。
公園に分別できるゴミ箱を設置してほしい。
隣の家の持ち主が、木や草の手入れをしなくて、ほったらかしで困っています。
管理していない自然が豊かすぎる。草木が農地も伸び放題。行政も監理していない。町全体が汚い、くさい、都市との差がどんどん広がっている。河和地区の海岸がゴミが多く危険であるし、貝拾いもできず（漁業組合？の立入禁止）、町の自然資産である海の環境が逆にマイナス。
畜産の臭いをなくしてほしい。
外遊びが出来るよう、蚊対策をお願いします。
遊園地に除草剤使用はやめてほしい。
環境問題って書いてありますが、全然住人の意見が通っていない。何とかしてほしい。特に草刈りの件、早急に対応してほしい。対応できないなら町長に直接直談判する。
河和南部地区の悪臭対策をしてほしい。
空家、空地周辺の雑木、大きな草等、道迄でかぶさってきて通るのに困る
蝉が多いです。虫が嫌です。
布土大橋～布土公民館の川の草刈りをお願いしたいです。今の時期に水害があると、水が流れないので心配です。
私の家の周りは畑ですが、常に雑草が生い茂っています。地主に言うのも気まずいので言えません。ゴミも捨てられるし、夏はムカデやヘビ、蚊など害虫が多く出てきます。孫も遊びに来たくないと言います。美浜町は美しい町とは決して言えません。もっと厳しく管理してください。若い人たちはどんどん美浜から出て行ってしまいますよ。
ニワトリの臭さ（洗濯物ににおいが移って困ってます）。孫も外で遊べません！！
営業していない店舗がそのままだったりすると、とてもさみしいし不安。道のわきから雑木がせり出していたり、空地が荒れ放題で管理されていないとみすぼらしさを感じます。
畑や道路の草刈り、整備、犬のフンの始末の徹底の呼びかけ。
生活環境の悪さは、身体、精神ストレスが大きく不健康です。悪臭によるストレスは日夜問わず突然に現れ、慌てて窓を閉めるのが大変です。閉鎖的生活に陥る。健康で住みやすいまちづくりにはこの問題は重要です。野犬の町中への出現も安全面から不安です。この環境が地域児童数の減少に大きく影響していると思います。自然豊かな美浜町ですが、観光面でも観光客に不快を与えていると思います。
毎日家の中にまで鶏の臭いが入ってくるのでどうにかしてほしい。窓も開けられないし、家の中に入ってくる臭いで気分が悪くなる。

狭い道が多いのに木や草が道を余計狭くさせている。こまめな伐採をしてほしい。伸びきっている所が多い。
環境は、海をきれいにしてほしいです。美しい浜を。
犬の散歩の人で、フンの処理をしない人にも迷惑しています。
空き家が多くなっています。何か対策をしないと、防犯上心配です。
海岸の清掃など行政で何とかならないか。
自然を残してほしいです。体育館の近くの池の遊歩道は必要だったのか？必要な活動をしてほしいです。

雇用
自分にも子どもが 3 人いるけど、3 人とも美浜町から出て行った。この町には職がない。企業を誘致する努力をしてください。1 人は岐阜市に就職している。「岐阜の方が名古屋にも近く、外食するのにも便利だから」と。このままだと美浜町はどんどん人口が減っていくばかり。年寄りだけの町になる。ボランティアを呼びかけても若者がいなくなったらしょうがない。私もお金があったら名古屋にマンションを買って名古屋に住みたい。市バス地下鉄は乗り放題。それで私の父親も水族館で散歩したり動物園で遊んだりしている。
企業の誘致など産業を増やし、日本人の雇用を促進して頂きたい。外国人はもう必要ない。
雇用を増加してほしい。子育てのしやすい町が良い。

災害について
危険箇所があるにもかかわらず対策がなされない。（町が現地調査に来ている）災害があったら人災として提起する。（コカメ池）
町の防災対策を住民に詳しく提示してほしい。
災害の時、逃げる道がない。（247 号線しかないのでもう一本早く道を作ってください。
大規模災害（津波）に対する避難所の設置を早急に行う事を求める。 町内全域での水上バイク（海岸での）の運航禁止条例の施行を速やかに行うように求める。

交通の便・公共交通機関
車の運転が出来ないため、重い物、大きい物などの買い物に非常に不便を感じている。
公共交通機関を充実させることでもっと良くなると思う。
半田方面から下ってきた時に、河和駅前交差点の西（役場）に向かうための信号が、車 5 台通れるか通れないかで非常に短く、大変不便な思いをしております。
行ってきバスで定員いっぱい（役場から図書館）ということが少し前にあったので、時期により区間を限定して増便や少し大きいバスがあってもいいかなと思った事もあります。ありがとうございました。
買物へ行けない人が多いと思う。（免許を持っていない高齢の方や、近くに店が無いなどの理由で）もう少し大きい「いってきバス」を運行してほしい。今の車は乗り降りが大変だし窮屈です。武豊町ぐらいのバスを走らせてもらえるとありがたいです。
行ってきバスを河和方面の病院で利用する場合、役場で約 1 時間程度止まってしまうのが不便だと感じます。おそらく昼休憩等でしょうが、その間、他公共交通とも時間が合わず苦労します。改善できましたらありがたいです。
車に乗れる人はいいが、そうでない方は歩くまたはバスでの買い物、病院通いなど困っている方がいる。一人暮らしの方。何か行政の援助は出来ないのかなと思う。 もっと近くにスーパーや飲食店、病院の充実が望まれる。私は車に乗っていますが、車に乗れないと名鉄の駅から家まで歩くと 30 分程かかるし電車の本数も少ない。行ってきバスは私は利用したことがありませんが、車に乗れないとどこへも行けないに等しい。歩いたり、自転車では高齢の方も（タクシーに毎回乗るというわけにもいかず）買物すれば重く、どうしたらよいのでしょう？バスの本数はどうなのでしょう？充実していますか？ 車に乗れなくなれば、外出がほぼ不可能になるため、年を取ったら便利な都会に住むしかないのか？悩んでいます。
車が無いと生活するのが大変。交通手段の整備をお願いします。
交通整備。駅前にタクシーが常時いてほしい。舗装道路を転ばないようにしてほしい。
いってきバスももう少し本数があった方がいいと思います。
美浜町で生活するには、車に乗れないと大変です。高齢者や車を運転できない方が病院や買い物など楽に行動できるようになるといいと思います。そのような制度が既にあるかもしれませんが、情報を知らない方が多いかと。周知についても一般のお店や会社の協力を得て、多くの方に知っていただけるよう力を入れてもらえるとうれしいです。
送迎バスの時間をもう少し延長して頂けるとありがたいと思います。
町のバスですが、病院と同じ時間では無駄です。時間をずらしてください。朝 8 時～8 時 30 分のバスがあるととても良い。（私は野間の住人です）
美浜町は高齢化が進んでいるにもかかわらず、交通の不便さがあると感じた。病院や役場に行くにしても無料のバス、時間も 2 時間に 1 回なのでどうかなと思う。近くの病院や医院にもバスがあるといい。
交通の便が悪い（駅が近くに無い）。中学校が遠いので、子どもたちがかわいそうです。

道路の整備等
誰もが安心して通行できる道を整備してほしい。
道路の拡張
安全な通学路の確保
歩行者用の道幅を広くしてほしい。車と歩行者との距離が近くて危ない。奥田の交番の所の道路や公民館の所の道路など。
名鉄河和駅前の信号による渋滞による不便さ。道路拡張などの対策を望みます。
通学路（中学生・自転車通学）で河和地区では違法建築の建物により、道幅が正当より狭く、安全面で問題がある箇所がそのままの状況になっていること。
通学路の舗装をしてほしい。
緑豊かをもとめて 40 年以上住まいます。少子化で子どもたちが少なく、学校が立ち行かなくなるのではと心配しています。私の住まいます地域は竹林と雑木林に囲まれています。通学路となっていますが木の伐採もままなりません。子どもたちが安心して通学できますよう明るい道路を作ってください。権太から学校への通学路です。一度見ていただければ幸いです。
道路舗装など要望出しても何年経っても直らない。
矢梨地区、漁村センター付近の道路整備が何年か前に行われたが、道路の形が非常に不便で自分を含めた周りは皆不満を持った。その形にしなければならなかったのなら、その理由を公開した方が地域民の理解が得られると思う。むやみやたらな工事には反対。
ゴミ捨て場所まで遠い。車で行っても道が狭く、すれちがいができず、一時的な駐車もできない。消防車、救急車が家の近くまでこれない。
武豊から美浜の都市計画道をはやくつなげて渋滞を無くして下さい。連休のたびに住民は大変です。
「美浜町と名古屋は近い」と感じさせることが人口増加の鍵だと思います。そのためにも名鉄と高速道路の充実が必要だと思います。
上野間駅前のいつも混雑する細い道を広げてほしい。
道路の整備。障害物で道が狭くなっている所がある。（草、木など）特に西側（野間）⇔東側（河和）
野間中に通う中学生をよく見かけますが、国道は狭く、自転車通学をするにはいつ大きな事故が起きてもおかしくない、とても危険な状況だと思います。個人の案の一つとしては、中道の道を時間指定して頂いて、通学する子供たちの為にも自転車優先の通学路にして頂けるよう地域の方々の御協力の申請を美浜町からあげて頂けないでしょうか。自転車が通る時間帯は 1 日の時間で限られていると思います。その時間帯だけでも子どもたちに安全の為にも譲っていただける事はできませんか。また、他の手段等で今の状況が改善されるのであれば問題ありません。未来の子どもたちの為のお願いです。大切な命を守ってください。
安全に歩ける歩道の整備
箱物ではなく住民が使う道路整備、外灯のLED化、枝木の伐採をお願いします。
夜の国道が暗い。
街灯が少ないので増やしてほしい。

防犯のため、街灯設置要望を調査したらどうですか。
北方の柿谷で生活しています。街灯が少なく、住んでいる人は多くても、夜道は暗く感じます。もう少し多く街灯をつけてほしいです。
街灯の増設や見通しの悪い場所へのミラーの設置、道路の整備をして頂くと事故の防止になると思います。
美浜緑苑駅の駐輪場の街灯と、上野間保育園から美浜緑苑に抜ける中道の外灯が少なく危険。外灯を増やしてほしいです。
まだまだ暗い場所や、夜歩くのに危ない所などがある。電灯を増やしてほしいです。 美浜インター横の農道（？）インターに並行して走っている道が危ない。意外と交通量が多く草や木が多くて危ない。事故等も多いので早急に草刈りをお願いしたいです。
夜道が暗いので、街灯を増やしてほしいです
街灯を増やしてほしいです。暗くなってからの車の運転で歩行者が分からない時がある。

施設・設備
保育園に入所前なので、支援センターを利用させてもらっています。夏は涼しくしてくださるし、冬はあったかいので、家で育児していて息が詰まってくると利用させてもらってます。大変助かってます。 地域の公園が半田市とかみたいにもう少し充実しているといいかな…と思いました。
武豊にある資源回収「エコステーション」みたいな施設が美浜町にもあると、とても便利で有難い。子どもが小さかったり仕事をしていると、決まった曜日の決まった時間に捨てに行くのは結構大変だったりするので。
老人が歩いていける所に、集うカフェなどがあるといいと思います。
・河和台、厚生病院西のＴ字路に信号機を設置してほしい。 ・河和児童館、月曜日に開館してほしい。（月曜日休館） ・河和台に集会所が欲しい。
布土地区にも不登校の児童が数人いると聞きます。美浜町は受け皿になる施設はあるのでしょうか。将来の美浜を支えてくれるはずの若い人たちの将来等、難題ですが知恵を出して少しでも良い方向に向かって下さるようお願いします。
資源ごみの回収回数を増やしてほしいです
巡回バスのバス停を緑苑内に増やしてほしいです
河和台にはあまり公園がなく、あっても遊具が少なかったりして小さい子が遊ぶには不便。また支援センターも布土、野間にしかなく、河和からだと少し距離がある。小さい所でいいので、河和にもそういう所を作って欲しい。
美浜町には「大地の丘」のようなしっかりとした高齢者施設がないので作ってほしい。
せめて歩いて 10 分ぐらいの所に日常の食品が買える場所がある事（肉、魚など）
買物の移動手段の前に、買物する場所（大手スーパー）が欲しい。子育て世代にも高齢者にも一ケ所で買い物が住むのはとても助かる事です。

今、私たちの住んでいる地区に交流の場所があまりありません。どこで話し合いを行ったらいいか分からないです。他の地区ではコミュニティセンター・集会所があるのにこの地区には無いので観光センターまで行かなければいけません。コミュニティセンターのような場所が欲しいです。
あんなインター前のハゲ山作るならプールを作れ！
子育てをしている人は特に思いますが、児童保育が近くにほしいです。
要所に防犯カメラの設置
高齢者の方は買い物に行くのも大変だと思うので、住んでる地域に歩いていける距離内にコンビニ等がほしいと思います。
なぜ西側に自転車で行ける距離に児童館が無いのだろうか。
軽度知的障害者の働く場が美浜町内に少なく、町外でお世話になることが多いです。町内での働く場が増えるように働きかけてもらえるとうれしいです。
小中学校内のAED設置について。夜間、土日（スポーツ開放の利用者・グランド・体育館）でも使用可能に、早急に対応して頂きたい！！
車イスの人でも住みやすく積極的に外出が出来るように、もっとバリアフリー化を進めるといいのではと思います。
名鉄布土駅がもう一度できませんか？
陸上競技場を建設するという話を聞きましたが、年間を通して使用する回数は少なく、とても大きな無駄遣いのように思います。学校の運動場や施設、整備にお金をかけたほうが良いと思います。（福祉とは直接関係なくてすみません）
温水プールができたらいいです。 人口が少ないから無理かと思いますが、商業施設が出来たら…。 体育館で定期的に体作りの教室（例えばヨガ教室）をリーズナブルなお値段でやっていただけたら幸いです。
常滑市の温水プールのような運動・健康増進用のプールがあったらいいなあと思います。
ずっと前から要望していますが、地域にもう少し充実した公園を作って欲しい。
公共下水道は整備すべき。陸上競技場などいらない。町民が利用する確率はどちらが多いの。同じ都市計画税を財源に充てるなら、公下の整備されていない地域に発展は望めない。
町会議員が整備すると言っていましたが、下水道の整備を早急に行ってください。
下水道工事をして下さい。将来を考えて下さい。
ヤナギが高過ぎるのでピアゴやイオンなどが欲しい。
スーパー、コンビニなどが近くにほしい。歩いていける所に店が無い。 散歩できる歩道がほしい。
野間側にスーパーや食料品の変える店が欲しい。車に乗れなくなったら買物難民になってしまう。
旧布土小グランドの活用。住民のグランドゴルフ。公園化を図るべきだ。子ども遊具の整備。
南部に老人ホームがあるといい。

福祉・サービス
精神障害者で年金（障害者年金）がもらえません。B 型就労支援事務所で働いていますが、2～3 万しか月にもらえません。生活保護も役場に聞いたところ、4 人家族で 13 万 2 千円以上あるのでもらえないそうです。両親が亡くなったら生活保護を貰いたいのですが、家を取られるなど不都合もあり、精神障害の私と同じ渥美の弟の生活が心配です。将来生活が不安です。今も 2～3 万です。障害者福祉の充実を。
子ども、高齢者等福祉施策の更なる拡充、充実。地域住民の積極的な社会活動への参加。
福祉を利用、応援するにあたって窓口は1ヶ所が分かりやすいと思います。細かく地域が分域されていると利用、応援しにくい。
独居老人等がもっと気楽に集えるところがあると嬉しいと思う。健康体操に継続して参加できる会がたくさんできると、高齢者の体力向上・維持に役立つと思う。 子どもさんが安心して遊べるところが近くにあると良い。
車などに乗れない人のために車で移動販売があったらいいと思う。特に食品など…。
家から出られない人へ配達等のサービスがあるといいと思います。
個人的にはバスを利用したいときにお願いできるように（自宅前）。
ひとり暮らしの高齢者や障害者が外出できる手段を充実させていただきたいです。
病院への送迎支援有償でいいからあると安心。
買物便支援。町が考えてほしい。車に乗れなくなると心配。
風呂の券はいらない、タクシー券の方がいいかな。
町の独自財源による福祉サービスがきわめて貧弱 奥田駅前開発は誰の為なのか？全くの無駄遣い。こういう町長の姿勢は悲しい。
送迎支援は、万が一事故に巻き込まれたときに保障や保険の取り決めの条件が不明確で、責任を取りかねると感じています。 相談、ゴミ出し、掃除、洗濯の協力は、赤の他人がプライベートな部分に踏み込むため、過剰な依存、プライバシーの侵害にならないように互いに意識できるように、システムとしてお金のやり取りが必要と考えます。（安価で） 相談相手、子どもの預かりも万が一を思うとプロの登用も一案かと思います。
高齢者は買い物、入浴（温泉）、いろんなサービスを受けられますが、母子家庭も町内で割引のサービスを作ってくれると前より住みやすくなると思います。
相模原市の障害者福祉施設の殺人事件の様に、本来、福祉をやるべきではない人が人手不足の為なのか、福祉活動を行っている。自分のような人間にとって、福祉が最後のセーフティネットだと思うのだが、あまりにも質の低い（悪い？）福祉関係者がいる。もっと質を向上してほしい！

ボランティア
地域の活動の中で右にいる人も左にいる人も奉仕で行っていると思っていた。ところが有償で行っている人と無償で行っている人が混在している事実を知った時、この差異は何だろうと考えるに至った。後は腹立たしい気持ちのみが残った。
住民ボランティアも大切であるが、行政としての役割を忘れないでほしい。住民との協働ではなく行政が主体である。ボランティアへのお任せは困ります。
会社等で定年退職された方を社会参加、ボランティア活動へ誘いたいと思っている。
現在、シルバー人材センターや長寿会を通じてボランティアに参加しているが、年齢が高くなるにつれ、これも出来なくなってくると思う。今までボランティア活動してきたが、年々体力が弱くなってきている。もう少し若い人がボランティア活動に積極的に参加してくれるといいが？老々ボランティアで本人がダメになっては、えも無いと思う。
ボランティア活動など活動内容の公表・呼びかけ。誰でも参加しやすいような体制にして頂きたい。
子ども、老人がいない家族でも、今大変である。親は支援も無く頑張ってきたと思う。今後はボランティア支援について考えていきたいと思います。
政府、県、町も財政難のため、地域で地域の事をやるように（将来は介護まで）させる動きがあるように思います。ボランティアは3つ関わっていますが、自分の持ち出しが多く、趣味でしょ？と言われます。ある程度負担して頂かないと手持ちの資金が足りない恐れがあります。ボランティアをやりたい人は多いと思いますが、ボランティアの人達の支えも欲しいです。

日本福祉大学生のマナー
日福生の交通のマナーを知らせてもらいたい！！夜、陸上部が反射するものを何もつけずに走っているのは大変危ないし、引きそうに何度もなった…。 自転車に乗っている人もよく曲がり角などからの飛び出しもある。 ゴミ出しのマナーも悪すぎる！！
福祉大の交通マナーの悪さ。ゴミの出し方の悪さが気になる。
大学生の自転車のマナーが悪いのがあります。アパートの自転車置き場で実は空いているのに手前に入れて、道路に出てて、車が出入りする曲がり角の所なので、迷惑だったりします。 学生さんや他の人も、車椅子の人の駐車場が少なくなかったり、止めれるのをもっとちゃんとしてほしいし、足が悪い人でも停めたりできたらと思います。

役場への意見
役場の方へ。とにかく、やるべき仕事（自分の職種）をきちんとこなしてやってください。少しいい加減だと感じています。
広報などで、これらの計画の取組状況・活動について個別に特集をして頂けると、課題の認識や理解が進むのではないかと思います。
税収が少ないばかり言ってないで財源の有効活用の内訳を公表し、議論を展開してほしい。
お役所仕事ではダメです。
税金を有効に使って下さい！！
役場の周りだけきれいにしていいですね。
ひいらぎ特別支援学校での懇談会で、美浜町の職員だけが欠席。しかも毎年。あまりに不誠実な仕事ぶりが他の課でも多々見られる。あなた方が町民から信頼される仕事をすることが基本です。表面上のアンケートなど、軽費の無駄遣いです。私は美浜町民であることが恥ずかしいと痛感した経験が何度もあります。正規職員を半分にする人事こそが住みやすい町づくりの一歩です。
経費削減 事務手続きの簡略化 スピーディーな対応 具体策の実行
町民への協力をお願いする前に、職員・町長自ら見本をお願いします。
・町民税が使われている公共施設の充実と管理、運営の見直し ・役場職員、厚生病院職員の教育！！（言動、態度の悪さはひどい！！） ・地域共同作業（草刈り等）に参加しない世帯の罰則

アンケート
この様なアンケートを取っても、弱者のプラスになるような結果がついてこない気がする。
本人は障害 1 級で何も出来ません。このアンケートは私どもの所にはあてはまらないような気がします。この様なアンケートはもう少し考えて出して頂きたい。
この地に住んでまだ日が浅く、知らない事も多く、アンケートに記入するのに迷いました。
この調査が「形だけ」のものにならない事を強く望みます。
とても内容の濃いアンケートに感謝しています。50 年住んでいて初めてです。子どもも大人も減った美浜、近所関係も昔と比較して薄くなり葬儀もホールでやるので手伝ったりしないので付き合いも少なくなった。時の流れかも。付き合い、助け合いも昔と変わり減り寂しいです。身勝手な人が多くなってきたみたい。車に乗れないのが一番不便。タクシーも呼ばないといない。行ってきバスだけが頼り。ありがとう。
このアンケート字が多すぎてワケわかめでした。ふりがなを付けてくれるとうれしいです。もっとかんたんにしてください。
子どもがいませんので子どものアンケートは分かりません。

その他
昔からのしきたり（？）のようなものに強いこだわりを持たれている老人と、20、30、40 代の子育て世代がうまく交われるような町にしてほしい。皆、若い世代が引っ越していってしまうと困るし、その子供たちが大人になった時にも地元に住みたいと思えるようにしてあげたいです。
住みやすい町だとは思いますが、地域福祉など何をしているのか分かりません。それ以前に、分からないことが分かりません。なので、このアンケートの内容もあまり協力出来ず申し訳ありません。
最近、地域のゴミ 0、草刈りに出てこない世帯が多く、それに対して区・地域の人はどう思っているのか？もっと声をかけてはどうかと思う。
社会福祉協議会は、障がい者団体の支援活動をしなければならないが、美浜町の社会福祉協議会はそれを拒否しているので、福祉のまちづくりはできない。
交番に人がいないのは不便。何かあっても、かけつけるのに半田から来るまでに間に合わないことも有ると思う。夜中とか特に不安。
91 歳の義母と同居なので、今は元気ですが、いつ体調が悪くなるかと心配なので、協力したい気持ちはありますが、場所・時間の制限があるので申し訳ありません。
誰もが住みやすい＝経済・行政力の UP→環境 ＝シームレス連携→情報 ＝イベントの開催→つながり
保育所の乳児クラスの受け入れ定員を増やしてほしい。
将来美浜町も空家が増えると思われますが、このような家屋を町で借り上げ老人の集う家に改装して、個人でさびしく年を重ねるじゃなく、お年寄り同士で和気藹々な毎日を送れるシステムを町で先導して、子どももお年寄りも安心して住める美浜町にしていただきたい。
不規則勤務のため、仕事で精一杯。
若い人に来てもらえるような施策をぜひ考えていただきたいです。税収を増やさない事には何もできないのでは？何かと「資金がなくて…」という回答が多く、意見を出しても取り合っていただくことができないのが現状です。
まず、区民運動会をやめる。
安楽死を認める法律ができるといいと思います。幸福の選択の一つと考えます。冷静に客観的に考える時期に来ていると思います。
名古屋市ではないのに美浜町では国民健康保険に資産割（19010×固定資産税うんぬん）というのがあり、すでに固定資産税を支払っているのに 2 重課税では、と税理士さんから指摘を受けました。これはどうなのでしょうか？
地域活動について強制、強請が無い事を望みます。古いしきたりは、継続して伝統を大切にすることは大事ですが、暗黙的にならないように希望します。
要介護3で、デイサービス通所で 4 年目です。週に 5 日通っています。相談は通所のケアマネさんで、現在困ったことはありません。感謝しています。

言いたいことは多くあるけど、この世の中は良くもないし悪くもならないし、お金持ちの人が良くなっていく、お金の無い人はバカにもされるし、住みよい世の中になっていくかと思う。
人の幸せをねたんで、様々な悪事を平気でする人が隣に住んでいて、この十年ぐらい本当に苦しみました。心優しい子供や熱心にお世話をしてくださるヘルパーさんに支えられて残り少ないであろう時間を懸命に生きています。
老人に手厚くするより、子育てしやすい環境を整えることを重点に考えないと、美浜町の未来はないと考えています。
民生にお世話になってありがとうと思っています。
日頃感じている事、民生委員は適任者であるか？町の美化委員の自宅の周りの汚い事。これもいい加減な選び方ではないのか？行政のチェックの甘さを感じます。税金を支払っている身で考えますと、もっと役場が役員を選ぶのにいろいろ配慮が必要であると思います。
美浜町に税を払う企業を呼ぶための施策を考えてほしい。税収無くして何が出来るの？ 美浜町の歴史的、地理的、産業的、文化的な良さは何か？を認識して発信してほしい。
暴力団員の居座り対策
違法建築（セットバック、建ペイ率、他）
都市計画税の使い方を見直してほしい。
「居場所づくり」はとても大事だが、特に若い「引きこもり」や障害者は同じくらい現金収入が必要だと思う。町もハローワークや就労支援団体と今以上に連携を強化してはどうだろうか。
幼保小中の一貫教育または同敷地内での交流教育、ボランティアへの積極参加への仕組み、 ルールや保険などの仕組みづくり、街路樹のオーナー（広告入りもあり？）制度で町を美しく保つ、 ゴミ出しマナーを啓発する。日本人も外国人もわかりやすく、守りやすく。 小中在学中に使うものは市販品も含めて消費者に選択権を与えよ。ヘルメット、河小中の上履きが高すぎる。
基本、自分で出来る事は自分で行う。
美浜に若い人を呼び戻し、子育て支援をもっと充実させて子どもたちを増やさないと、先が見えてこないと思います。
それぞれの立場の方の困っていることを１つ１つ聞き、出来うる限りそれを解消していく事。それには聞く心と窓口が必要です。何年にわたってでも問題を解決する努力が必要です。
町民税がもう少し減額できることを願っている。
住んでるか住んでいないのか分からない家を見かけると地域にあまり良いイメージはないと思うので、入居者の有無をはっきりとさせ、空家なら取り壊したりしてきれいにした方が良いと思う。
地域における福祉の重要性は必要不可欠を認識していますが、通常美浜町に在住するのはごく僅かで、ほとんど海外での生活で（勤務）、協力は難しいのが現状です。
保育士の充実！子どもが小さいうちは出来ればパートタイムで働きたいのに、そのケアが全くないのが困ります！時給と預けるお金が変わらない。
上の人は、大の人の意見をよく聞く事。

本当に支援が必要な人を見極め、本来助けるべきでない「怠け者」や「他力本願」の者は支援すべきでない。
美浜町は元気な高齢者が多い町です。高齢者が生涯現役で活躍できる場が必要だと思います。高齢者自身も生活していかなくてはいけないので、全くの無償よりある程度有償にした方がさらにやりがいも出来ると思います。その際に空き家、空き地を有効に活用できるといいです。
年を重ねてきますと他人様にお世話をかけずに何とか生活することを考えています。いつまで続くか分かりませんが、よろしくお願いします。
20 代後半の若いママが、現在 4 歳の子が小学校に入学する前に建売住宅を美浜町で（実家があるため）購入したいのに、不動産屋が建てないんだ、残念だと言ってた。せっかく若い人が住みたいと言ってるのに、土地があるんだから役場が建て売りを予約販売したらいいのに、とその時話した。
以前、日本語が話せない方と車で事故にあったのですが、相手の方が保険に入ってなくて大変な目にあったので、外国の方が増える中、支援してほしいと思います。
思いやりのある人づくり
武豊町と比較して、色々な行政のサービスが良くない。 武豊町と比較して、固定資産税が高いように思う。
年金生活なのに資産のある人たちと一緒の区費ではどうかしら？
70 代になり、日々、体力がなくなり、介護して頂く立場になり、不安を感じつつ 1 日 1 日を生き、喜び、苦しんでいます。障害児を介護して生き、将来が不安でいっぱいです。体力づくり頑張ります。
学生がたくさんいるので使うべき。ボランティア登録などをして地域に関心を持ってもらい考えるきっかけに！
正月やゴールデンウィーク等の連休の時のゴミ出しを可能にしてほしい。 粗大ゴミを捨てるとき、気軽に借りられる軽トラックがあるといいのになあと思ったことがある。
小中学生の通学路の充実。町内パトロール（防犯）隊の組織作り。
地域のボスの為の活動にならないように望みます。
現状でよし。特に要望事項はない。

美浜町地域福祉計画・地域福祉活動計画に関するアンケート調査

本調査は、皆様の福祉に対する意識や地域活動への参加状況などを把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、美浜町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定を行うための基礎資料として活用するために実施するものです。ご回答いただく方は、無作為に抽出した美浜町に住民登録をしている18歳以上の男女2,000人となります。

調査は無記名でおこない、お答えはすべて統計的に処理します。そのため、個人情報が漏れるなどのご迷惑をおかけすることは一切ございません。お忙しいところ大変申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年7月　美浜町長　神谷信行

●ご記入にあたって

① 調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
② ご記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きのうえ、またはご意向に沿ったかたちで、代理でご記入をお願いいたします。
③ 回答は、平成28年7月1日現在の状況でご記入ください。
④ お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、「その他」を回答した場合には、具体的にその内容をご記入ください。
⑤ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
⑥ 本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願いいたします。
⑦ ご回答は平成28年8月10日（水）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストへご投函ください。（切手は不要です。）
⑧ ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

美浜町役場　厚生部　福祉課　社会福祉係
電話番号　0569-82-1111（内線221）　FAX　0569-82-4153

（1）あなたとご家族についてうかがいます

問1　あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

1．男性	2．女性

問2　あなたの年齢はどれですか。（1つに○）

1．18～19歳	2．20～29歳	3．30～39歳	4．40～49歳
5．50～59歳	6．60～69歳	7．70歳以上	

問3　あなたがお住まいの行政区はどちらですか。（1つに○）

1．布土	2．時志	3．北方	4．浦戸
5．河和	6．古布	7．矢梨	8．切山
9．小野浦	10．細目	11．一色	12．柿並
13．若松	14．奥田南	15．奥田中	16．奥田北
17．上間野	18．美浜緑苑	19．その他（　　）	

問4　あなたの家族の構成についてうかがいます。（1つに○）

1．ひとり暮らし	2．夫婦のみ	3．親と子の二世代
4．親と子と孫の三世代	5．その他	

問5　あなたは、美浜町に何年住んでいますか。（1つに○）

1．1年未満	2．1～5年	3．6～10年	4．11～15年	5．16年以上

問6　あなたは、美浜町に居住する以前に別の地域に住んでいましたか。（1つに○）

1．美浜町出身者で、ずっと美浜町に居住している
2．美浜町出身者で、他市町村に転出したことがあるが、現在は美浜町に居住している
3．他市町村出身者で、現在は美浜町に居住している

問7　あなたは、現在どのような立場にありますか。

（（ア）～（エ）についてどちらかあてはまる数字に1つずつ○をつけてください）

	はい	いいえ
（ア）仕事をしている。（自営業や家事、会社勤めや公務など）	1	2
（イ）介護をしている。（職業を除く）	1	2
（ウ）子育てをしている。	1	2
（エ）学生	1	2

問８　あなたは、現在どのような組織や活動につながりがありますか。
（（ア）～（オ）についてどちらかあてはまる数字に１つずつ○をつけてください）

	つながりがある	つながりがない
（ア）仕事場（家の外に勤めに行っている等）	1	2
（イ）学校（学生や保護者として）	1	2
（ウ）趣味サークル活動・団体	1	2
（エ）ボランティア活動・団体（社会貢献活動）	1	2
（オ）町内会等の組織（自治会、老人会、子ども会等）	1	2

（２）地域（隣近所）との関わり方についてうかがいます

問９　あなたは、隣近所に顔見知りの人がどのくらいいますか。（１つに○）

１．ほとんどの人が顔見知りである	２．ある程度顔見知りの人がいる
３．あまり顔見知りの人はいない	４．ほとんど顔見知りの人はいない

問 10　あなたは、隣近所にお住まいの方をどの程度信頼していますか。（1 つに○）

１．とても信頼している	２．信頼している
３．どちらかといえば信頼している	４．どちらともいえない
５．あまり信頼していない	６．わからない

問 11　あなたは、ふだん隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。（１つに○）

１．相談したり、助け合うつきあい	２．お互いの家を行き来するつきあい
３．立ち話をするつきあい	４．あいさつをする程度のつきあい
５．ほとんど（まったく）つきあいはない	

→ 問 11 で『５．ほとんど（まったく）つきあいはない』と回答した方にうかがいます。

問 11-1　ほとんどつきあいがない理由は何ですか。（当てはまる数字すべてに○）

１．町内組織（自治会等）に入っていない	２．忙しくてつきあう時間がない
３．つきあう機会がない	４．つきあうのが面倒
５．同年代の人がいない	６．気の合う人がいない
７．かかわりを持ちたくない	８．その他（　　）

問 12　あなたは、地域活動や行事にどの程度参加していますか。（１つに○）

１．積極的に参加している	２．ほどほどに参加している
３．あまり参加していない	４．参加していない

（3）お住まいの地域の現状ついてうかがいます

問 13　あなたは、お住まいの地域の現状をどのように捉えていますか。
（(ア)～(ツ)についてそれぞれ最もあてはまる数字に１つずつ○をつけてください）

	全く思わない	あまりそうは思わない	どちらかと言えばそう思う	そう思う
●公助（行政の支援）に関係すること				
(ア) 福祉施設・サービスが充実している	1	2	3	4
(イ) 医療施設（病院・診療所等）が充実している	1	2	3	4
(ウ) 学習施設（図書館等）が充実している	1	2	3	4
(エ) スポーツ施設（体育館等）が充実している	1	2	3	4
(オ) 子どもの遊び場・公園が充実している	1	2	3	4
(カ) 治安が良く安心して住める	1	2	3	4
(キ) 防災対策が充実していて安心して住める	1	2	3	4
(ク) 道路や公共交通機関（サービスバスを含む）が充実している	1	2	3	4
●共助（隣近所やボランティアによる支援）に関すること				
(ケ) 子どもから高齢者まで世代間の交流が盛んである	1	2	3	4
(コ) 子育て世帯に対して地域やボランティアからの支援がある	1	2	3	4
(サ) 高齢者に対して地域やボランティアからの支援がある	1	2	3	4
(シ) 障がい者に対して地域やボランティアからの支援がある	1	2	3	4
(ス) 外国籍の方に対して地域の理解と支援がある	1	2	3	4
(セ) 地域課題に対して住民同士で話し合う環境がある	1	2	3	4
(ソ) 地域の活動・ボランティア活動が盛んである	1	2	3	4
●その他				
(タ) 買い物などの日常生活が便利である	1	2	3	4
(チ) 緑が多く自然豊かである	1	2	3	4
(ツ) 隣近所間どうしの関係が良好である	1	2	3	4

問 14　あなたは、ご自身が住んでいる地区が好きですか。（１つに○）

1．好き	2．どちらかといえば好き	3．あまり好きではない	4．好きではない

問 15　あなたは、ご自身が住んでいる地区を「住みやすい」と感じますか。（１つに○）

1．感じる	2．どちらかといえば感じる	3．あまり感じない	4．感じない

（4）生活で困っていること・福祉に関する地域の課題についてうかがいます

問 16　あなたが日常生活の中で感じている不安やお困りごとについてうかがいます。
（当てはまる数字すべてに○）

1．自分や家族の健康	2．自分や家族の老後	3．子どもの教育や将来
4．地域の人とのつきあい	5．家庭・地域での子育て	6．住居に関すること
7．古いしきたり	8．介護に関すること	9．働くこと（就労・失業等）
10．外出・買い物などの移動	11．防犯・防災対策	12．生活費など経済的問題
13．その他（　　）		

問 17　あなたが困ったときに相談する人や場所はどこですか。
（当てはまる数字すべてに○）

1．家族・親戚	2．友人・知人	3．隣近所の人
4．会社の同僚・上司	5．民生委員	6．区長・区役員
7．役場・警察など公的窓口	8．保健センター	9．社会福祉協議会
10．地域包括支援センター	11．障害者相談支援センター	12．ボランティア団体など
13．誰にも相談しない	14．相談できる人がいない	15．どこに相談していいかわからない
16．その他（　　）		17．特にない

問 18　あなたが住んでいる地域の問題や課題について、感じていることは何ですか。
（当てはまるものすべてに○）

1．地域の人とのつきあいが大変	2．地域による子育て支援の充実
3．地域活動に無関心な人が多い	4．古いしきたりが残っている
5．介護に関する支援の充実	6．子どもの福祉の充実
7．障がい者の社会参加支援の充実	8．高齢者の生きがいや社会参加の促進
9．健康づくりの場や機会の拡大	10．経済的に生活が苦しい人の支援の充実
11．外国籍の人との共生の支援	12．雇用・就労環境の改善
13．引きこもりの人に対する支援	14．外出や買い物などの移動の支援
15．公共交通の整備・改善	16．福祉サービス情報に関する提供の充実
17．防犯・防災対策の充実	18．地域の美化（ゴミ問題等）の促進
19．その他（　　）	20．特にない

問 19　あなたは、地域の問題や課題に困ったとき、どのようにしますか。（1つに○）

1．積極的に問題を解決していきたい
2．自発的ではないが、呼びかけがあれば協力していきたい
3．できるだけ関わらず、解決されるのを待つ
4．その他（　　）

問 20　あなたは、地域福祉について関心を持っていますか。（1つに○）

1．とても関心がある	2．ある程度関心がある	3．あまり関心がない	4．まったく関心がない

問 21　災害などの緊急時の対応状況について教えてください。
（(ア)～(ウ)についてそれぞれ最もあてはまる数字に１つずつ○をつけてください）

	はい	いいえ	わからない
(ア) 災害時の避難場所について知っていますか	1	2	3
(イ) 隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人（ひとり暮らし高齢者や障害のある人など）を知っていますか	1	2	3
(ウ) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2	3

問 22　大規模災害に備えて、地域で個人情報を共有することについて、どのように思いますか。（※主に自力で避難が困難な方が対象）（１つに○）

1．必要だと思う	2．まあ必要だと思う
3．あまり必要だと思わない	4．必要だと思わない

（5）地域福祉を支える人材や地域福祉資源の活用について

問 23　あなたは、民生委員・児童委員を知っていますか。（１つに○）

1．活動している人も内容も知っている	2．活動している人は知っているが、内容は知らない
3．活動している人は知らないが、内容は知っている	4．活動している人も内容も知らない

問 24　美浜町地域包括支援センター（社会福祉協議会内に設置）について知っていますか。（１つに○）※活動内容は、包括的支援事業（総合相談・支援事業、介護予防ケアマネジメント、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント）と要支援者のケアプラン作成等です。

1．利用したことがある	2．利用したことはないが、活動内容は知っている
3．活動内容は知らないが、名前だけは知っている	4．活動内容も名前も知らない

問 25　あなたは、ボランティア活動に参加したことはありますか。（１つに○）

1．現在参加している	2．参加したことがある	3．参加したことがない

問 26　あなたは、今後ボランティア活動に参加したいですか。（１つに○）

1．ぜひ参加したい	2．機会があったら参加したい
3．時間ができたら参加したい	4．友人などが一緒なら参加したい
5．参加できない	6．参加したくない

→ 問 26 で『5．参加できない』『6．参加したくない』と回答した方にうかがいます

問 26-1　その理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

1．自分のことで精一杯	2．時間・機会がない	3．興味・関心がない
4．活動内容や方法がわからない	5．その他（　　）	

（6）福祉団体についてうかがいます

問 27　あなたは、美浜町社会福祉協議会について知っていますか。（1つに○）

1．名前も活動の内容もよく知っており、実際活動に参加したり、相談に行ったりしている
2．名前も活動の内容もよく知っているが、特に関わりはない
3．名前も聞いたことがあるし、ある程度は活動内容を知っている
4．名前は聞いたことがあるが、詳しい活動はよく知らない
5．名前も活動の内容も知らない

→ 問 27 で『1』～『3』と回答した方（社会福祉協議会をご存知の方）にうかがいます

問 27-1　美浜町社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後充実させていくとよいと思われるものはどれですか。（当てはまるものすべてに○）

1．ボランティア活動への参加促進、きっかけづくり
2．ボランティア活動を行っている人の交流・学習の機会
3．ふれあい いきいきサロン活動（高齢者や子育て等）の支援・拡充
4．子ども達への福祉教育事業
5．住民による地域の見守り活動
6．福祉についての学習会・研修会の開催
7．福祉に関する情報提供・情報発信
8．地域活動に携わる人の育成
9．障害当事者・団体の支援活動
10．災害時の支援活動
11．高齢者に関する総合相談窓口の拡充
12．ホームヘルパーの派遣
13．その他（　　）

問 28　今後、住民と行政（町）と関係福祉団体（社会福祉協議会等）による「協働のまちづくり」を進めるうえで、取り組む活動には何が良いと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

1．高齢者や障がい者の見守り・安否確認
2．移動・外出、買い物等に困っている方への支援
3．子育て中の方への支援（声掛け、居場所づくり等）
4．高齢者や障がい者の居場所づくり
5．防犯や防災に関すること
6．環境美化に関すること
7．地域の行事など、地域住民の交流に関すること
8．その他（　　）

（7）地域活動についてうかがいます

問 29　地域活動に協力できるかについてお聞かせください。（1つに○）

1．無償で協力できる
2．有償なら協力できる
3．活動内容により、無償で協力できる
4．活動内容により、有償で協力できる
5．活動内容に関わらず、無償・有償のどちらでも協力できる
6．現在は協力できないが、将来的には無償で協力したい
7．現在は協力できないが、将来的には有償で協力したい
8．協力できない
9．わからない
10．その他（　　）

※ 無償…ボランティア活動
※ 有償…実費（活動にかかる必要経費）程度をもらい活動する

→ 問 29-1 へ

問29で『1』～『5』と回答した方（協力できると回答された方）にうかがいます

問29-1　下記の(ア)～（ソ）の活動の中で、あなたが協力できそうな活動に○を付けてください。（最も当てはまる数字１つずつに○）

	無償で協力できる	有償なら協力できる	どちらでも協力できる	協力できない
(ア) 病院への送迎支援	1	2	3	4
(イ) 地域行事への送迎支援	1	2	3	4
(ウ) 買い物の外出支援	1	2	3	4
(エ) 買い物の代行	1	2	3	4
(オ) 薬の受け取り代行	1	2	3	4
(カ) 社会参加の場づくり・運営の協力	1	2	3	4
(キ) 話し相手	1	2	3	4
(ク) 相談相手	1	2	3	4
(ケ) ゴミ出しの協力	1	2	3	4
(コ) 掃除・洗濯の協力	1	2	3	4
(サ) 簡単な修理の協力	1	2	3	4
(シ) 安否確認・見守り・声掛け	1	2	3	4
(ス) 子どもを一時的に自宅で預かる	1	2	3	4
(セ) 子どもを地域の拠点で預かる	1	2	3	4
(ソ) 子ども同士の交流の機会への協力	1	2	3	4
（その他、できる活動、協力の仕方を書いてください。）				

問 30　誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で質問は終了です。ご回答は平成28年8月10日（水）までに、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストへご投函下さい。（切手は不要です。）

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

地域福祉計画・地域福祉活動計画に関するアンケート調査　結果報告書
平成 29 年 1 月
美浜町役場　厚生部　福祉課　社会福祉係
〒470-2492　愛知県知多郡美浜町大字河和字北田面 106 番地
TEL：0569-82-1111（内線：221）　　FAX：0569-82-4153